令和元年度 市民意識調査

報　告　書

令和２年３月

加　古　川　市

目　次

Ⅰ　調査の概要 **1**
１．調査目的 1
２．調査設計 1
３．回収状況 1
４．報告書の見方 1

Ⅱ　調査結果 **2**
１．回答者の属性 2
（１）性別 2
（２）年齢 2
（３）家族構成 2
（４）居住地域 3
（５）居住年数 4
（６）職業 4
（７）通勤・通学先 5
（８）通勤・通学の交通手段 5
（９）結婚の経験 6
(10) 子どもの有無 6
(11) 子どもの年齢・人数 7
２．定住意向 8
（１）定住意向 8
（２）転居したい理由 11
（３）市内で希望する居住場所 15
（４）市外で希望する居住場所 18
３．市の施策に対する満足度・重要度 21
3-1　安心して暮らせるまちをめざして 25
3-2　心豊かに暮らせるまちをめざして 51
3-3　うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして 73
3-4　にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 83
3-5　快適に暮らせるまちをめざして 97
3-6　まちづくりの進め方 125
４．「防災」対策として地域等で取り組んでいること 132
５．「防犯」対策として地域等で取り組んでいること 134
６．市民活動の参加状況 136

７．市民活動への参加意向 139
８．「ごみのポイ捨て」を見かける頻度について 142
９．「ごみのポイ捨て」に対する不満について 145
（１）不満の有無 145
（２）ごみをよく見かける場所 148
（３）よく見かけるごみの内容 148
（４）ごみのポイ捨ての減少に効果的だと思う取組 149
10．「ペットのふん」を見かける頻度について 153
11．「ペットのふん害」に対する不満について 156
（１）不満の有無 156
（２）ペットのふんをよく見かける場所 159
（３）ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組 160
12．市政に関する情報の入手方法 163
13．「広報かこがわ」に対する満足度 167
14．「加古川市のホームページ」に対する満足度 170
15．加古川市の取組等の認知度 173
16．市や居住地域に対する誇りや愛着の程度 177
17．自由意見 180

Ⅲ　総括 **185**
１　全体考察 185
２　経年比較 188

Ⅰ　調査の概要

１．調査目的

加古川市後期総合基本計画（計画期間：平成28年度から令和２年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度や重要度などの意識を調査することにより、後期総合基本計画の進行管理を行うとともに、次期総合基本計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

２．調査設計

調査対象：市内に在住する18歳以上の市民 3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法：配布・回収とも郵送による
調査期間：令和元年(2019年)12月５日（木）から令和元年(2019年)12月19日（木）まで
調査項目：・回答者の属性
・定住意向について
・加古川市が取り組んでいる施策について
・「防災」及び「防犯」対策への取組について
・協働のまちづくり（市民活動への参加）について
・ごみのポイ捨てやペットのふん害防止について
・市政等に関する情報について
・市の取組等の認知度について
・その他について
・自由意見

３．回収状況

配布数	回収数	有効回答率
3,000人	1,272人	42.4％

４．報告書の見方

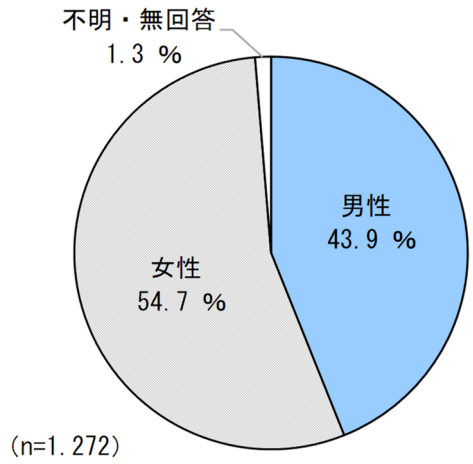
① 図表上の「ｎ」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
② 回答比率（％）は回答者数（ｎ）を100％として算出している。小数点以下第２位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
③ 図表上の「MA%」(Multiple Answerの略）や「3LA%」(3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの３つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（％）の計は100.0％を超える。
④ 本文中にある前回調査とは「平成30年度調査」を指している。

Ⅱ　調査結果

１．回答者の属性

（１）性別

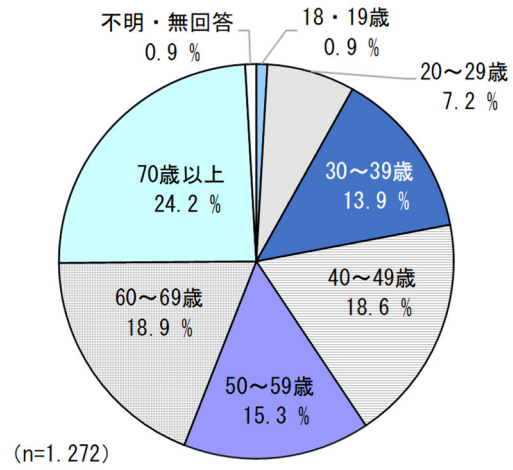
【図1-1　性別】



●回答者の性別は、「男性」が43.9%、「女性」が54.7%となっている。（図1-1）

（２）年齢

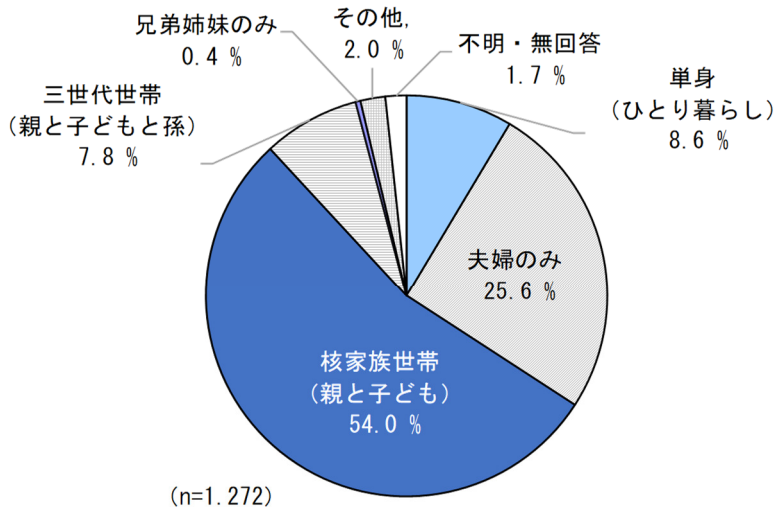
【図1-2　年齢】



●回答者の年齢は、「70歳以上」が24.2%と最も高く、次いで、「60～69歳」が18.9%、「40～49歳」が18.6%、「50～59歳」が15.3%、「30～39歳」が13.9%となっている。（図1-2）

（３）家族構成

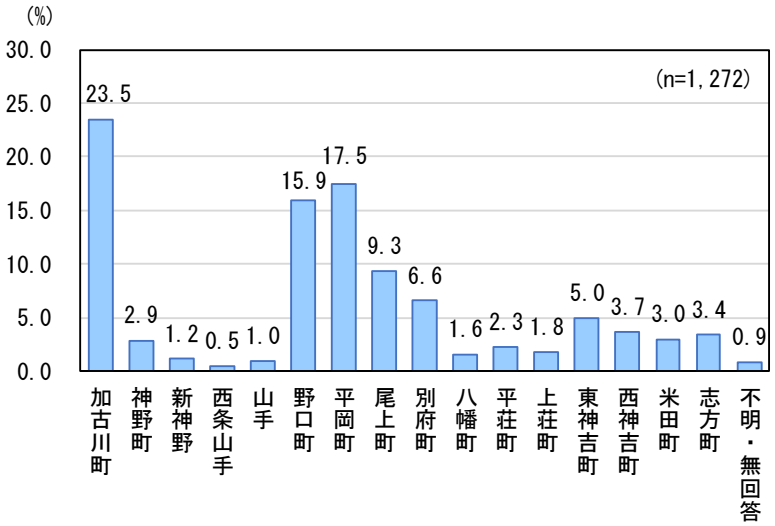
【図1-3　家族構成】



●回答者の家族構成は、「核家族世帯（親と子ども）」が54.0%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が25.6%、「単身（ひとり暮らし）」が8.6%、「三世代世帯（親と子どもと孫）」が7.8%、「兄弟姉妹のみ」が0.4%となっている。（図1-3）

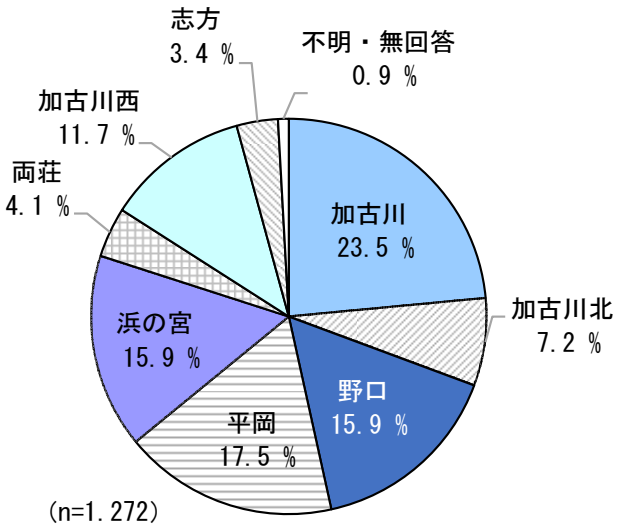
（４）居住地域

【図1-4-1　居住地域】



【図1-4-2　居住地区】

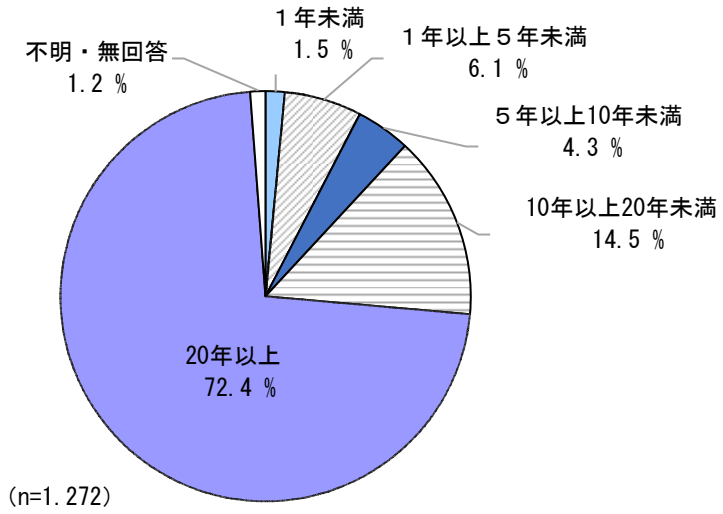
居住地区	町名等
加古川	加古川町
加古川北	神野町 新神野 西条山手 山手 八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町 別府町
両荘	平荘町 上荘町
加古川西	東神吉町 西神吉町 米田町
志方	志方町



●回答者の居住地区は、「加古川」が23.5%と最も高く、次いで、「平岡」が17.5%、「浜の宮」と「野口」が同率で15.9%、「加古川西」が11.7%となっている。(図1-4-2)

（５）居住年数

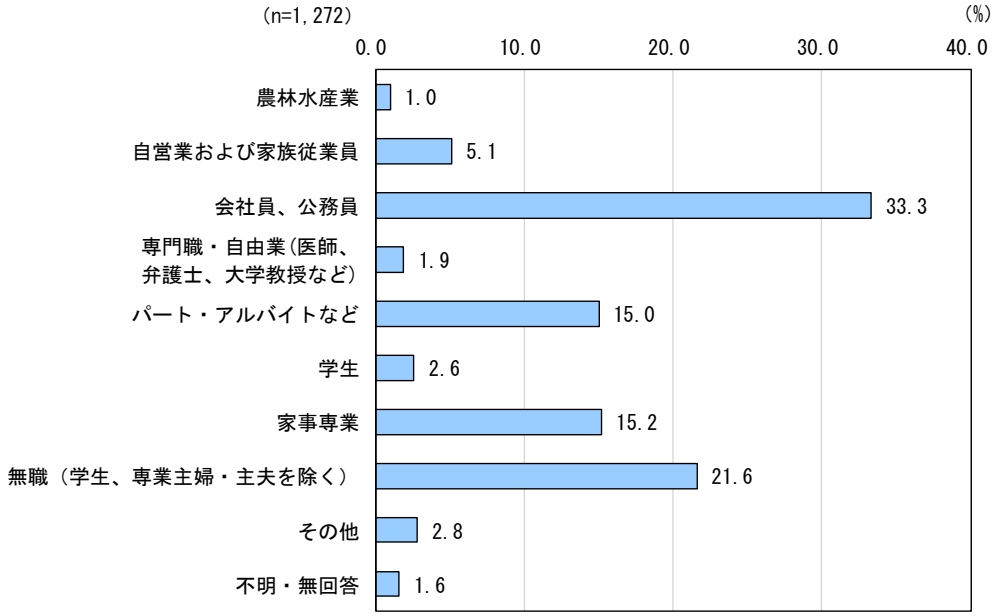
【図1-5　居住年数】



●加古川市での居住年数は、「20年以上」が72.4%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」が14.5%、「１年以上５年未満」が6.1%、「５年以上10年未満」が4.3%、「１年未満」が1.5%となっている。(図1-5)

（６）職業

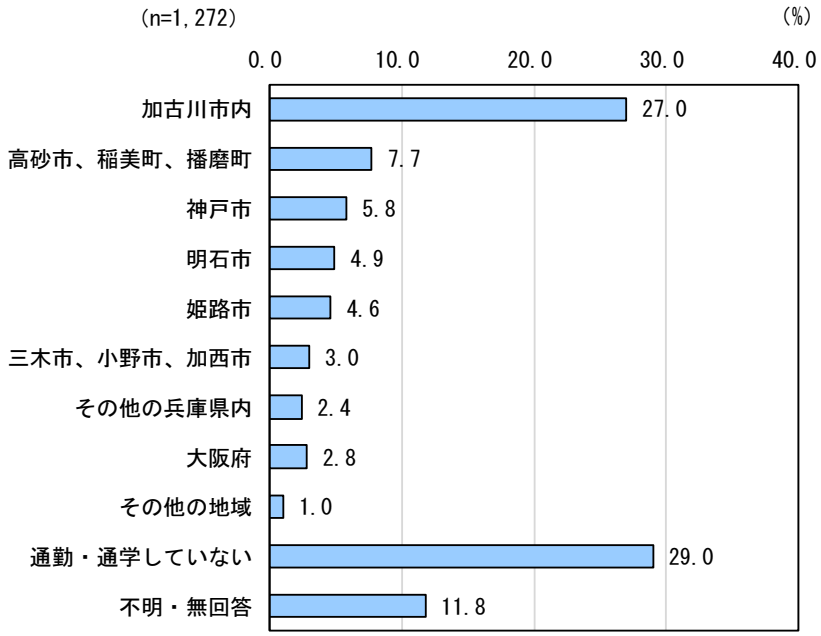
【図1-6　職業】



●回答者の職業は、「会社員、公務員」が33.3%と最も高く、次いで、「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」が21.6%、「家事専業」が15.2%、「パート・アルバイトなど」が15.0%、「自営業および家族従業員」が5.1%となっている。(図1-6)

（７）通勤・通学先

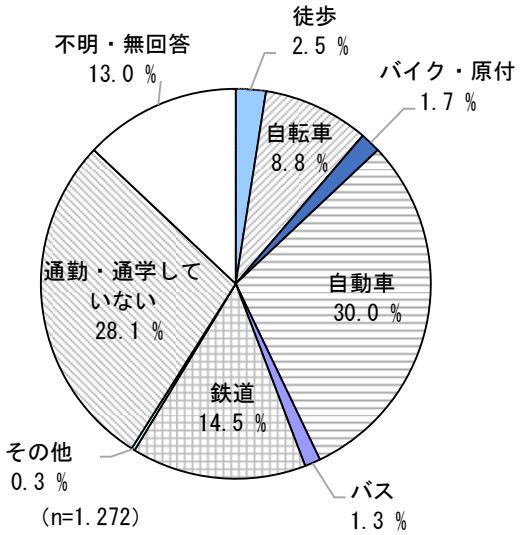
【図1-7　通勤・通学先】



●回答者の通勤・通学先は、「通勤・通学していない」が29.0%と最も高く、次いで、「加古川市内」が27.0%、「高砂市、稲美町、播磨町」が7.7%、「神戸市」が5.8%、「明石市」が4.9%となっている。（図1-7）

（８）通勤・通学の交通手段

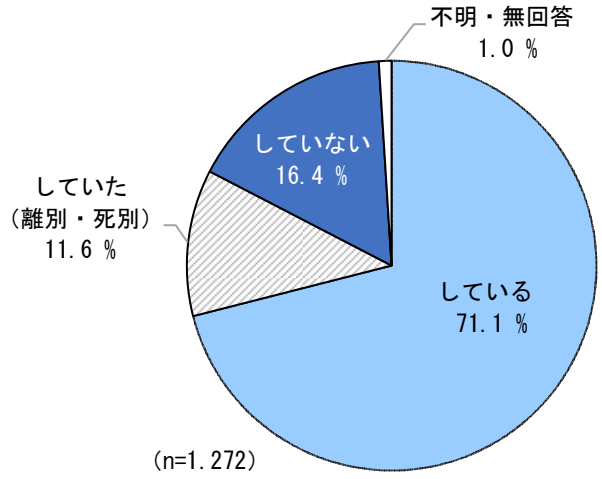
【図1-8　通勤・通学の交通手段】



●通勤・通学の交通手段は、「自動車」が30.0%と最も高く、次いで「通勤・通学していない」が28.1%、「鉄道」が14.5%、「自転車」が8.8%、「徒歩」が2.5%、「バイク・原付」が1.7%となっている。（図1-8）

（９）結婚の経験

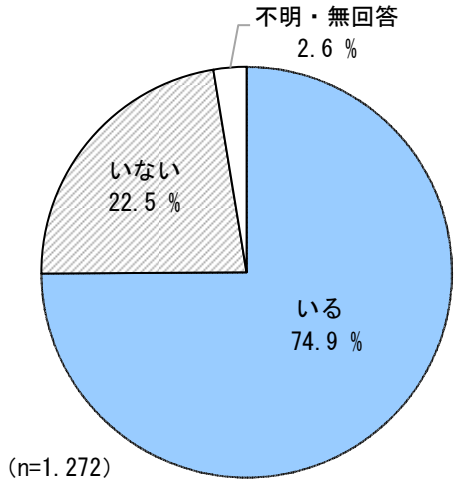
【図1-9　結婚の経験】



●結婚の経験については、「結婚している」が71.1%と最も高く、次いで、「結婚していない」が16.4%、「結婚していた（離別・死別)」が11.6%となっている。(図1-9)

(10) 子どもの有無

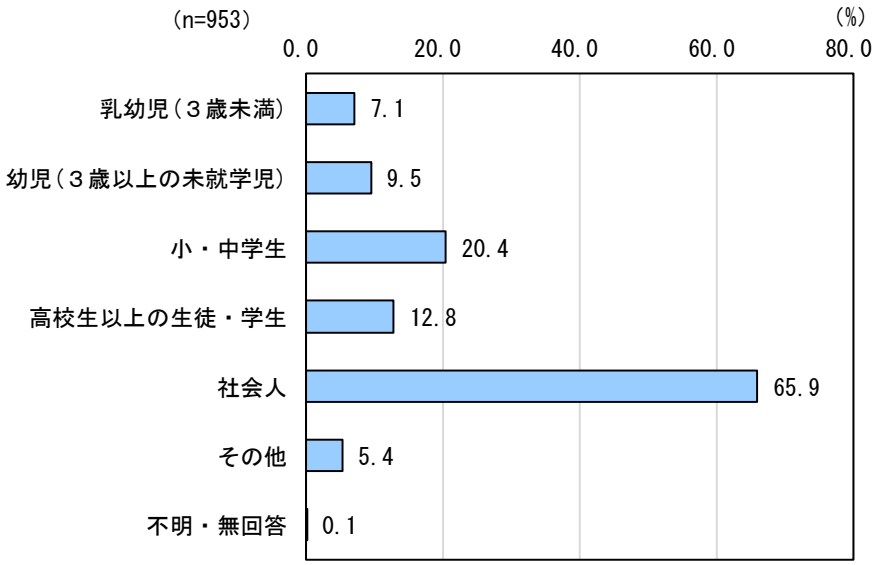
【図1-10　子どもの有無】



●子どもの有無については、「いる」が74.9%、「いない」が22.5%となっている。(図1-10)

（11）子どもの年齢・人数

【図1-11　子どもの年齢】



●子どもの年齢は、「社会人」が65.9%と最も高く、次いで、「小・中学生」が20.4%、「高校生以上の生徒・学生」が12.8%、「幼児（３歳以上の未就学児)」が9.5%、「乳幼児（３歳未満)」が7.1%となっている。(図1-11)

●子どもの人数の内訳は、以下のとおりとなっている。(表1-12)

【表1-12　子どもの人数】

(n=953)	乳幼児（３歳未満）	幼児（３歳以上の未就学児）	小・中学生	高校生以上の生徒・学生	社会人	その他
合計	68	91	194	122	628	51
１人	58	82	119	81	143	36
２人	9	9	64	33	318	10
３人以上	0	0	10	3	127	4
無回答	1	0	1	5	40	1

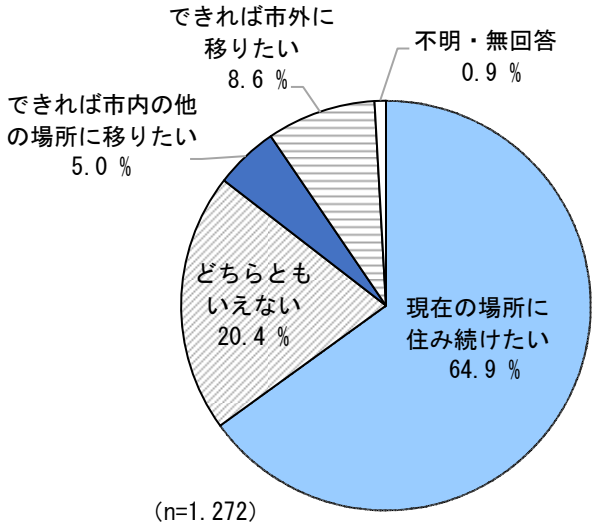
※複数回答のため、合計はサンプル数と一致しない。

２．定住意向

（１）定住意向

問２　あなたは、現在お住まいの場所にこれからも住み続けたいと思いますか。 あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

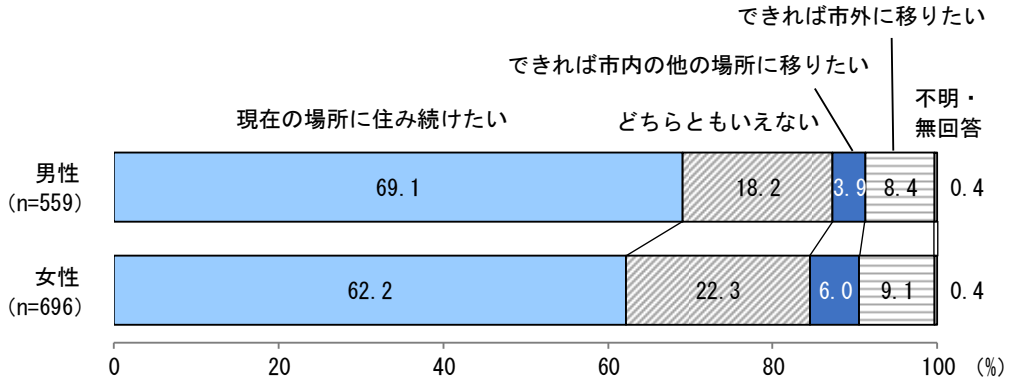
【図2-1　定住意向】



●定住意向については、「現在の場所に住み続けたい」が64.9%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が20.4%、「できれば市外に移りたい」が8.6%、「できれば市内の他の場所に移りたい」が5.0%となっている。(図2-1)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「現在の場所に住み続けたい」が高く、男性では69.1%、女性では62.2%となっている。(図2-1-1)

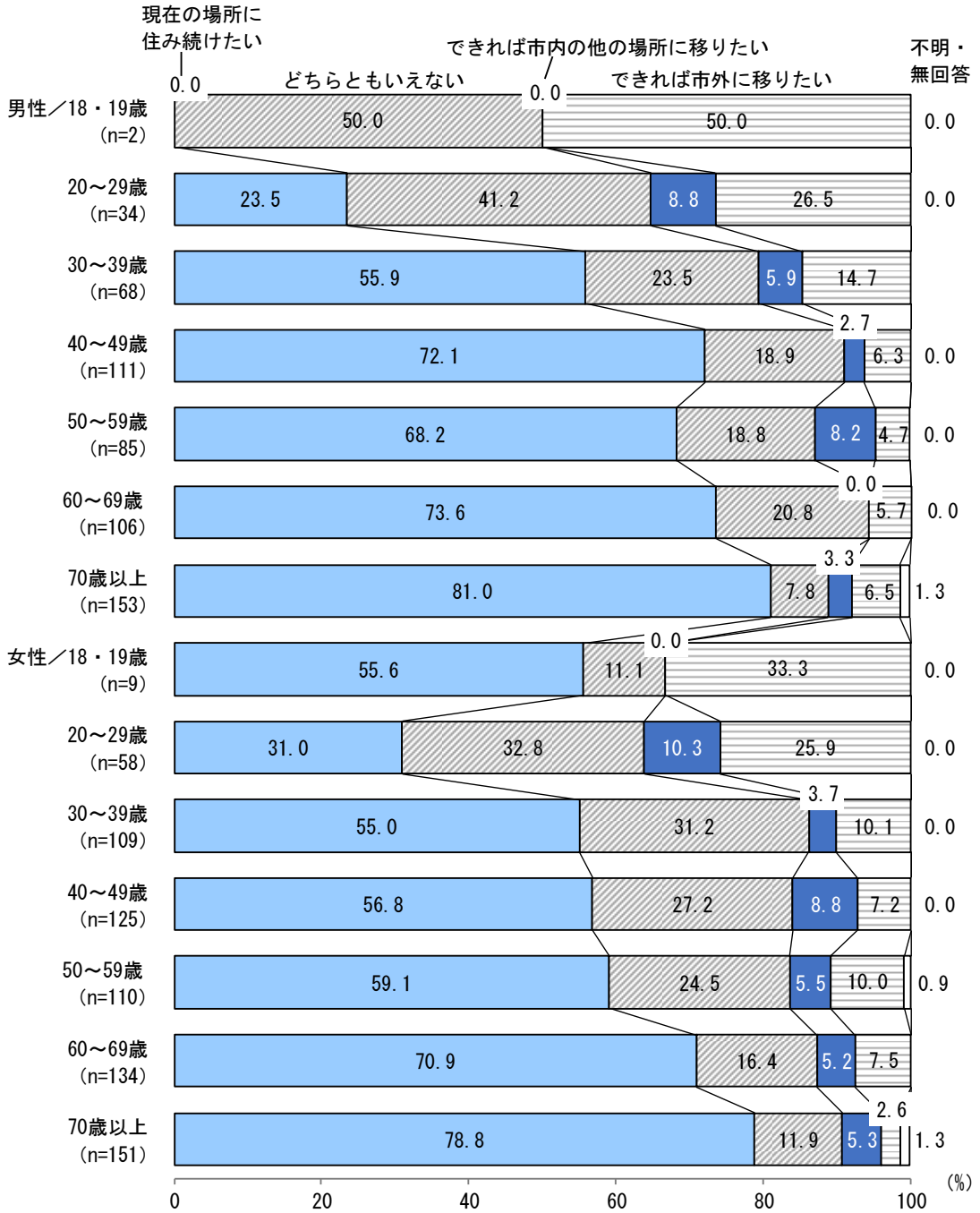
【図2-1-1　性別　定住意向】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「どちらともいえない」と「できれば市外に移りたい」が同率で50.0%と最も高く、20～29歳では「どちらともいえない」が41.2%と最も高く、30～39歳以上のカテゴリーでは「現在の場所に住み続けたい」が最も高くなっている。

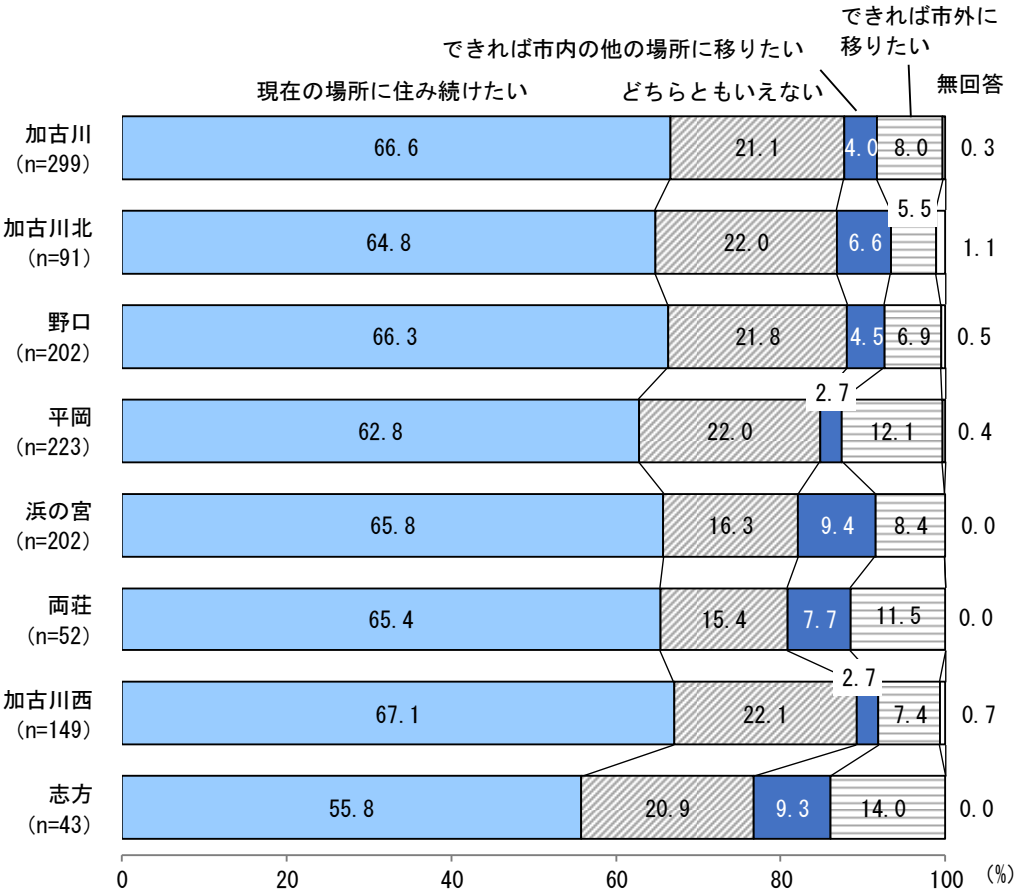
女性の20～29歳では「どちらともいえない」が32.8%と最も高く、その他のカテゴリーでは「現在の場所に住み続けたい」が最も高くなっている。(図2-1-2)

【図2-1-2　性年代別　定住意向】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「現在の場所に住み続けたい」が高く、加古川では66.6%、加古川北では64.8%、野口で66.3%、平岡では62.8%、浜の宮では65.8%、両荘では65.4%、加古川西では67.1%、志方では55.8%となっている。(図2-1-3)

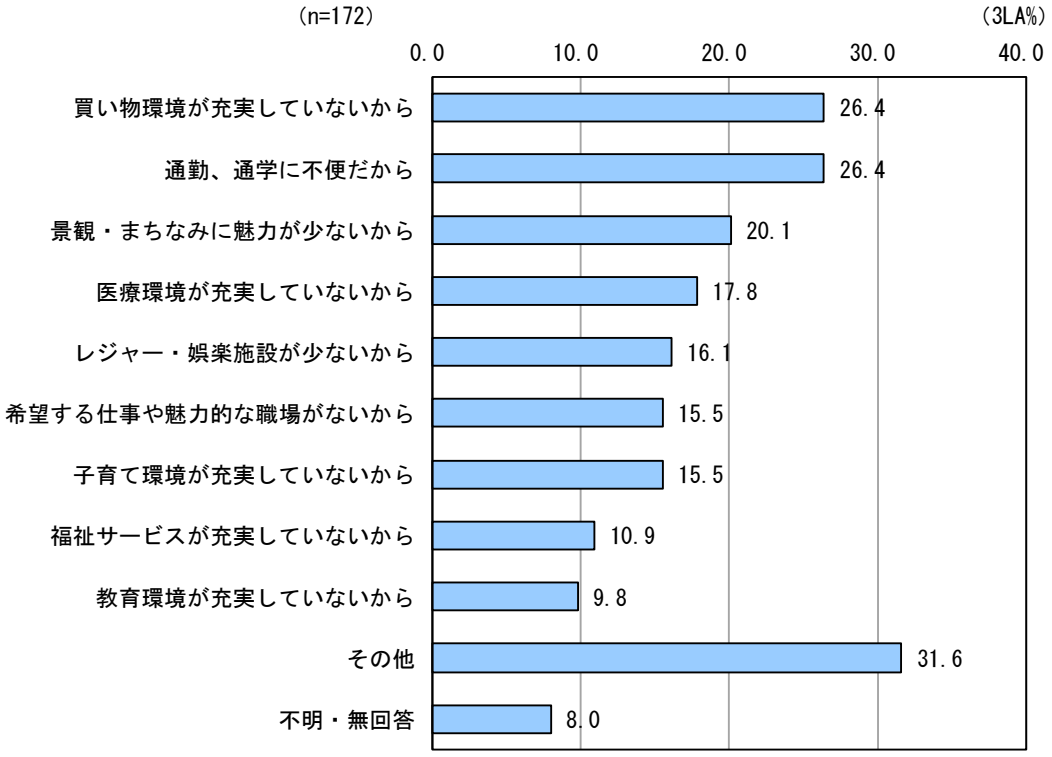
【図2-1-3　居住地区別　定住意向】



（２）転居したい理由

問２-① 問２で「３．できれば市内の他の場所に移りたい」または「４．できれば市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。現在お住まいの場所から移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものを３つまで選んで番号に○をつけてください。

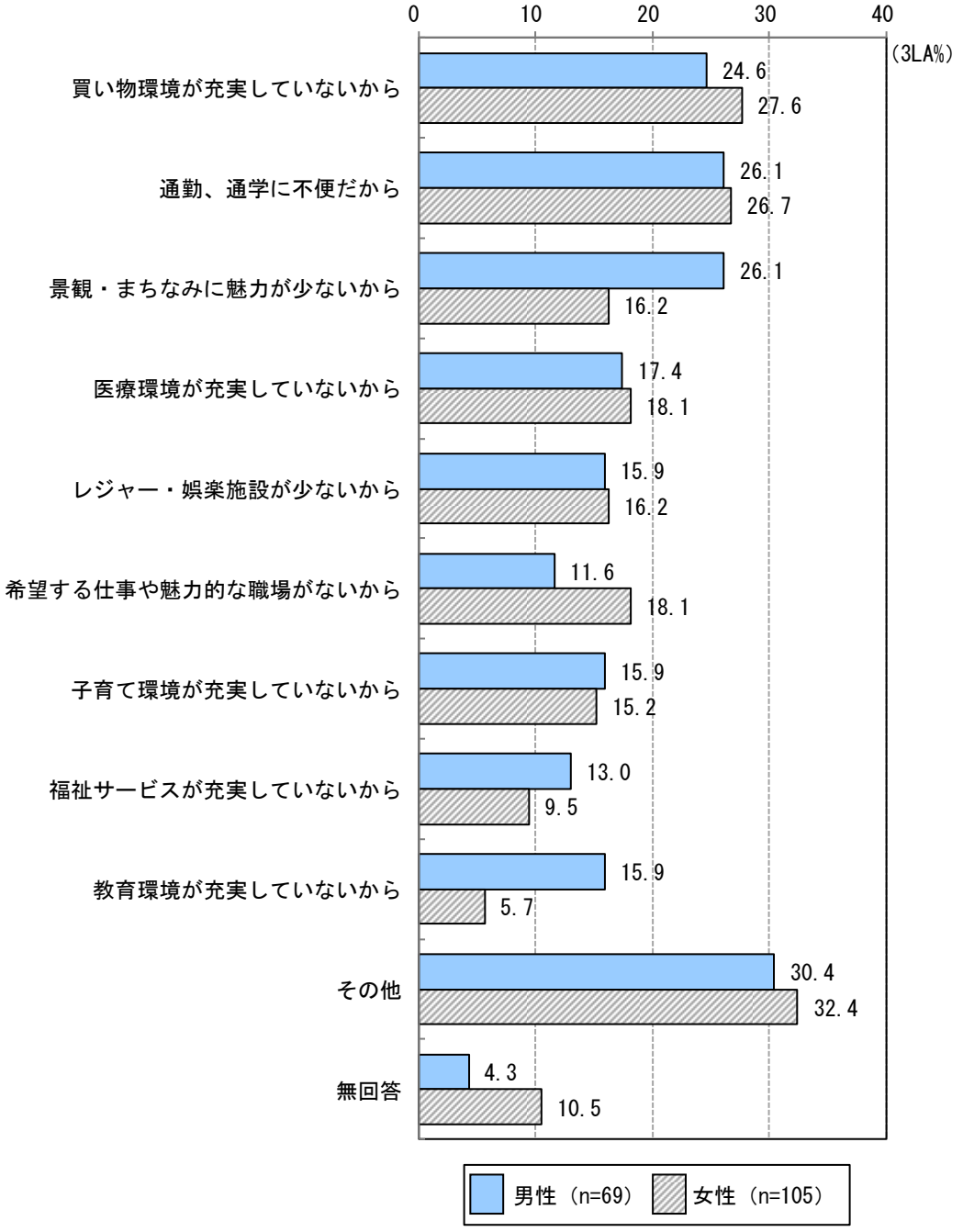
【図2-2　転居したい理由】



●転居したい理由は、「買い物環境が充実していないから」と「通勤、通学に不便だから」が同率で26.4%と最も高く、次いで、「景観・まちなみに魅力が少ないから」が20.1%、「医療環境が充実していないから」が17.8%、「レジャー・娯楽施設がないから」が16.1%となっている。また、「その他」（31.6%）の内容としては、交通が不便であることや、空気の悪さ・騒音などの生活環境があげられた。（図2-2）

●性別でみると、男性では「通勤、通学に不便だから」と「景観・まちなみに魅力が少ないから」が同率で26.1%と最も高く、女性では「通勤、通学に不便だから」が27.6%と最も高くなっている。(図2-2-1)

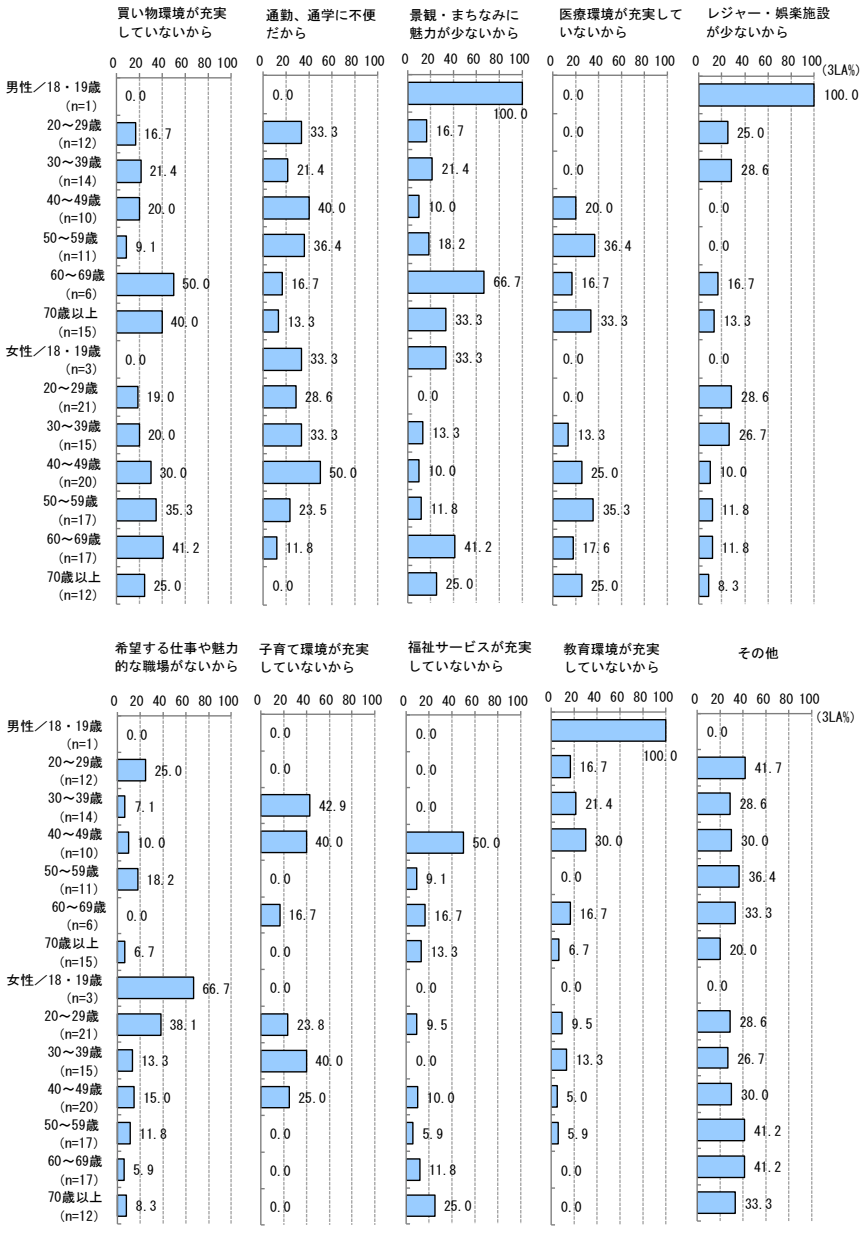
【図2-2-1　性別　転居したい理由】



●性年代別でみると、男性の20～29歳では「通勤、通学に不便だから」が33.3％と最も高く、30～39歳では「子育て環境が充実していないから」が42.9％と最も高く、40～49歳では「福祉サービスが充実していないから」が50.0％と最も高く、50～59歳では「通勤、通学に不便だから」と「医療環境が充実していないから」が同率で36.4％と最も高く、60～69歳と70歳以上では「買い物環境が充実していないから」がそれぞれ50.0％、40.0％と最も高くなっている。

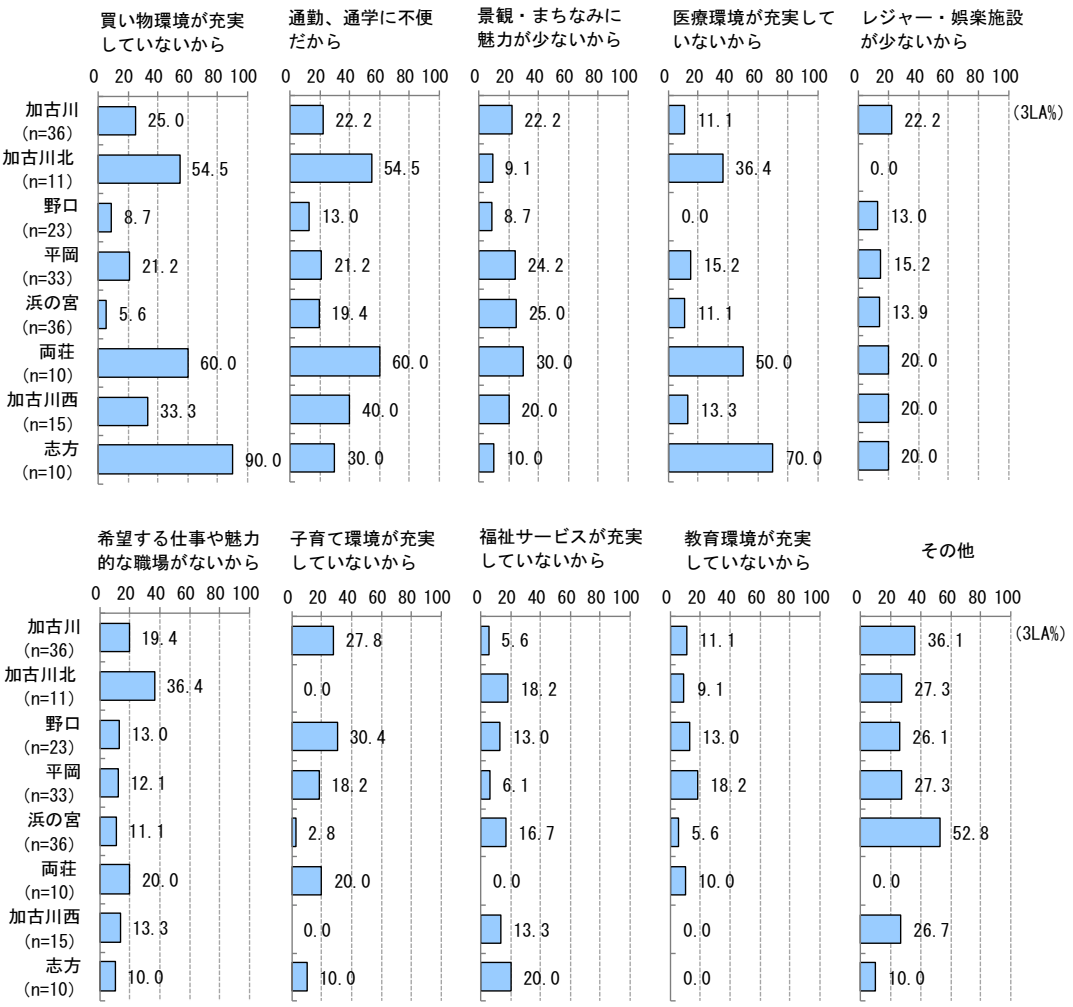
女性の18・19歳と20～29歳では「希望する仕事や魅力的な職場がないから」がそれぞれ66.7％、38.1％と最も高く、30～39歳では「子育て環境が充実していないから」が40.0％と最も高く、40～49歳では「通勤、通学に不便だから」が50.0％と最も高く、50～59歳では「買い物環境が充実していないから」と「医療環境が充実していないから」が同率で35.3％と最も高く、女性60～69歳では「買い物環境が充実していないから」と「景観・まちなみに魅力が少ないから」が同率で41.2％と最も高く、女性70歳以上では「買い物環境が充実していないから」と「景観・まちなみに魅力が少ないから」、「医療環境が充実していないから」、「福祉サービスが充実していないから」が同率で25.0％と最も高くなっている。（図2-2-2）

【図2-2-2　性年代別　転居したい理由】



●居住地区別でみると、加古川、野口では「子育て環境が充実していないから」がそれぞれ27.8%、30.4%と最も高く、加古川北、両荘では「買い物環境が充実していないから」と「通勤、通学に不便だから」がそれぞれ同率で54.5%、同率で60.0%と最も高く、平岡、浜の宮では「景観・まちなみに魅力が少ないから」がそれぞれ24.2%、25.2%と最も高く、加古川西では「通勤、通学に不便だから」が40.0%と最も高く、志方では「買い物環境が充実していないから」が90.0%と最も高くなっている。(図2-2-3)

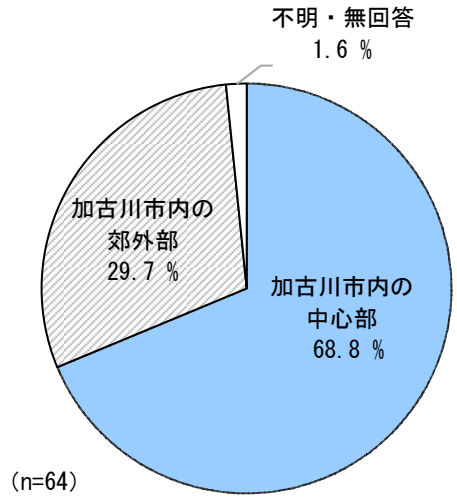
【図2-2-3　居住地区別　転居したい理由】



（３）市内で希望する居住場所

問２-② 問２で「３．できれば市内の他の場所に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

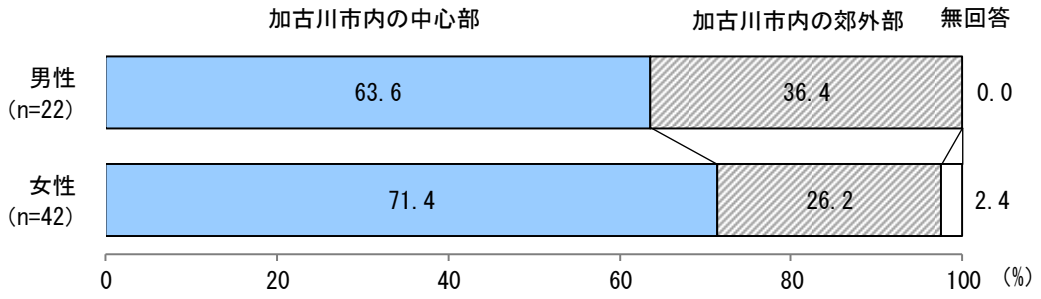
【図2-3　市内で希望する居住場所】



●市内で希望する居住場所としては、「加古川市内の中心部」が68.8%、「加古川市内の郊外部」が29.7%となっている。(図2-3)

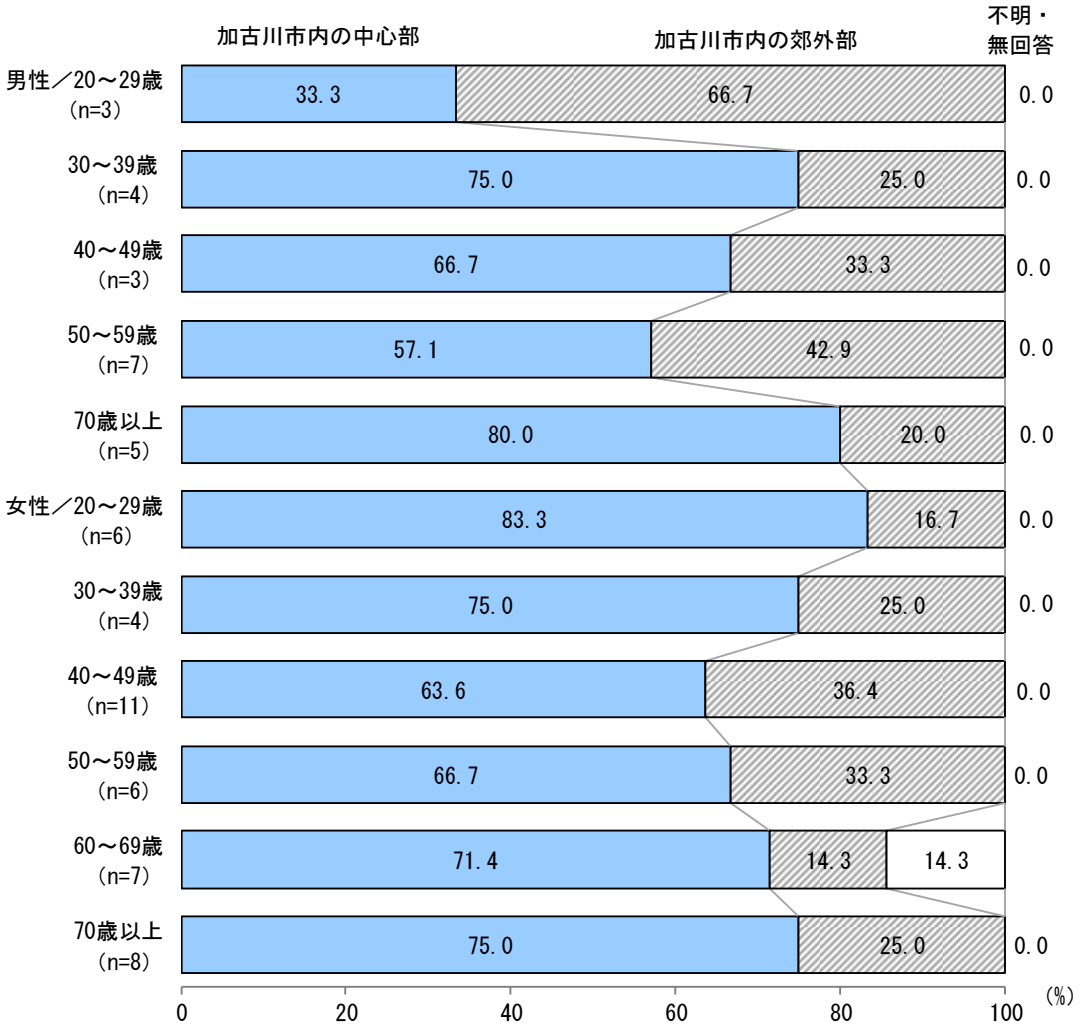
●性別でみると、すべてのカテゴリーで「加古川市内の中心部」が高く、男性では63.6%、女性では71.4%となっている。(図2-3-1)

【図2-3-1　性別　市内で希望する居住場所】



●性年代別でみると、男性の20～29歳では「加古川市内の郊外部」が、その他のカテゴリーでは「加古川市内の中心部」がそれぞれ最も高くなっている。(図2-3-2)

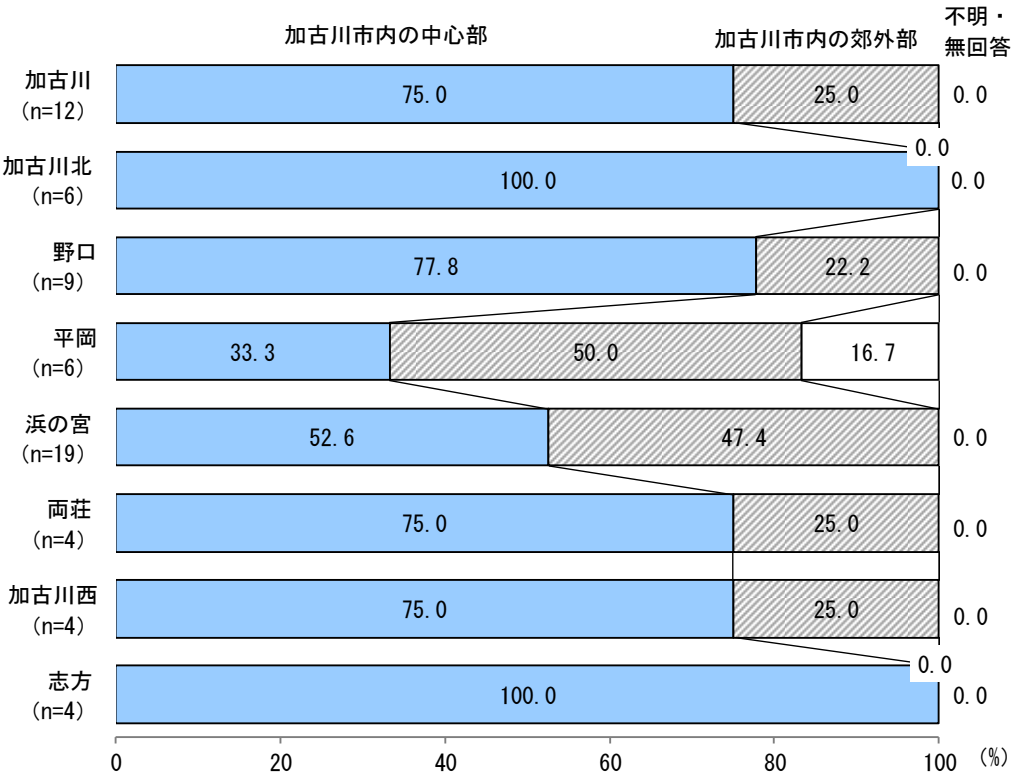
【図2-3-2　性年代別　市内で希望する居住場所】



※男女とも、「18・19歳」は回答者なし。

●居住地区別でみると、平岡で「加古川市内の郊外部」が、その他のカテゴリーでは「加古川市内の中心部」が最も高くなっている。(図2-3-3)

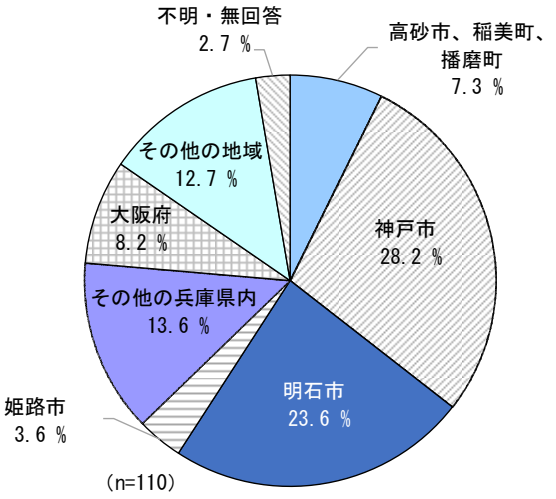
【図2-3-3　居住地区別　市内で希望する居住場所】



（４）市外で希望する居住場所

問２-③ 問２で「４．できれば市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。
今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

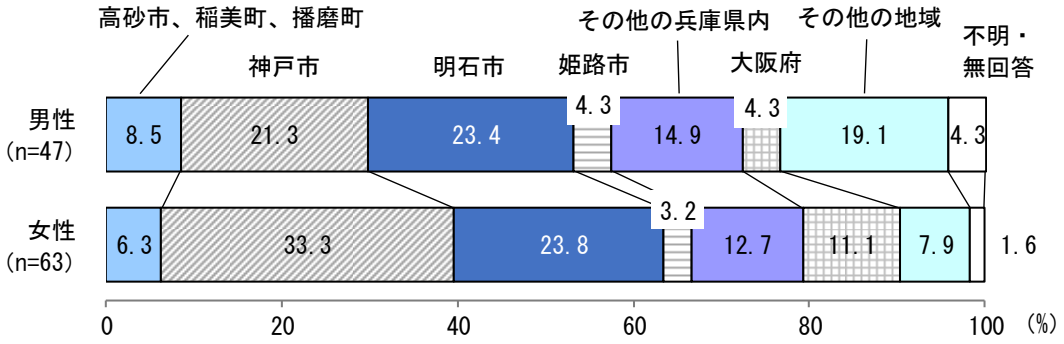
【図2-4　市外で希望する居住場所】



●市外で希望する居住場所としては、「神戸市」が28.2%と最も高く、次いで、「明石市」が23.6%、「その他の兵庫県内」が13.6%、「その他の地域」が12.7%、「大阪府」が8.2%となっている。(図2-4)

●性別でみると、男性では「明石市」が23.4%と最も高く、女性では「神戸市」が33.3%と最も高くなっている。(図2-4-1)

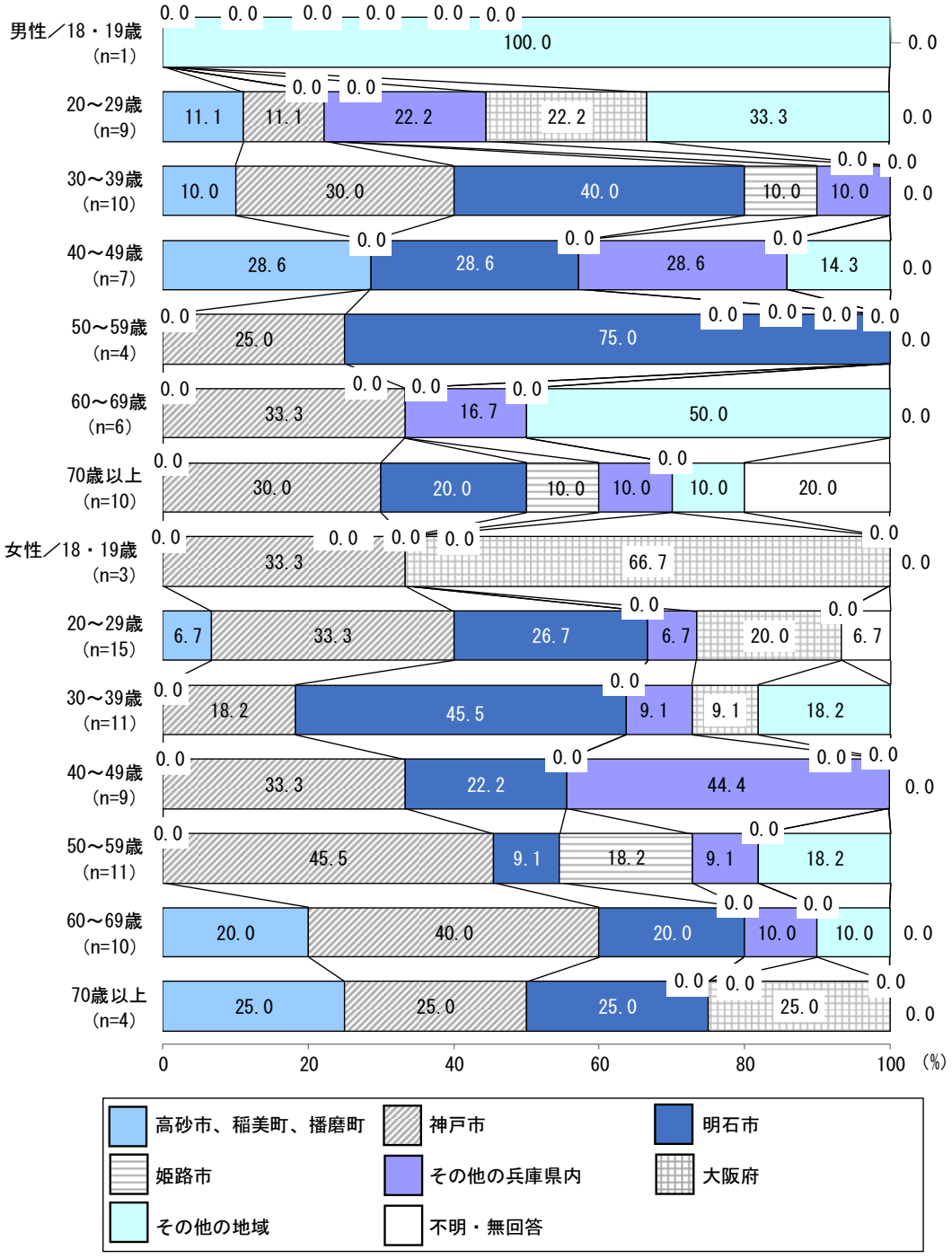
【図2-4-1　性別　市外で希望する居住場所】



●性年代別でみると、男性の20～29歳、60～69歳では「その他の地域」がそれぞれ33.3%、50.0%と最も高く、30～39歳、50～59歳では「明石市」がそれぞれ40.0%、75.0%と最も高く、40～49歳では「高砂市、稲美町、播磨町」と「明石市」、「その他の兵庫県内」が同率で28.6%と最も高く、60～69歳では「その他の地域」が50.0%と最も高く、70歳以上では「神戸市」が30.0%と最も高くなっている。

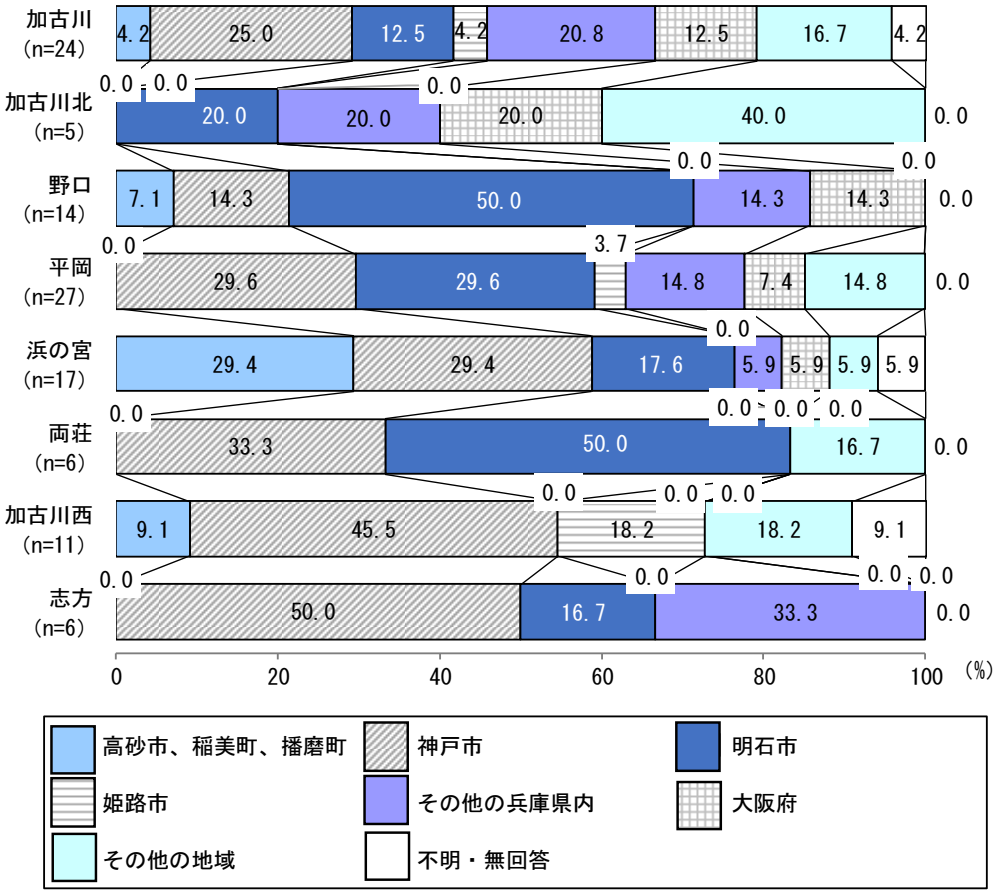
女性の18・19歳では「大阪府」が66.7%と最も高く、20～29歳、50～59歳、60～69歳では「神戸市」がそれぞれ33.3%、45.5%、40.0%と最も高く、30～39歳では「明石市」が45.5%と最も高く、70歳以上では「高砂市、稲美町、播磨町」と「神戸市」、「明石市」、「大阪府」が同率で25.0%と最も高くなっている。(図2-4-2)

【図2-4-2　性年代別　市外で希望する居住場所】



●居住地区別でみると、加古川、浜の宮、加古川西、志方では「神戸市」がそれぞれ25.0%、29.4%、45.5%、50.0%と最も高く、野口と両荘では「明石市」がそれぞれ50.0%と最も高く、加古川北では「その他の地域」が40.0%と最も高く、平岡では「神戸市」と「明石市」が同率で29.6%と最も高くなっている。(図2-4-3)

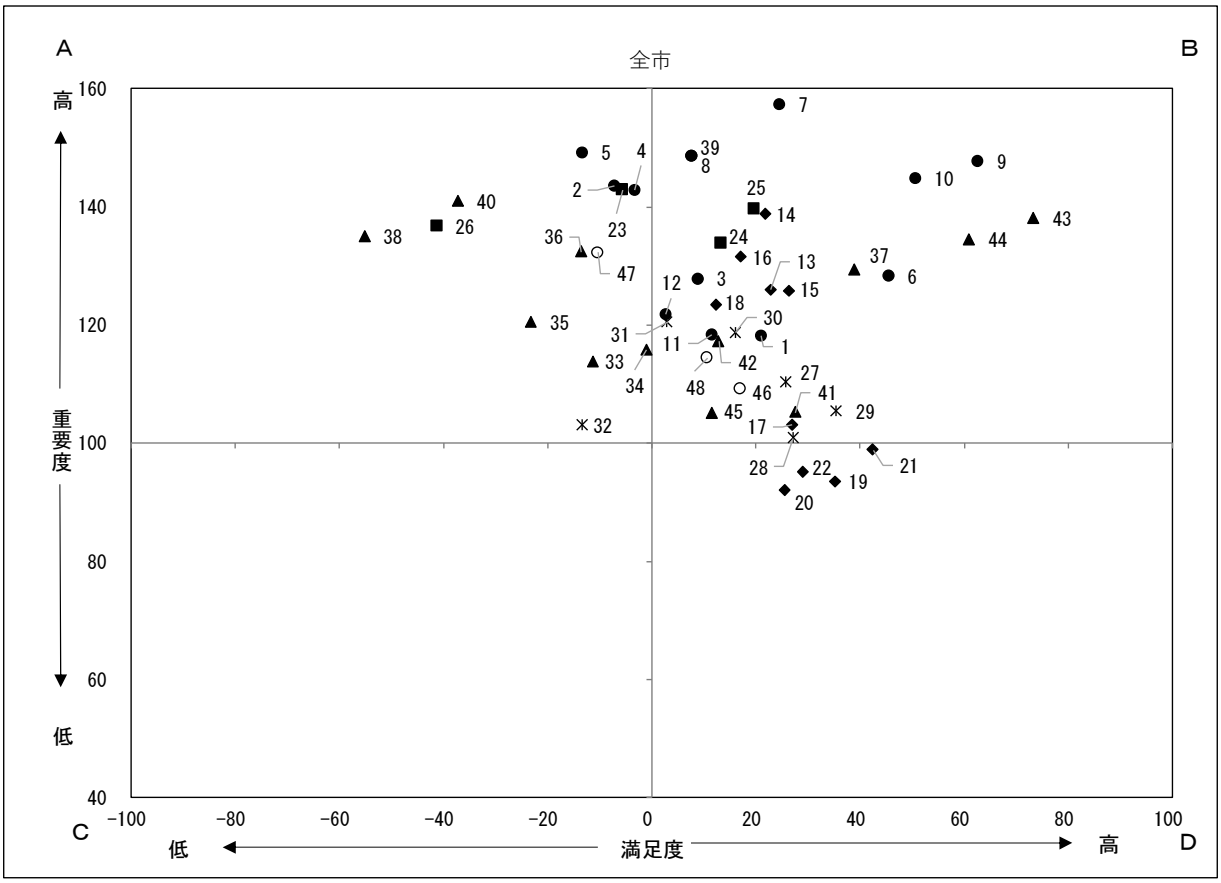
【図2-4-3　居住地区別　市外で希望する居住場所】



３．市の施策に対する満足度・重要度

問３　次にあげた「施策を代表する項目」について、あなたは、どの程度満足していますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。〔１〕から〔６〕の各項目の満足度、今後の重要度それぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。

〔満足度と重要度の関係〕



● 安心して暮らせるまち	1	地域での福祉ボランティア活動の広がり	＊ にぎわいの中で暮らせるまち	27	農業の振興
	2	子育てと仕事が両立できる環境		28	水産業の振興
	3	障がい者に対する支援		29	工業の振興
	4	高齢者に対する支援		30	地場産業の振興
	5	介護保険など社会保障制度の適正な運営		31	商業の振興
	6	住民健診の充実や健康づくりの推進		32	観光の振興
	7	安心できる医療体制	▲ 快適に暮らせるまち	33	秩序だった土地利用や建物の配置
	8	地域の防災体制		34	景観や、まちなみの美しさ
	9	消防や救急・救命体制		35	加古川駅周辺の都心としての魅力
	10	子どもの見守りやパトロールなどの安全対策		36	幹線道路の整備
	11	悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発		37	鉄道の便利さ
	12	勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援		38	バスの便利さ
◆ 心豊かに暮らせるまち	13	就学前教育の内容		39	地域の防災体制（再掲）
	14	義務教育の内容		40	地域内の道路の安全性や便利さ
	15	特別支援教育の内容		41	住宅の供給
	16	教育を支える環境		42	公園・緑地や水辺の整備
	17	生涯学習の機会や環境		43	水道水の供給
	18	青少年の健全な育成		44	下水道の整備
	19	スポーツ・レクリエーション活動機会の提供		45	ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した地域の情報化
	20	文化・芸術に接する機会の提供	○ まちづくりの進め方	46	市民活動や行政との協働
	21	人権教育や人権啓発の推進		47	行政の効率化
	22	男女共同参画の啓発		48	近隣都市との広域的な連携
■ うるおいのある環境の中で暮らせるまち	23	大気や水質・騒音等の環境対策			
	24	自然環境の保全			
	25	ごみの減量・不用品のリサイクルの推進			
	26	ポイ捨てやペットのふん害防止			

「３．市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方

政策名
「加古川市総合計画」の「政策」です。

施策名
「加古川市総合計画」の「施策」です。

施策を代表する項目

満足度レーダーグラフ

○形が大きくなるほど満足度が高いことを示しています。
○網かけ部分は市全体値（全回答者の平均値）を示し、これよりグラフ線がはみでると全体に比べ満足度が高く、内側になると満足度が低いことを示しています。

重要度レーダーグラフ

○形が大きくなるほど重要度が高いことを示しています。
○網かけ部分は市全体値（全回答者の平均値）を示し、これよりグラフ線がはみでると全体に比べ重要度が高く、内側になると重要度が低いことを示しています。

ともに支えあう福祉社会を実現する
〔地域福祉を充実する〕

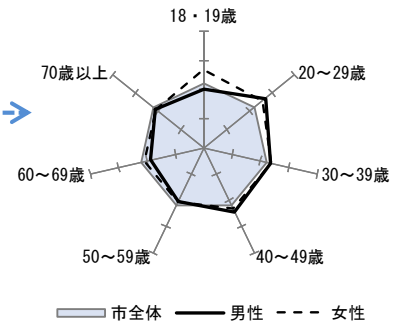
（１）地域での福祉ボランティア活動の広がり

《性年代別》

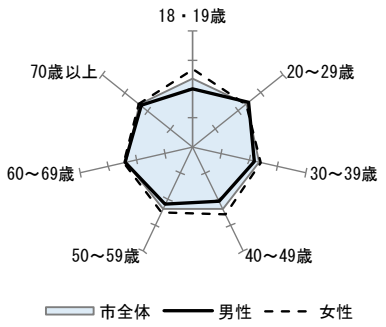
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～29歳、60～69歳の男性と、20～29歳を除く女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

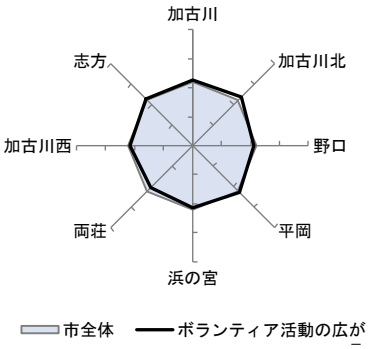


《居住地区別》

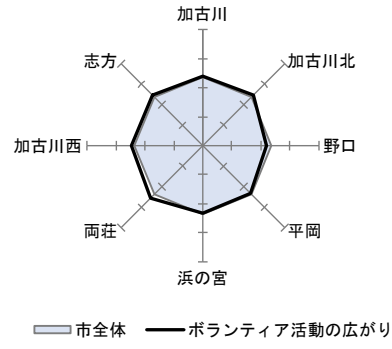
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

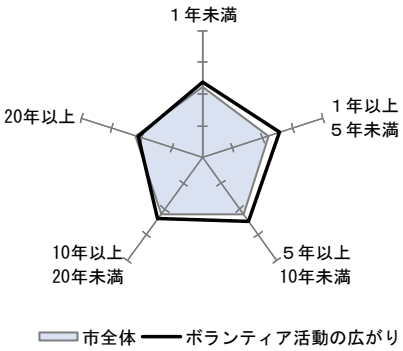


《居住期間別》

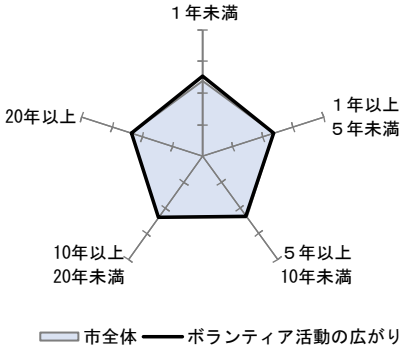
●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」と「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

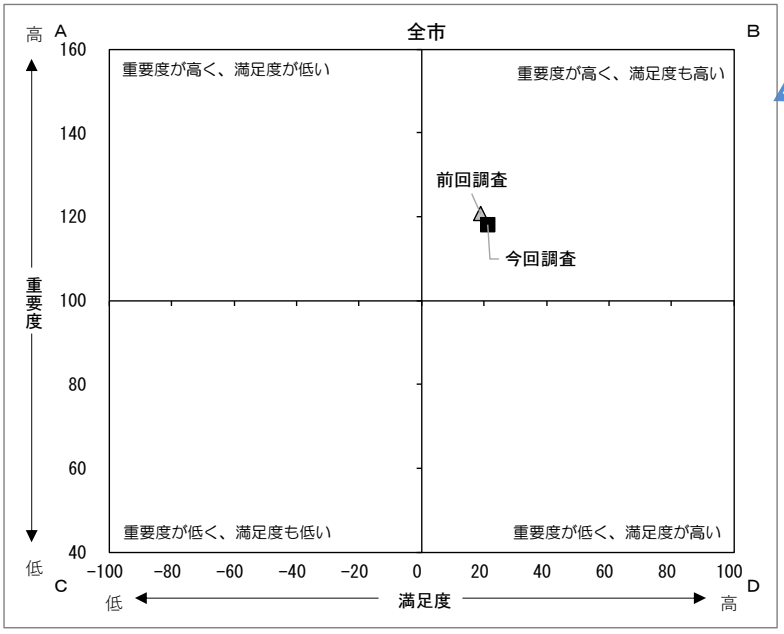


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



満足度・重要度関係グラフ

○ある施策の満足度スコアと重要度スコアとの関係を点としてプロット（データを図表上に示すこと）したグラフで、施策の優先度を判断するのに利用します。

○例えば象限Ａに点がある場合、施策満足度が低く重要度は高いので、今後最優先に取り組むべき施策と判断できます。一方、象限Ｂは、施策満足度も重要度も高いので、Ａに比べると優先度は低く、満足度が低下しないよう取り組む必要のある施策を示しています。

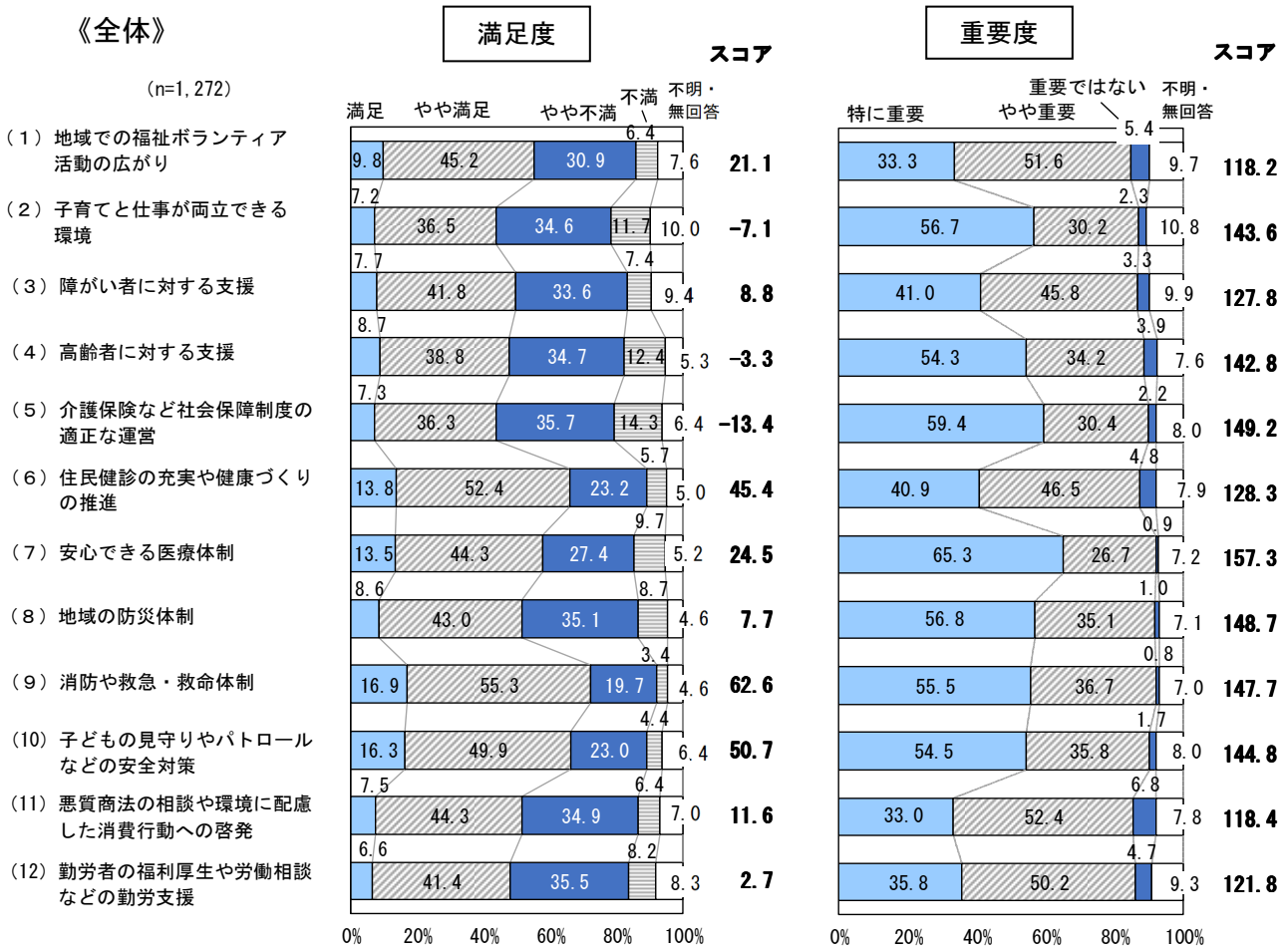
○過年度のデータをプロットすることで、施策の優先度の推移（満足度･重要度の関係性の変化）をみることができます。

3-1　安心して暮らせるまちをめざして

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（９）消防や救急・救命体制」、次いで「(10)子どもの見守りやパトロールなどの安全対策」となっている。一方、最も低い項目は「（５）介護保険など社会保障制度の適正な運営」、次いで「（２）子育てと仕事が両立できる環境」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（７）安心できる医療体制」、次いで「（５）介護保険など社会保障制度の適正な運営」となっている。一方、最も低い項目は「（１）地域での福祉ボランティア活動の広がり」、次いで「(11) 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発」となっている。

《全体》



※スコアは以下の手順で得点化し、算出している

〔満足度〕

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
２点	１点	－１点	－２点	０点

２点×「満足」の割合＋１点×「やや満足」の割合＋－１点×「やや不満」の割合＋－２点×「不満」の割合
＝満足度スコア

〔重要度〕

重要	やや重要	重要ではない	無回答
２点	１点	０点	０点

２点×「重要」の割合＋１点×「やや重要」の割合＝重要度スコア

ともに支えあう福祉社会を実現する
〔地域福祉を充実する〕

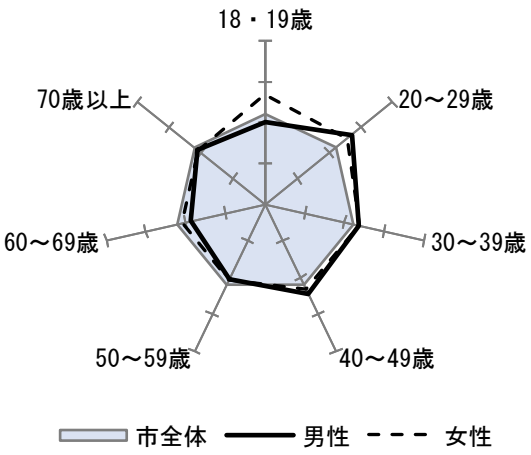
（１）地域での福祉ボランティア活動の広がり

《性年代別》

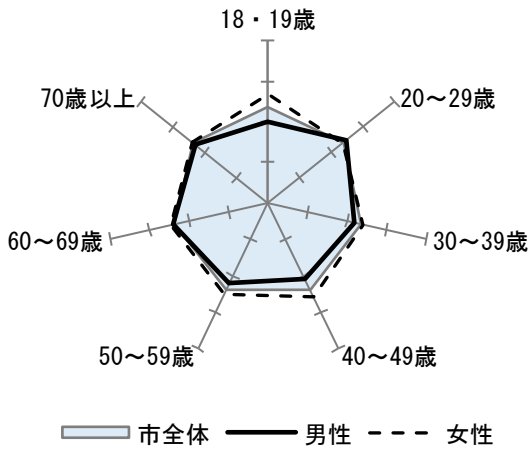
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～29歳、60～69歳の男性と、20～29歳を除く女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

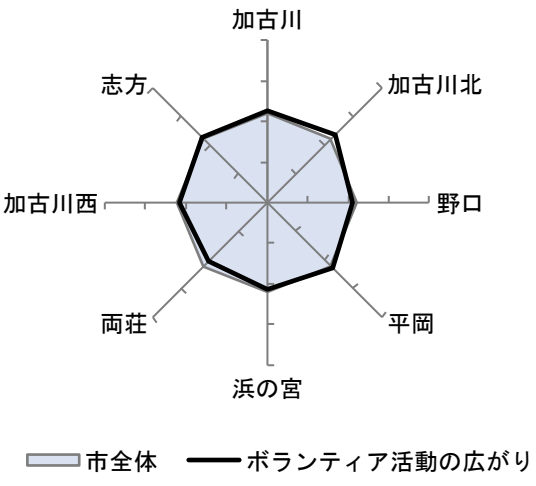


《居住地区別》

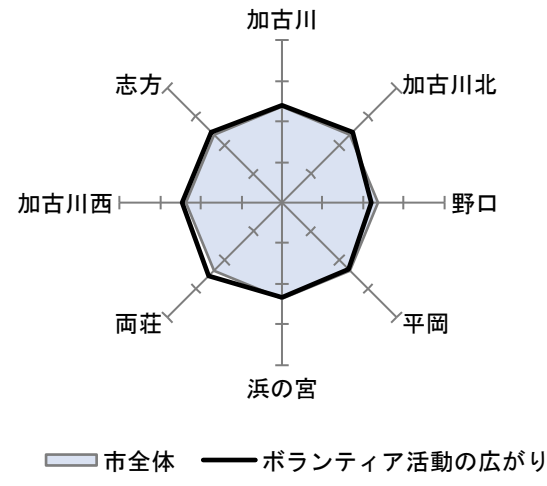
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

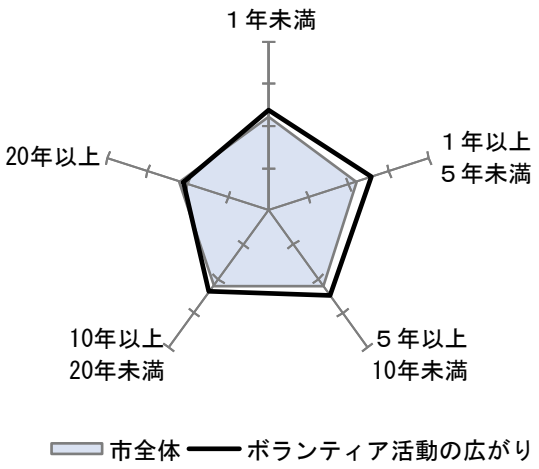


《居住期間別》

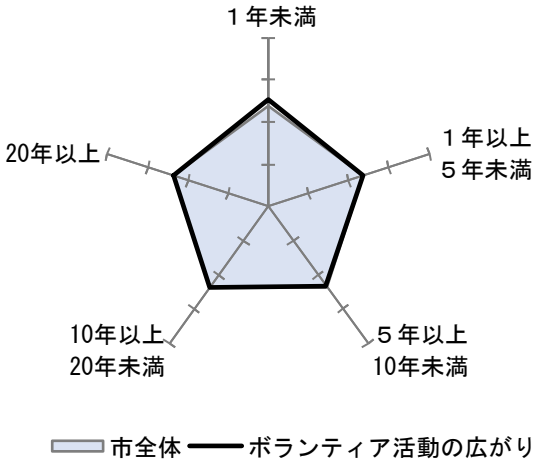
●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」と「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

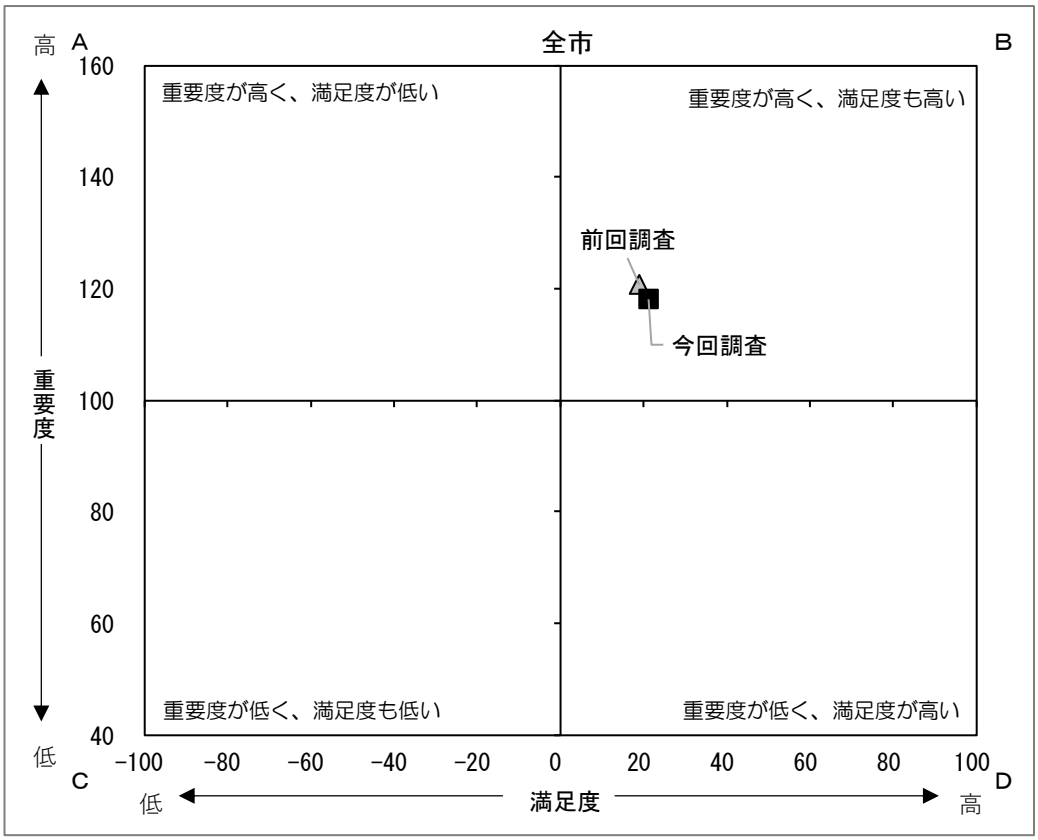


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔出産と子育ての支援を充実する〕

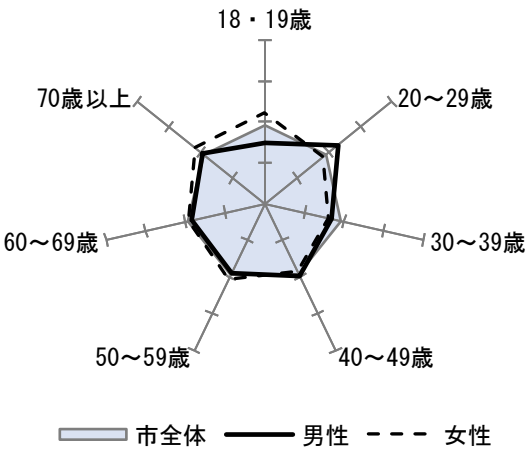
（２）子育てと仕事が両立できる環境

《性年代別》

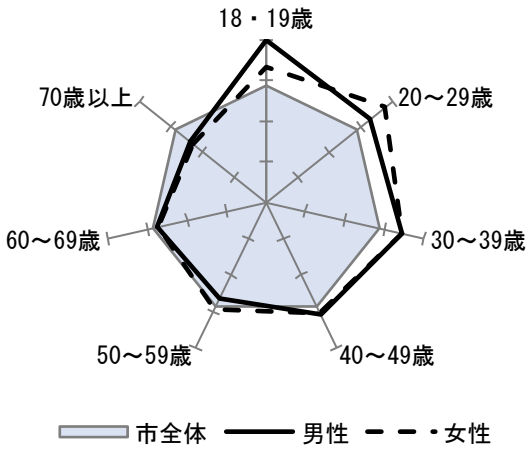
●満足度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳、70歳以上の男性と、18・19歳、50～60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕



〔満足度〕

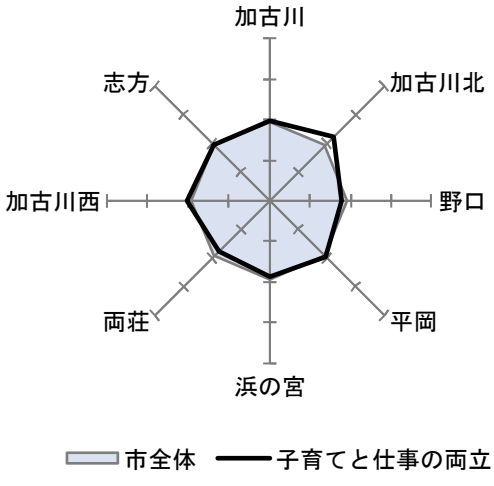
〔重要度〕

《居住地区別》

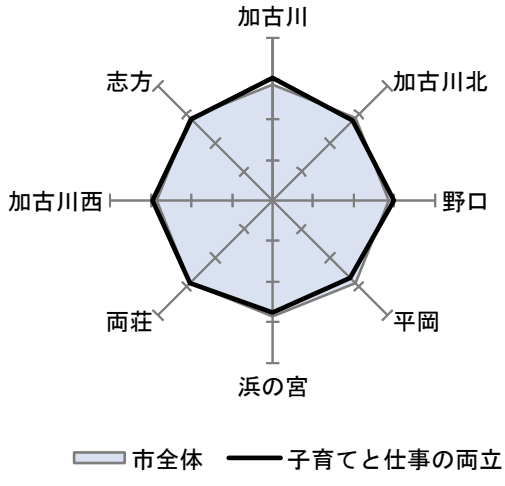
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川市西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



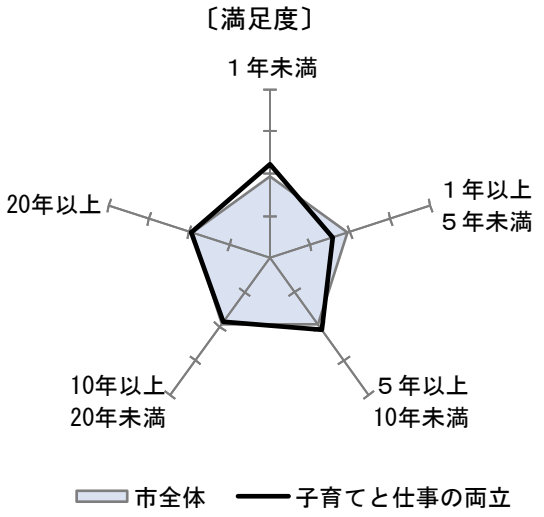
〔重要度〕

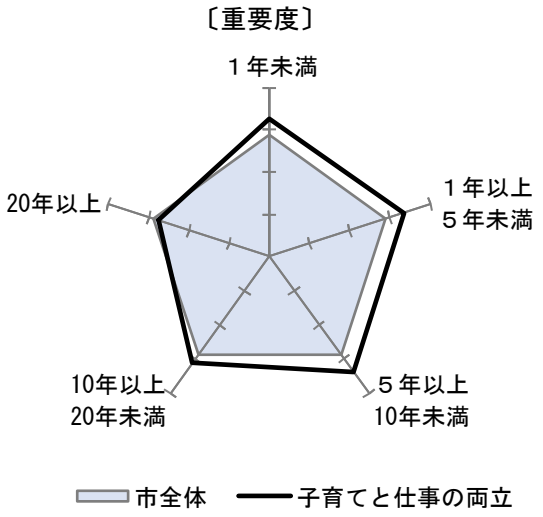


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

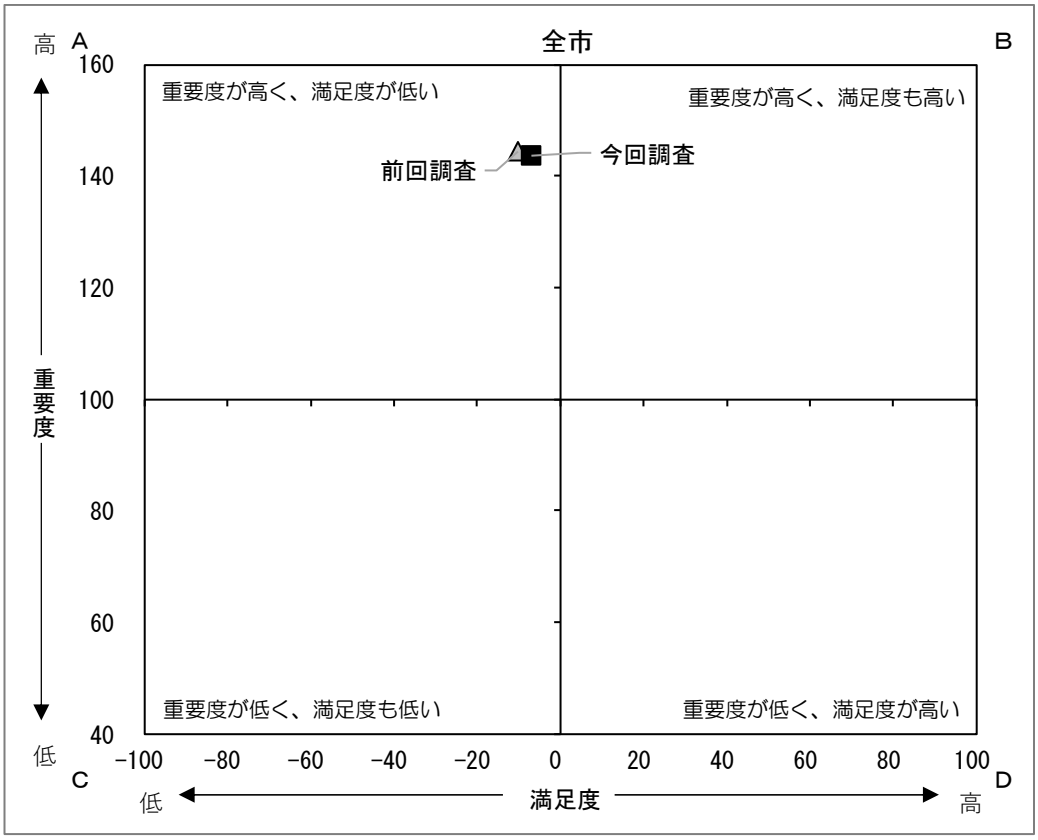
●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



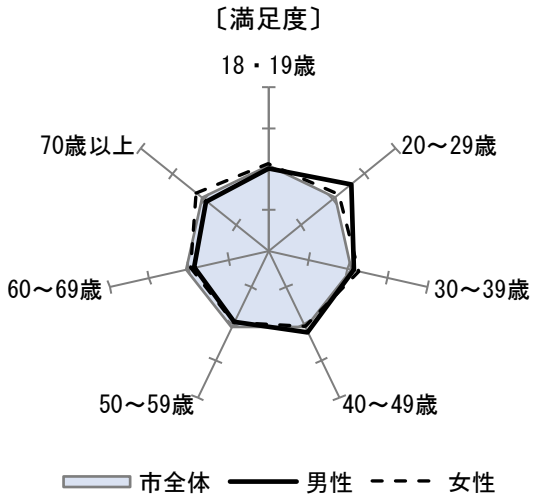
〔障がい者の福祉を充実する〕

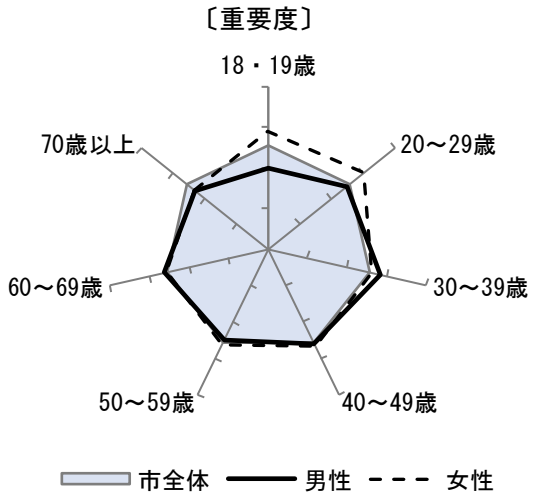
（３）障がい者に対する支援

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、30～40歳代、60～69歳の男性と、70歳以上を除く女性で市全体平均より高くなっている。

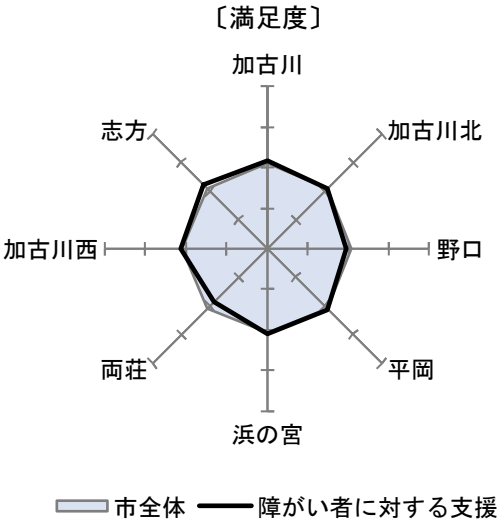


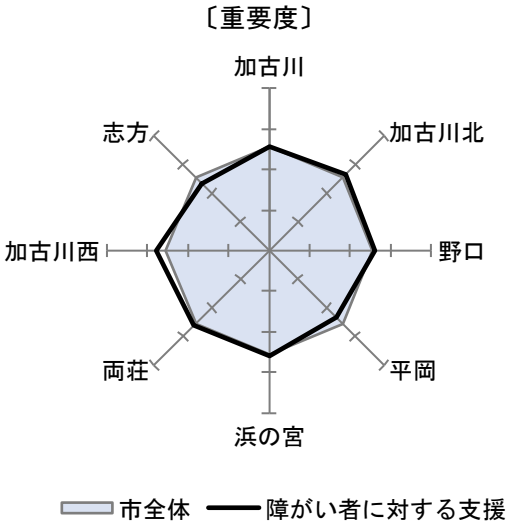


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、野口、両荘地区を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、平岡、志方地区を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

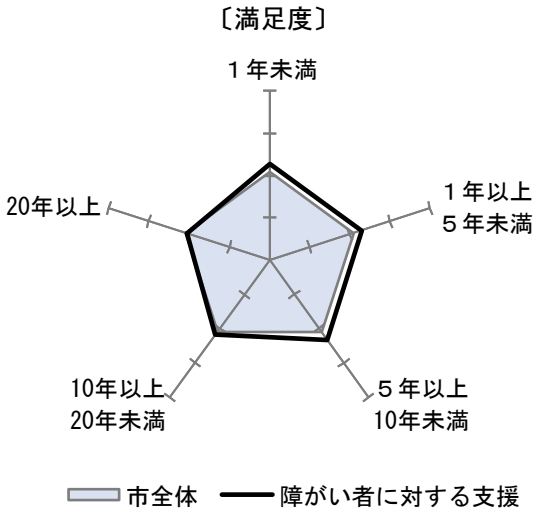


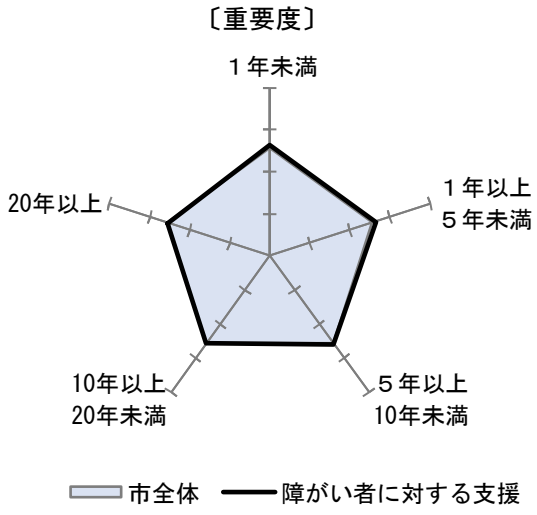


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

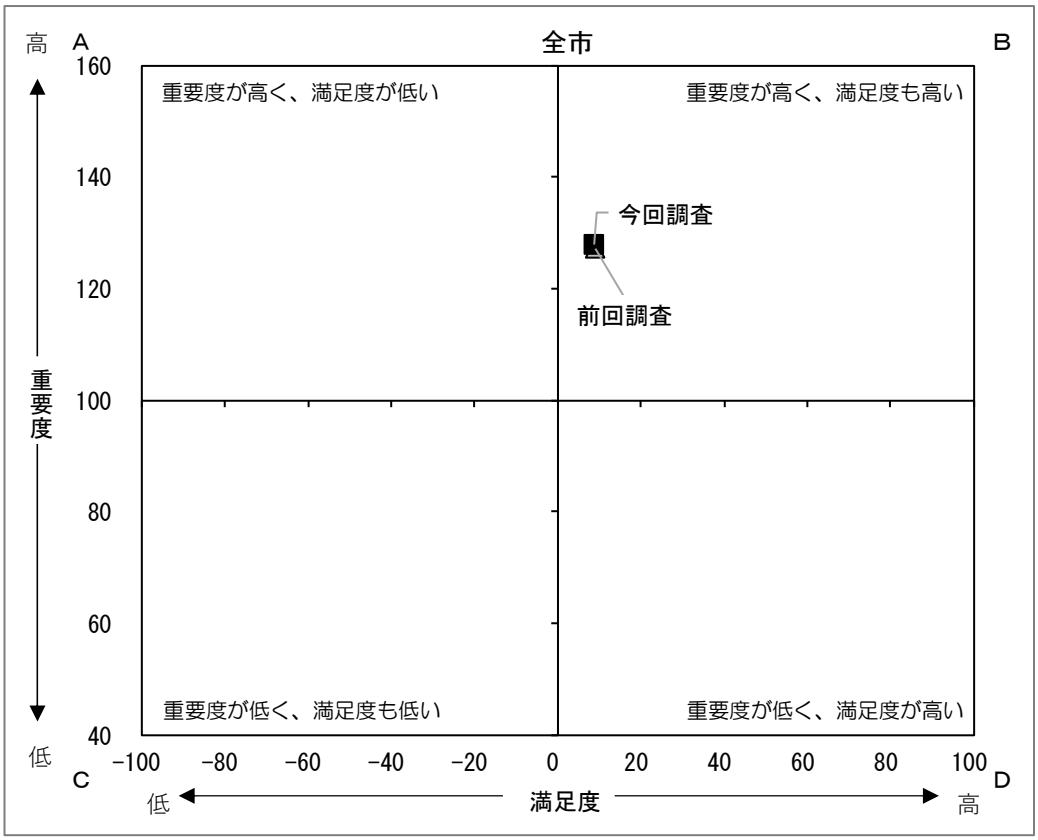
●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔高齢者の福祉を充実する〕

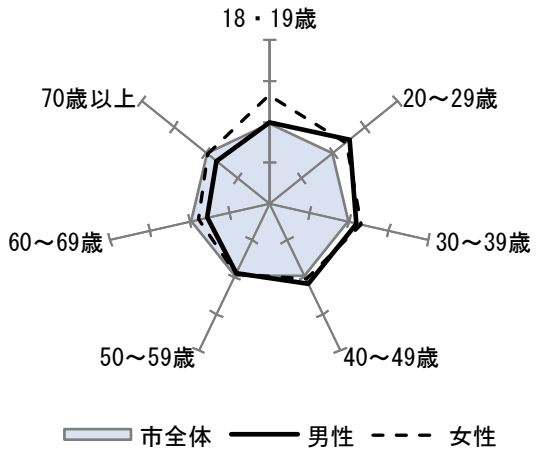
（４）高齢者に対する支援

《性年代別》

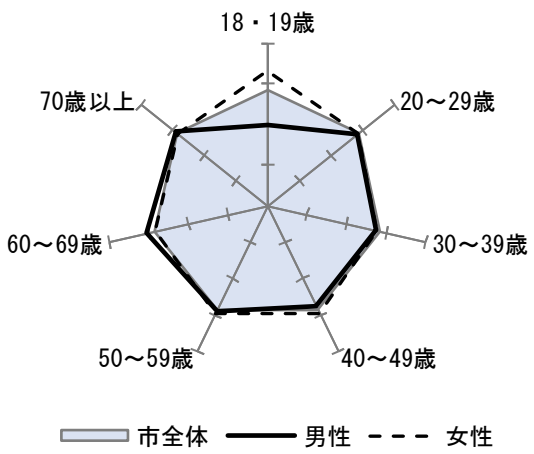
●満足度を性年代別でみると、男女とも18・19歳、20～29歳、30～40歳代で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、50歳代以上の男性と、18・19歳、40～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

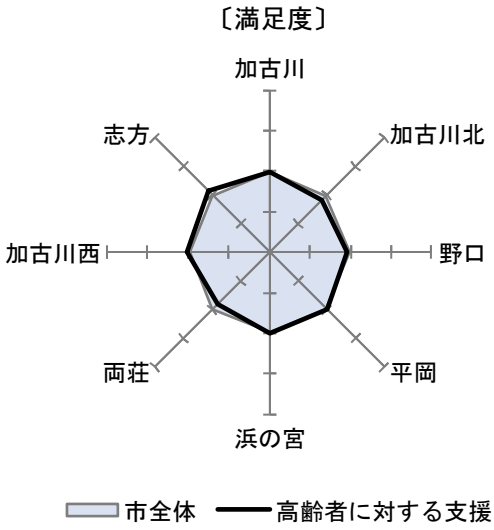


《居住地区別》

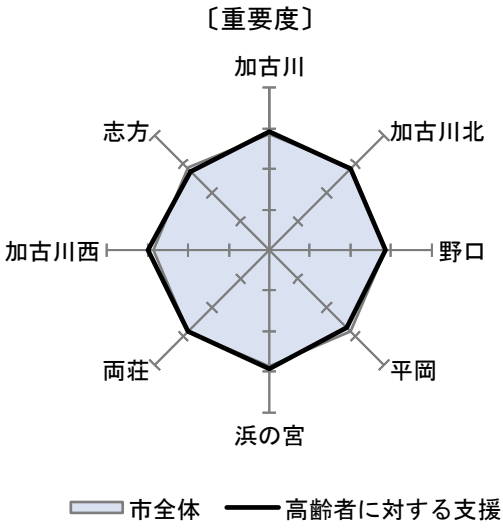
●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

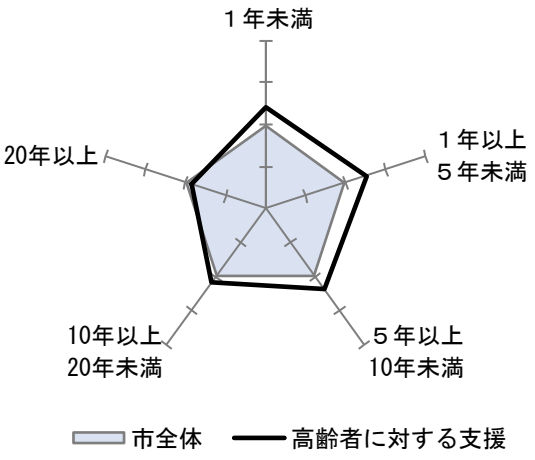


《居住期間別》

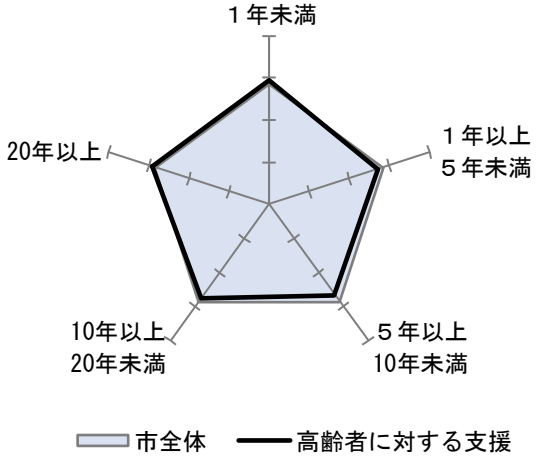
●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」と「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

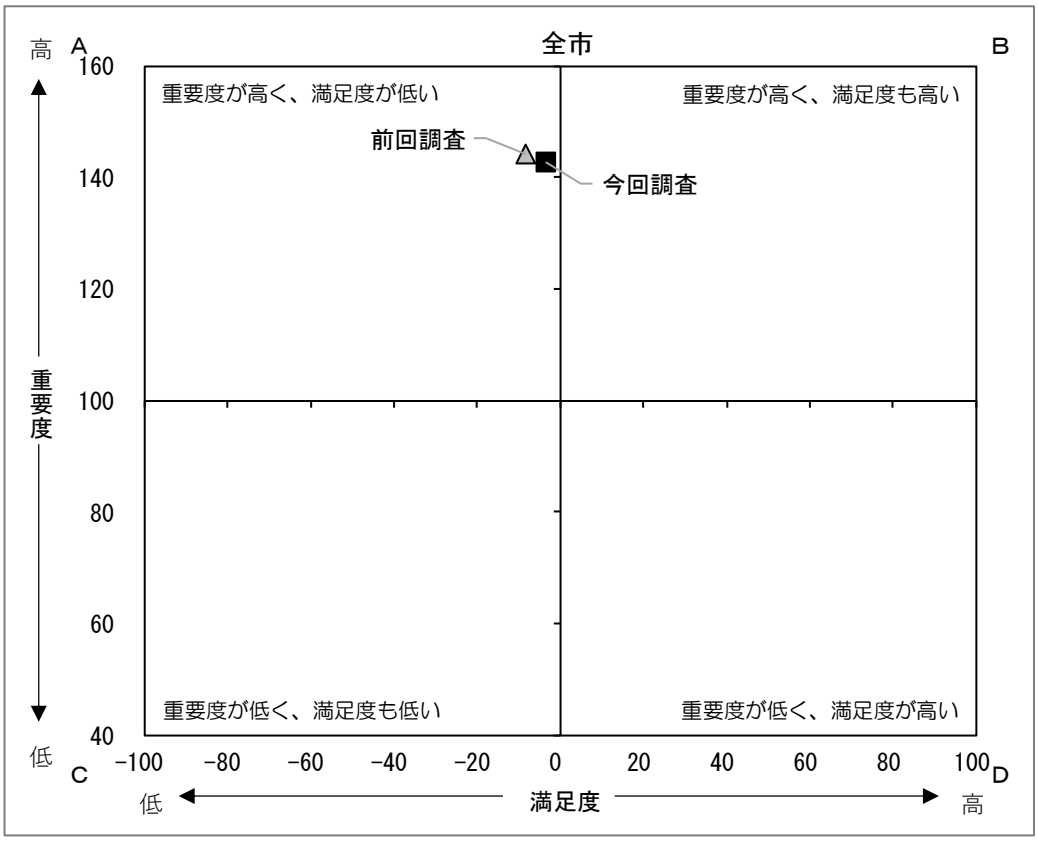


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔自立を支える社会保障制度を適正に運営する〕

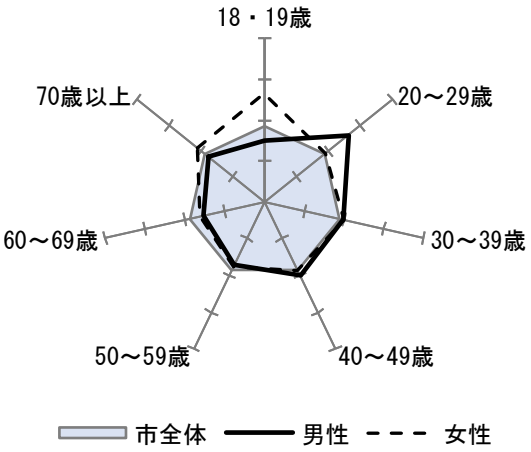
（５）介護保険など社会保障制度の適正な運営

《性年代別》

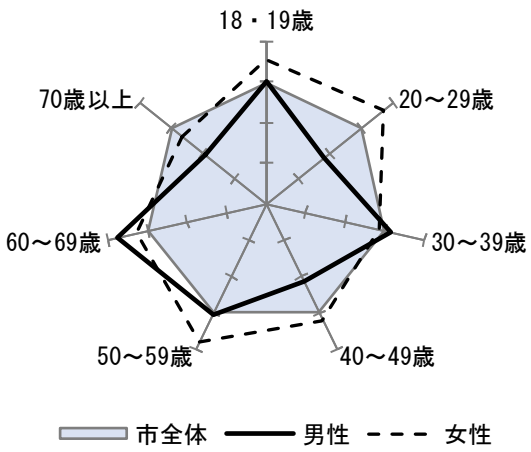
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、50～60歳代を除く女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～39歳、50～60歳代の男性と、30～39歳、70歳以上を除く女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

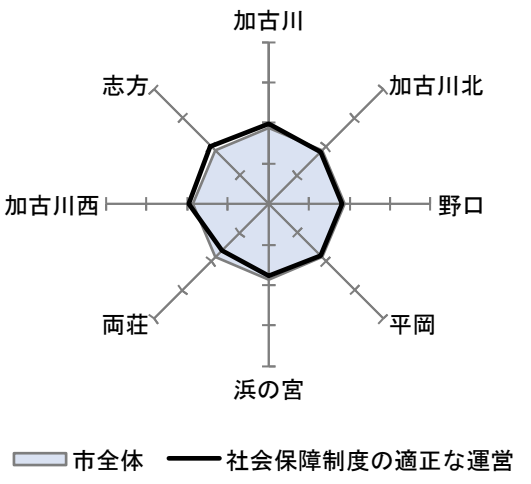


《居住地区別》

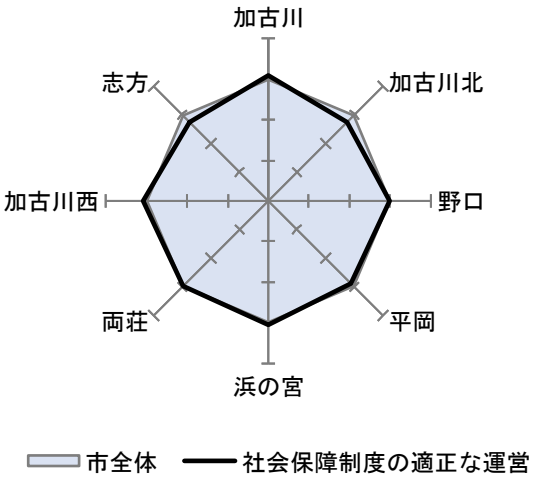
●満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



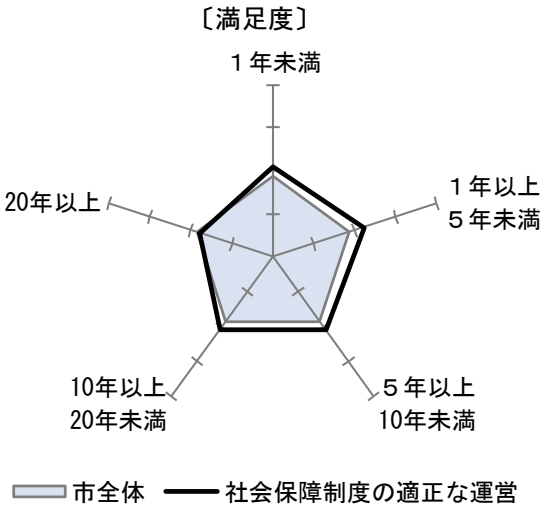
〔重要度〕

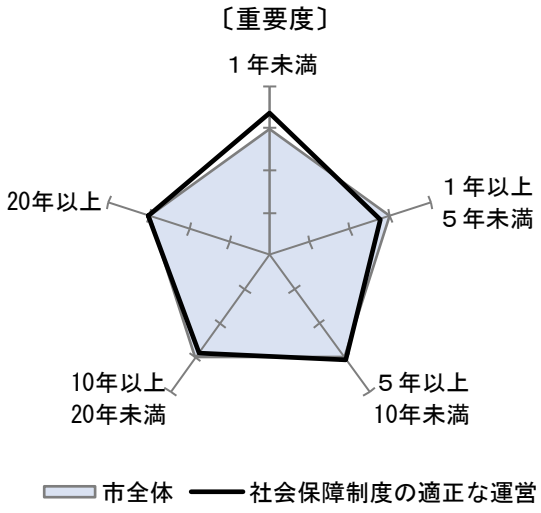


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

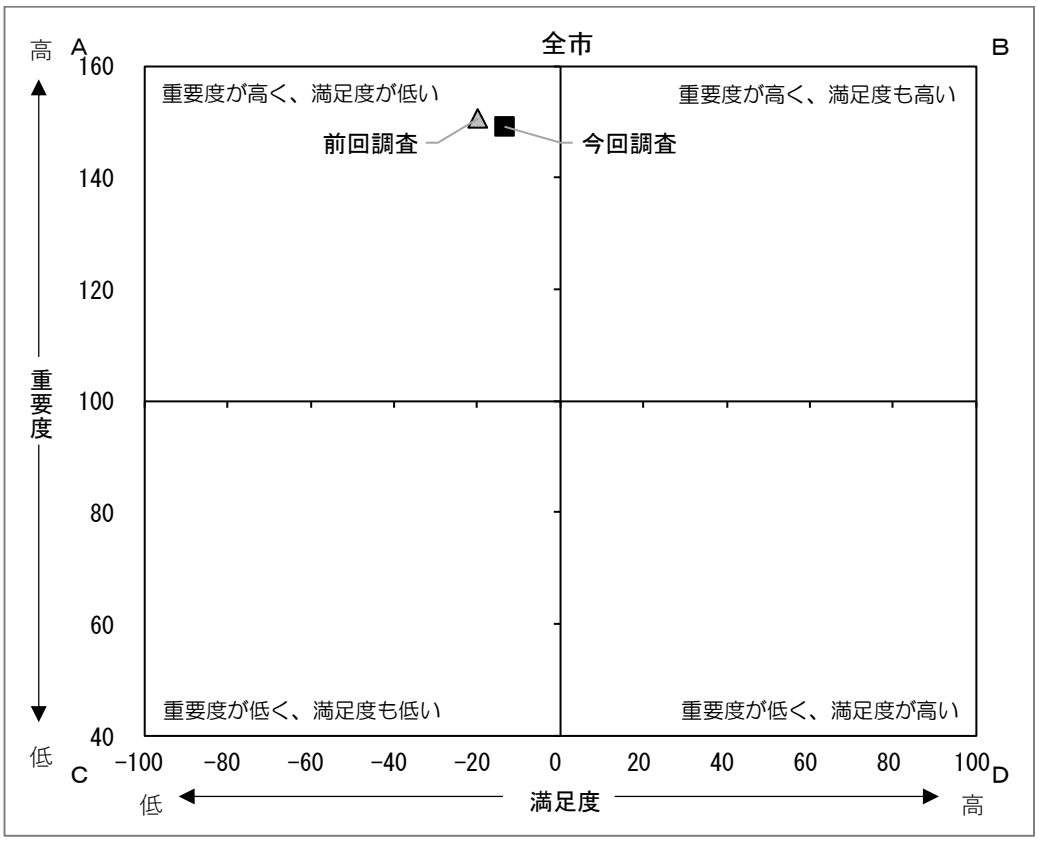
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」と「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



健康づくりや地域医療を充実する

〔健康管理を充実し、病気の予防を図る〕

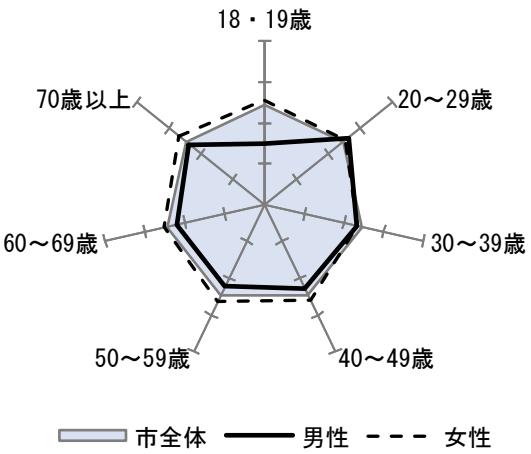
（６）住民健診の充実や健康づくりの推進

《性年代別》

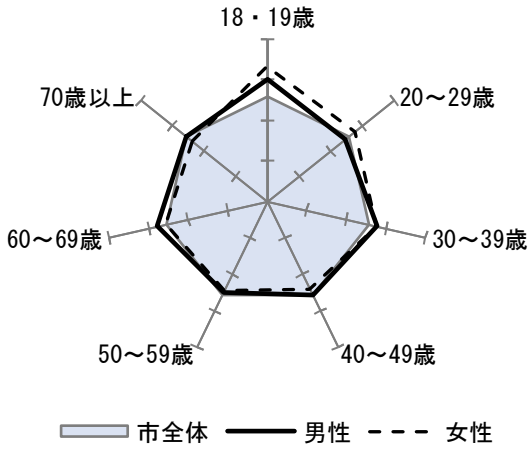
●満足度を性年代別でみると、20～29歳の男性と、30～39歳を除く女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～39歳、40～49歳、60～69歳の男性と、18・19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

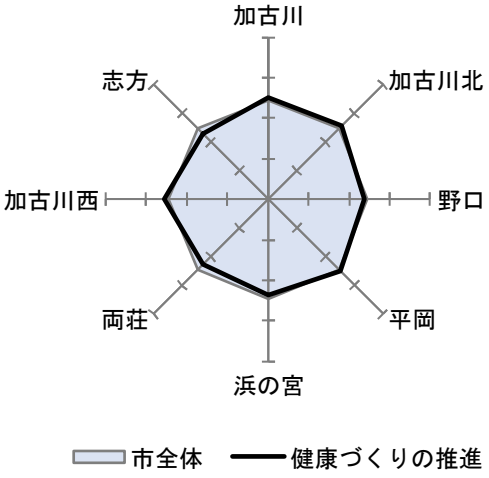


《居住地区別》

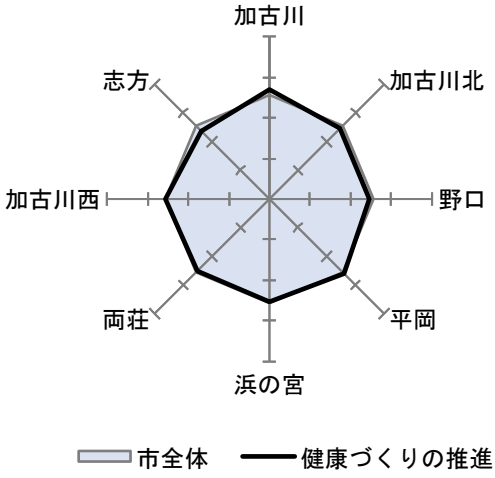
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

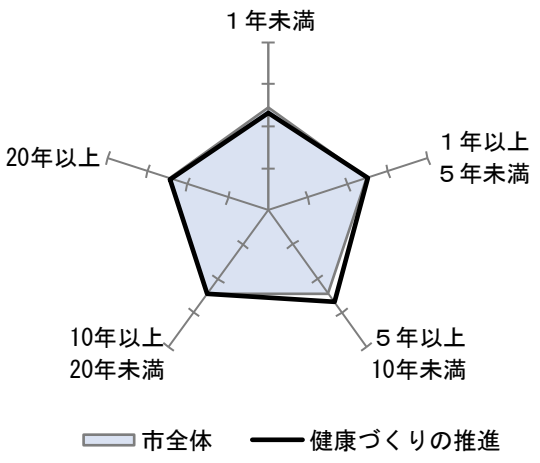


《居住期間別》

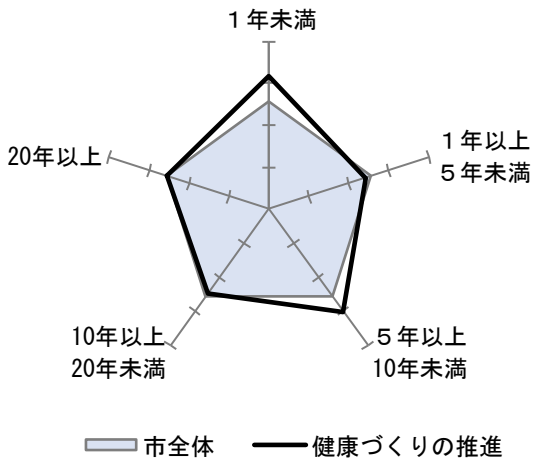
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

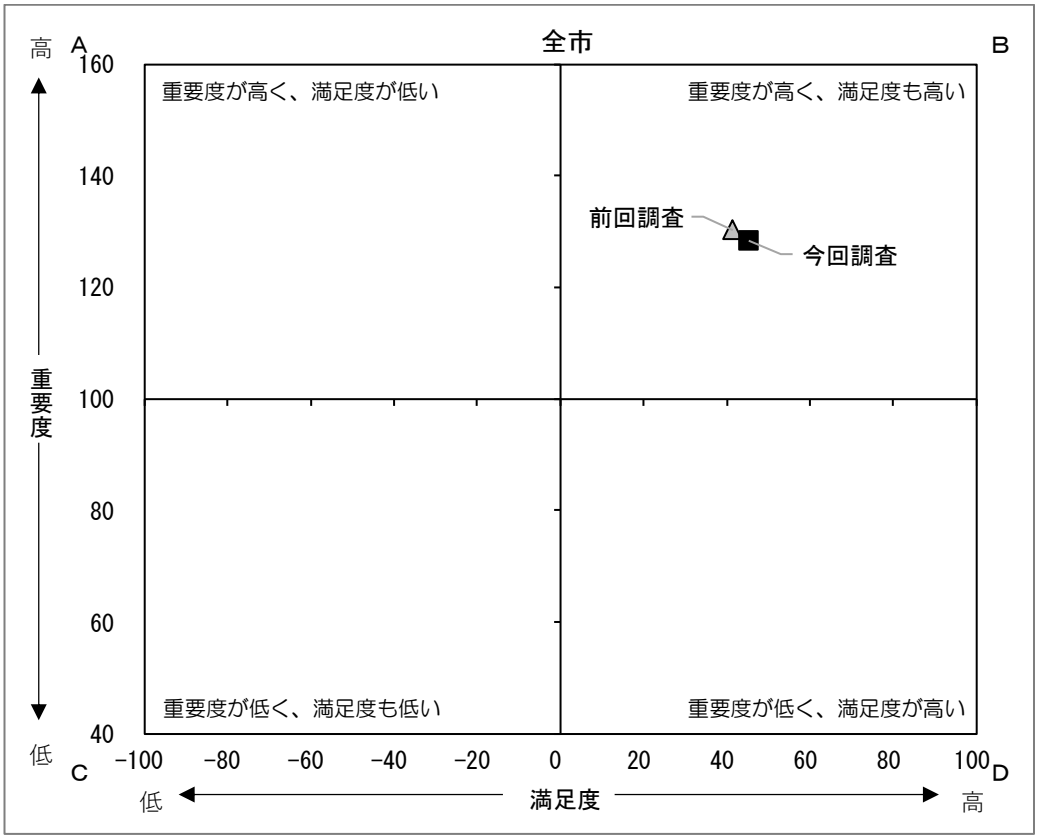


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔地域医療を充実する〕

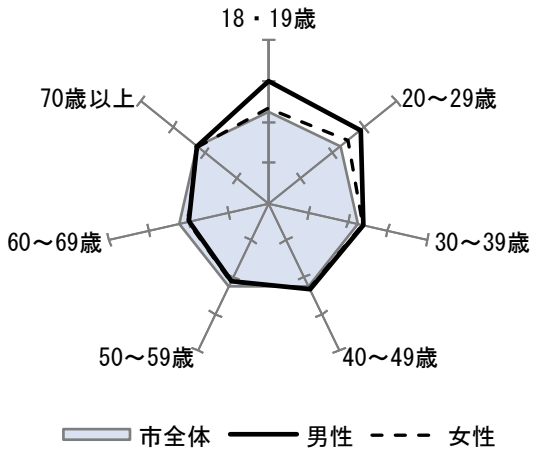
（７）安心できる医療体制

《性年代別》

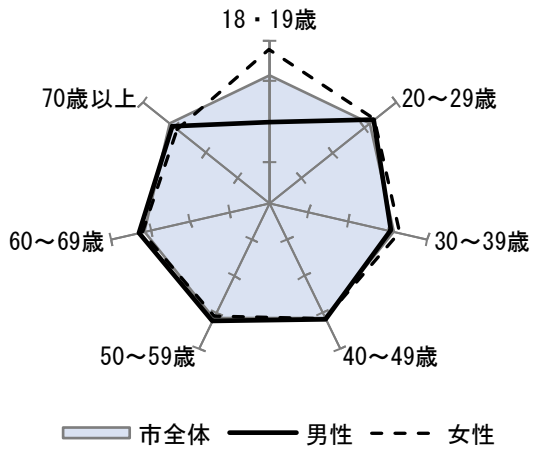
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代、70歳以上の男女で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～29歳、40～60歳代の男性と、50～59歳、70歳以上を除く女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

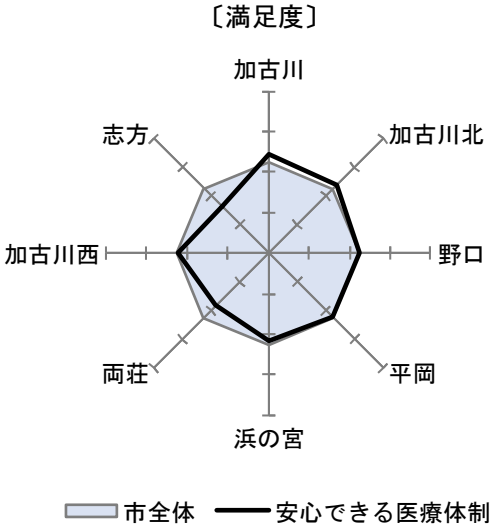


《居住地区別》

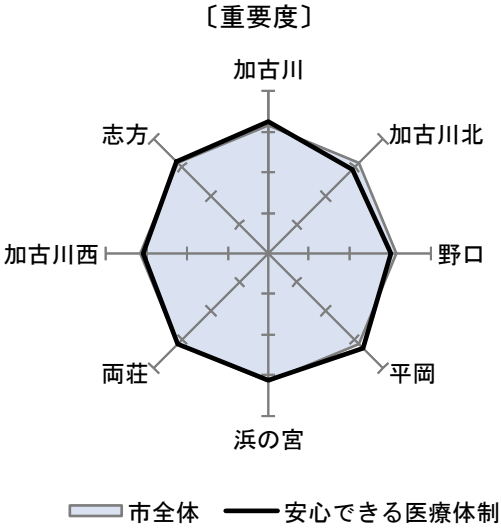
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

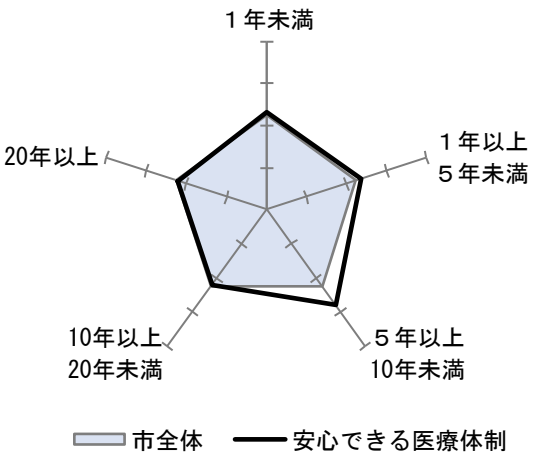


《居住期間別》

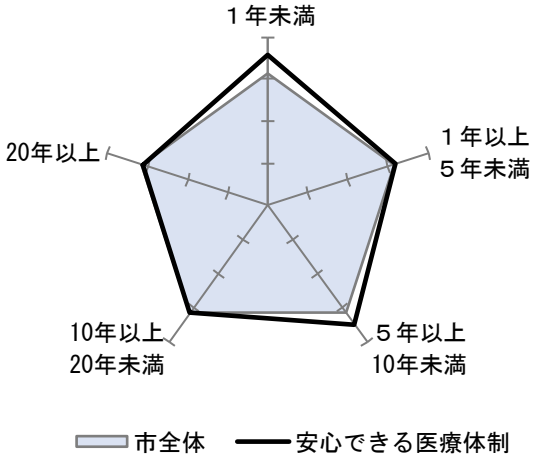
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

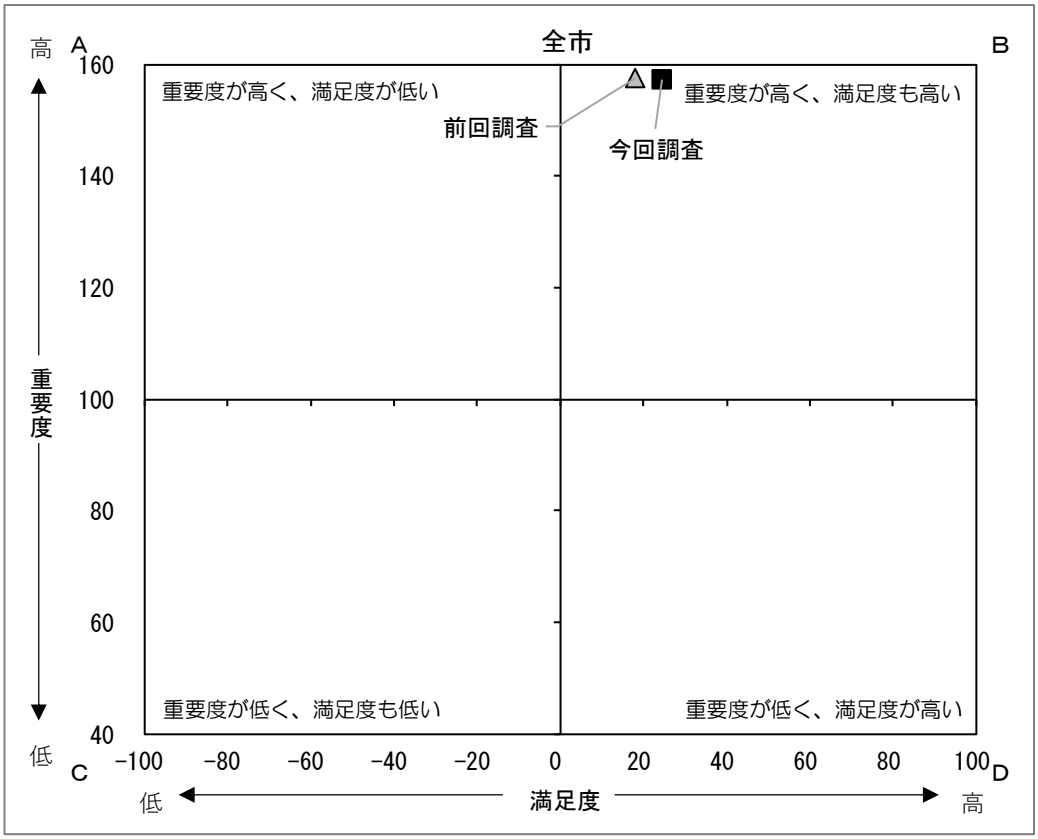


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



市民生活の安全・安定を確保する
〔災害・非常事態に対応する体制を充実する〕

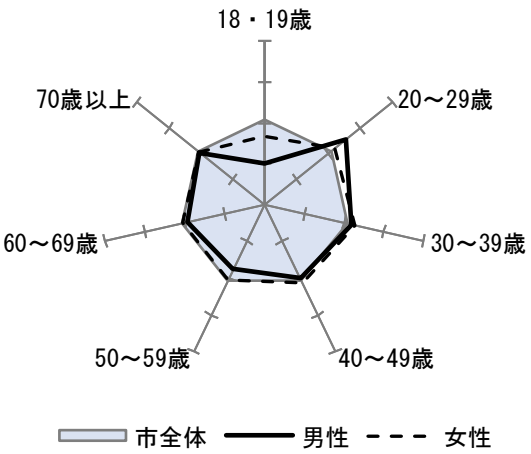
（８）地域の防災体制

《性年代別》

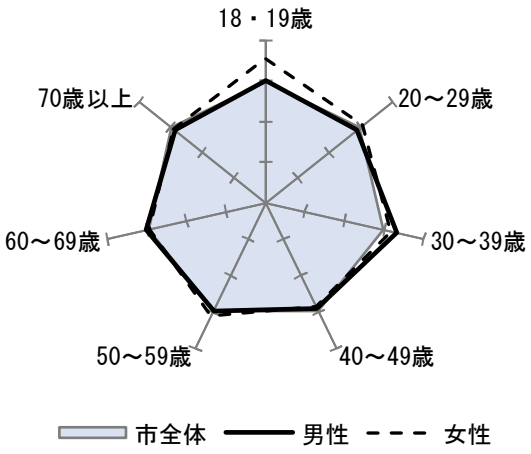
●満足度を性年代別でみると20～30歳代の男性と、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～39歳、60～69歳の男性と、18・19歳、20～30歳代、50～59歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

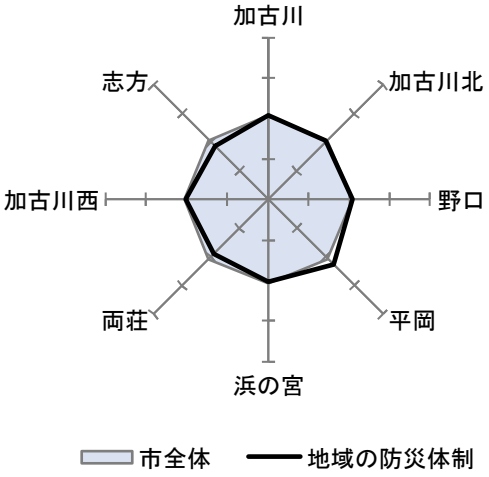


《居住地区別》

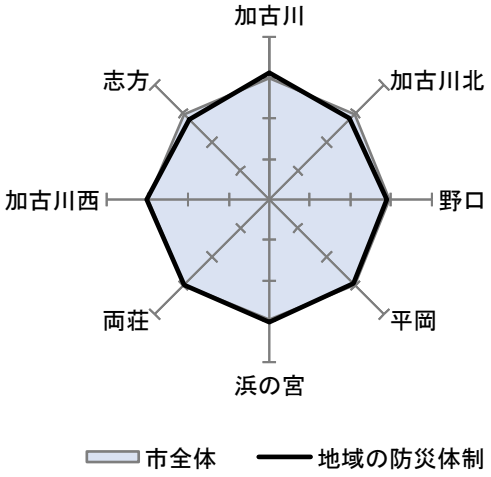
●満足度を居住地区別でみると、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



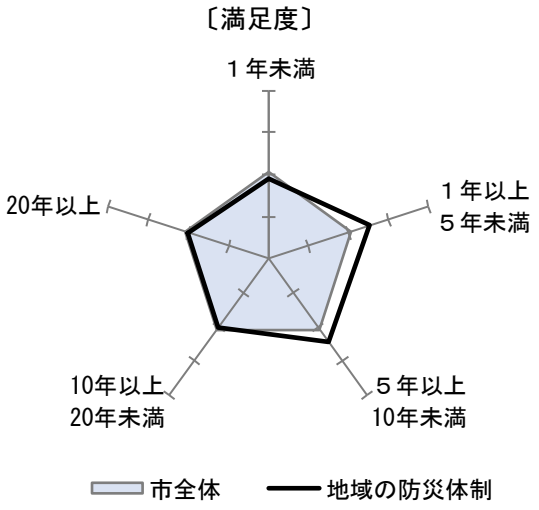
〔重要度〕

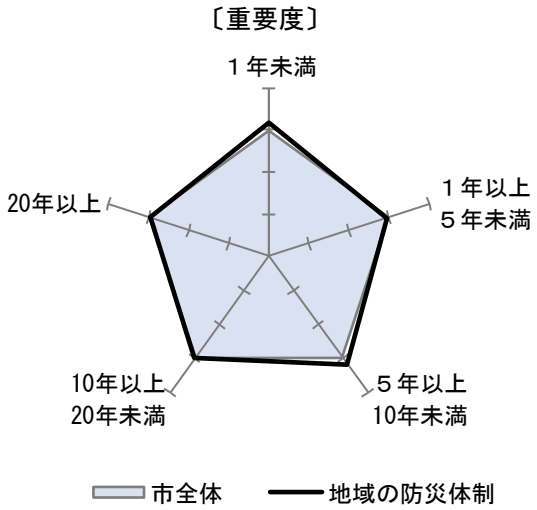


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

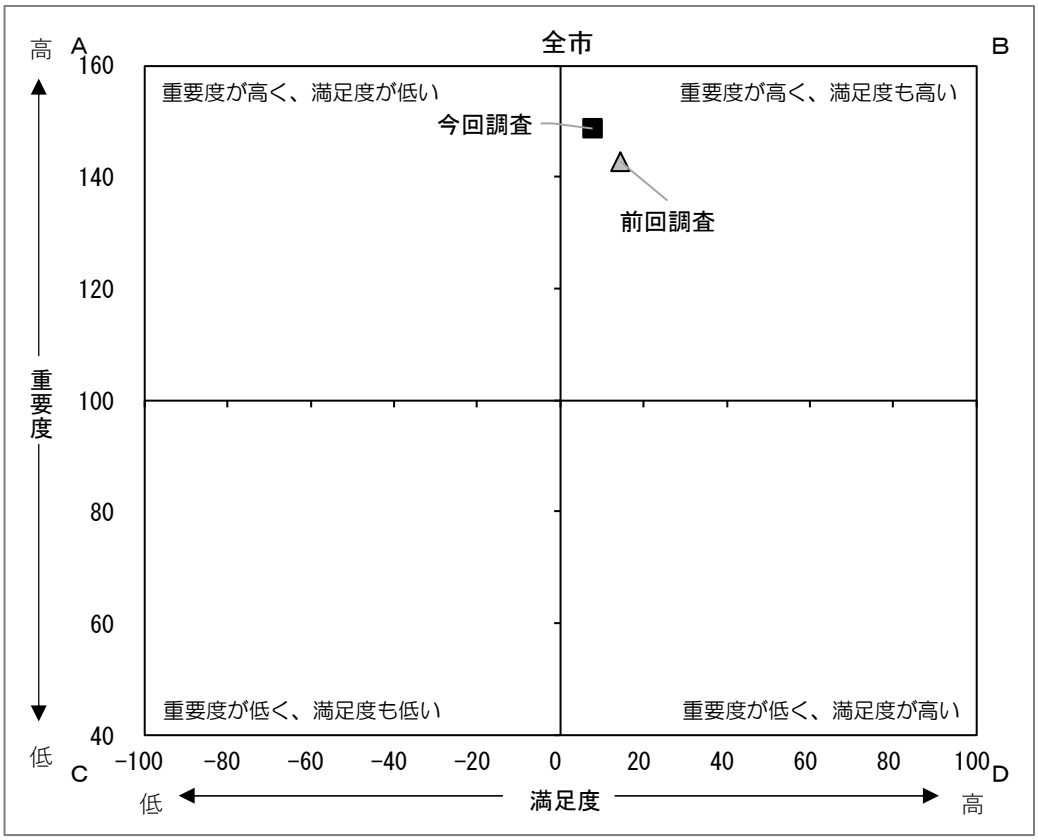
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔消防・救急体制を充実する〕

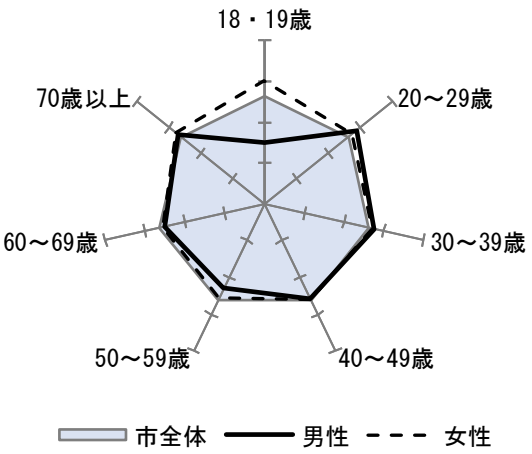
（９）消防や救急・救命体制

《性年代別》

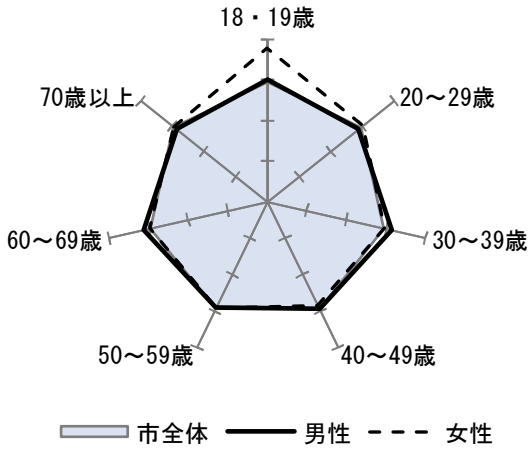
●満足度を性年代別でみると、20～30歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～39歳、60～69歳の男性と、18・19歳、20～30歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

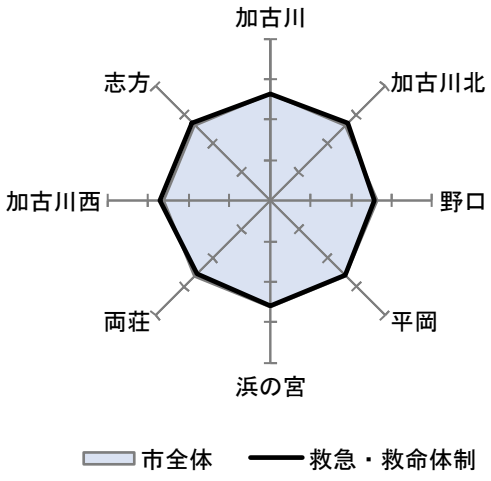


《居住地区別》

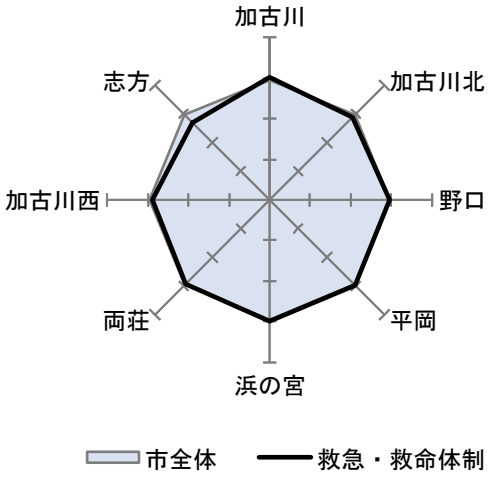
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



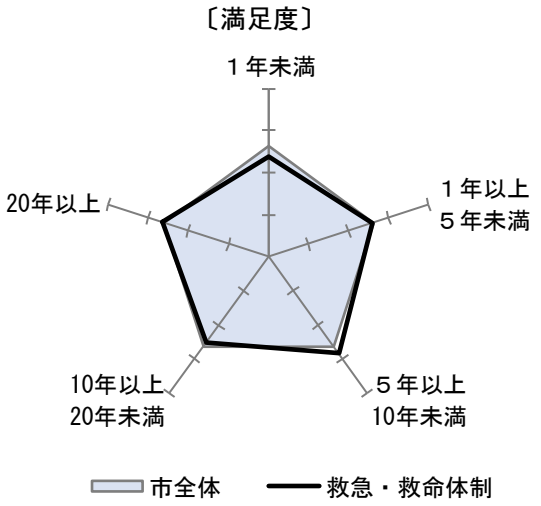
〔重要度〕

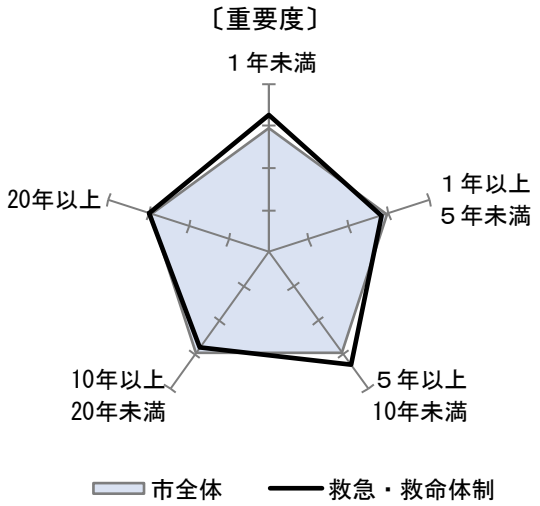


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

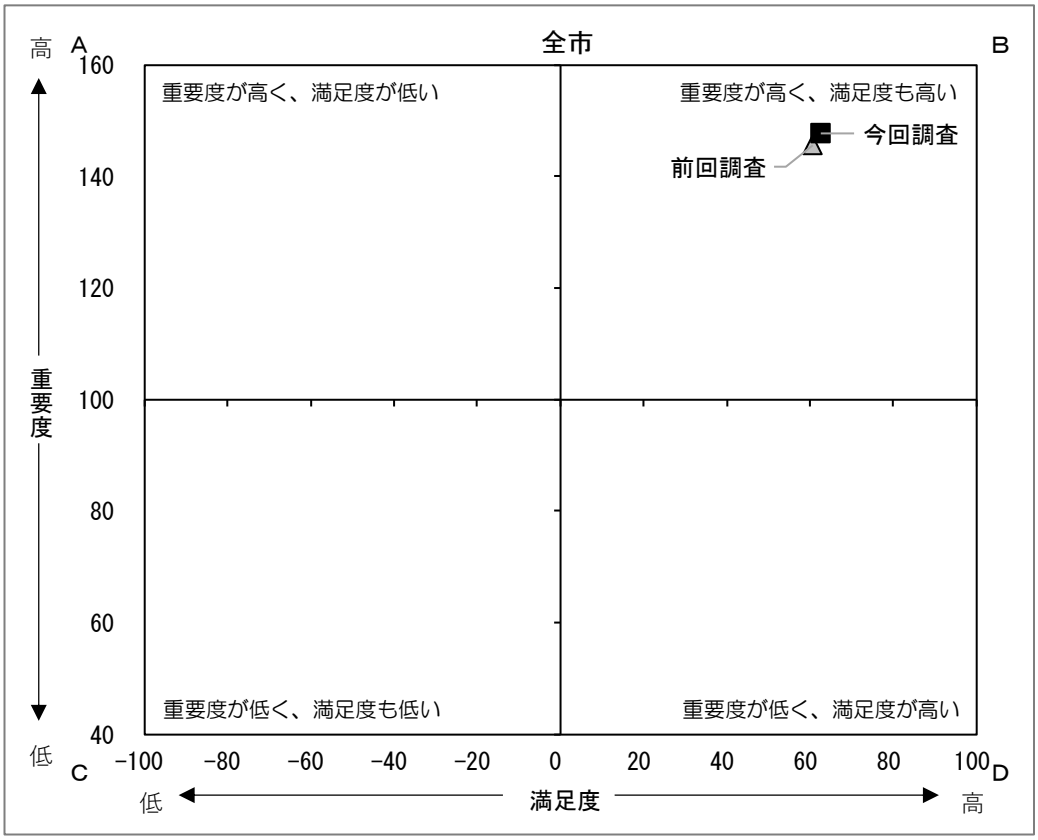
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに高くなっている。



〔防犯・交通安全対策を推進する〕

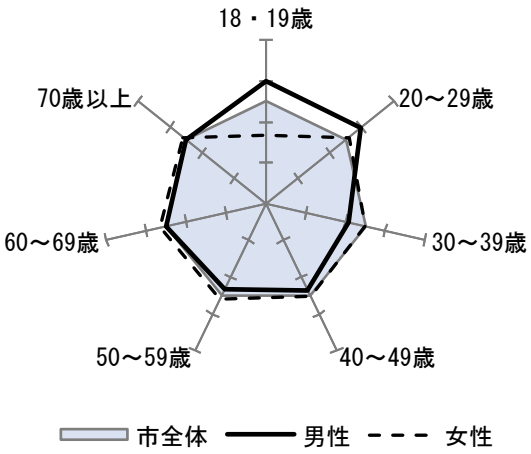
(10) 子どもの見守りやパトロールなどの安全対策

《性年代別》

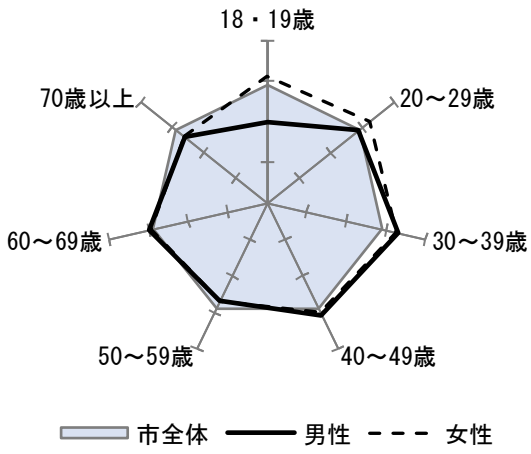
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、60～69歳の男性と、20～29歳、40歳代以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、30～40歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

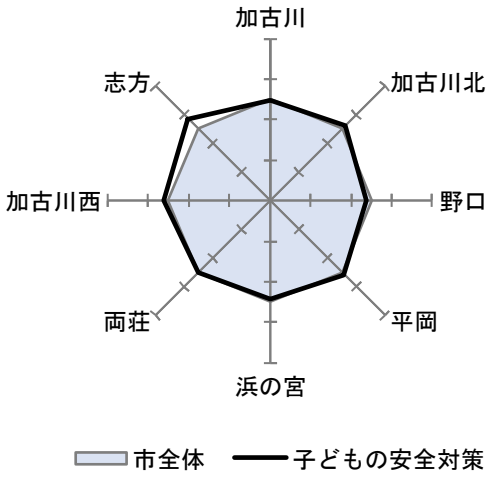


《居住地区別》

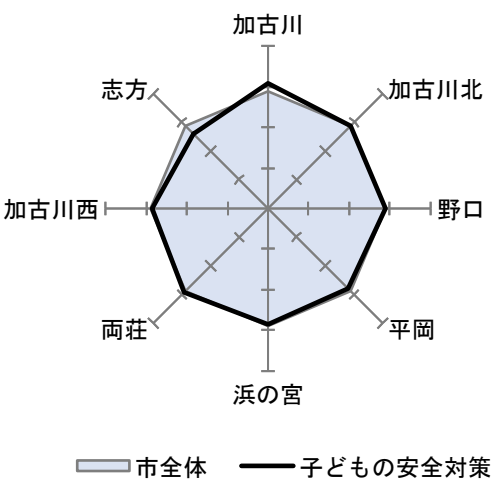
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、加古川西、志方地区では市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、両荘地区では市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



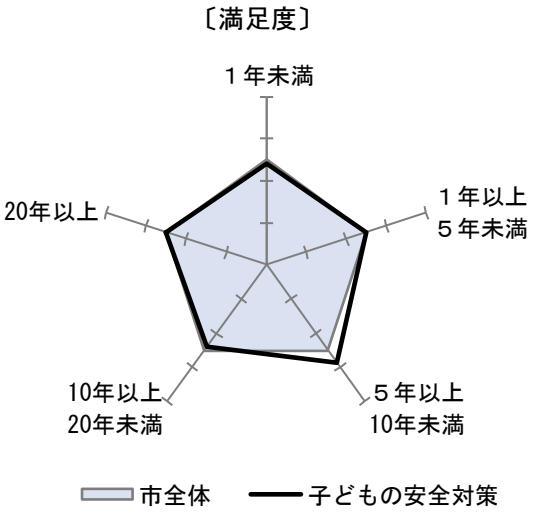
〔重要度〕

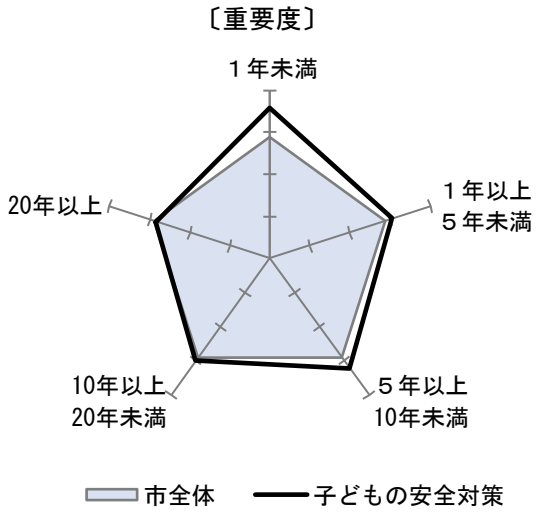


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

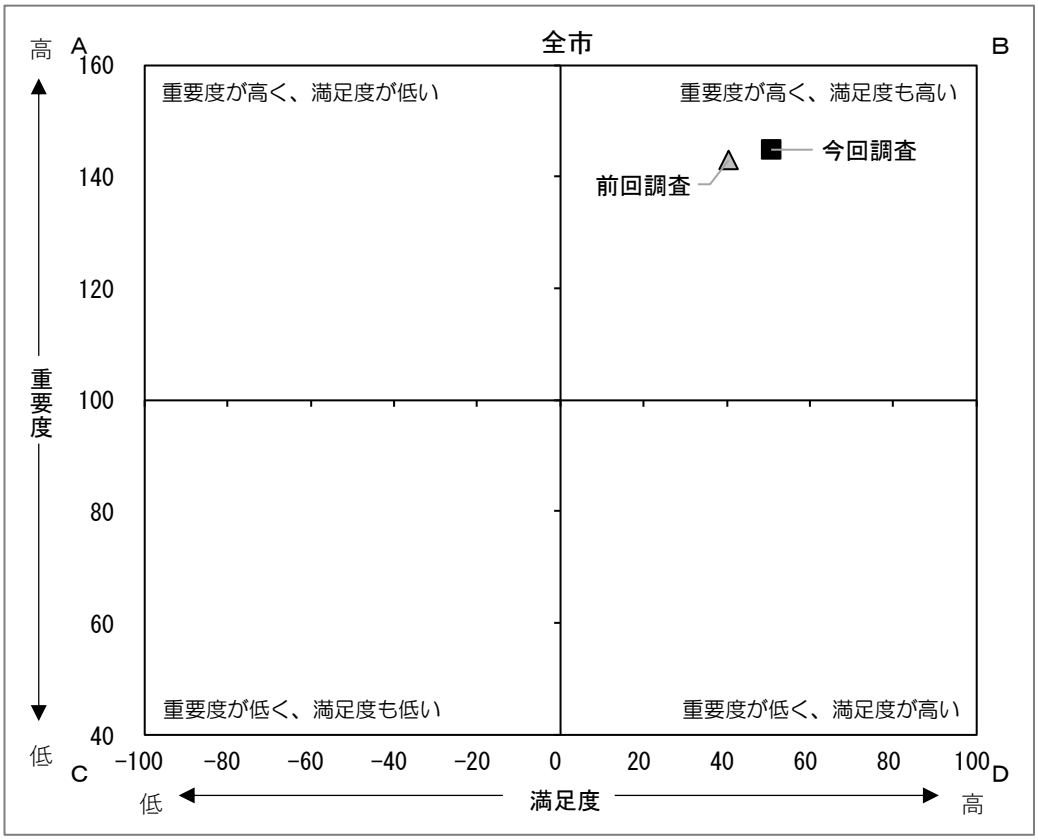
●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに高くなっている。



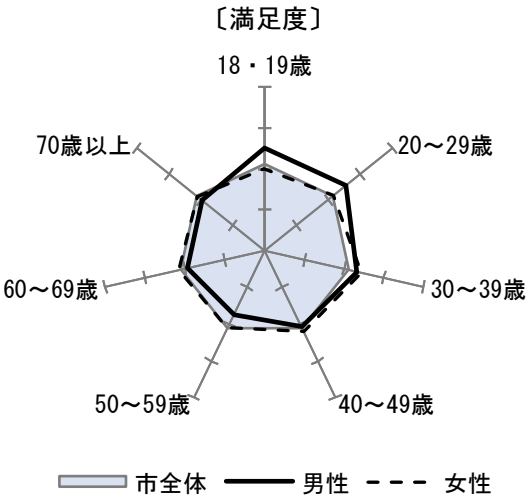
〔消費生活等の安全・向上を図る〕

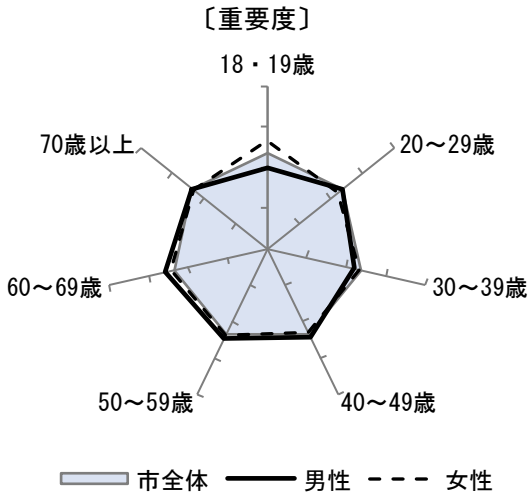
（11）悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代の男性と、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、40～60歳歳代の男性と、18・19歳、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

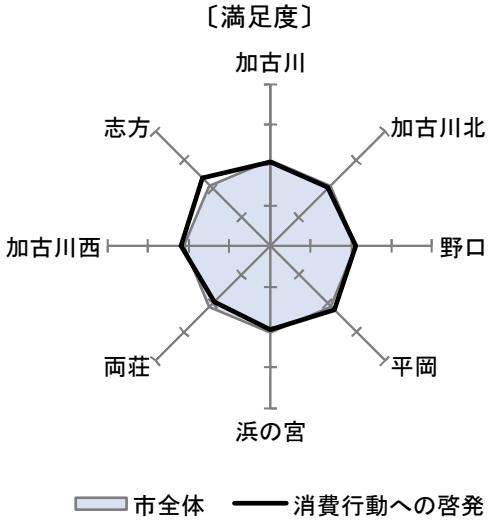


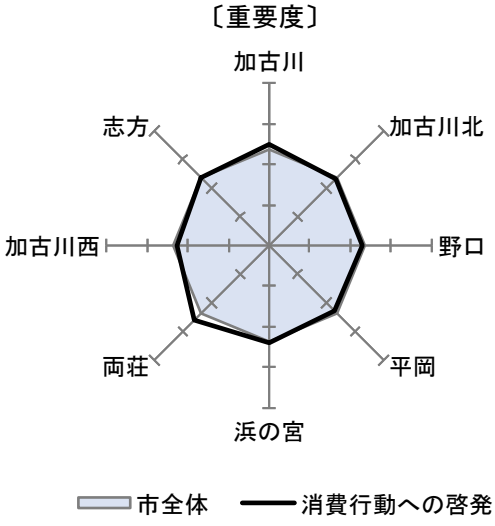


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、平岡、加古川西、志方では市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、両荘、志方地区では市全体平均より高くなっている。

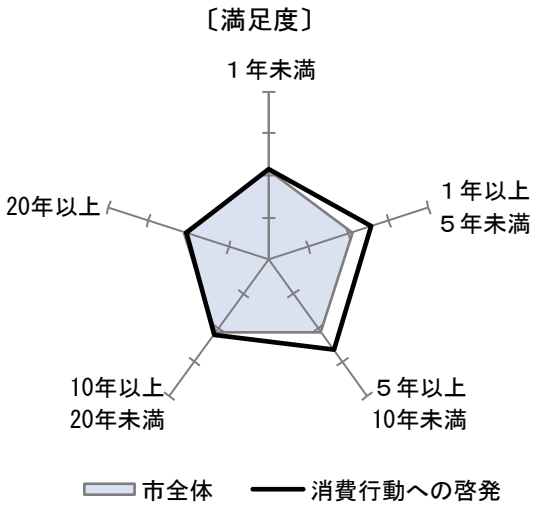


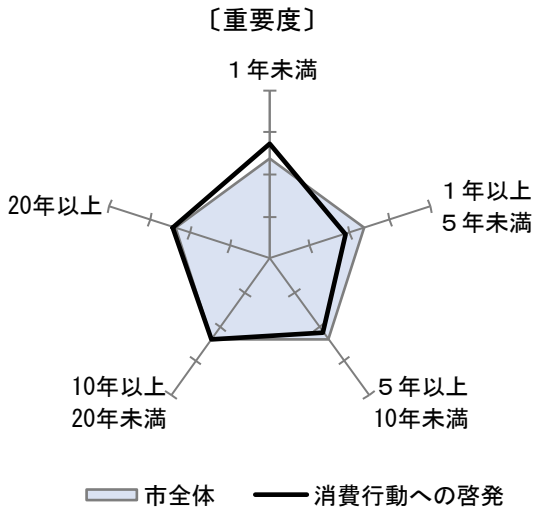


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

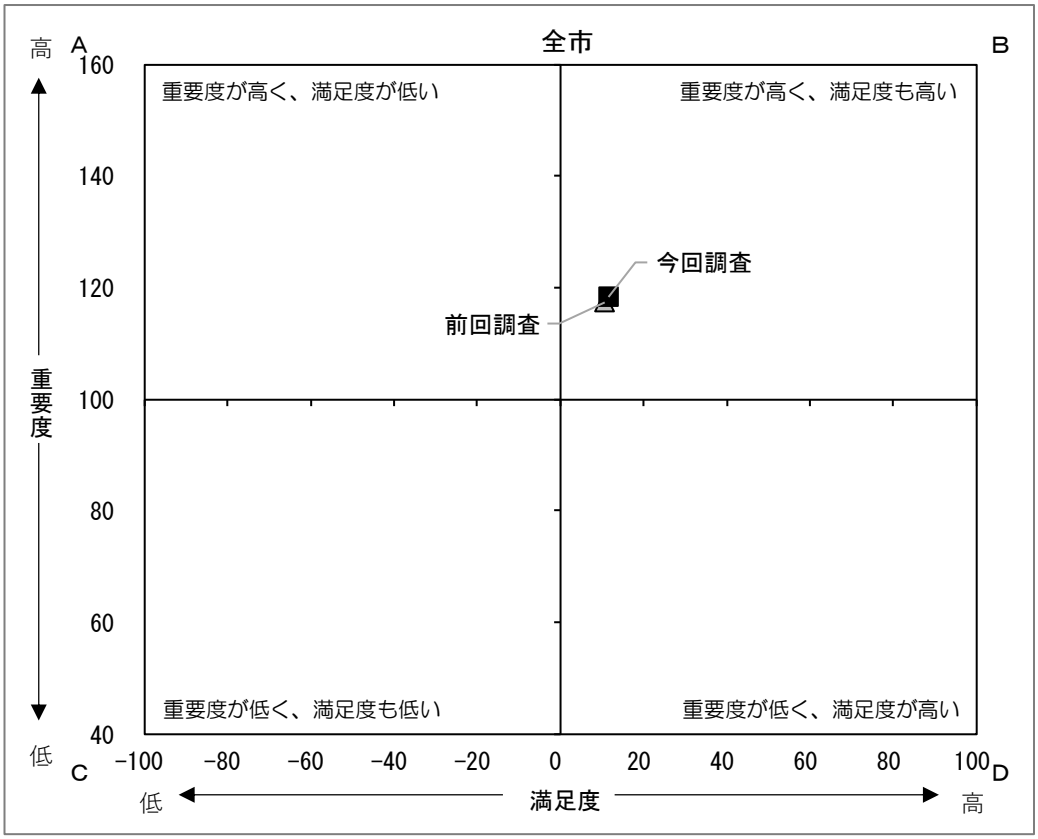
●重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



〔勤労者福祉を充実する〕

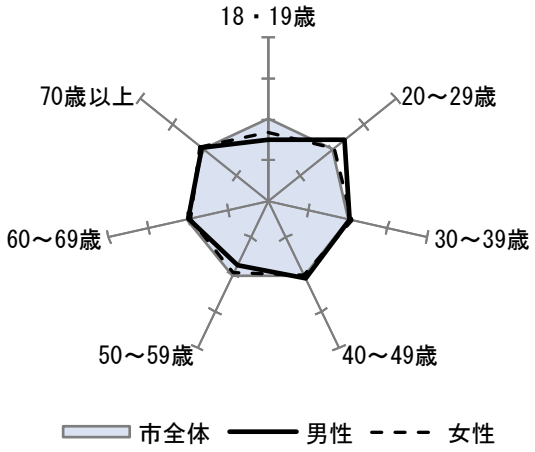
(12) 勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援

《性年代別》

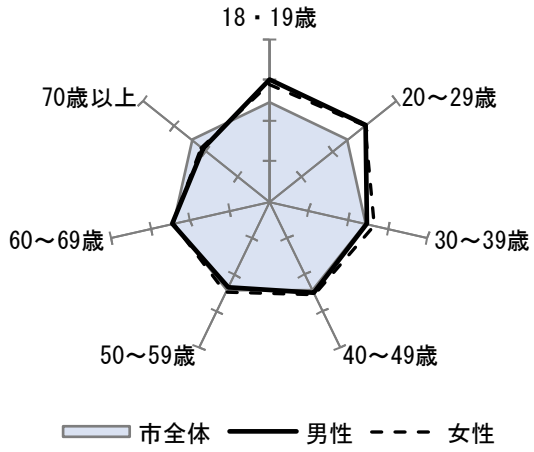
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代、70歳以上の男性と、20～30歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、20～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

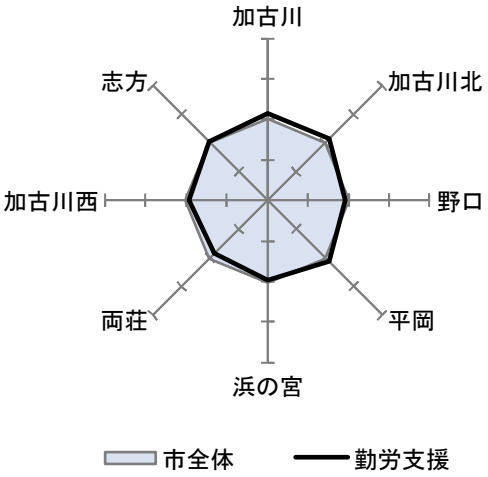


《居住地区別》

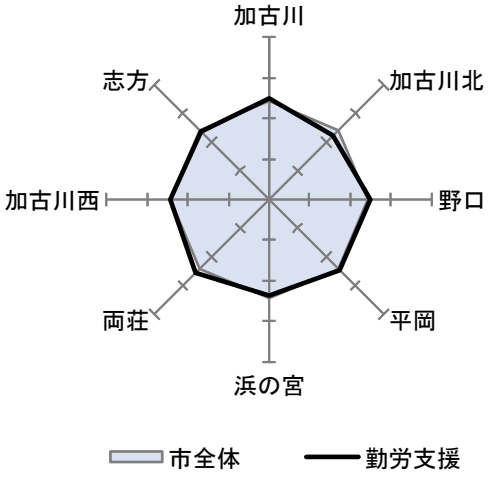
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



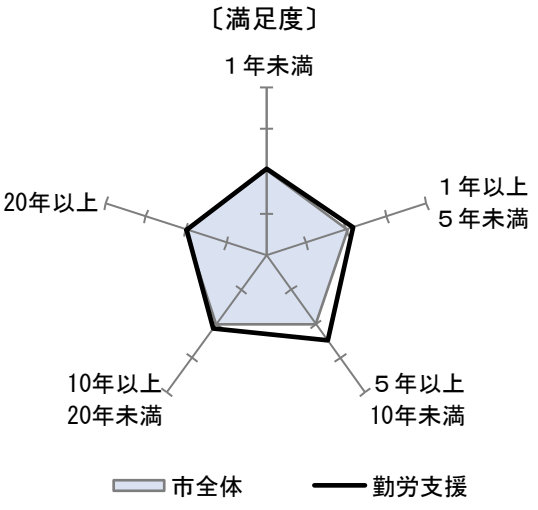
〔重要度〕

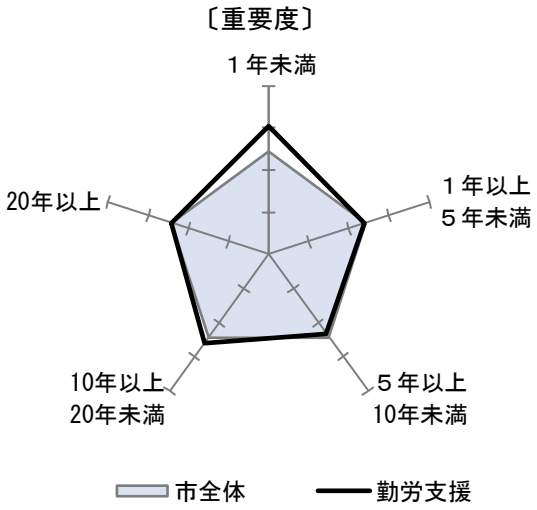


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

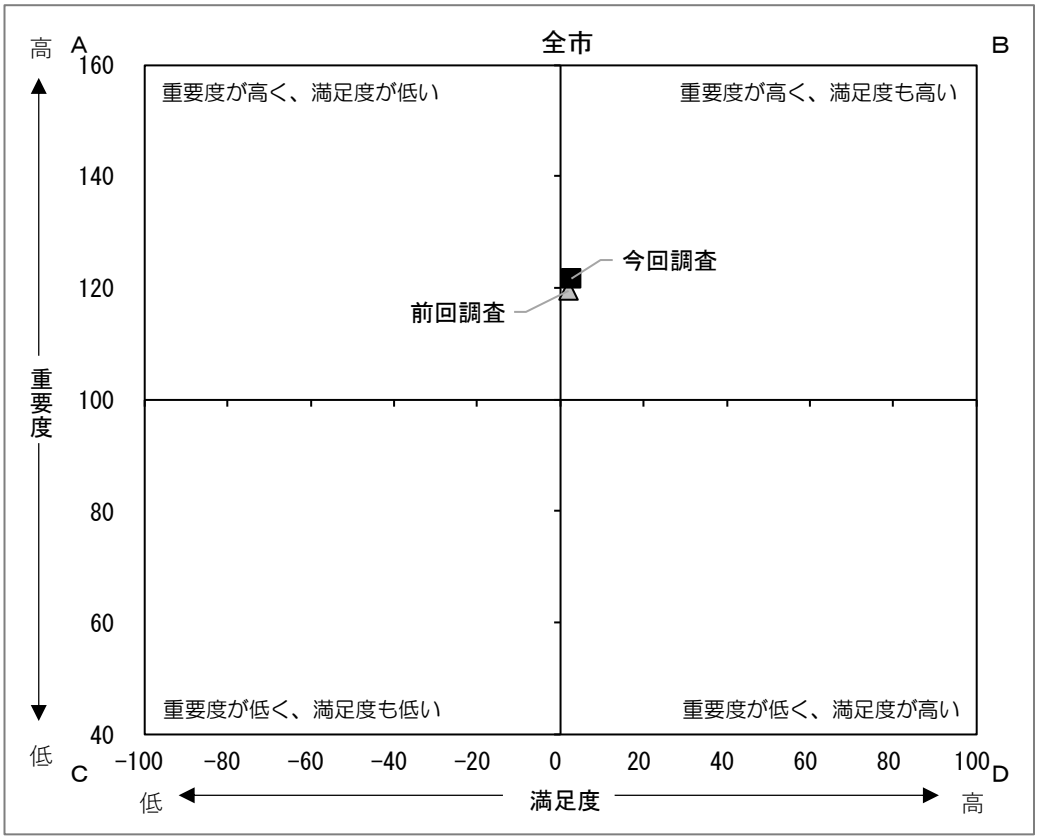
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

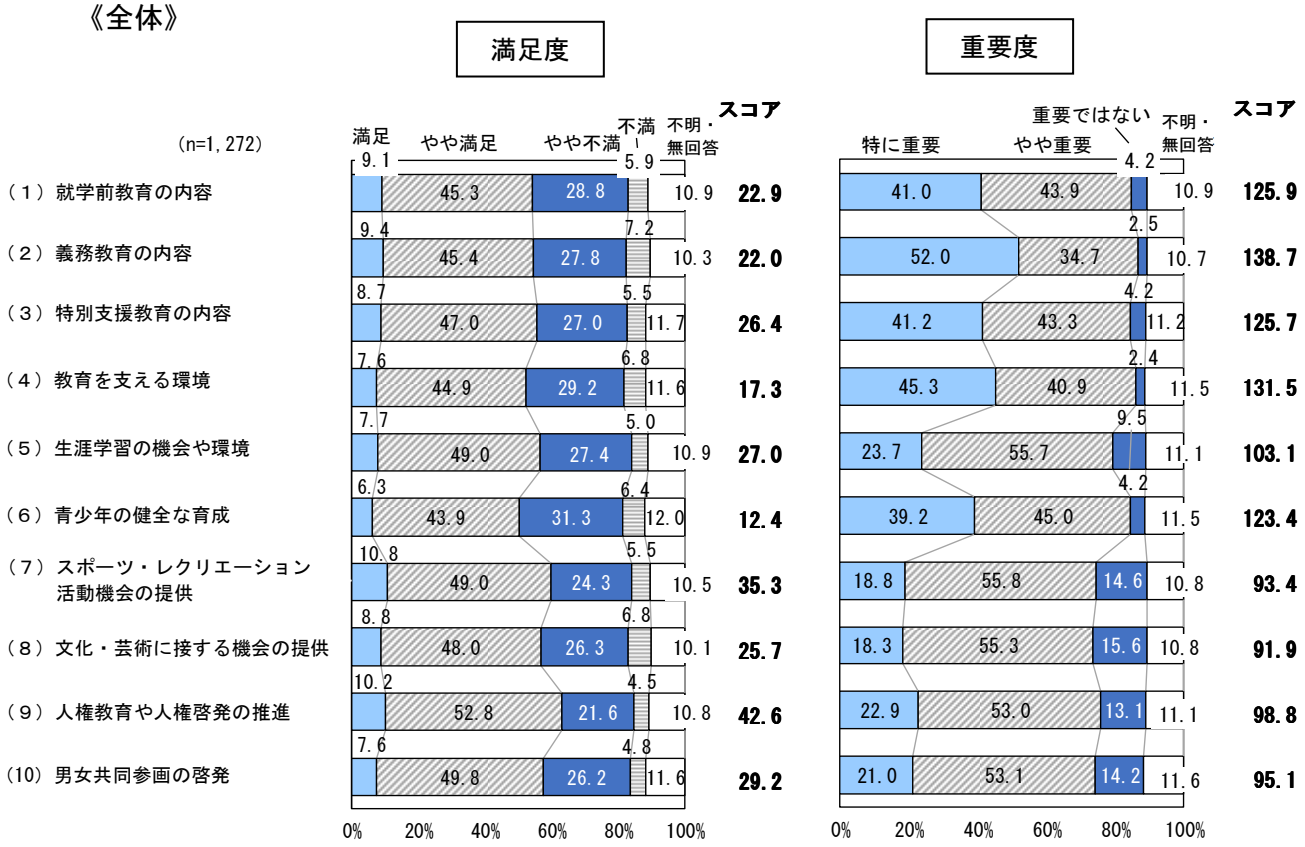


3-2　心豊かに暮らせるまちをめざして

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（９）人権教育や人権啓発の推進」、次いで「（７）スポーツ・レクリエーション活動機会の提供」となっている。一方、最も低い項目は「（６）青少年の健全な育成」、次いで「（４）教育を支える環境」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（２）義務教育の内容」、次いで「（４）教育を支える環境」となっている。一方、最も低い項目は「（８）文化・芸術に接する機会の提供」、次いで「（７）スポーツ・レクリエーション活動機会の提供」となっている。

《全体》



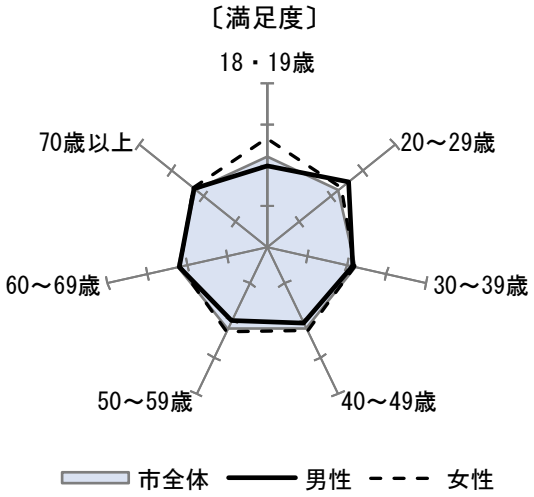
学校教育を充実する
〔特色ある就学前教育を推進する〕

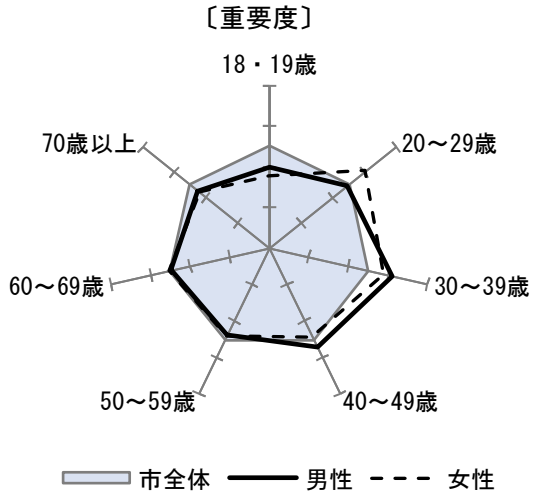
（１）就学前教育の内容

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～29歳、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、40～50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、30～40歳代の男性と、20～30歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

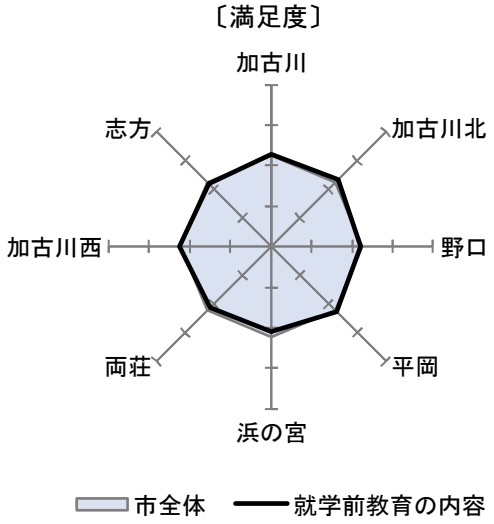


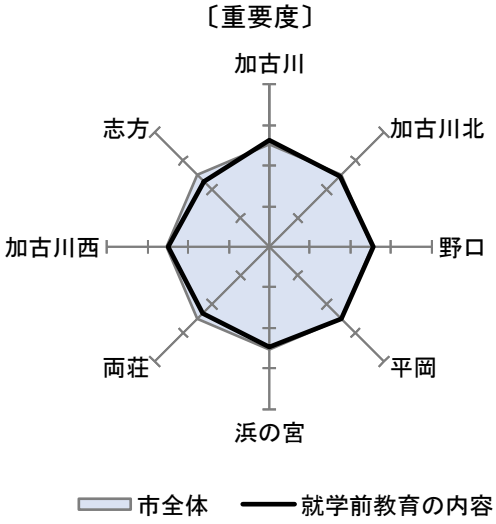


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

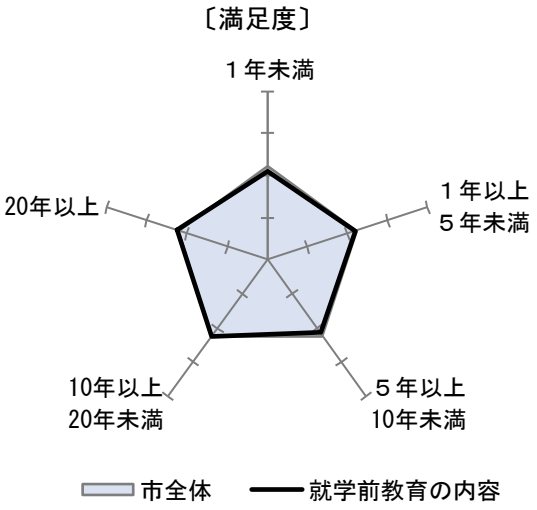


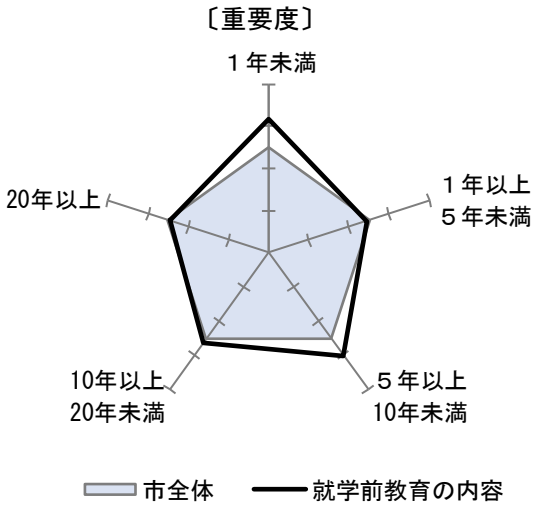


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

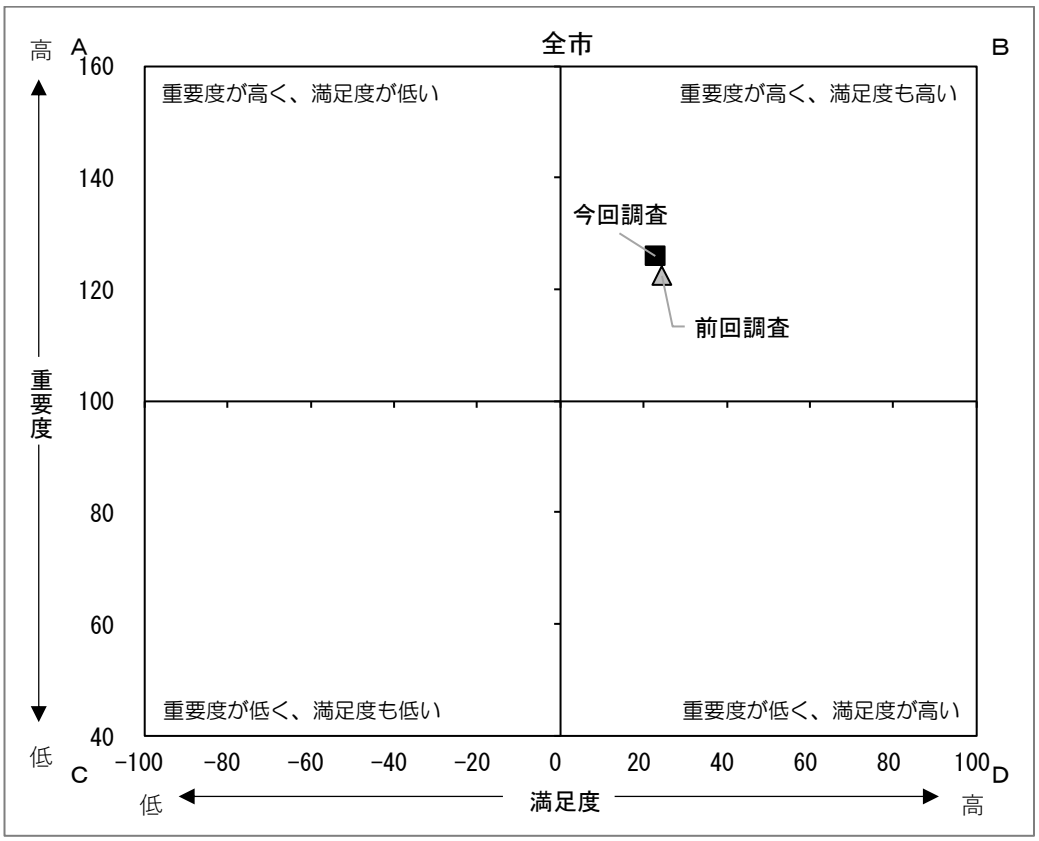
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



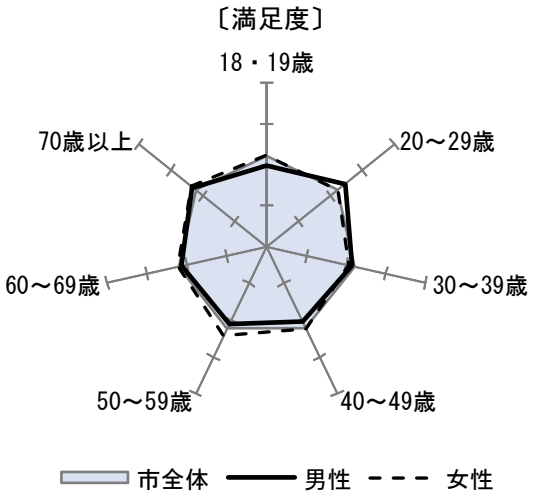
〔義務教育を充実する〕

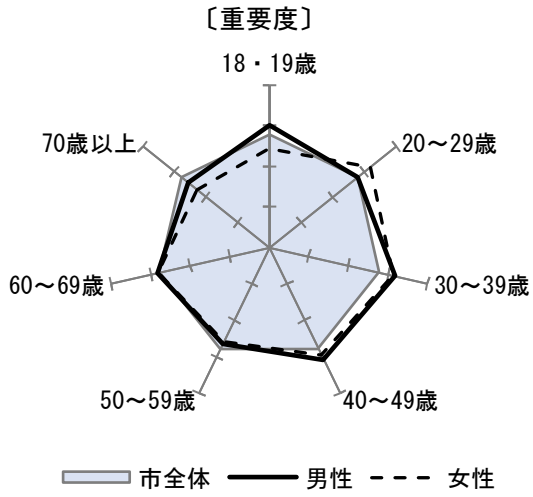
（２）義務教育の内容

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～29歳、70歳以上の男性、18・19歳、20～29歳、40～50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～40歳代、60～69歳の男性、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

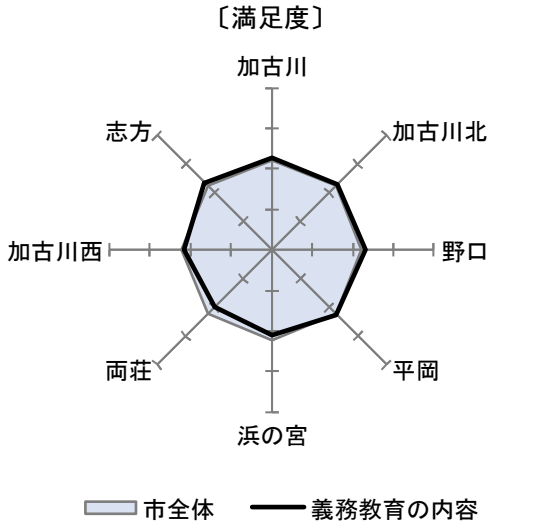


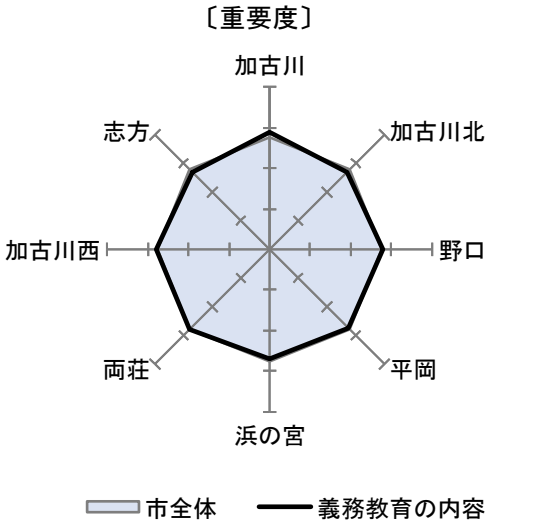


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

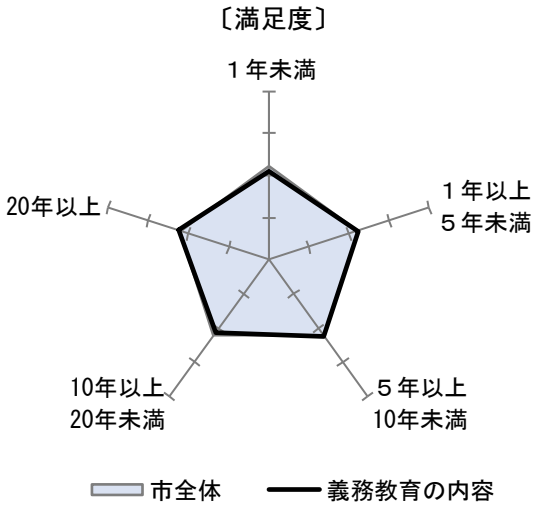


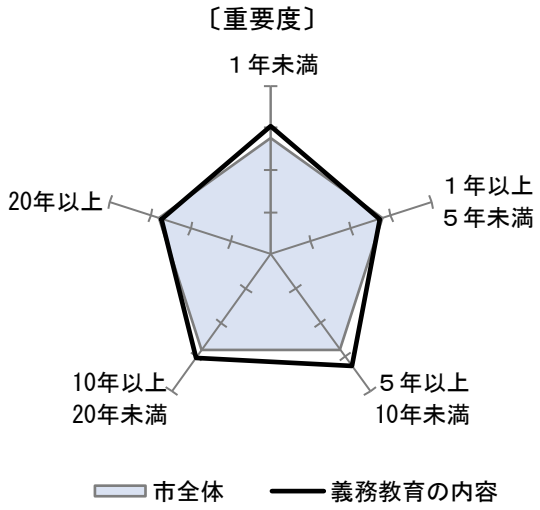


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

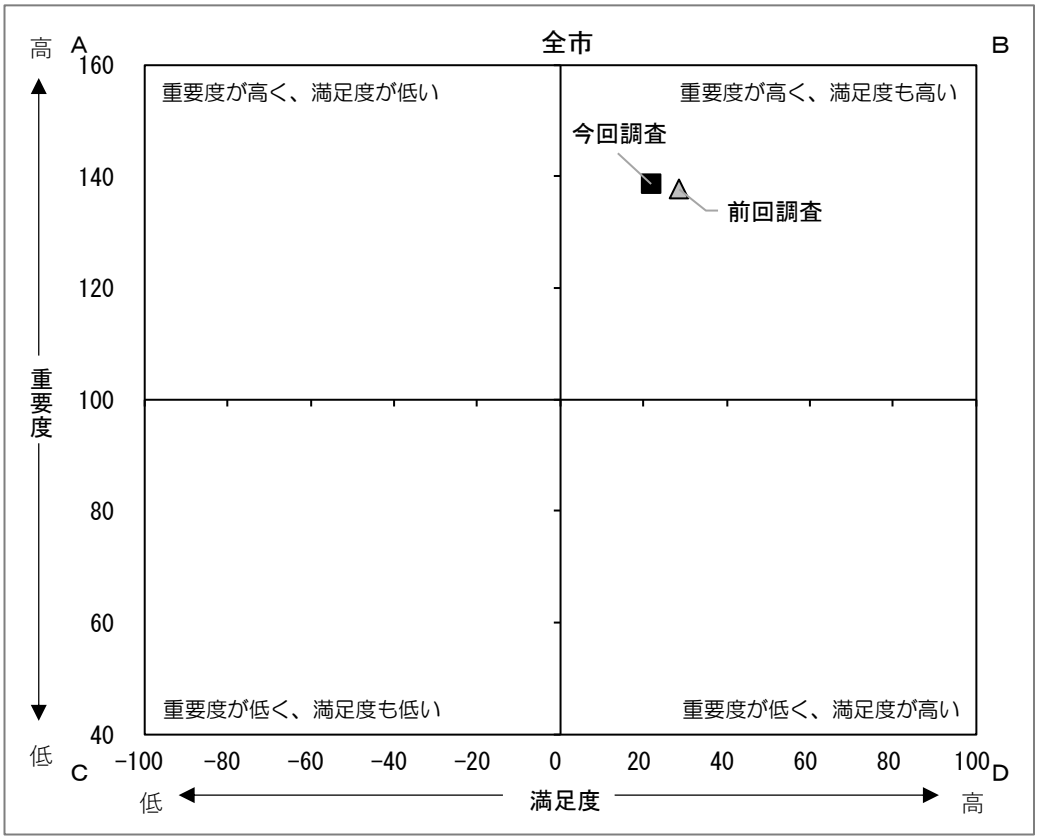
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔特別支援教育を充実する〕

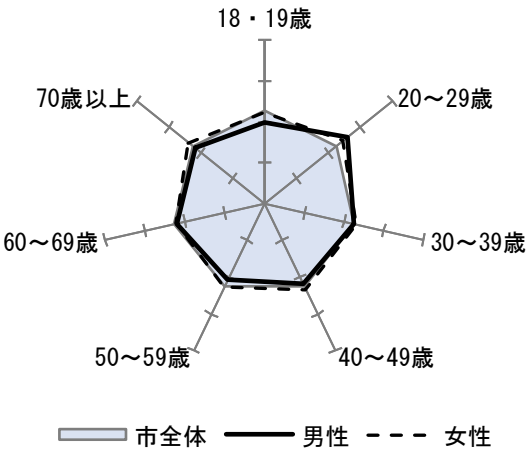
（３）特別支援教育の内容

《性年代別》

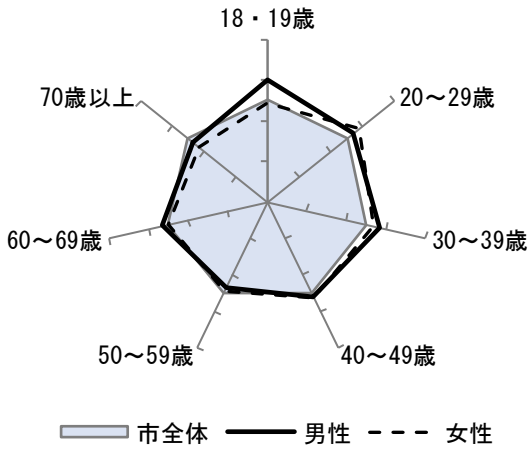
●満足度を性年代別でみると、20～30歳代の男性と、20～50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代、60～69歳の男性と、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

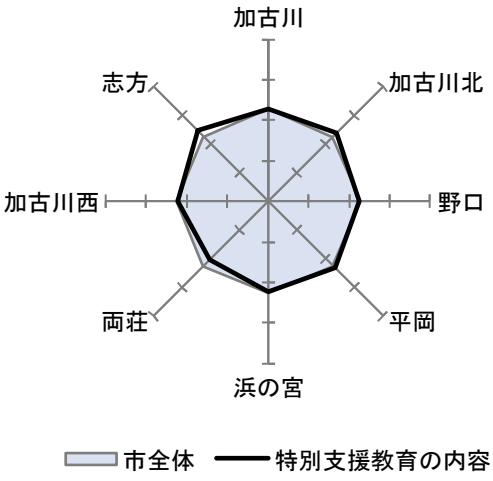


《居住地区別》

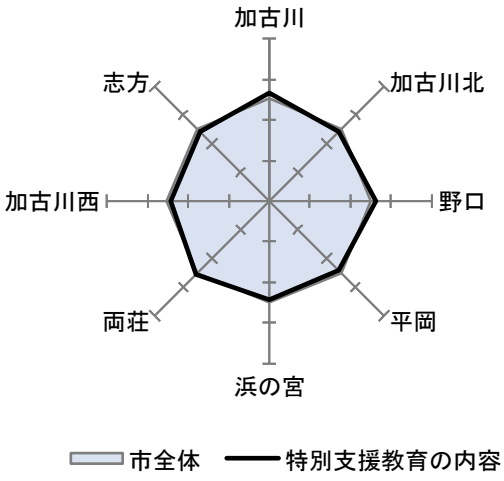
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



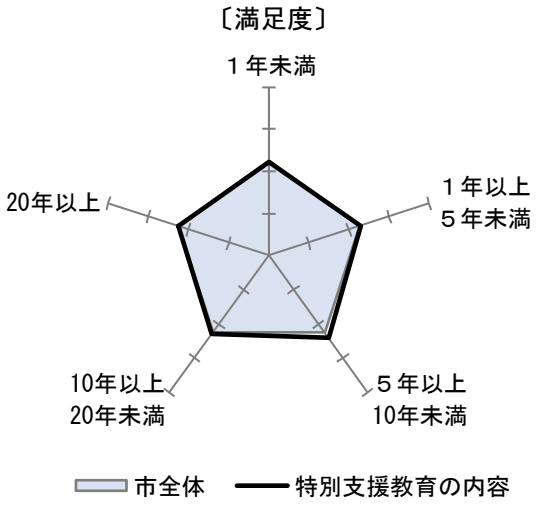
〔重要度〕

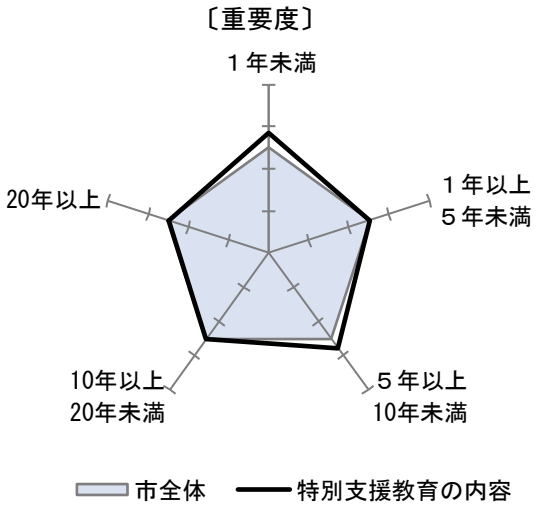


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

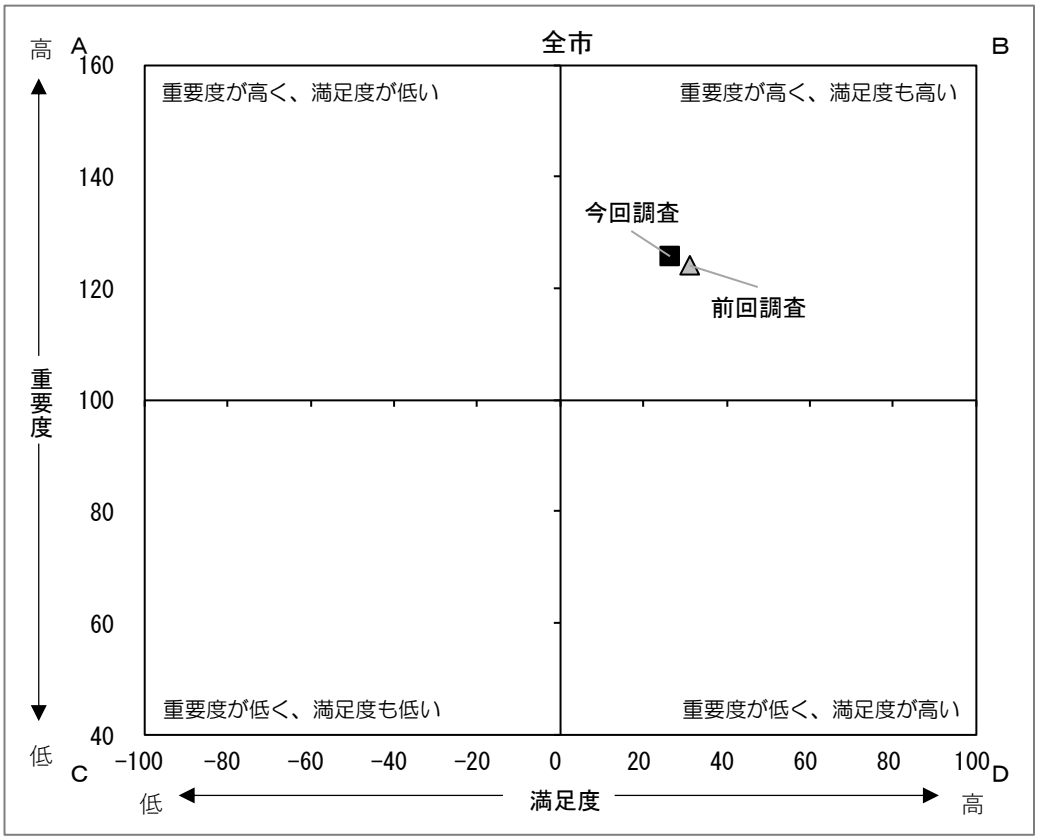
●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔教育を支える環境を整備する〕

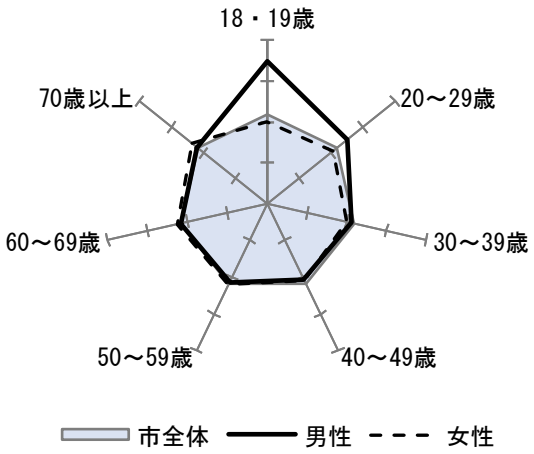
（４）教育を支える環境

《性年代別》

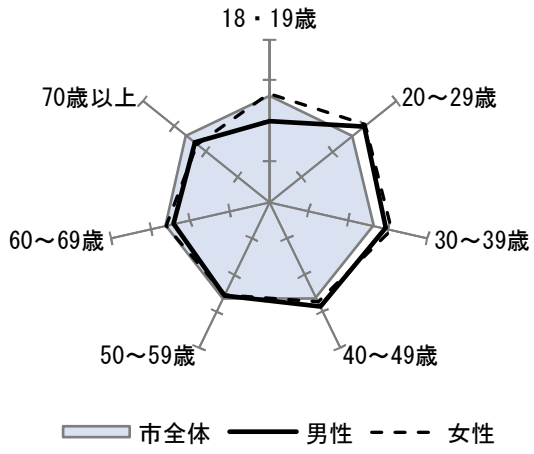
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、60～69歳、70歳以上の男性と、50～60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

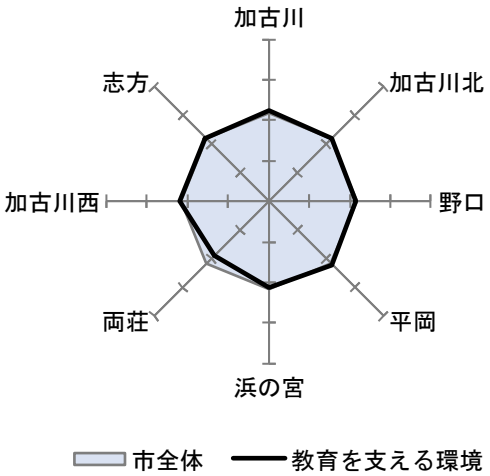


《居住地区別》

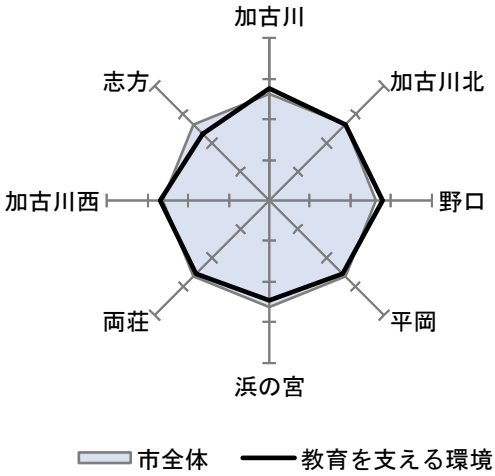
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

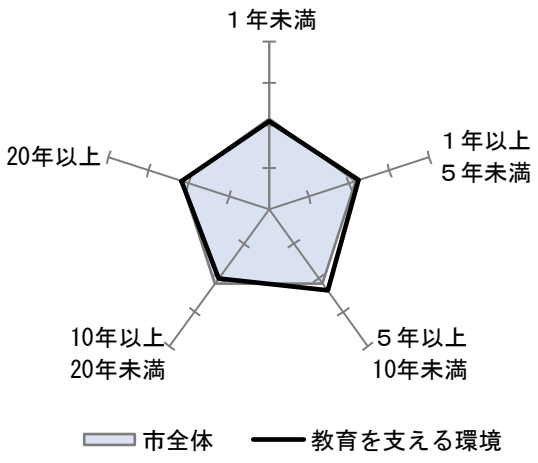


《居住期間別》

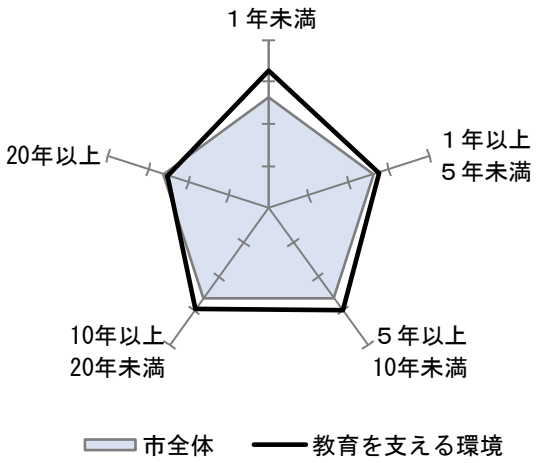
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

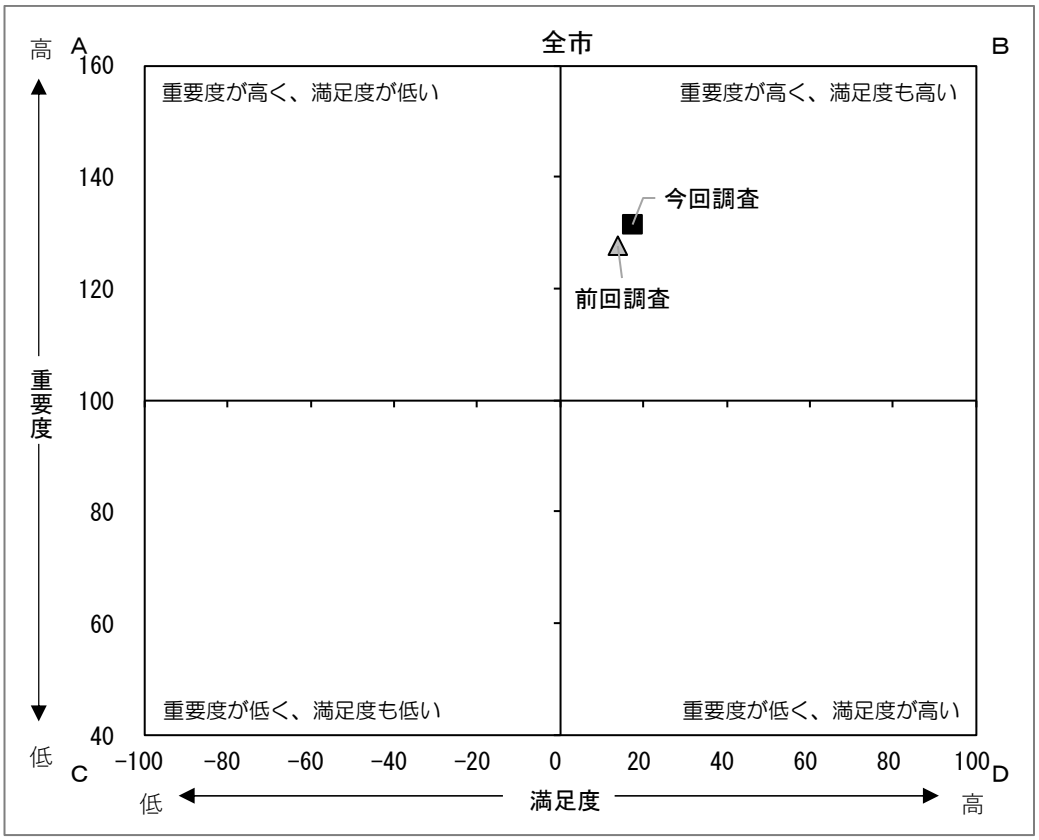


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



地域における教育・学習環境を整備する
〔生涯学習を推進する〕

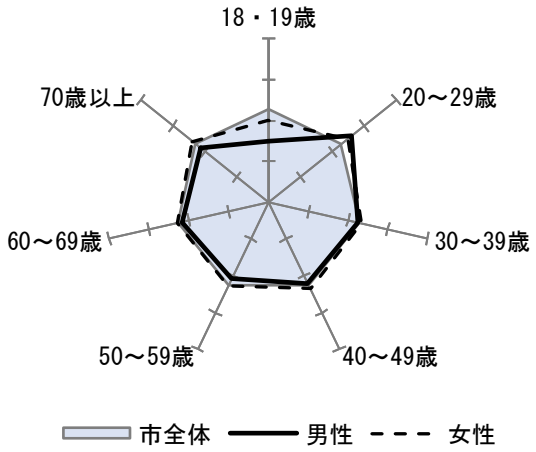
（５）生涯学習の機会や環境

《性年代別》

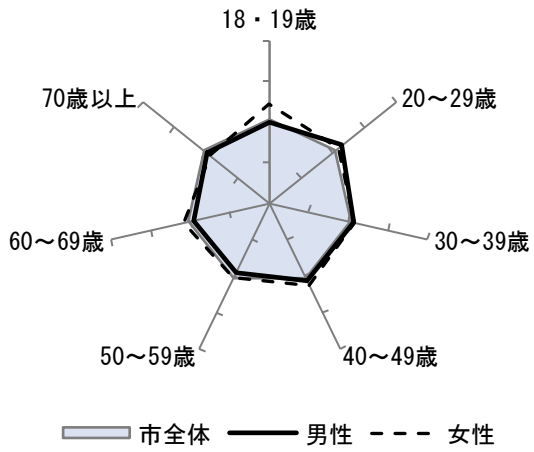
●満足度を性年代別でみると、20～29歳の男性と、20～60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

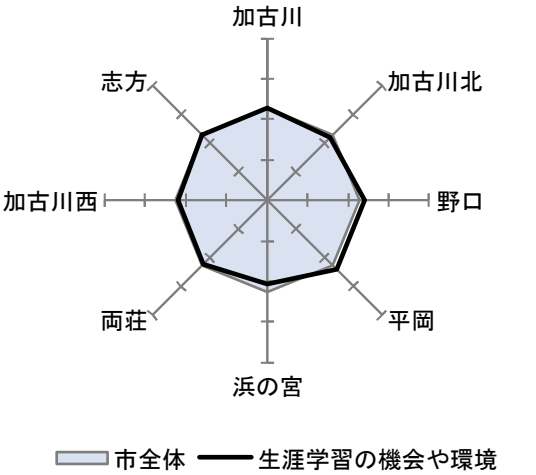


《居住地区別》

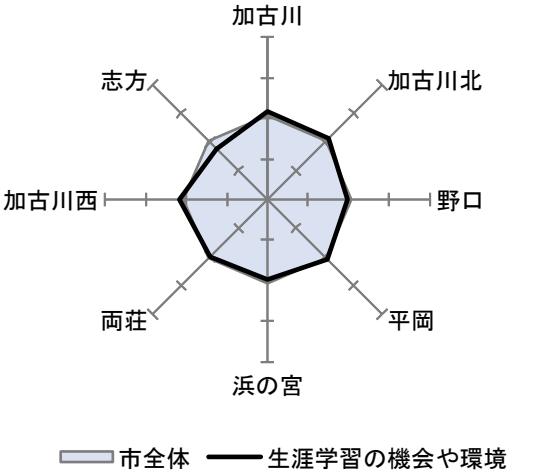
●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



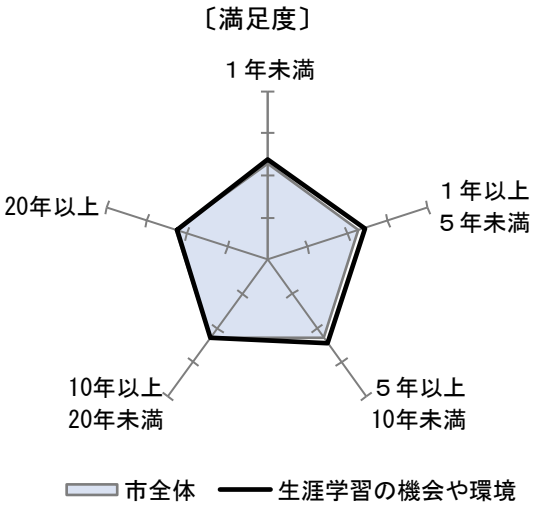
〔重要度〕

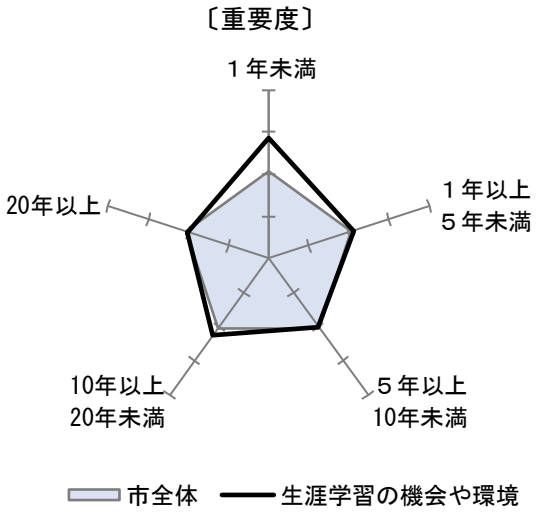


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

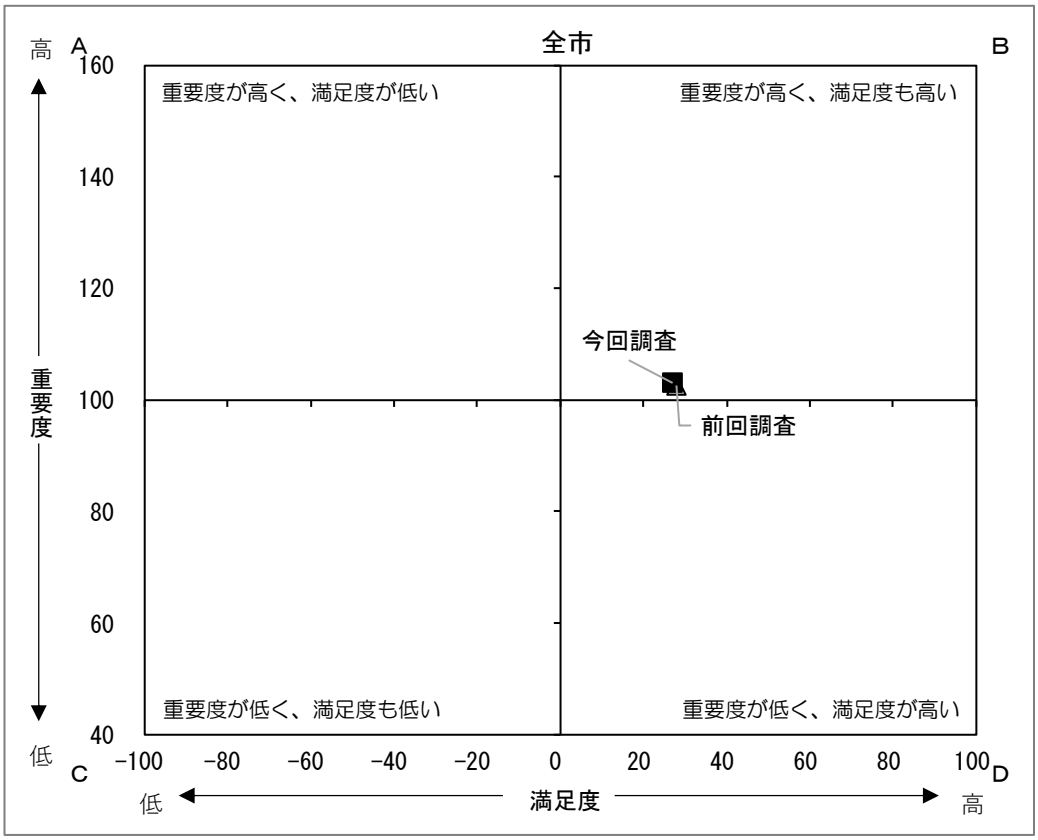
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低く、重要度は高くなっている。



〔地域総がかりで青少年の健全な育成を図る〕

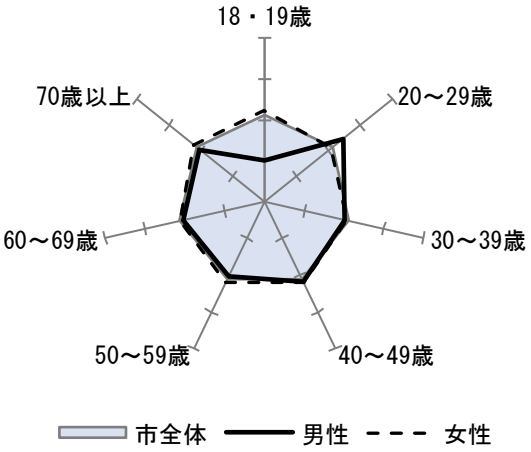
（６）青少年の健全な育成

《性年代別》

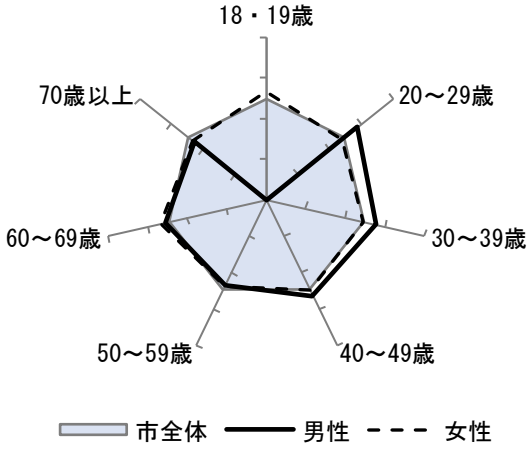
●満足度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳の男性と、18・19歳、40～50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

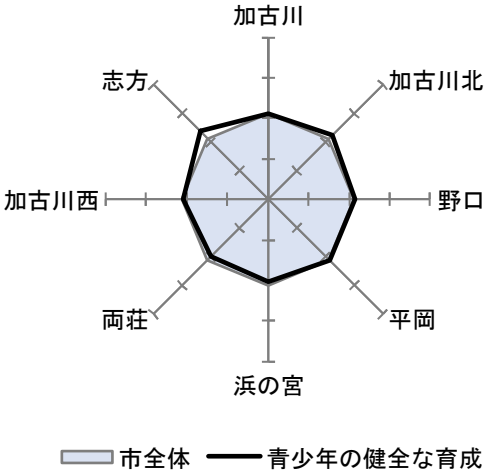


《居住地区別》

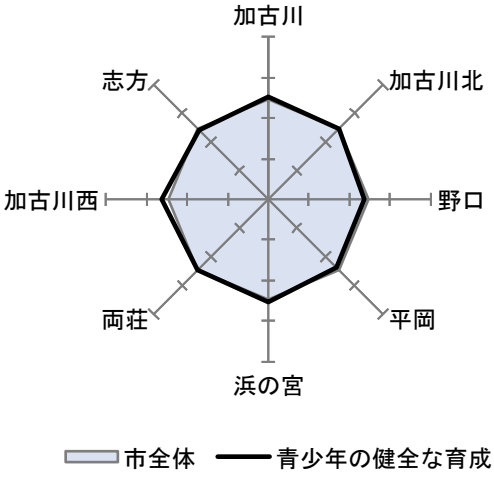
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



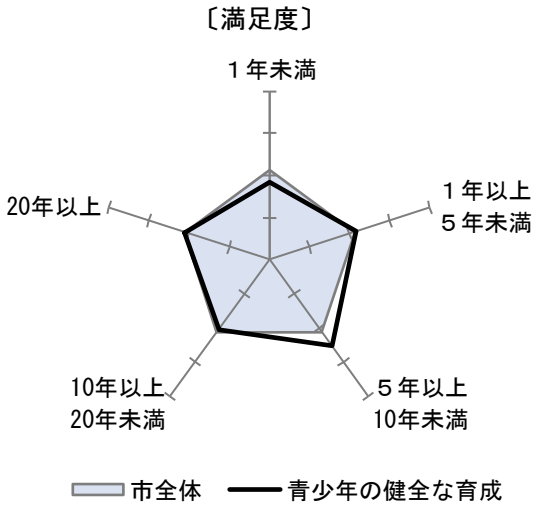
〔重要度〕

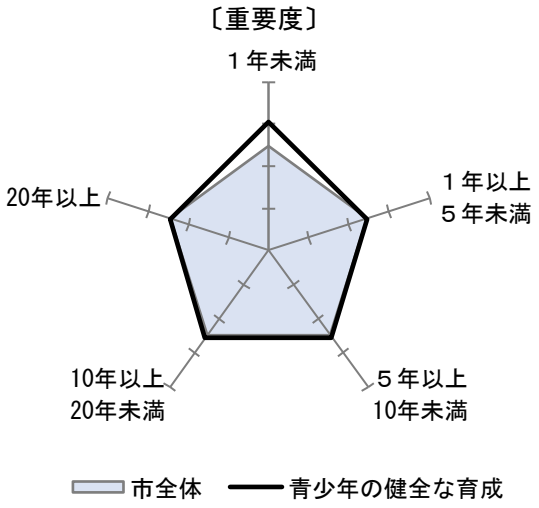


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

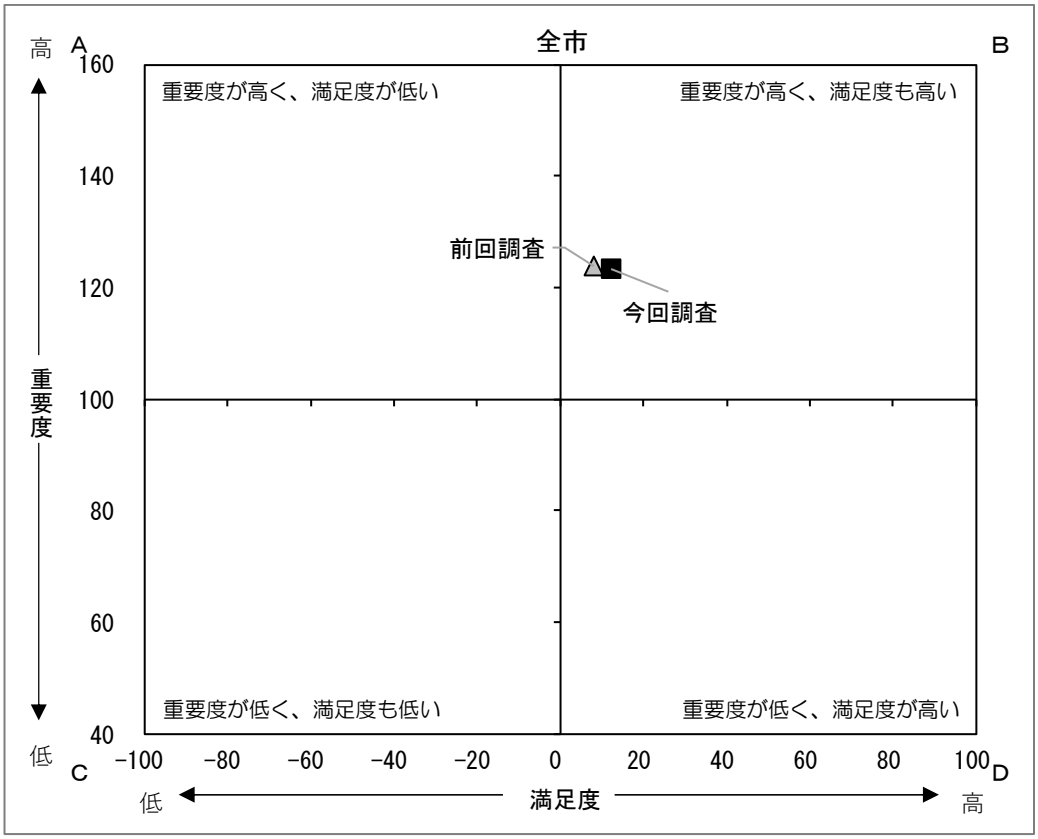
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



スポーツや文化・芸術を振興する

〔スポーツ・レクリエーション活動を推進する〕

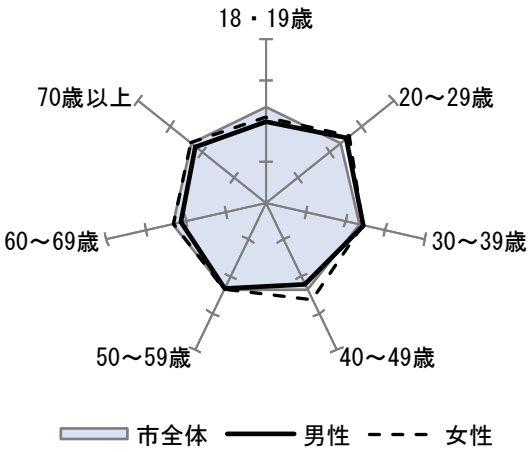
（７）スポーツ・レクリエーション活動機会の提供

《性年代別》

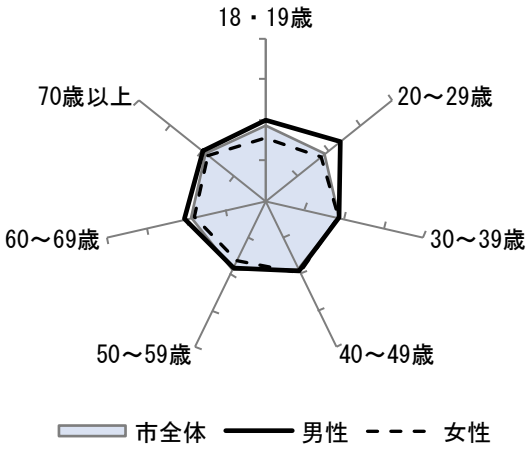
●満足度を性年代別でみると、20～30歳代の男性と、20～50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上の男性と、40～49歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

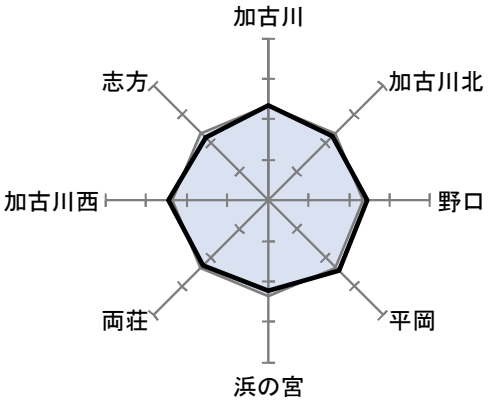


《居住地区別》

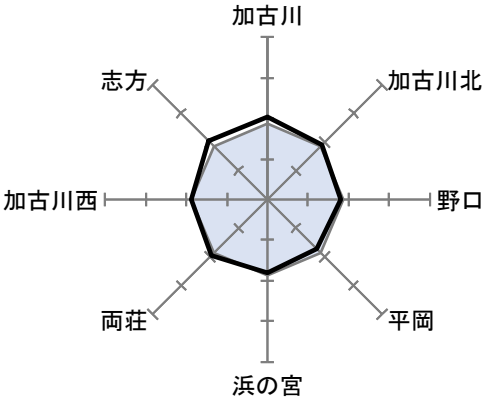
●満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



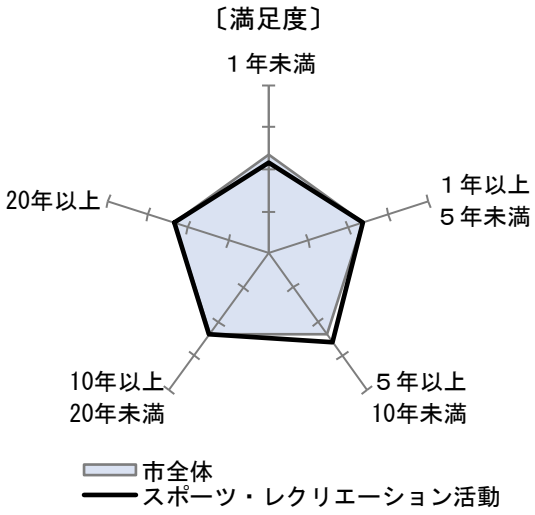
〔重要度〕

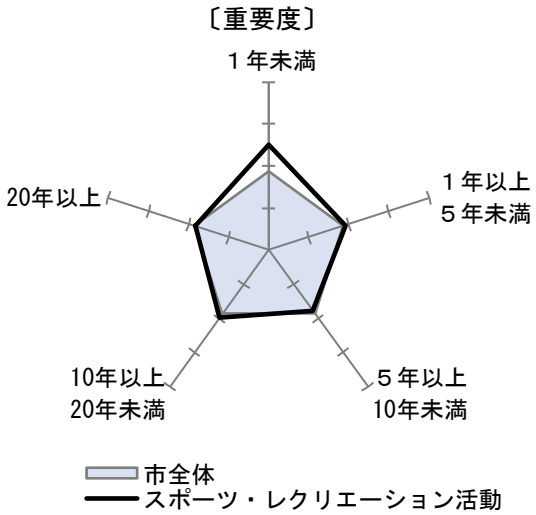


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

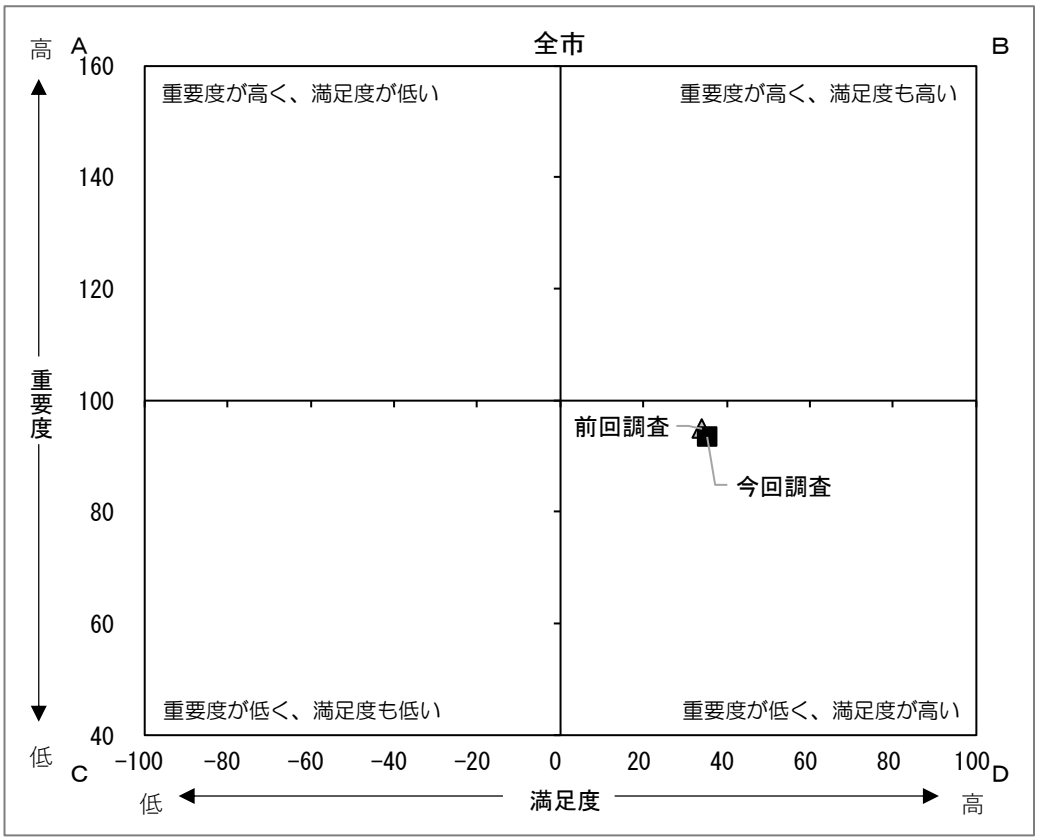
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔豊かな文化・芸術をはぐくむ〕

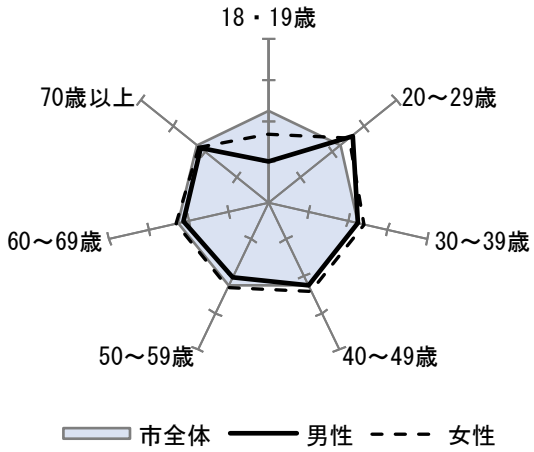
（８）文化・芸術に接する機会の提供

《性年代別》

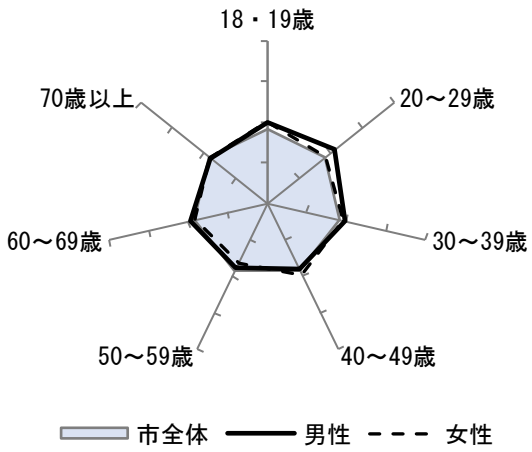
●満足度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳の男性と、20～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

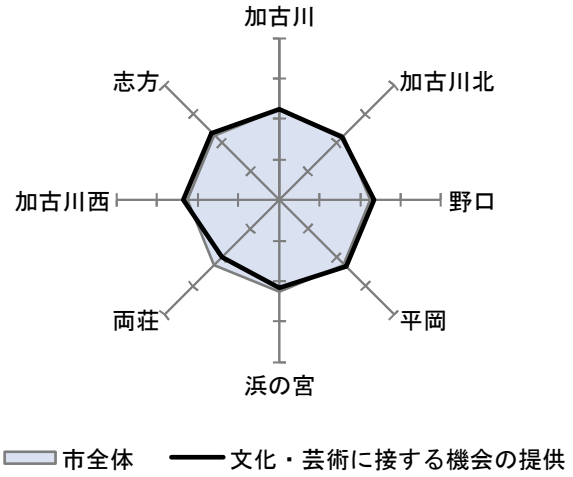


《居住地区別》

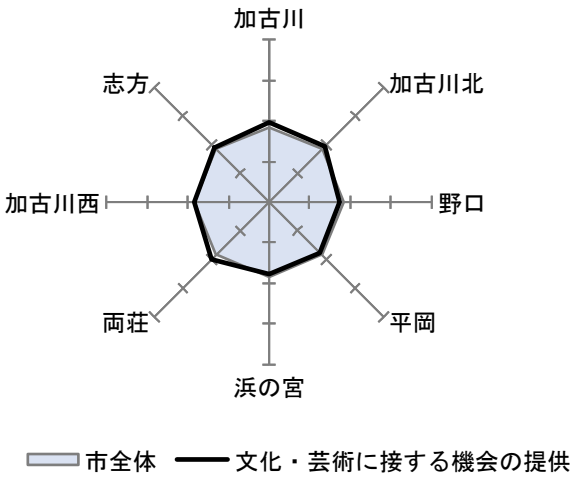
●満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、志方地区では市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

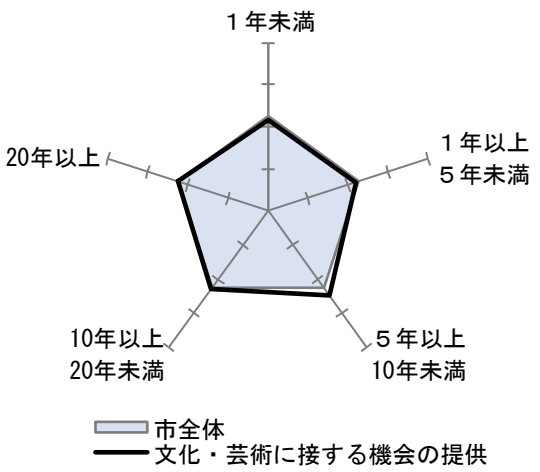


《居住期間別》

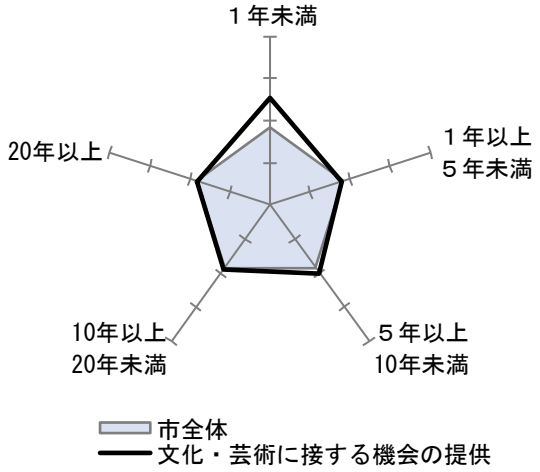
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

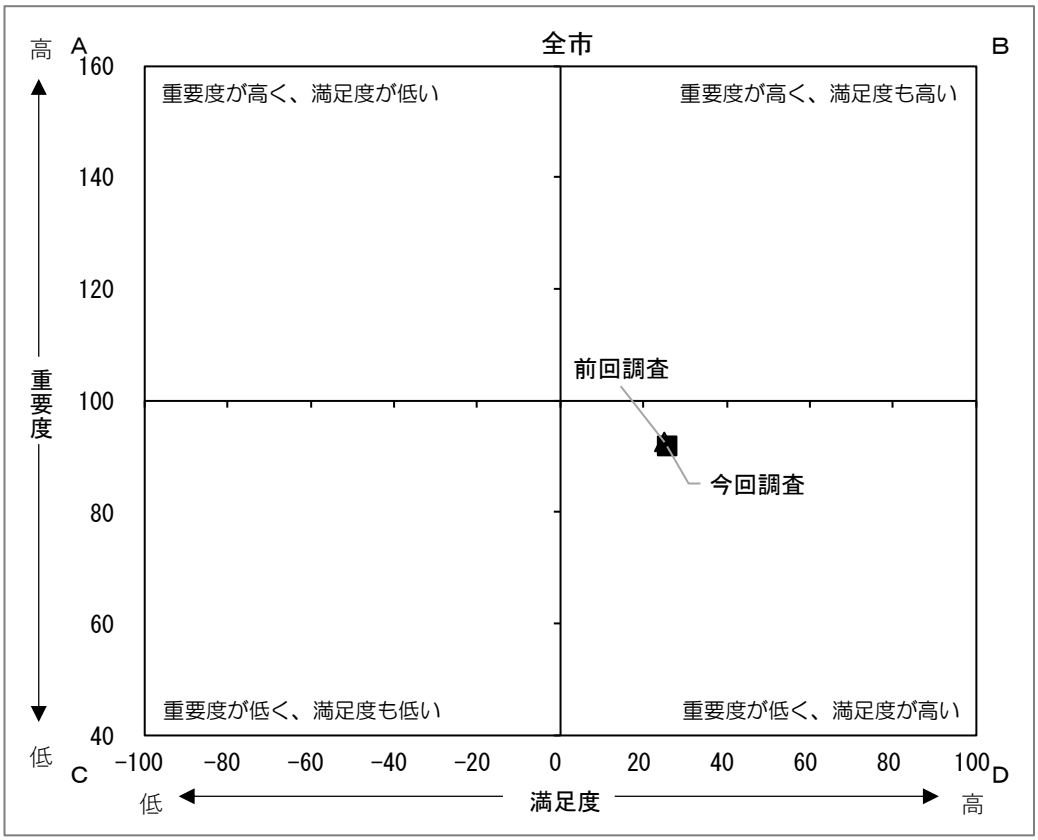


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



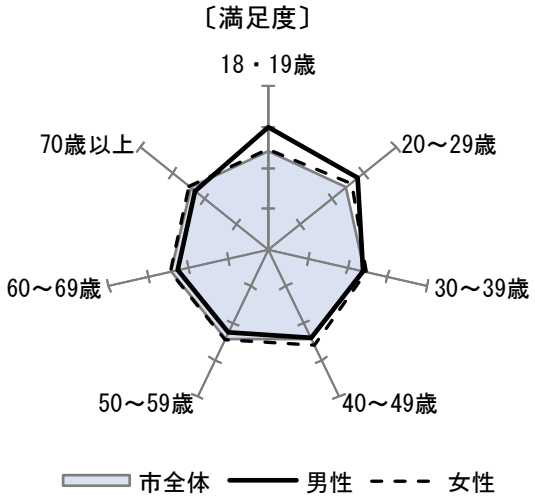
互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
〔人権文化を確立する〕

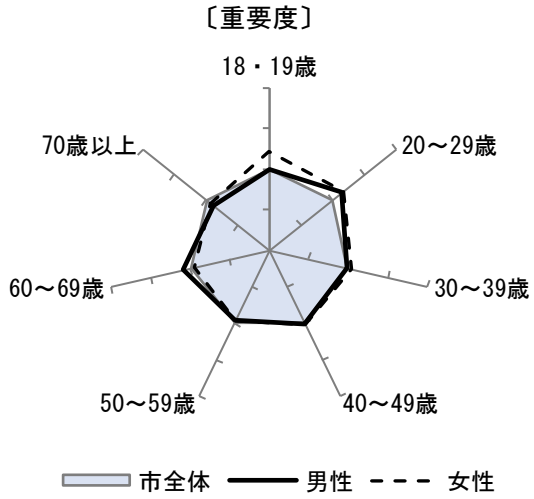
（９）人権教育や人権啓発の推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳の男性と、すべてのカテゴリーの女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

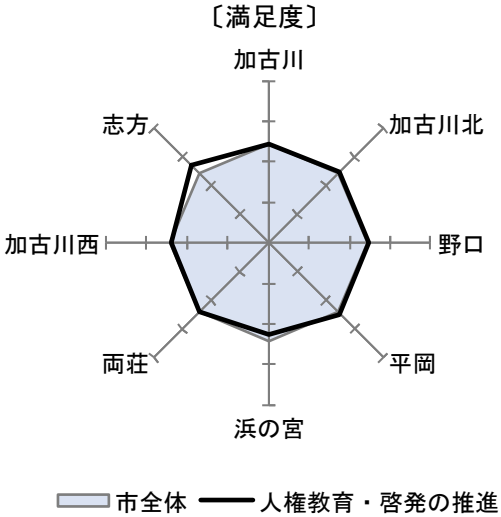


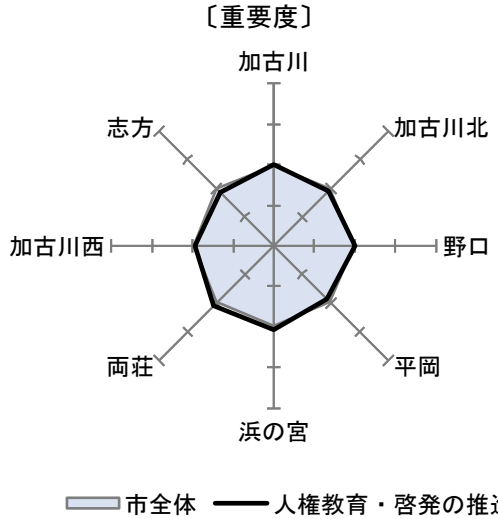


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、両荘地区で市全体平均より高くなっている。

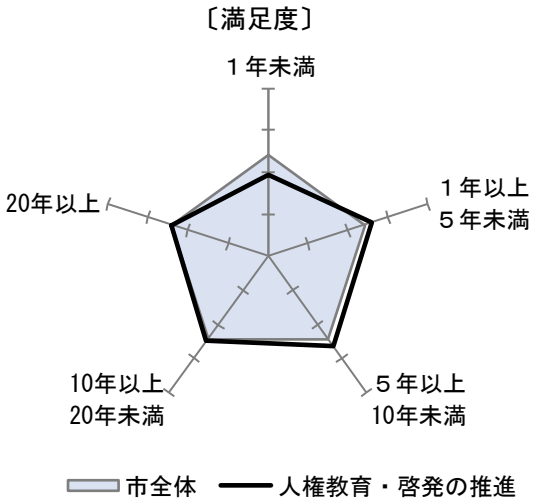


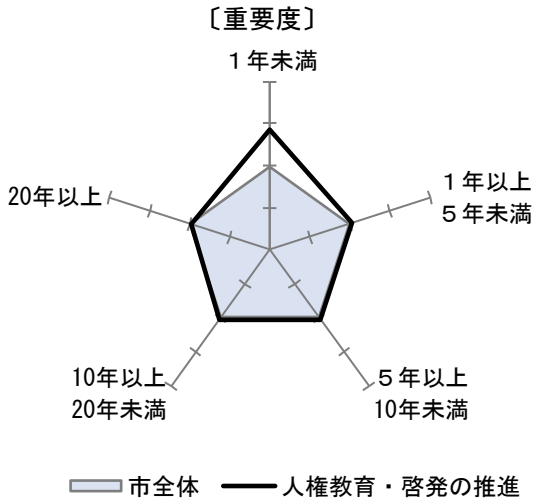


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

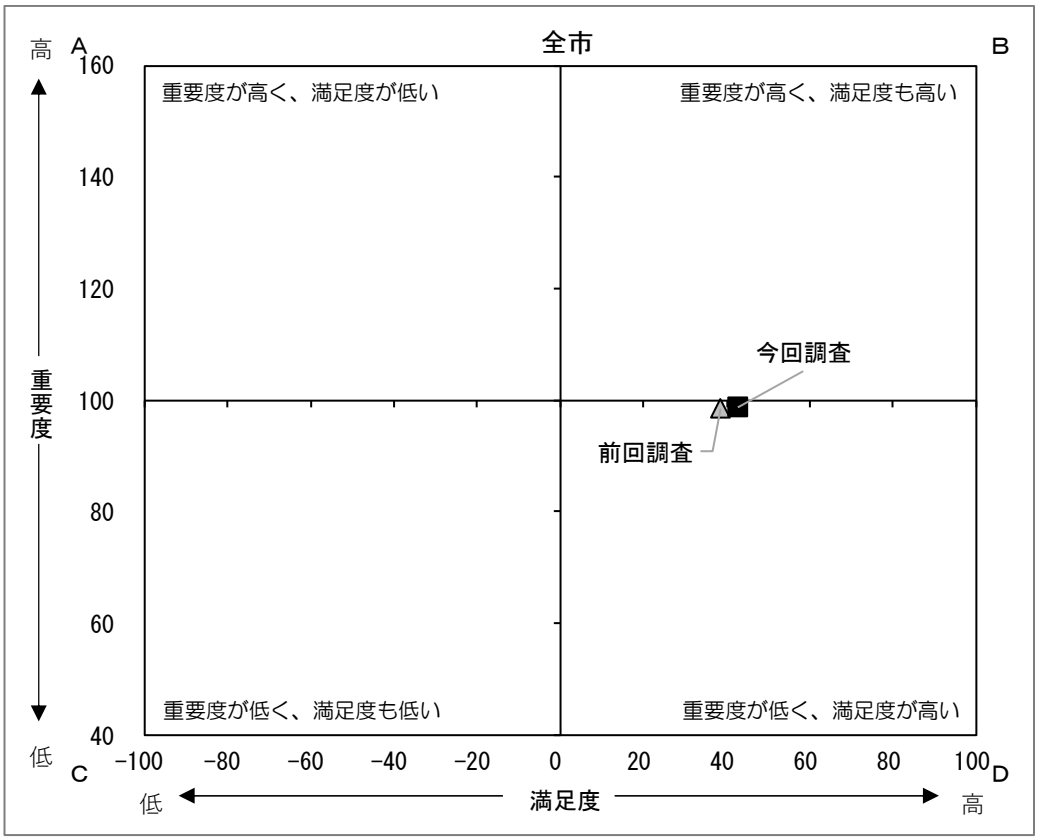
●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



〔男女共同参画社会の形成を推進する〕

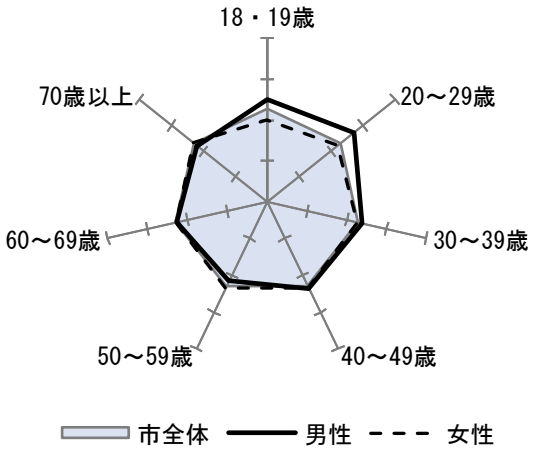
（10）男女共同参画の啓発

《性年代別》

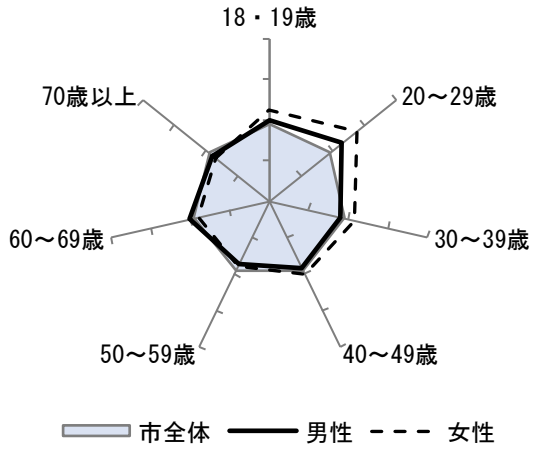
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代の男性と、40～50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、60～69歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

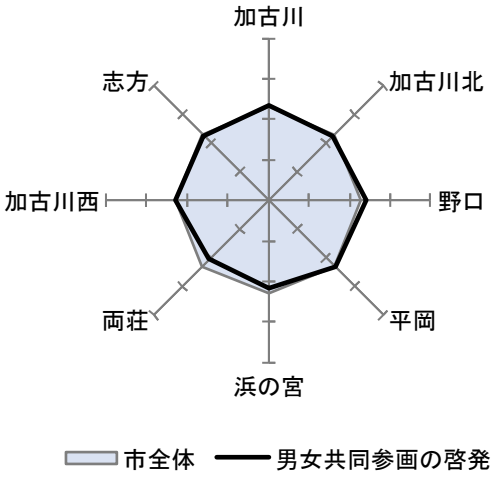


《居住地区別》

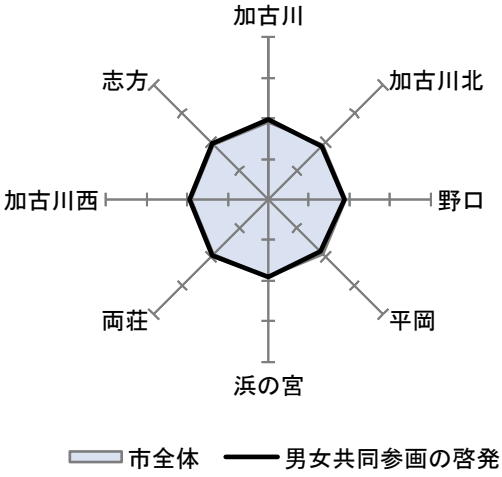
●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

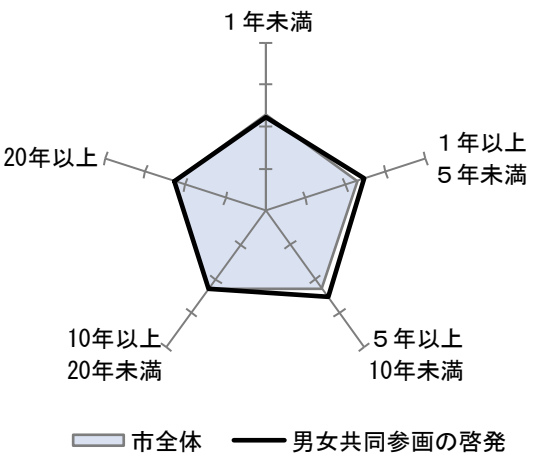


《居住期間別》

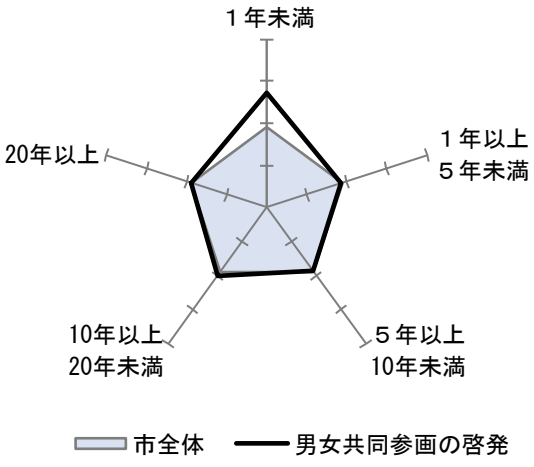
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

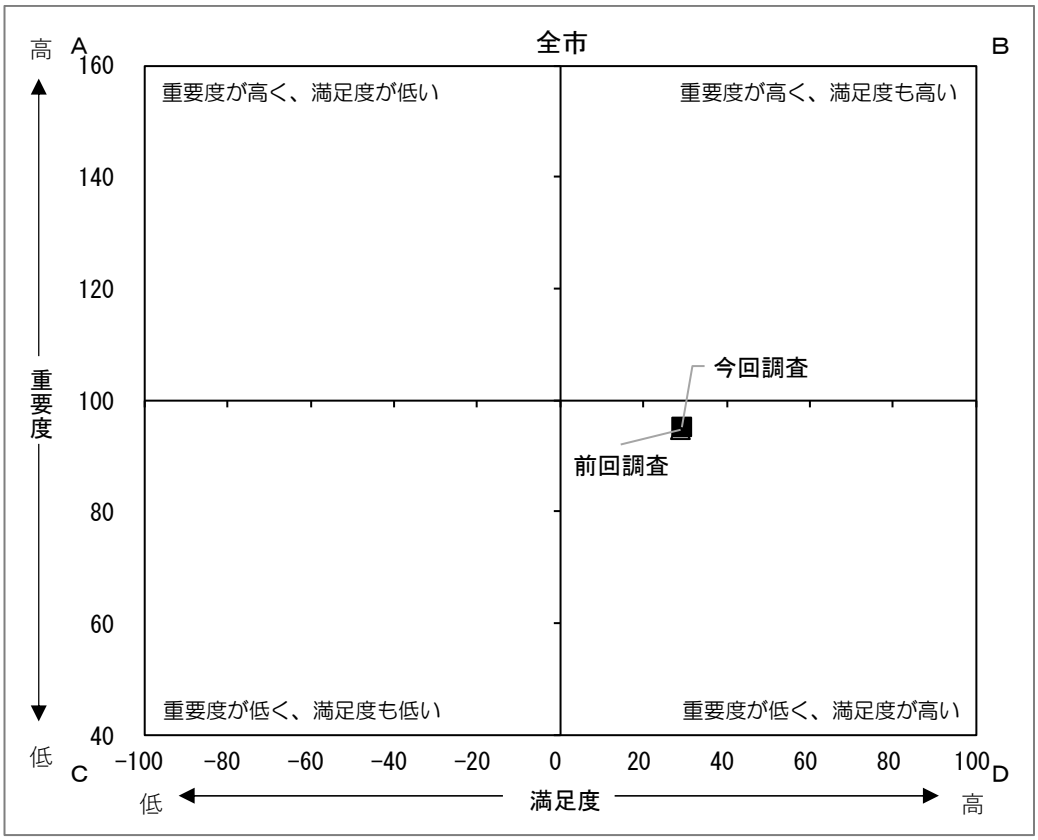


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

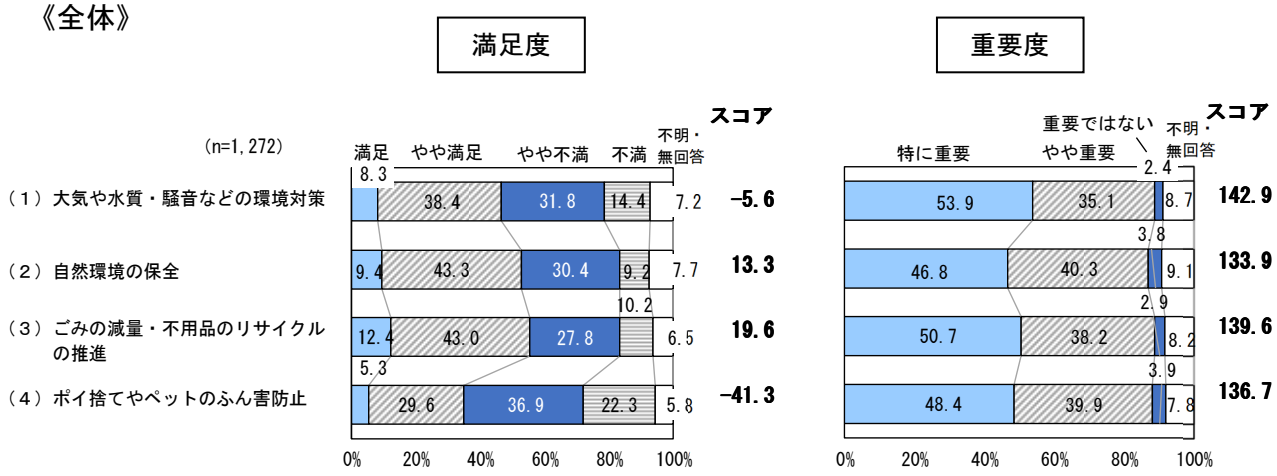


3-3　うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（３）ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」で、最も低い項目は「（４）ポイ捨てやペットのふん害防止」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（１）大気や水質・騒音などの環境対策」で、最も低い項目は「（２）自然環境の保全」となっている。

《全体》



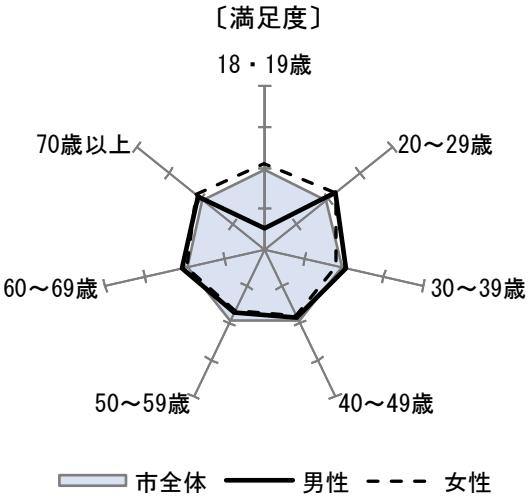
地球環境と地域の環境を保全する
〔環境保全を実践する〕

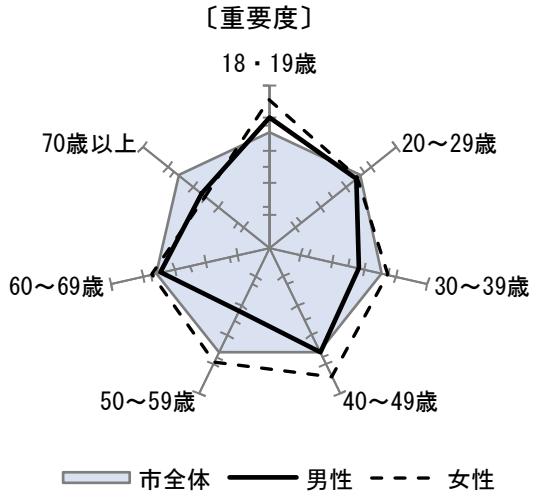
（１）大気や水質・騒音等の環境対策

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～30歳代、60～69歳、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳の男性と、70歳以上を除く女性で市全体平均より高くなっている。

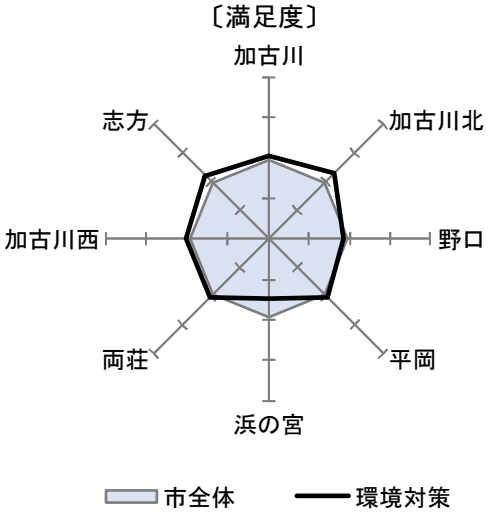


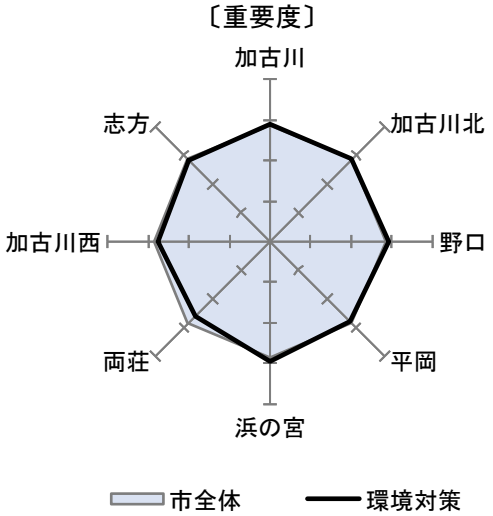


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、野口、浜の宮を除くすべての地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

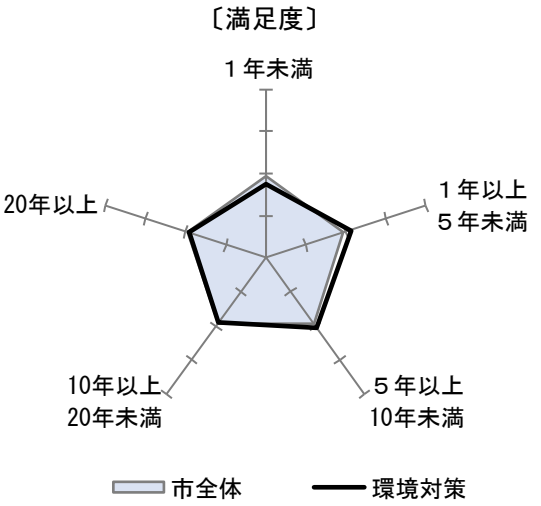


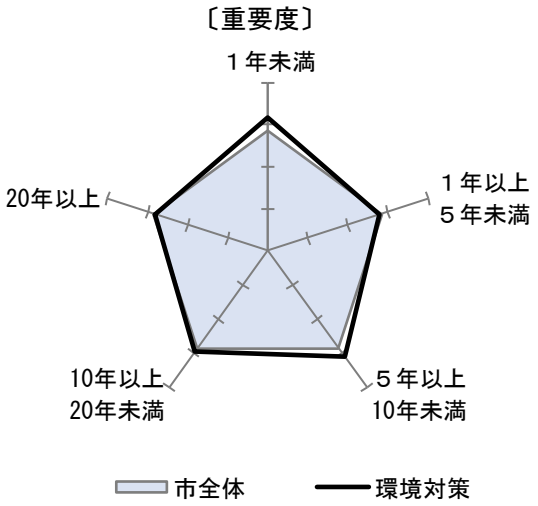


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

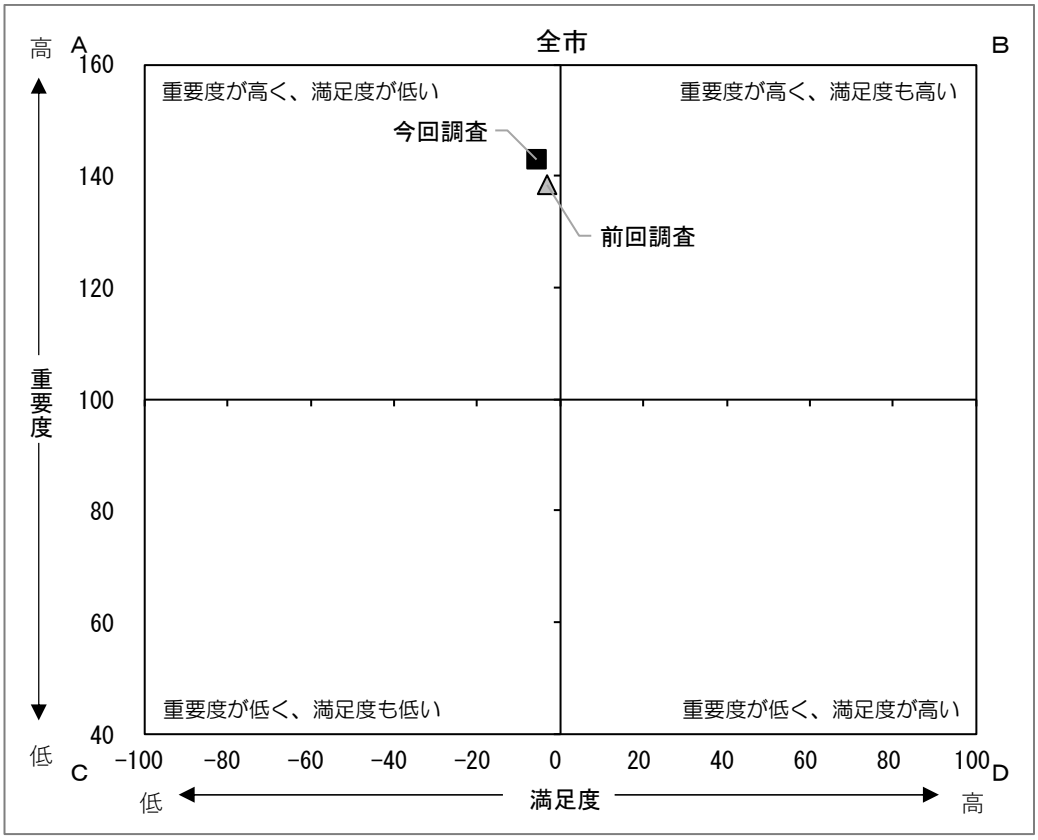
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔地域の自然環境を守る〕

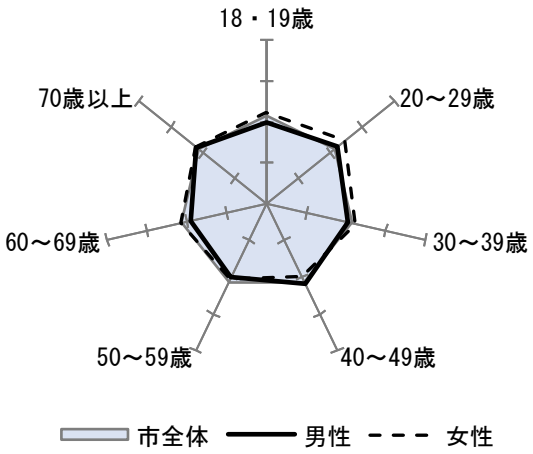
（２）自然環境の保全

《性年代別》

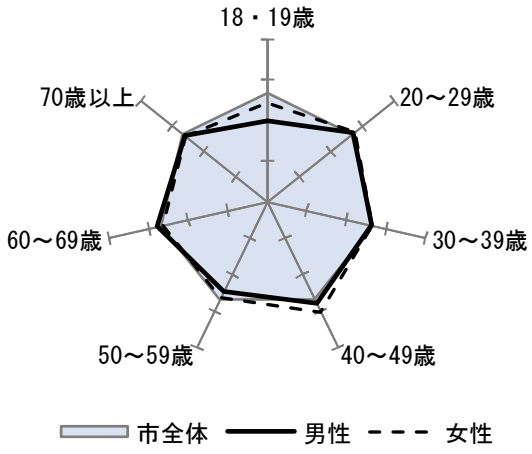
●満足度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳、70歳以上の男性と、40～50歳代を除く女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳、60～69歳の男性と、20～29歳、40～49歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

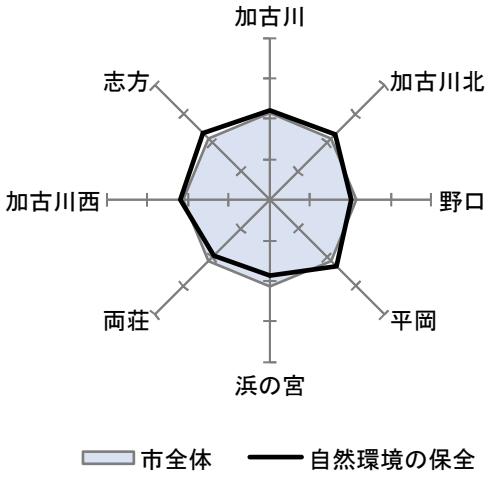


《居住地区別》

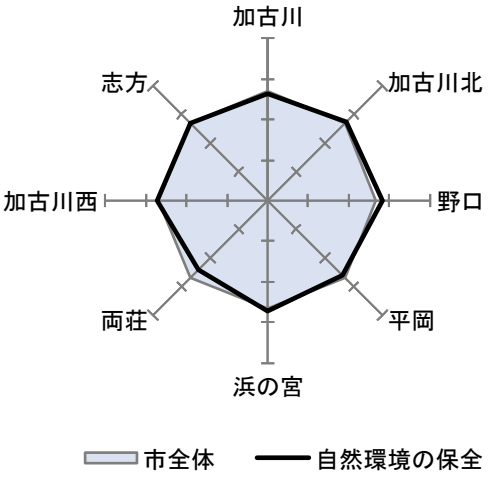
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、浜の宮、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



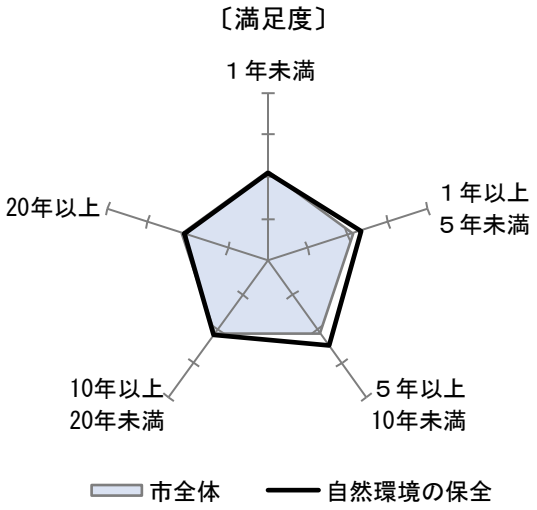
〔重要度〕

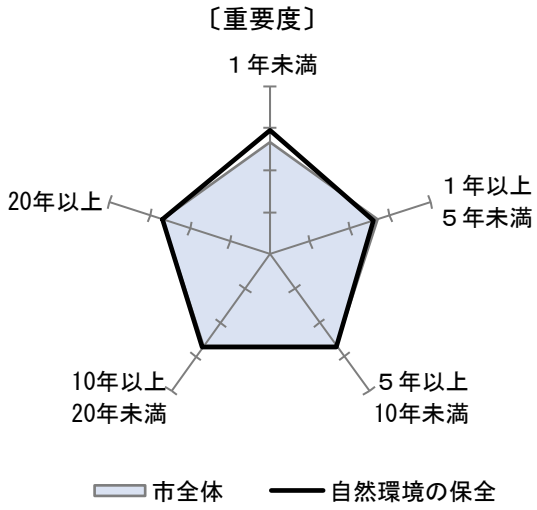


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

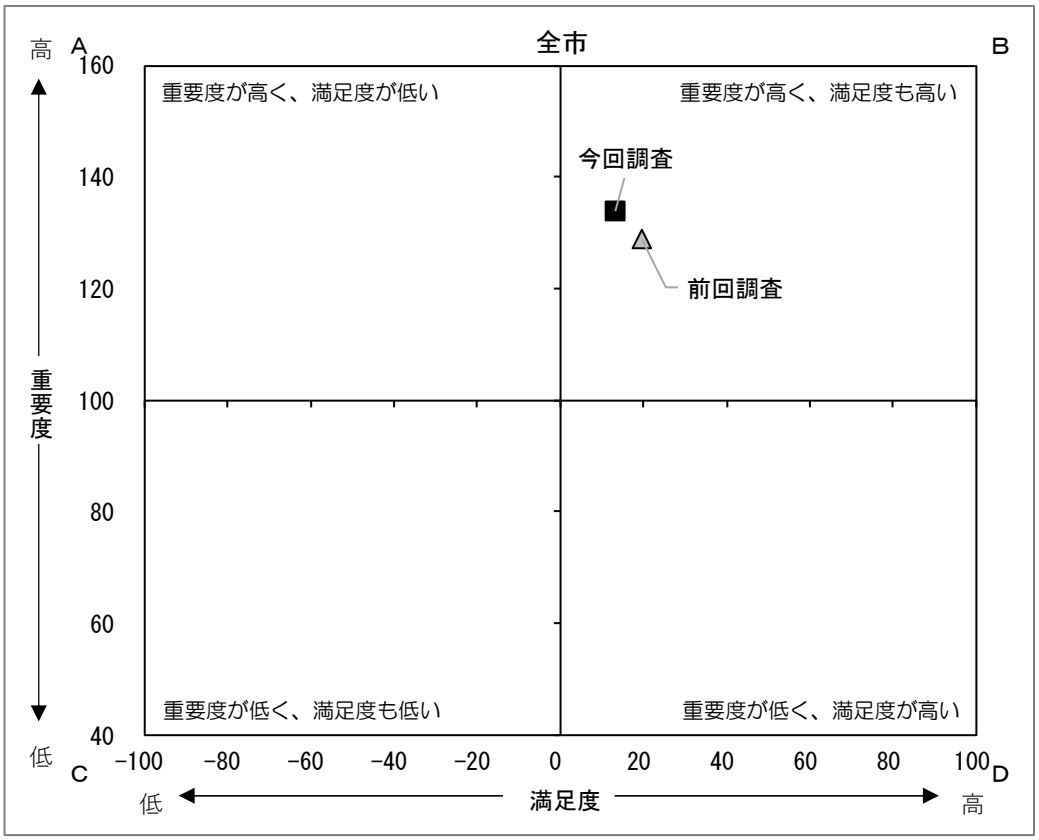
●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



資源の循環と環境美化を推進する

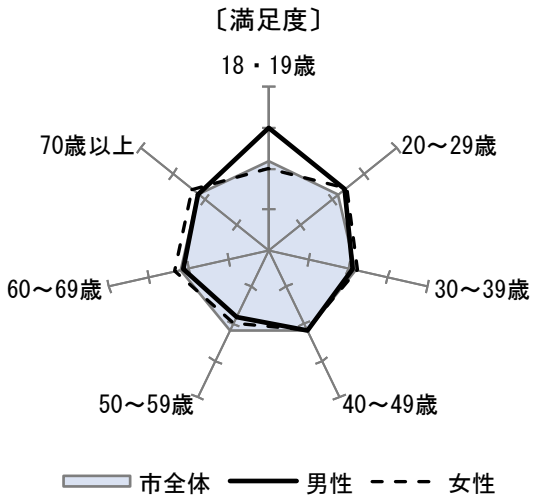
〔ごみを減らし、リサイクルを進める〕

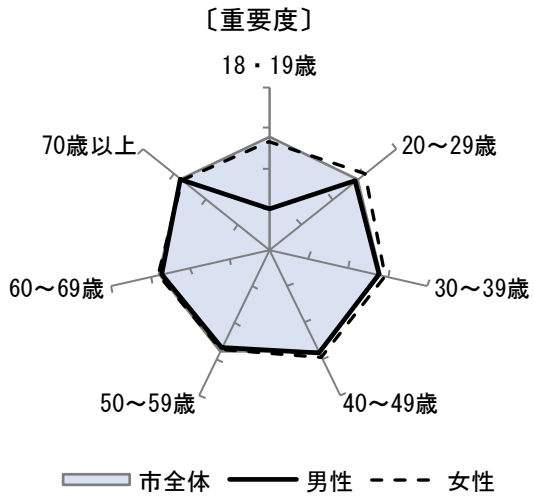
（３）ごみの減量・不用品のリサイクルの推進

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、70歳以上の男性と、20～30歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、40～49歳、70歳以上の男性と、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

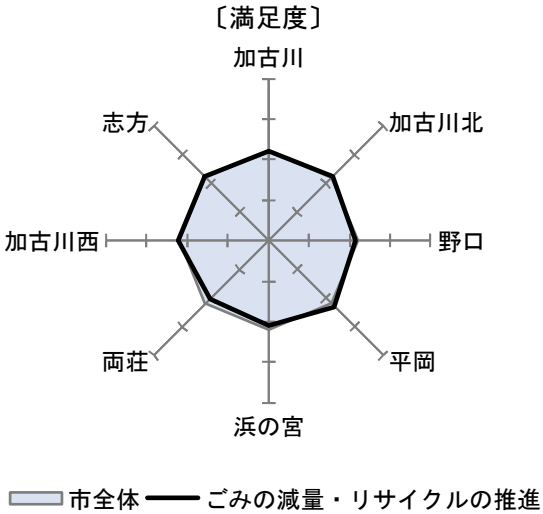


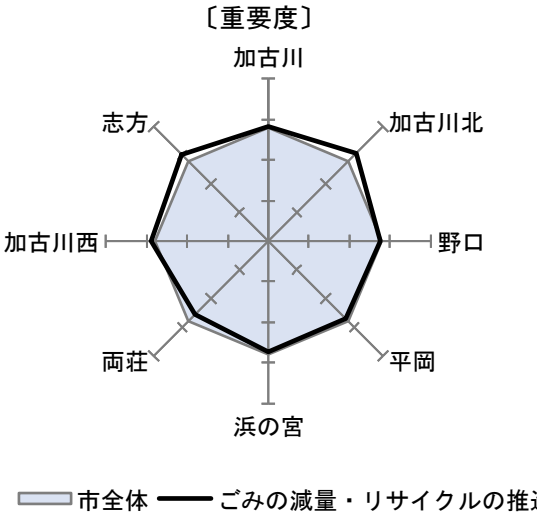


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

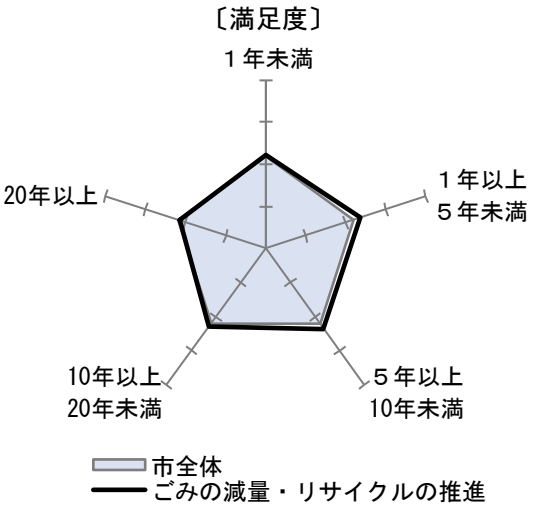


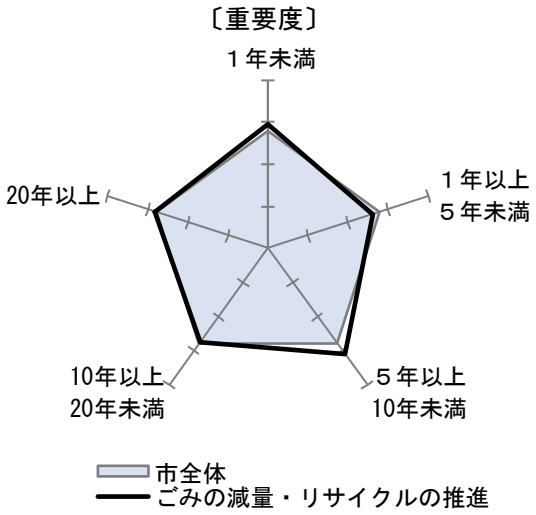


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

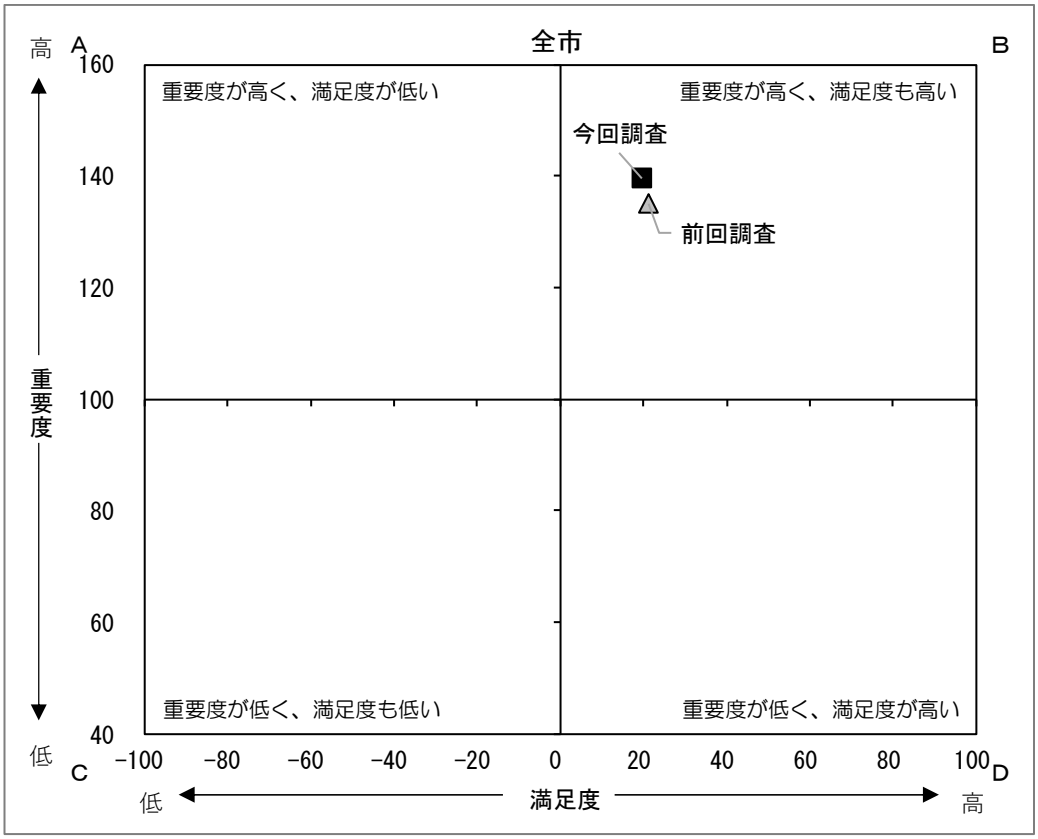
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔清潔で美しい環境をつくる〕

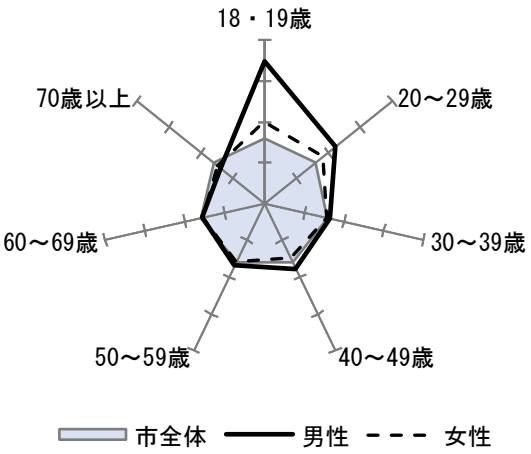
（４）ポイ捨てやペットのふん害防止

《性年代別》

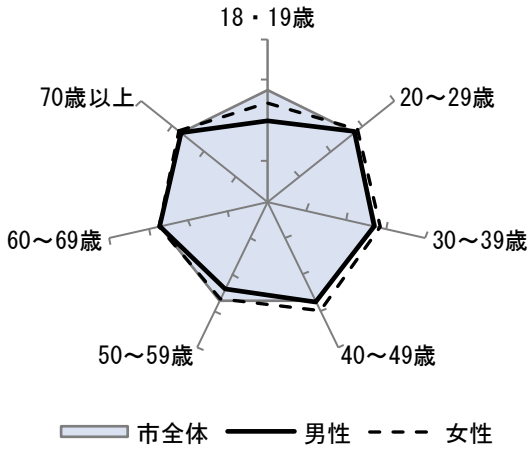
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～50歳代の男性と、18・19歳、20～29歳の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳、60～69歳の男性と、20～40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

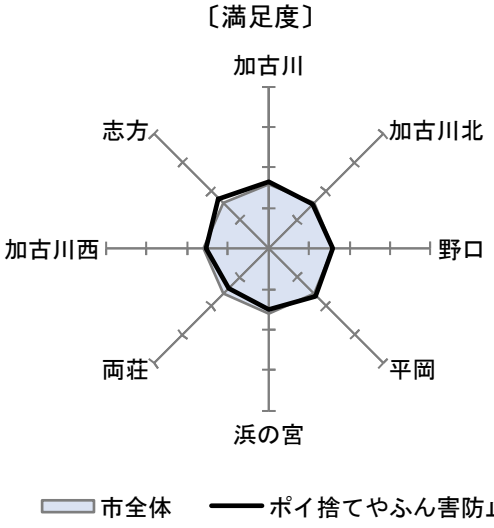


《居住地区別》

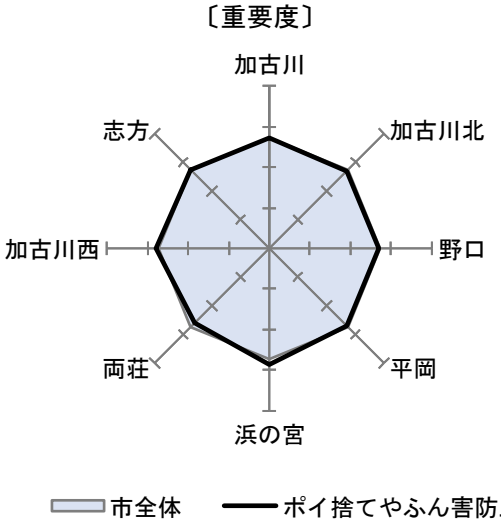
●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、浜の宮、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



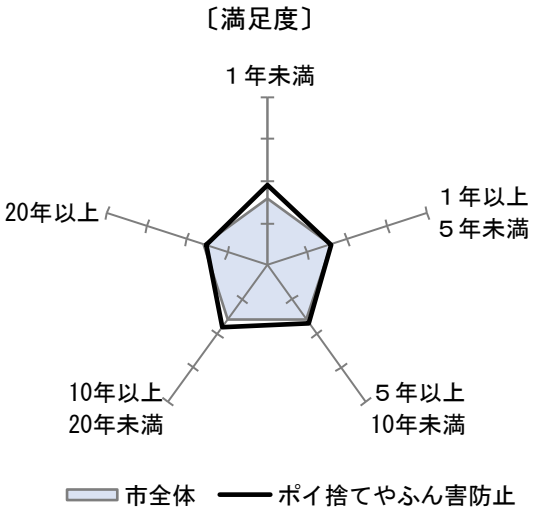
〔重要度〕

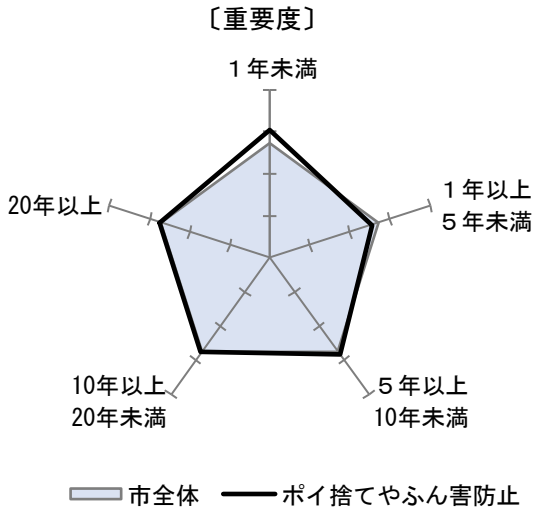


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

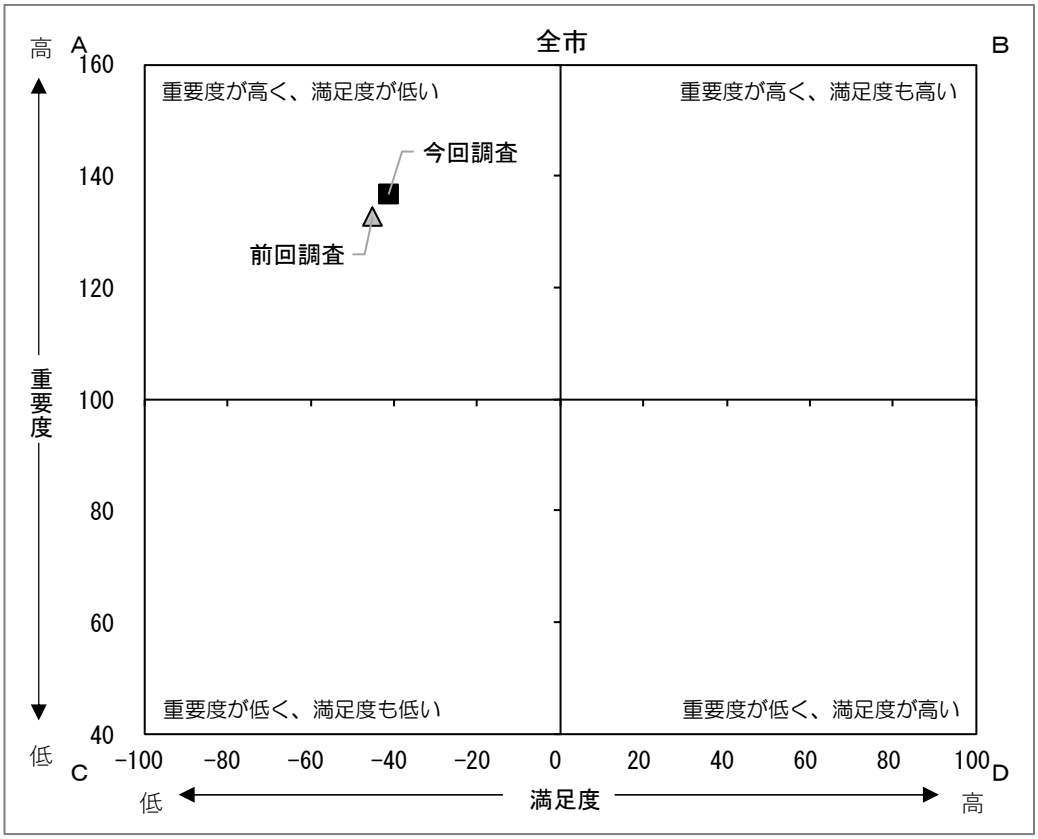
●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。

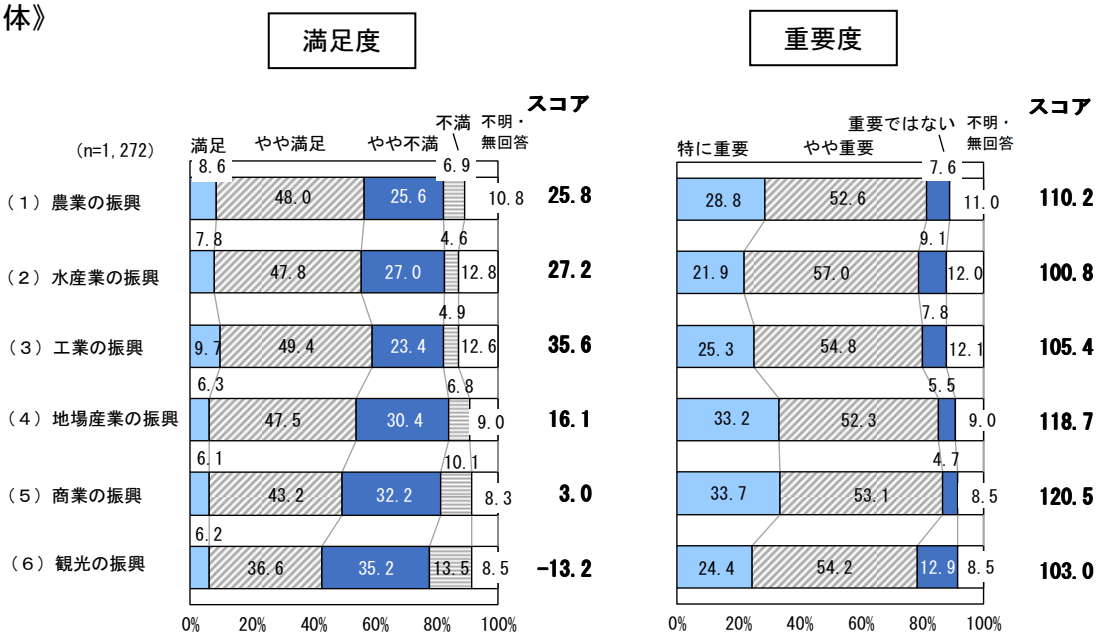


3-4　にぎわいの中で暮らせるまちをめざして

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（３）工業の振興」、次いで「（２）水産業の振興」となっている。一方、最も低いのは「（５）商業の振興」、「（６）観光の振興」、次いで「（４）地場産業の振興」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（５）商業の振興」、次いで「（４）地場産業の振興」となっている。一方、最も低い項目は「（２）水産業の振興」、次いで「（６）観光の振興」となっている。

《全体》



農業・水産業を振興する

〔農業を振興する〕

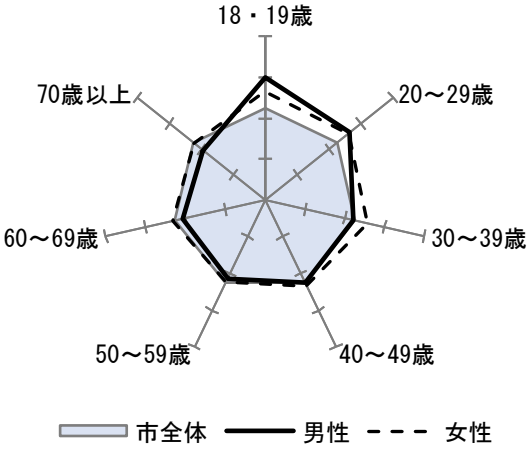
（１）農業の振興

《性年代別》

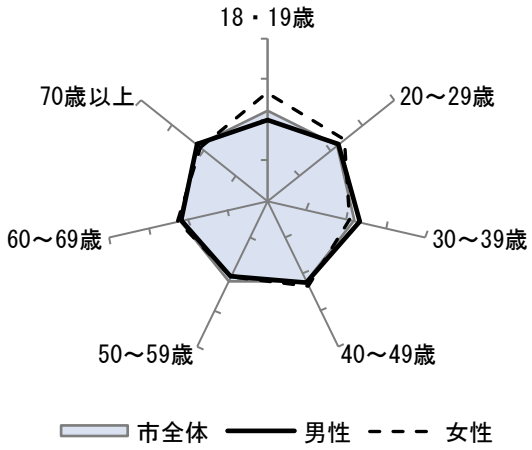
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

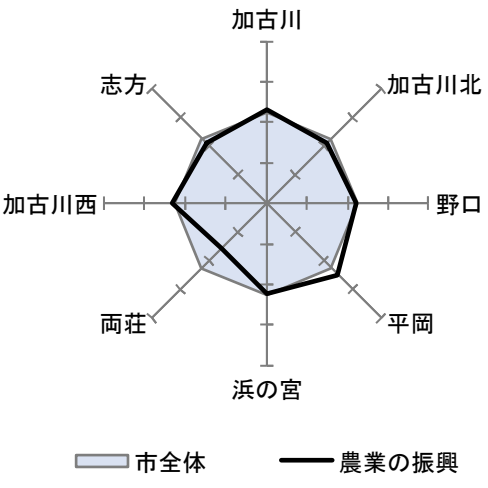


《居住地区別》

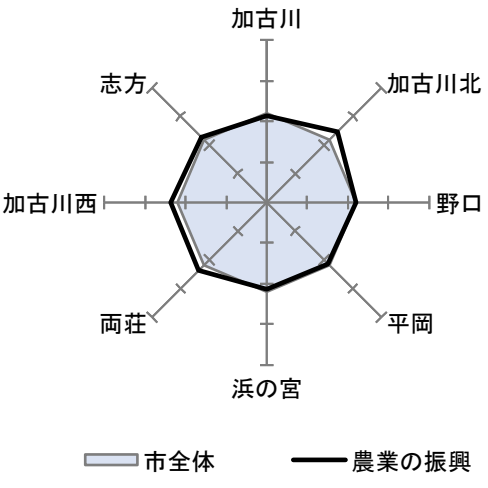
●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川北、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



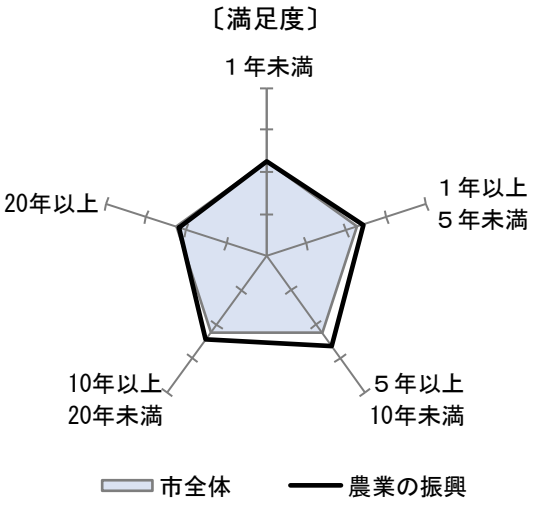
〔重要度〕

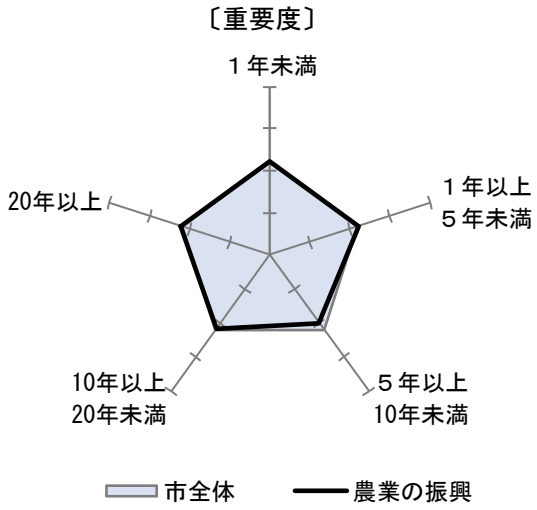


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

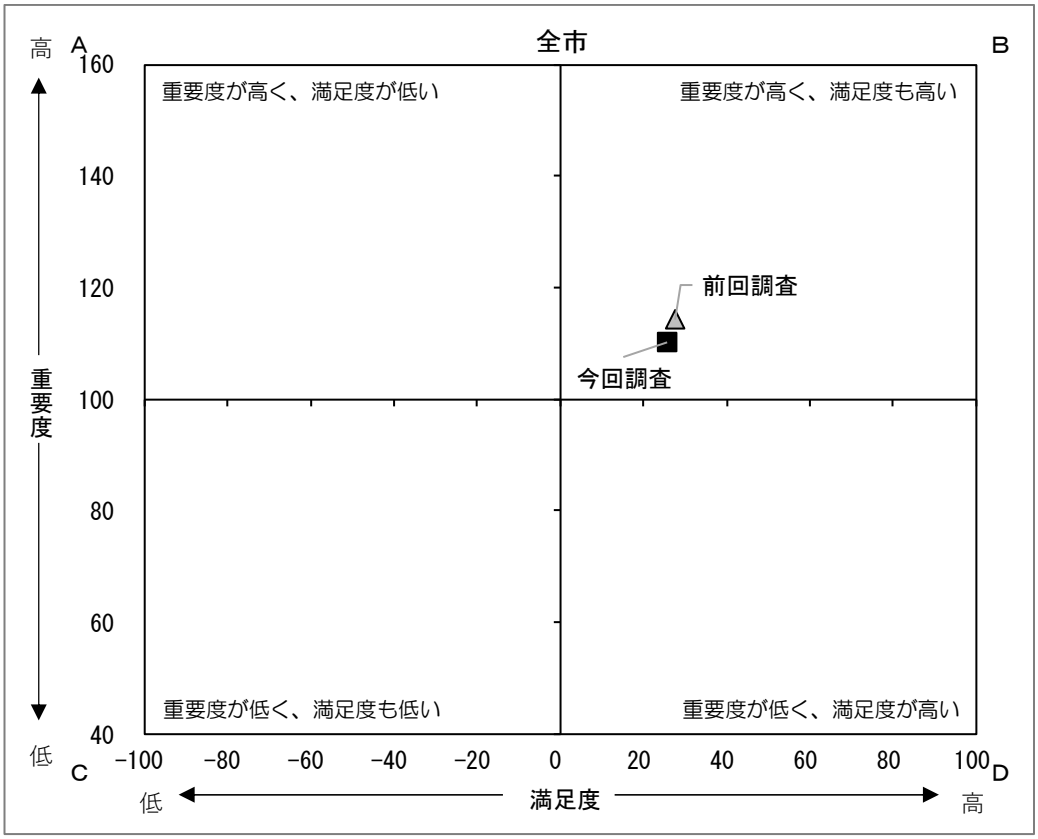
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



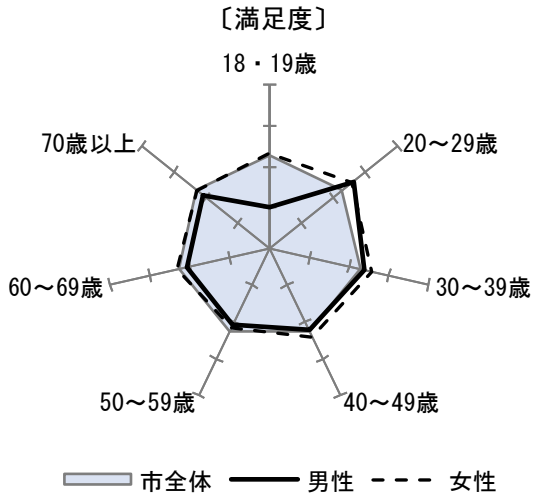
〔水産業を振興する〕

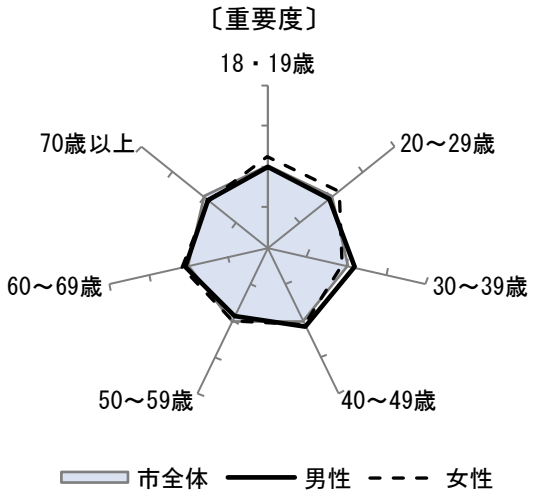
（２）水産業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～30歳代の男性と、50～59歳を除く女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、30～40歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

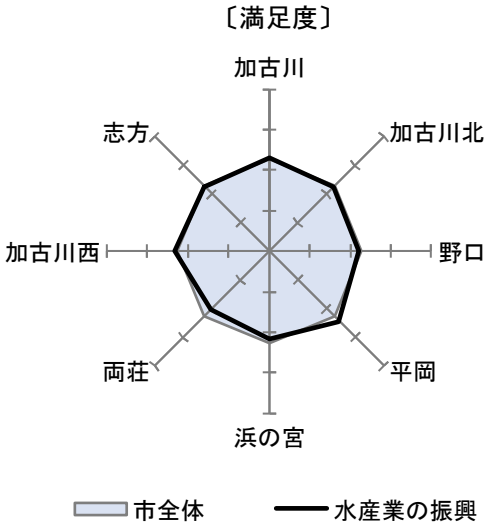


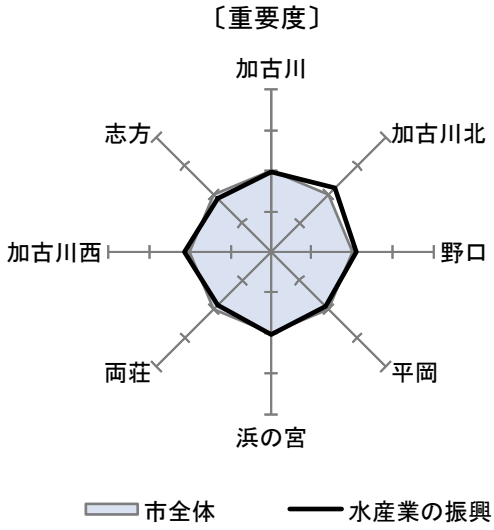


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、浜の宮、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

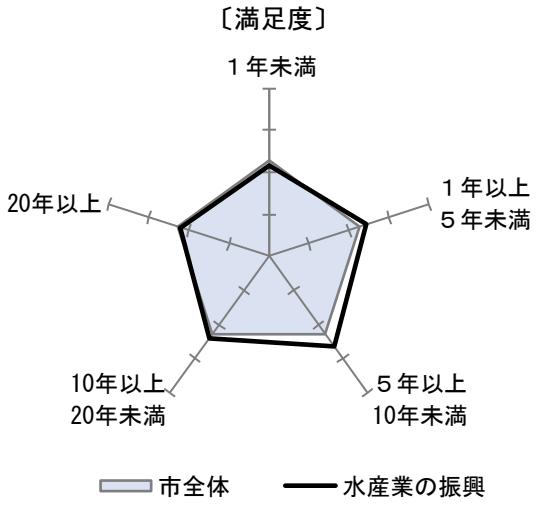


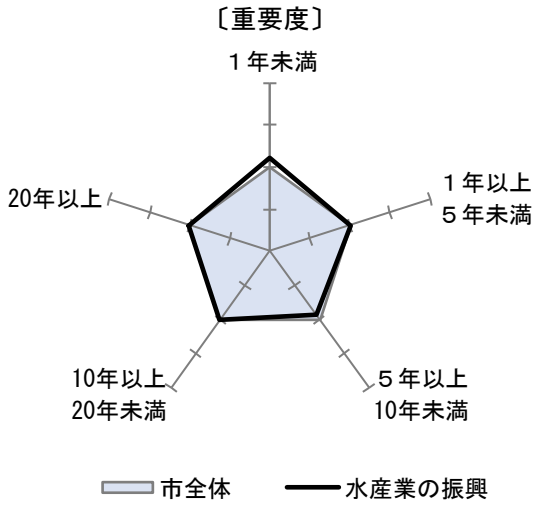


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

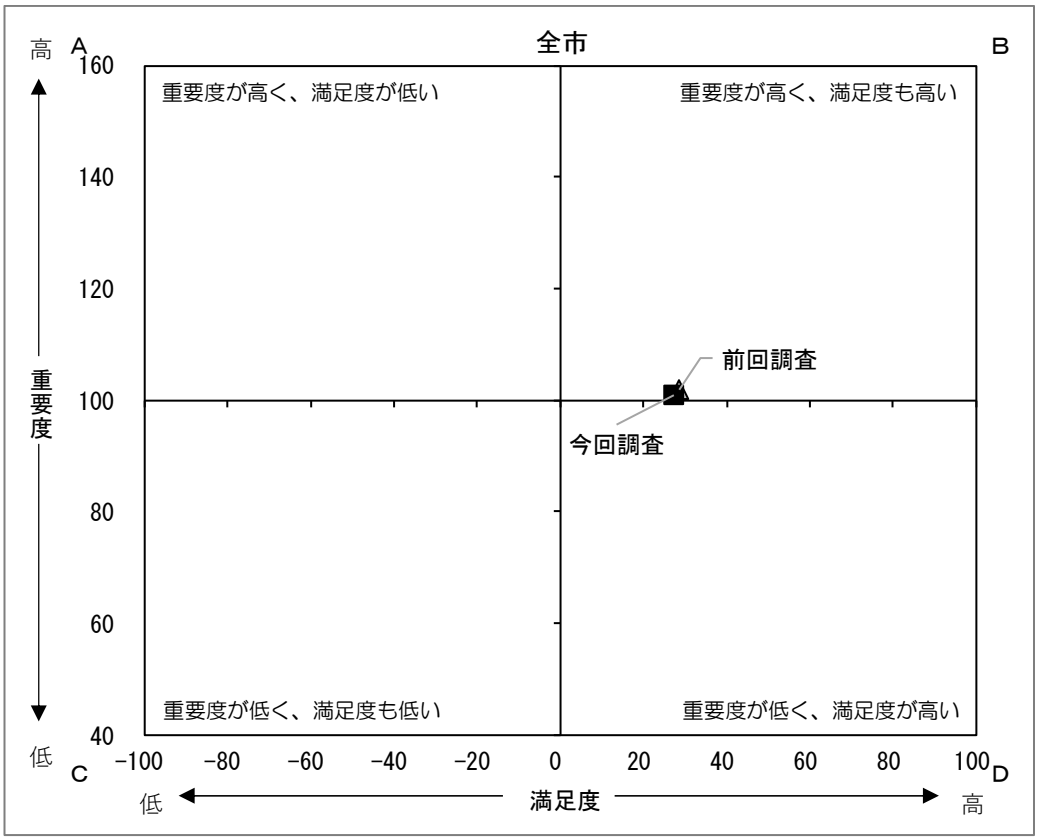
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



工業・地場産業を振興する

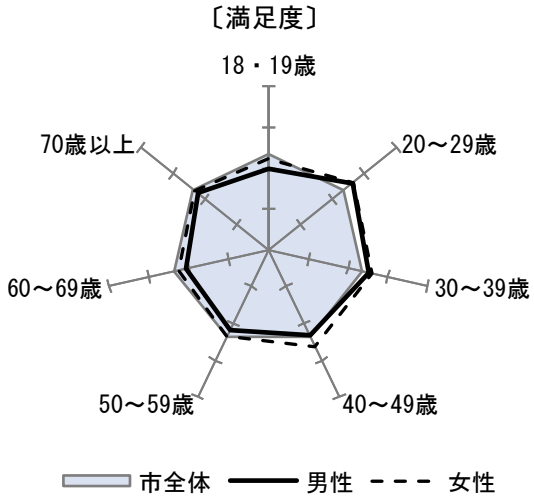
〔工業を振興する〕

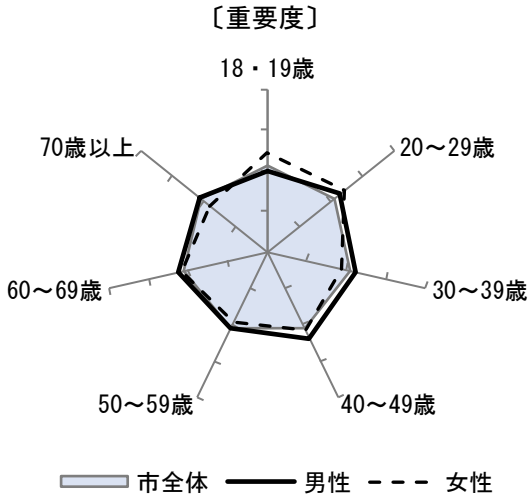
（３）工業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～30歳代の男性と、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60～69歳、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

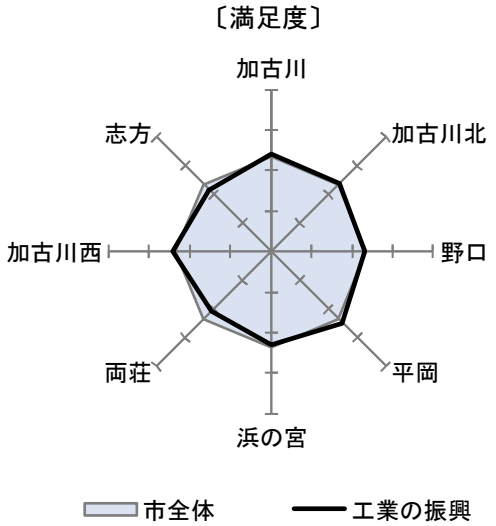


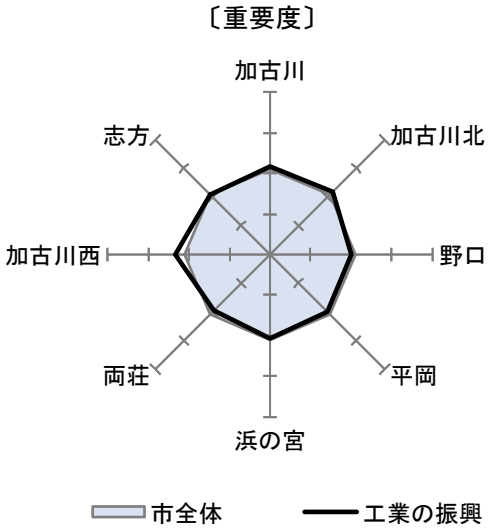


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

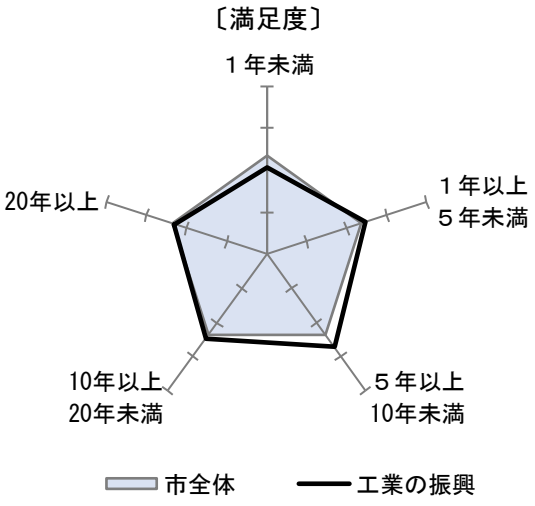


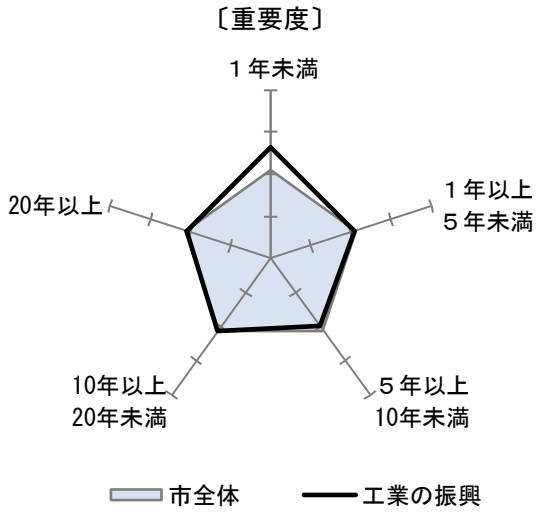


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

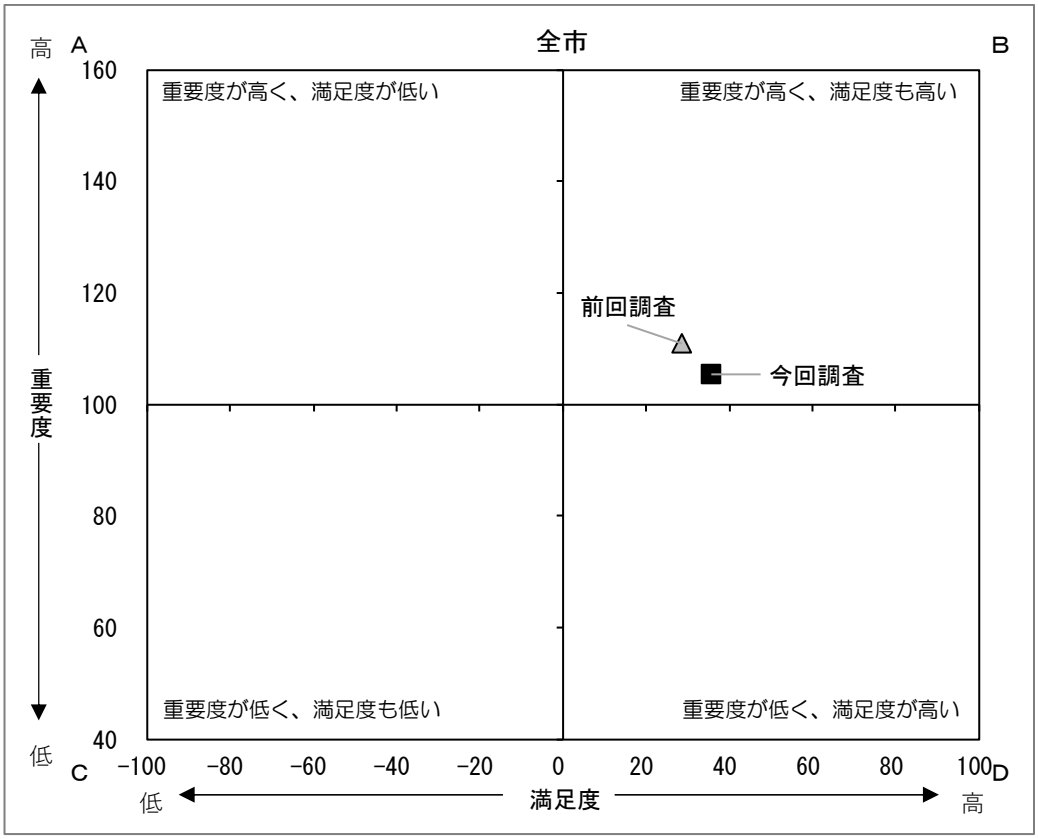
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔地場産業を振興する〕

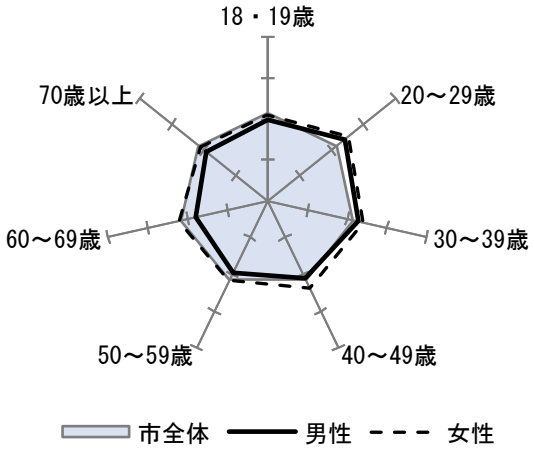
（４）地場産業の振興

《性年代別》

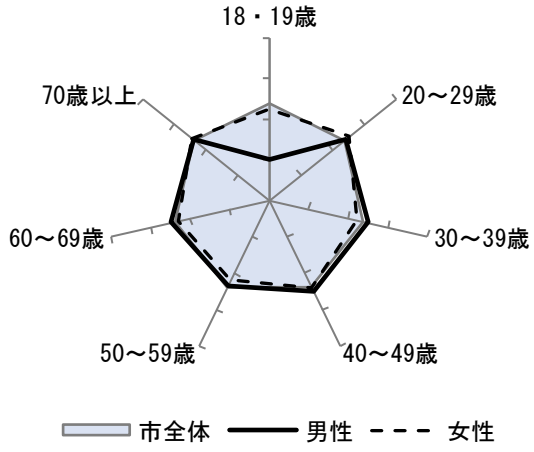
●満足度を性年代別でみると、20～30歳代の男性と、20～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60～69歳、70歳以上の男性と、20～29歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

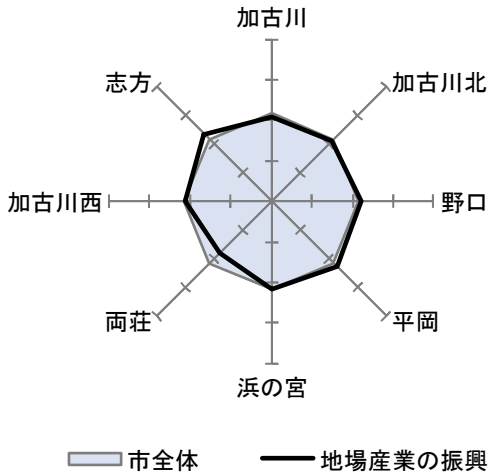


《居住地区別》

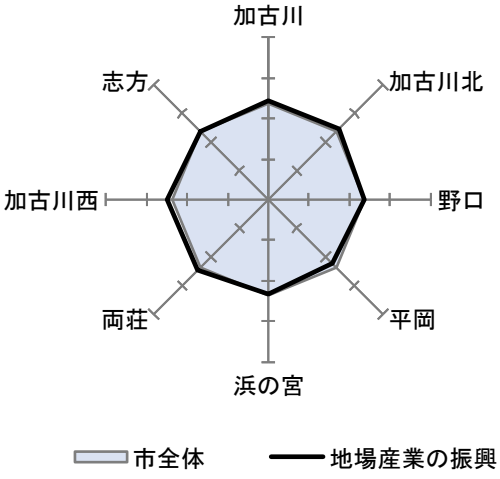
●満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、浜の宮、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



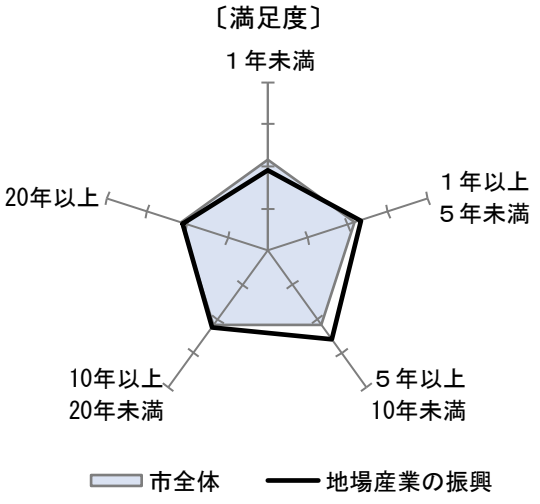
〔重要度〕

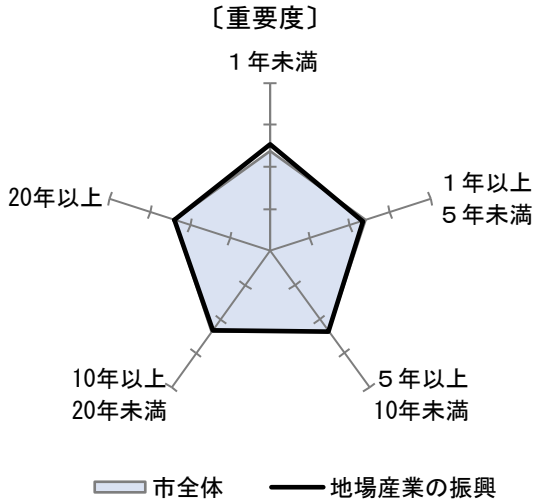


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

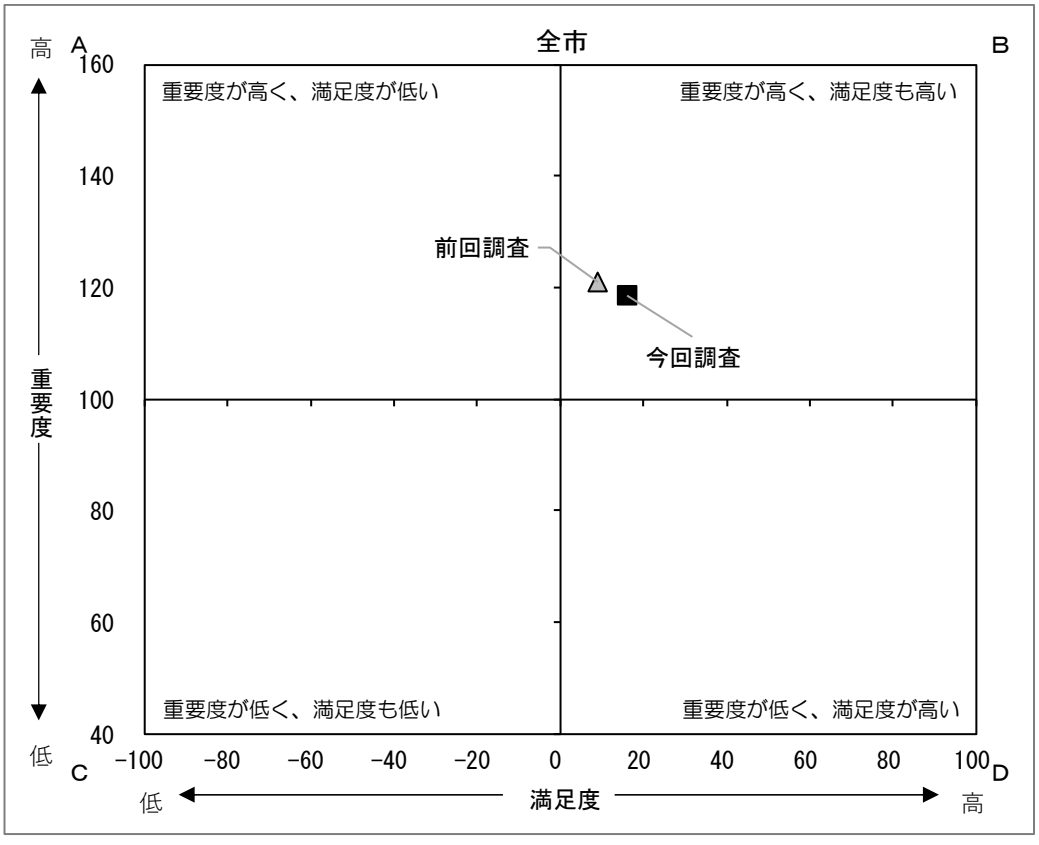
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



商業・観光を振興する

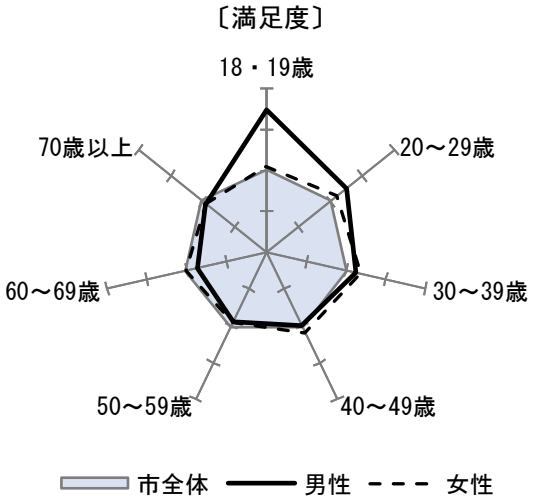
〔商業・サービス業を振興する〕

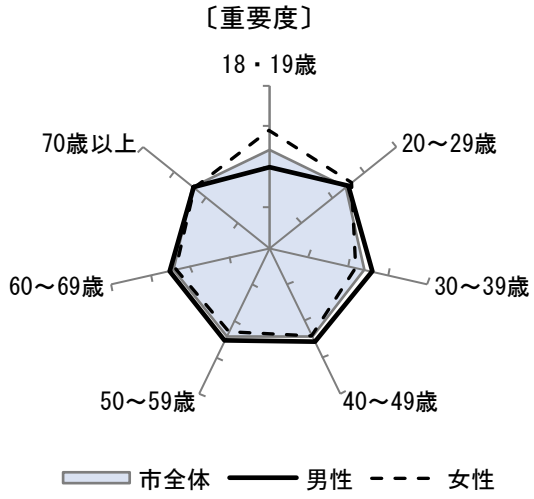
（５）商業の振興

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～60歳代の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳の女性で市全体平均より高くなっている。

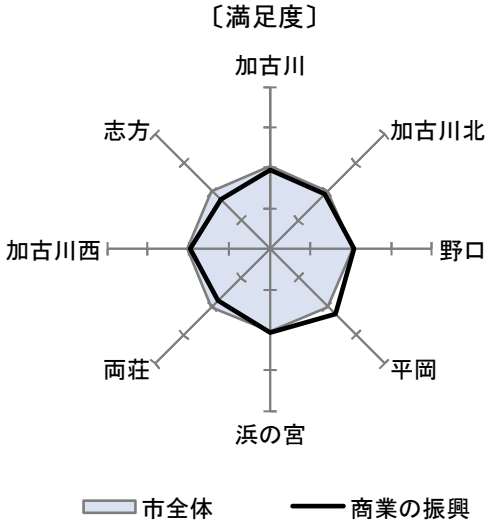


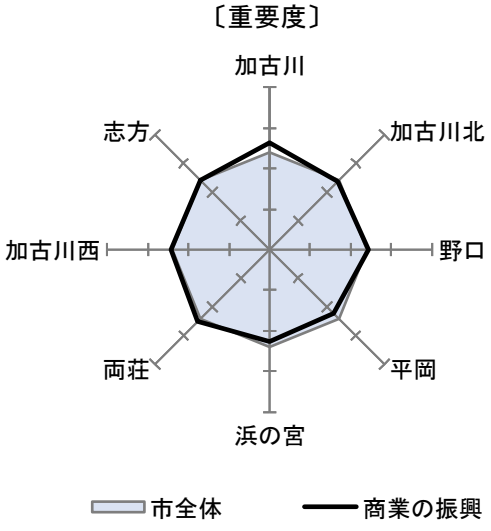


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。



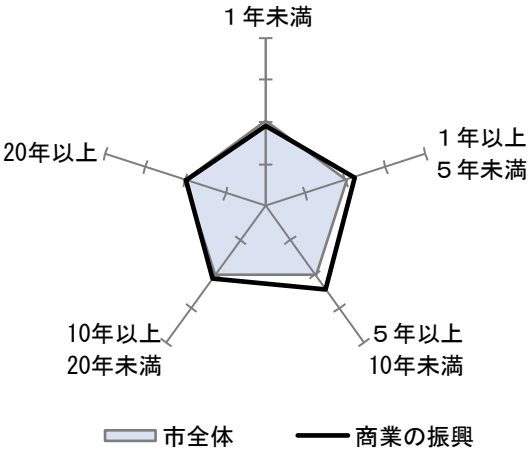


《居住期間別》

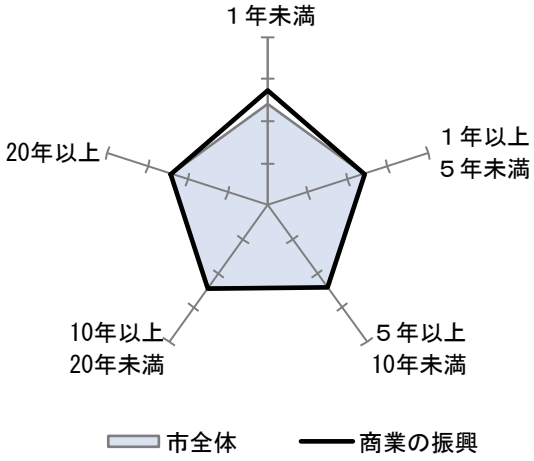
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

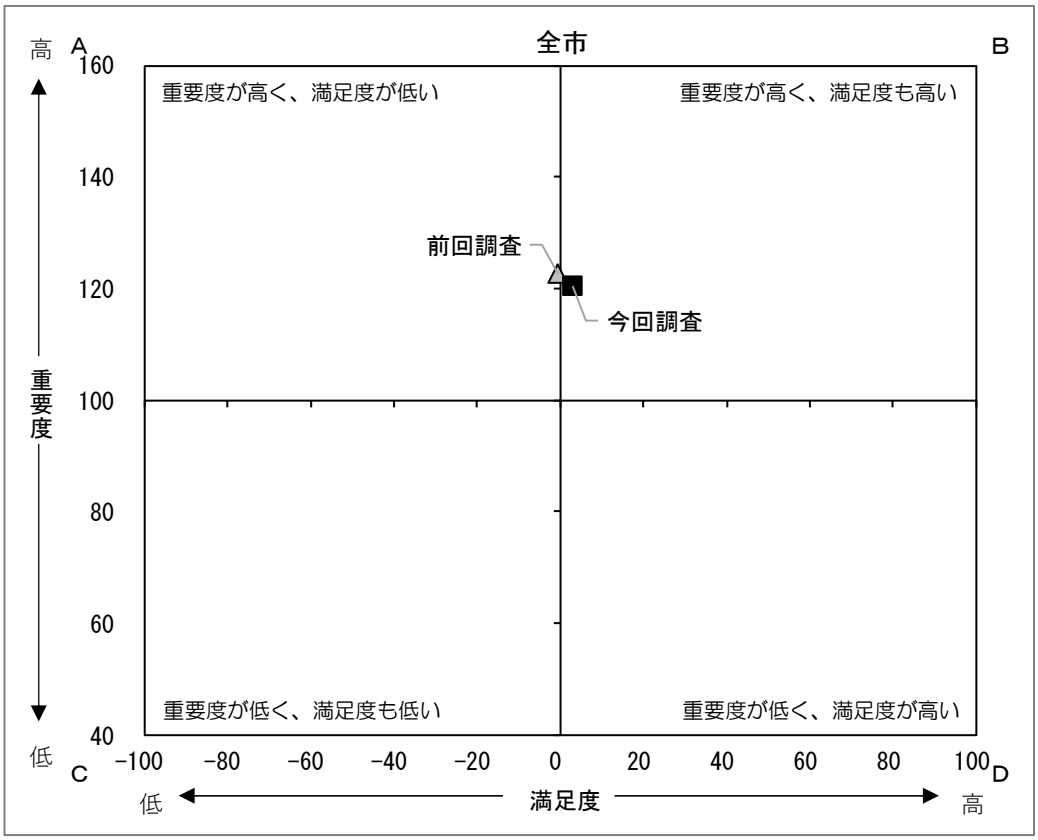


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高く、重要度は低くなっている。



〔観光を振興する〕

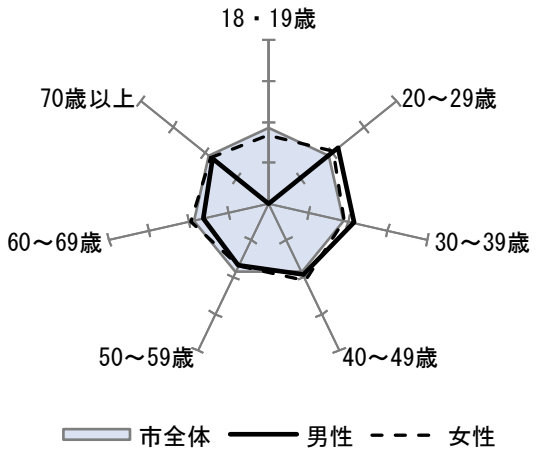
（６）観光の振興

《性年代別》

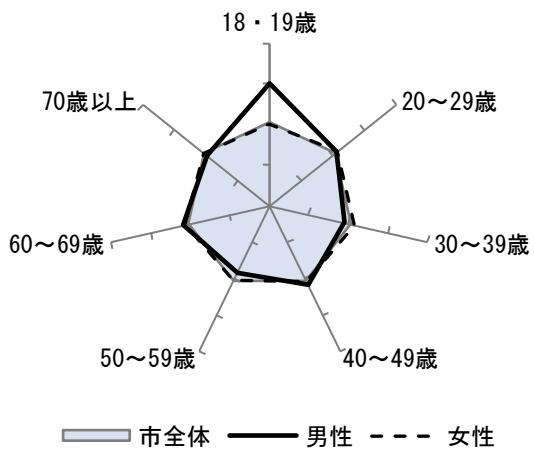
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、20～40歳代、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳の男性と、20～40歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

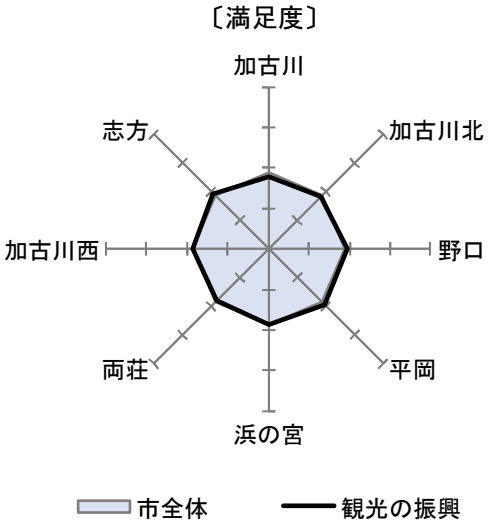


《居住地区別》

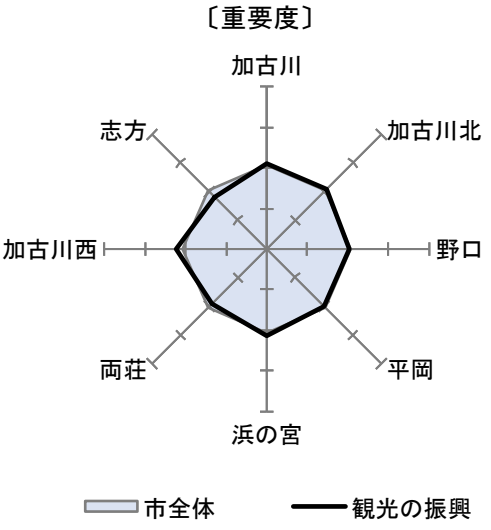
●満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、浜の宮、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

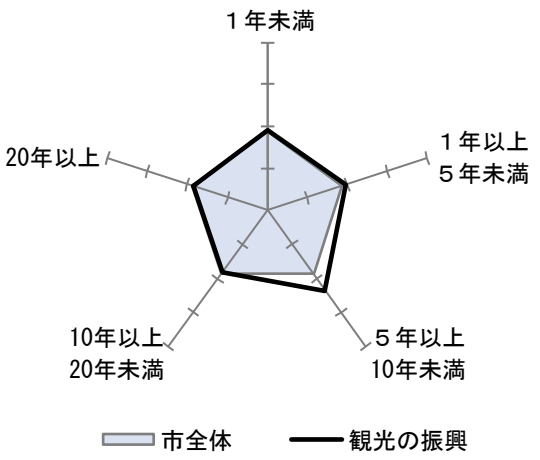


《居住期間別》

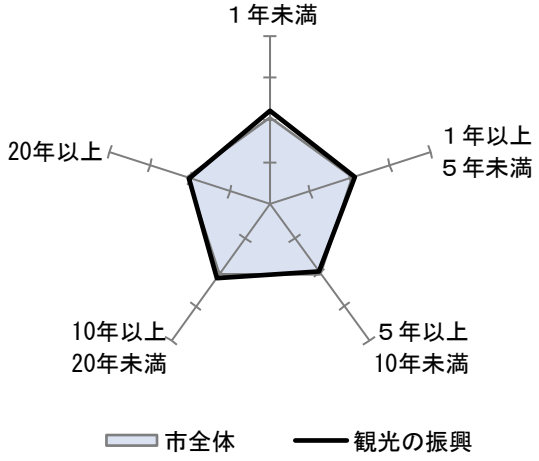
●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上１０年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

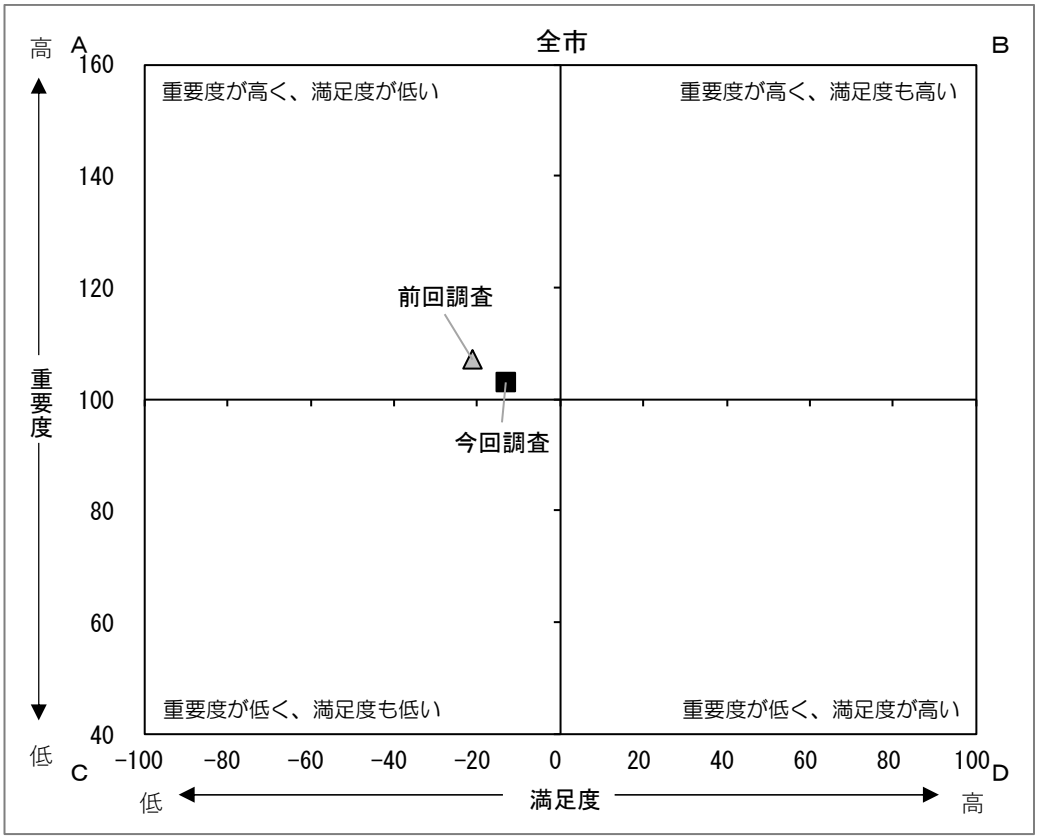


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。

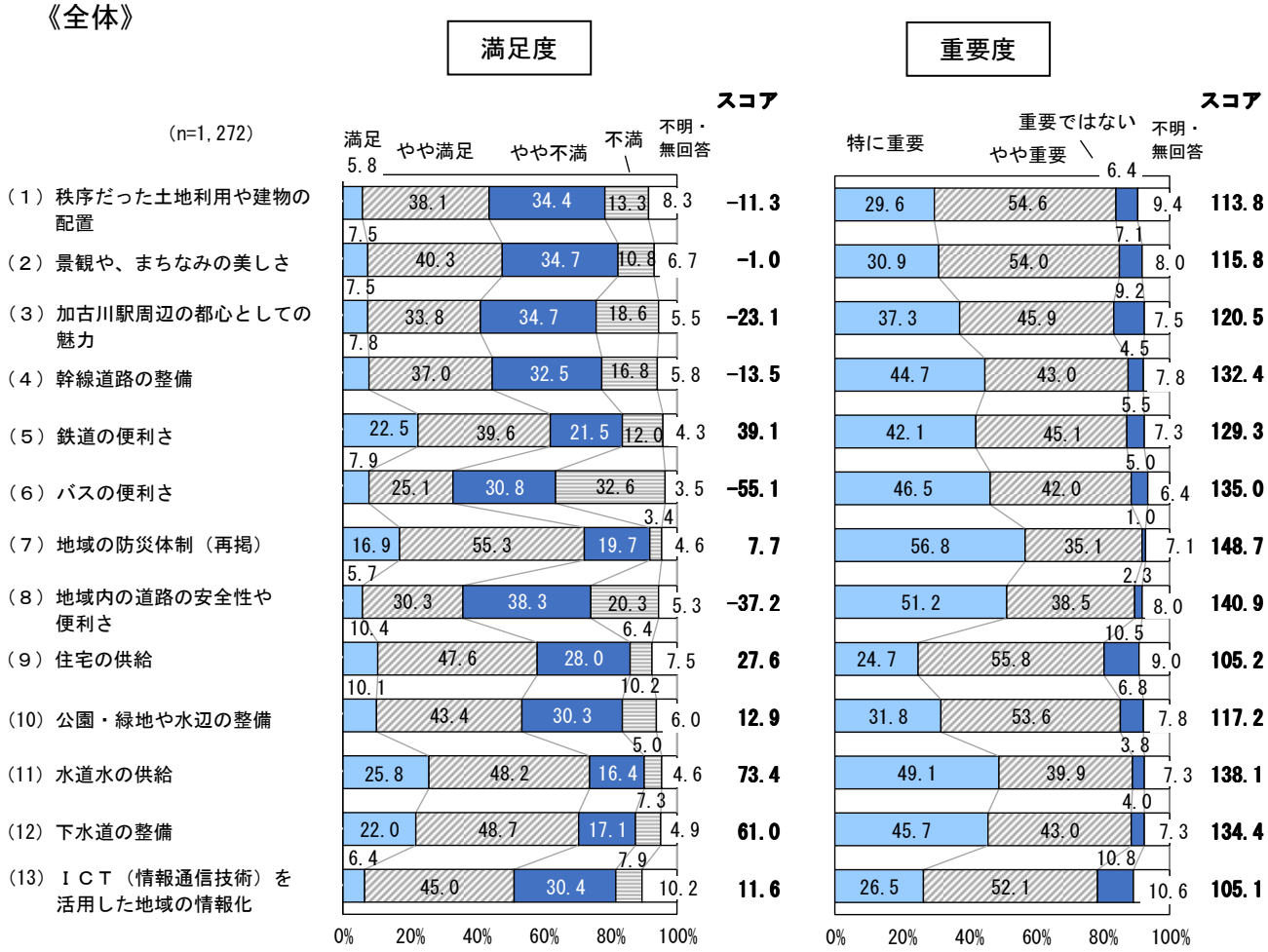


3-5　快適に暮らせるまちをめざして

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「(11) 水道水の供給」、次いで「(12) 下水道の整備」となっている。一方、最も低い項目は「(６) バスの便利さ」、次いで「(８) 地域内の道路の安全性や便利さ」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「(７) 地域の防災体制（再掲)」、次いで「(８) 地域内の道路の安全性や便利さ」となっている。一方、最も低い項目は「(13) ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した地域の情報化」、次いで「(９) 住宅の供給」となっている。

《全体》



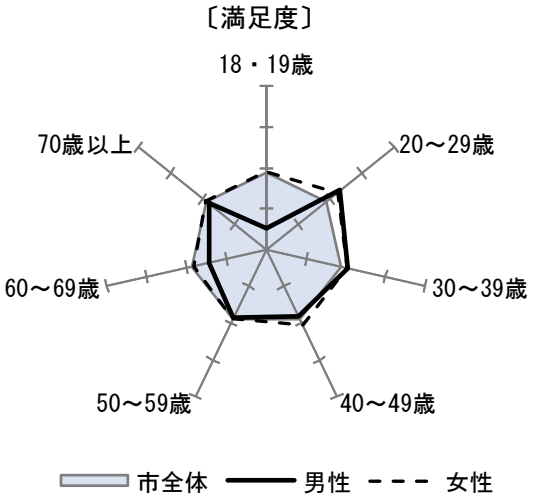
機能的・効率的なまちを形成する
〔計画的な土地利用を進める〕

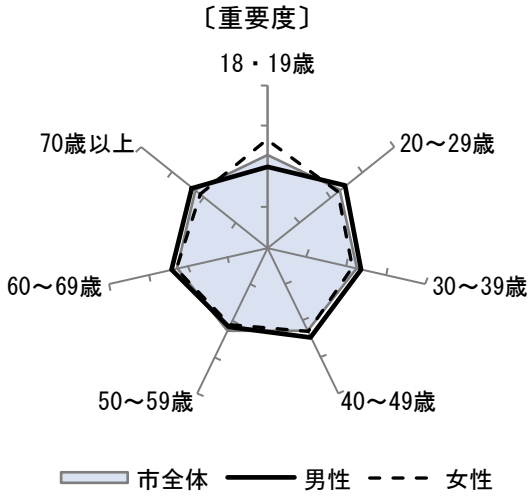
（１）秩序だった土地利用や建物の配置

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、20～30歳の男性と、18・19歳、20～40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60～69歳、70歳以上の男性と、18・19歳、40～49歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

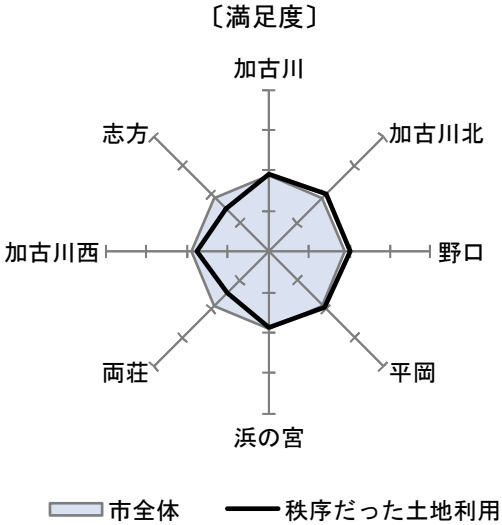


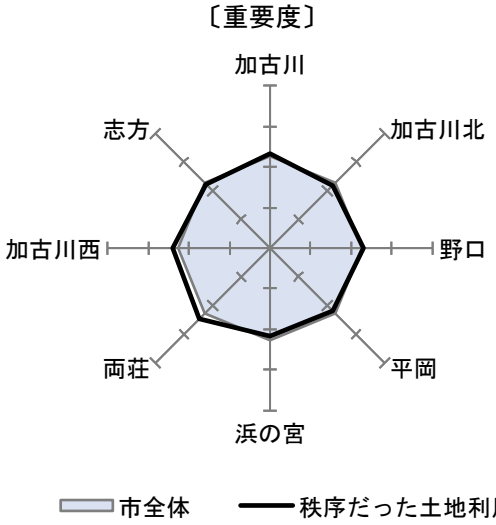


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

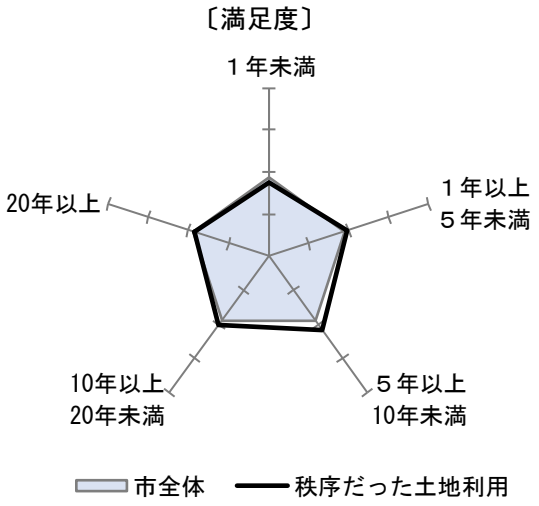


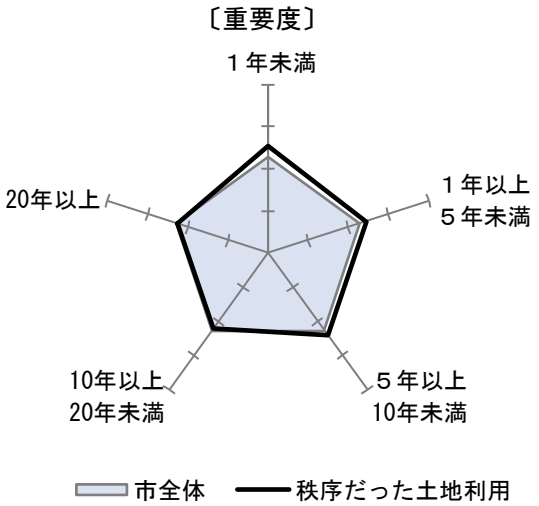


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

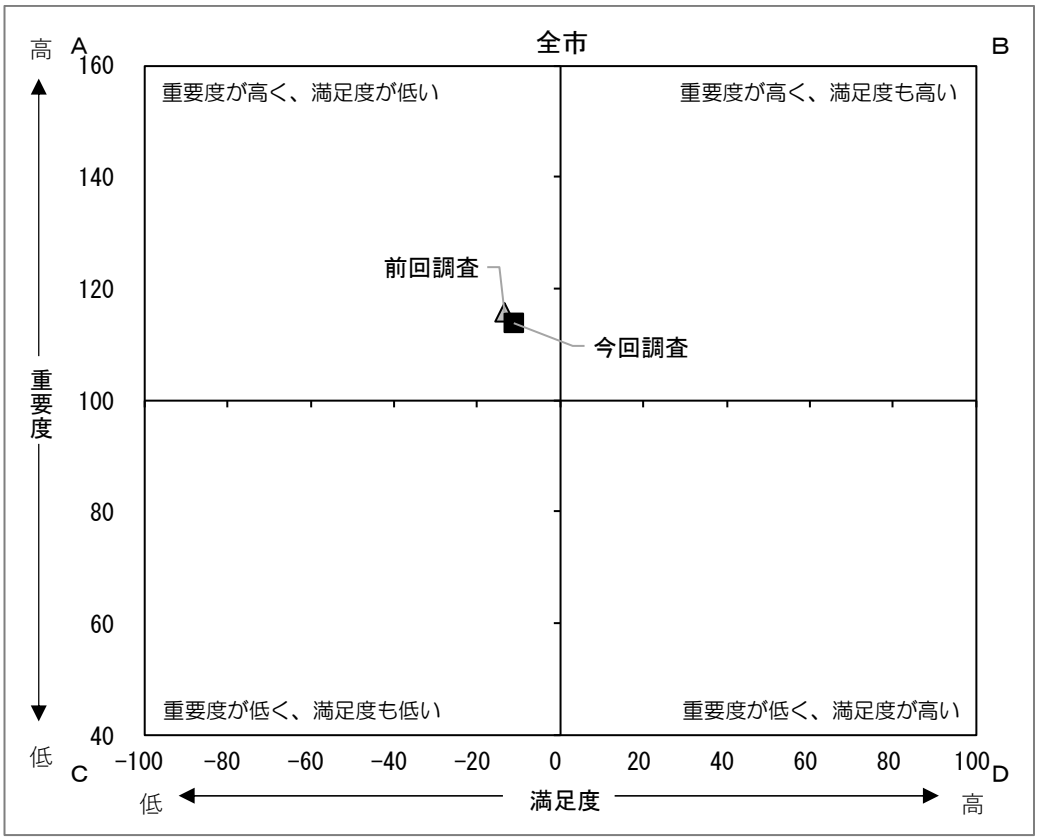
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔秩序あるまちなみを形成する〕

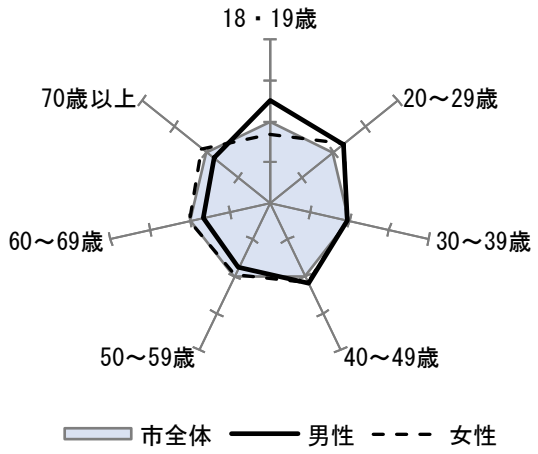
（２）景観や、まちなみの美しさ

《性年代別》

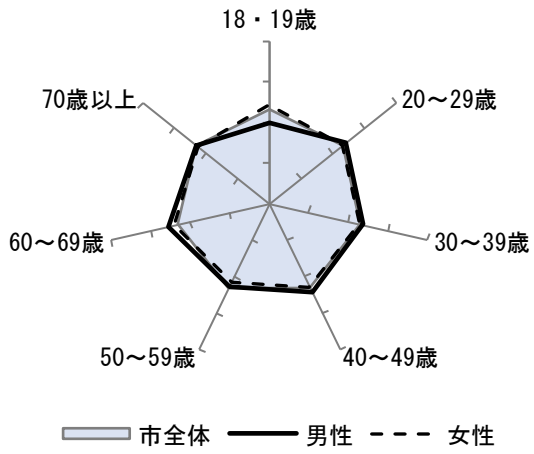
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、40～49歳の男性と、20～29歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、60～69歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

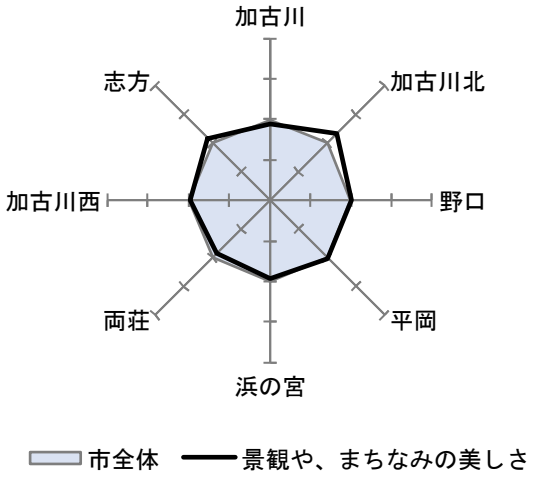


《居住地区別》

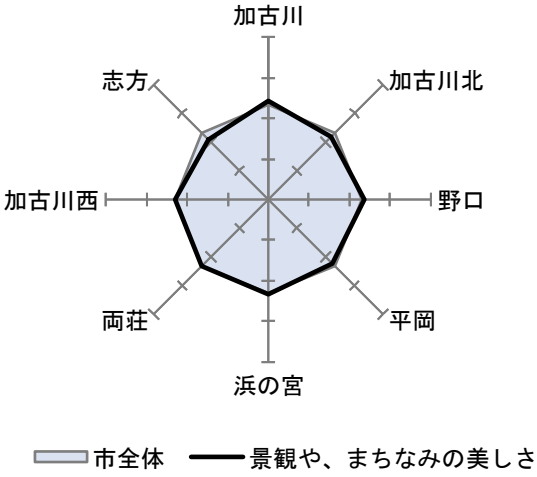
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、浜の宮、両荘地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



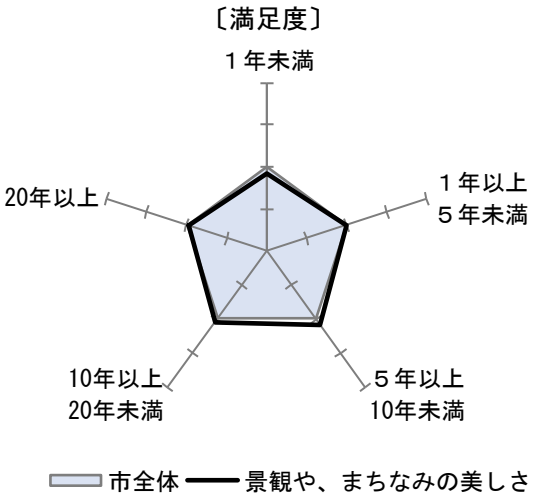
〔重要度〕

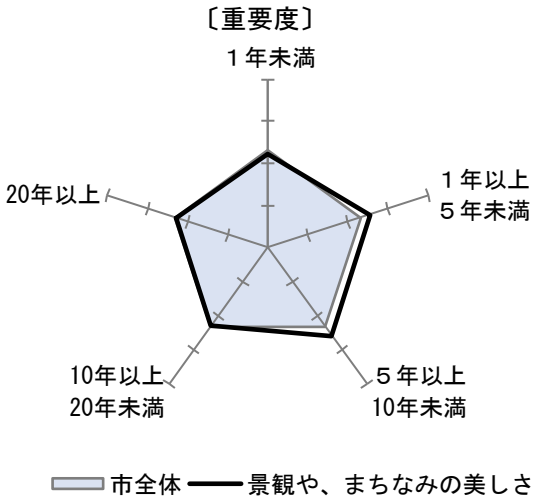


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

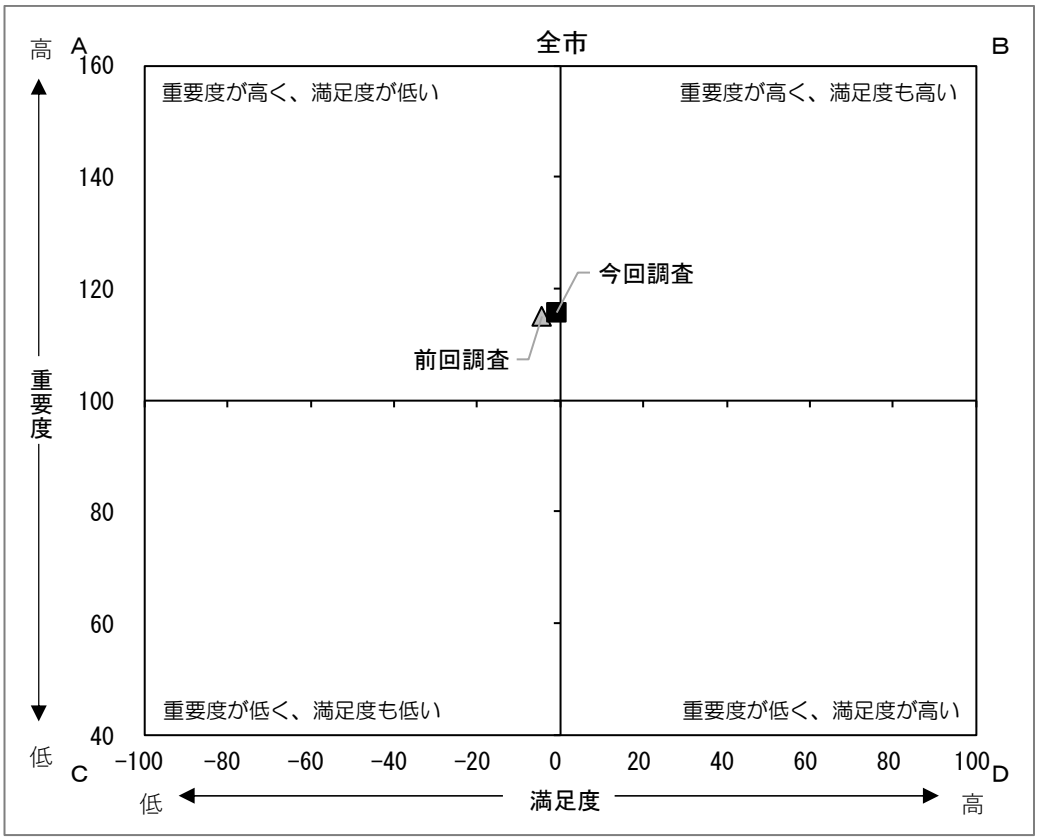
●重要度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



〔都市拠点の機能を充実する〕

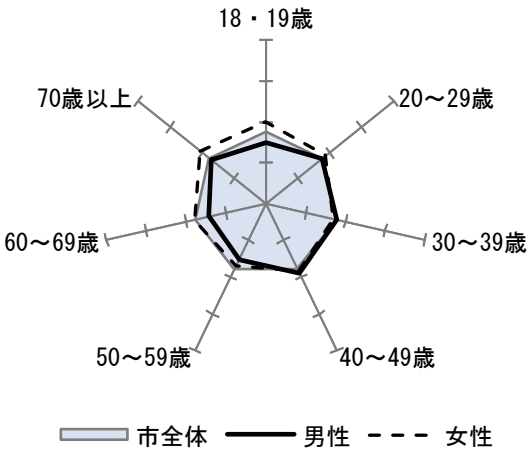
（３）加古川駅周辺の都心としての魅力

《性年代別》

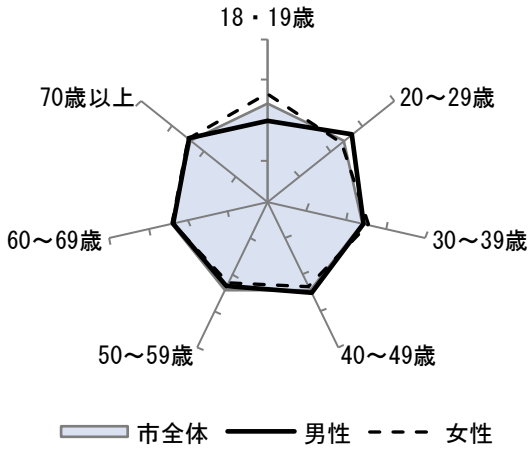
●満足度を性年代別でみると、30～40歳代の男性と、30～39歳、50～59歳を除くすべてのカテゴリーの女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、30～39歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

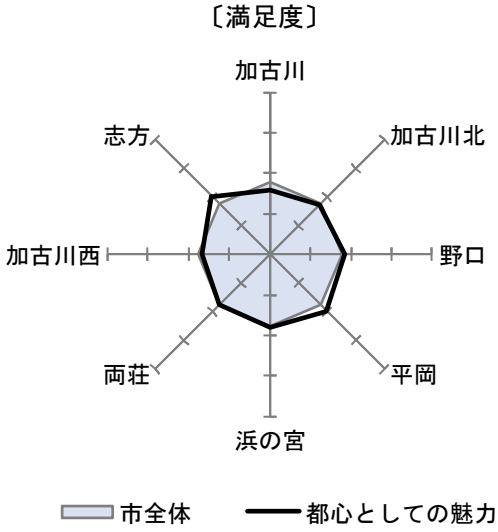


《居住地区別》

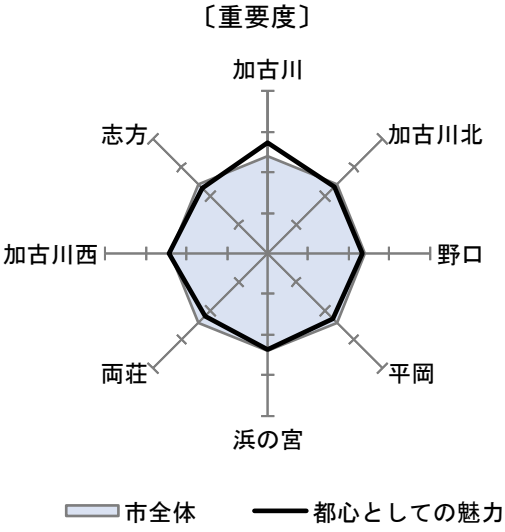
●満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、浜の宮、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



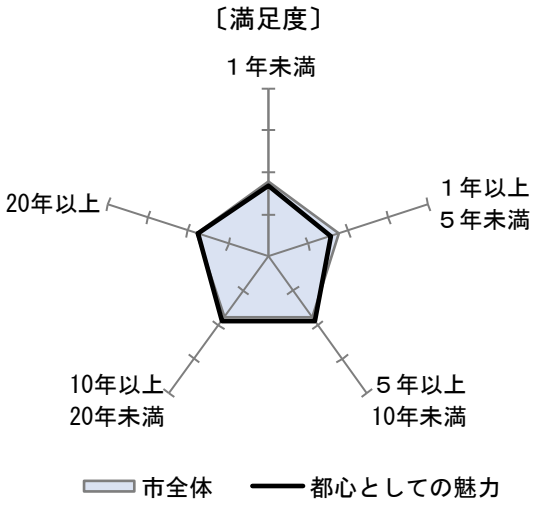
〔重要度〕

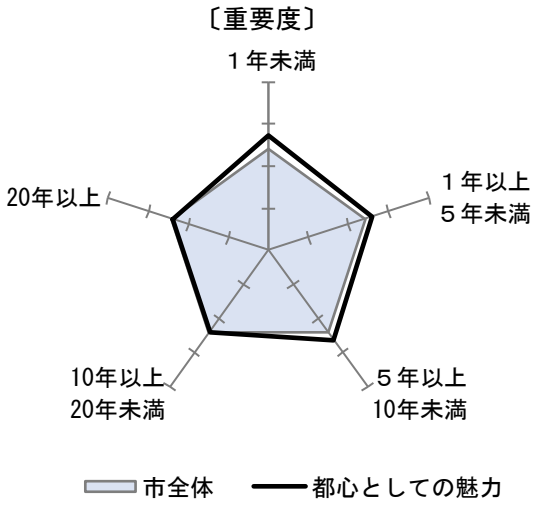


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

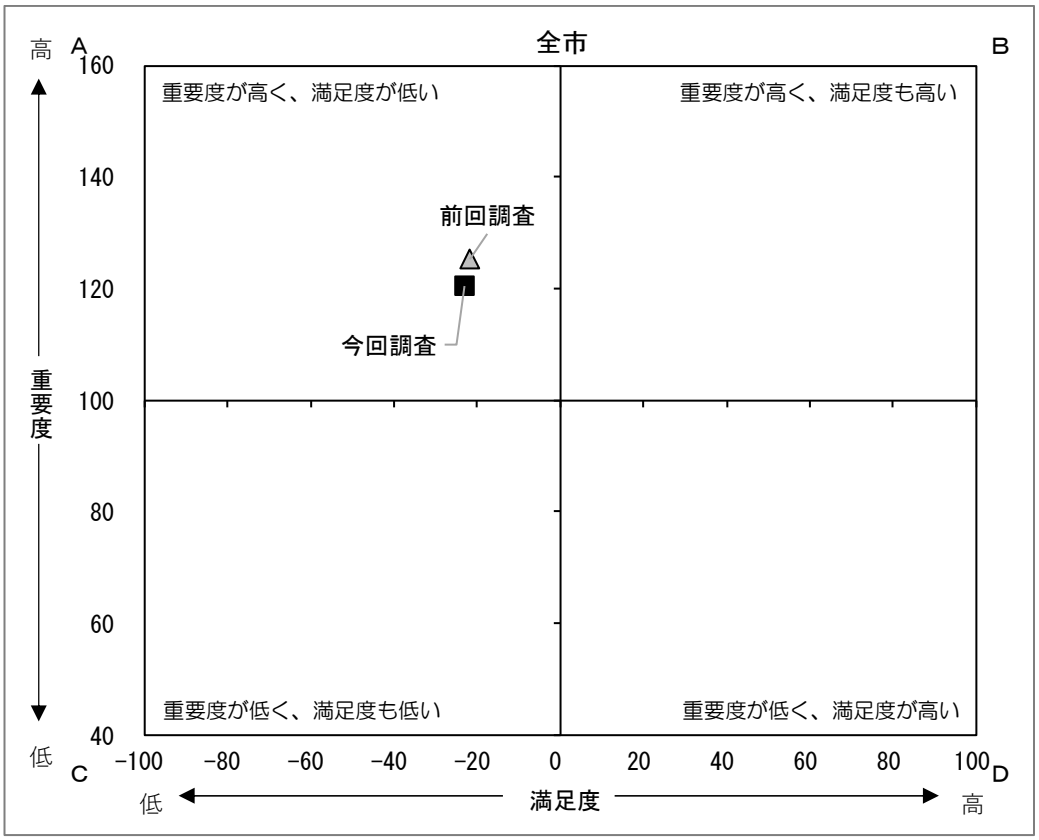
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



〔幹線道路・港湾機能を充実する〕

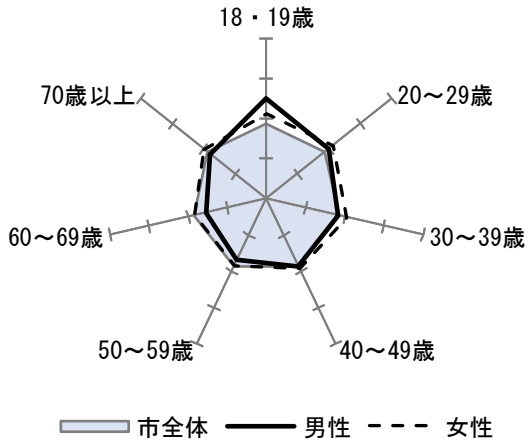
（４）幹線道路の整備

《性年代別》

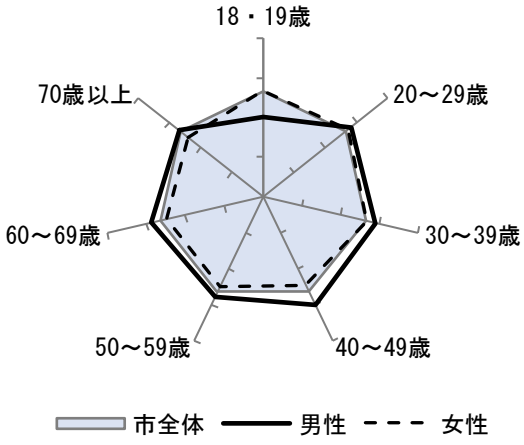
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳の男性と、18・19歳、20～40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳を除く男性と、18・19歳、20～30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

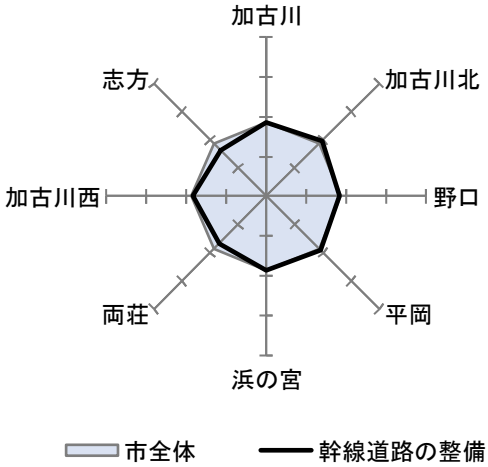


《居住地区別》

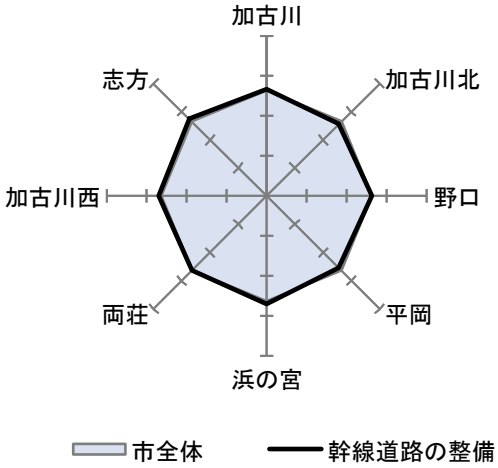
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、野口、浜の宮、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



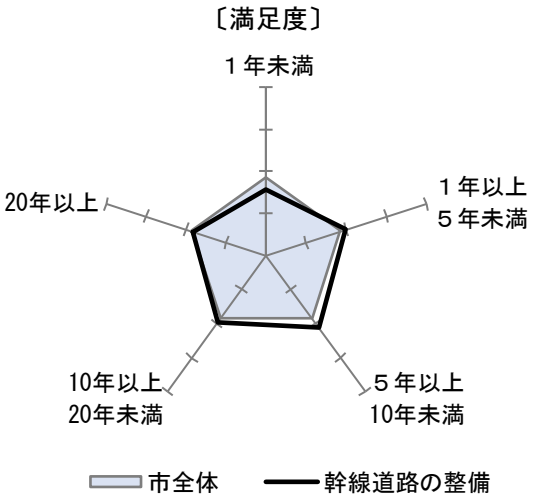
〔重要度〕

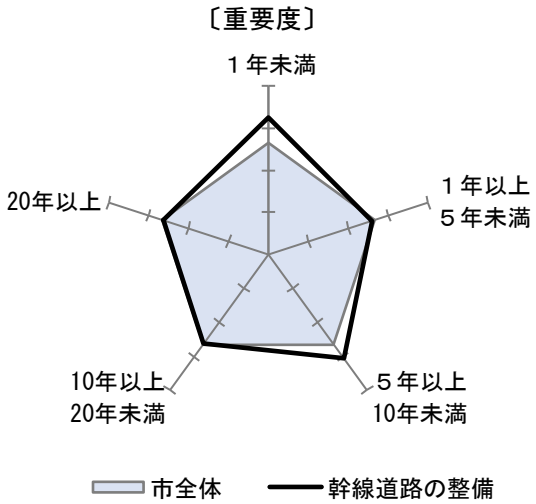


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

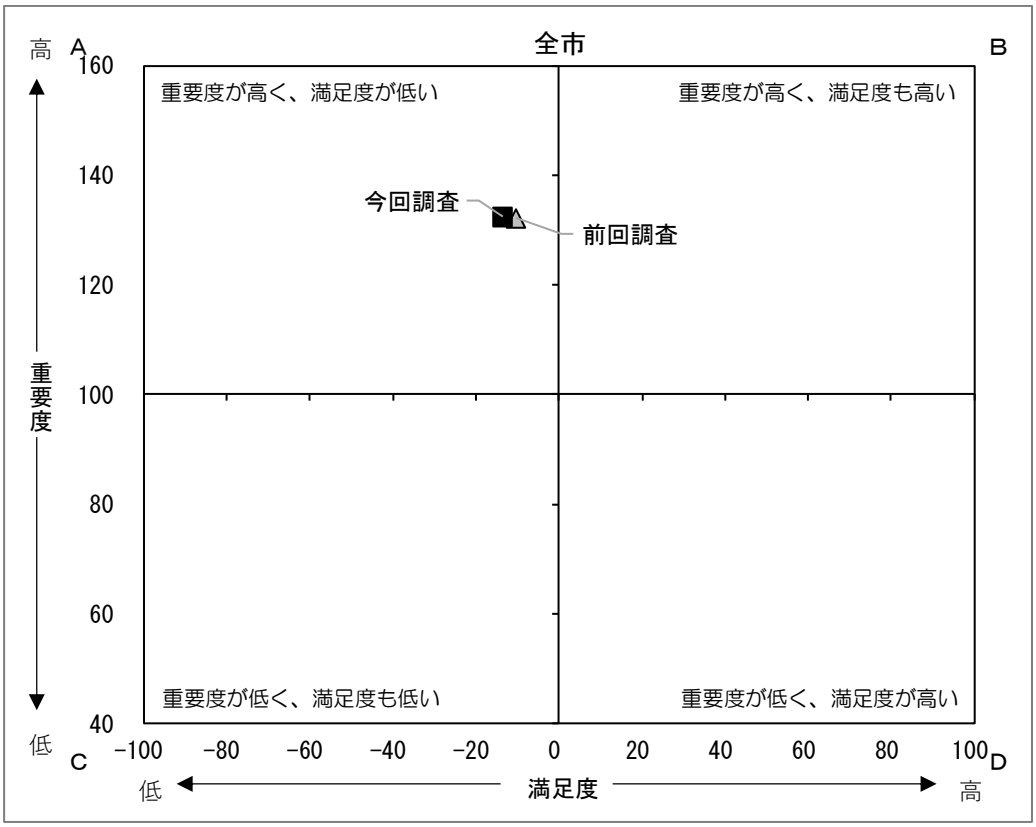
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



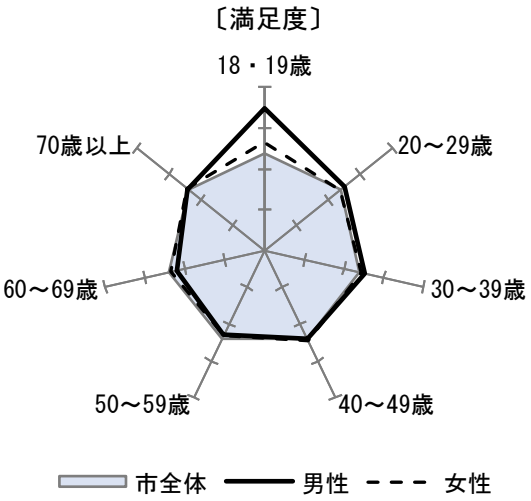
〔公共交通機能を充実する〕

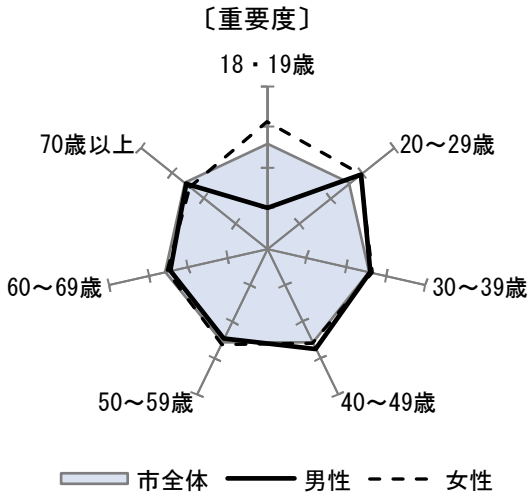
（５）鉄道の便利さ

《性年代別》

●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、30～40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

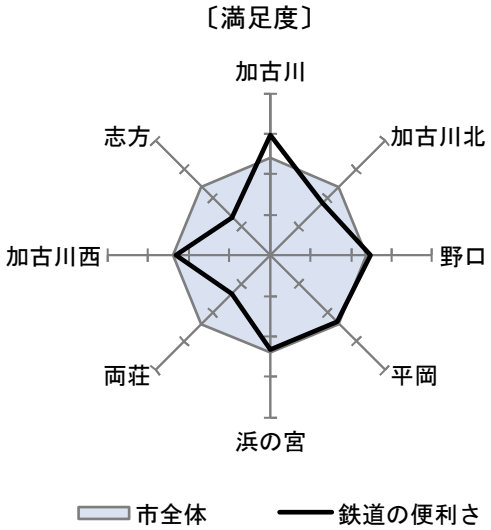


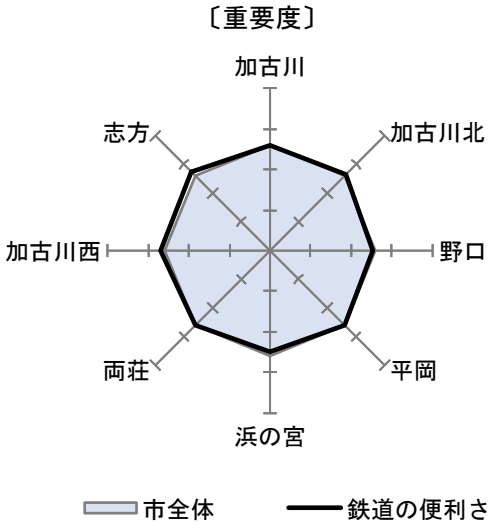


《居住地区別》

●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、野口、浜の宮を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

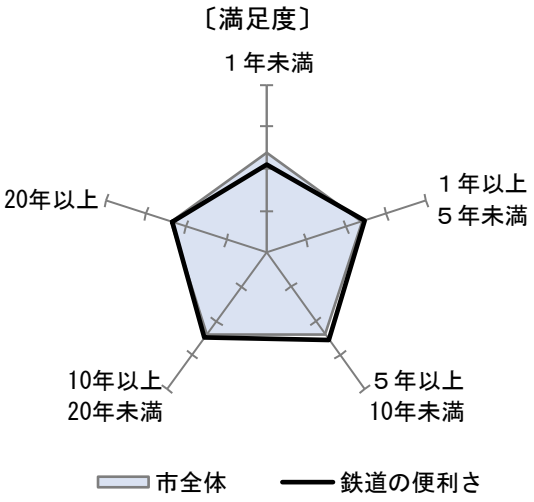


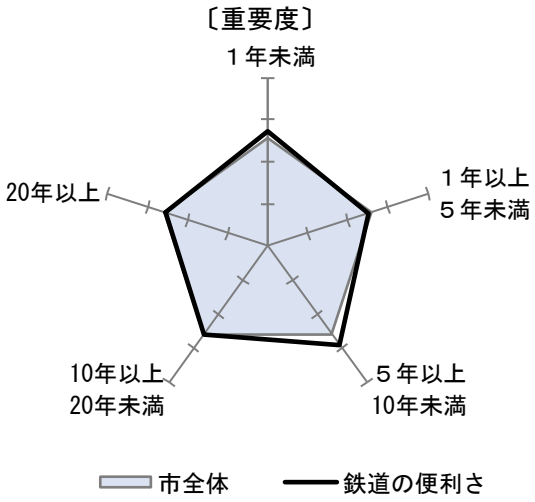


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均よりも高くなっている。

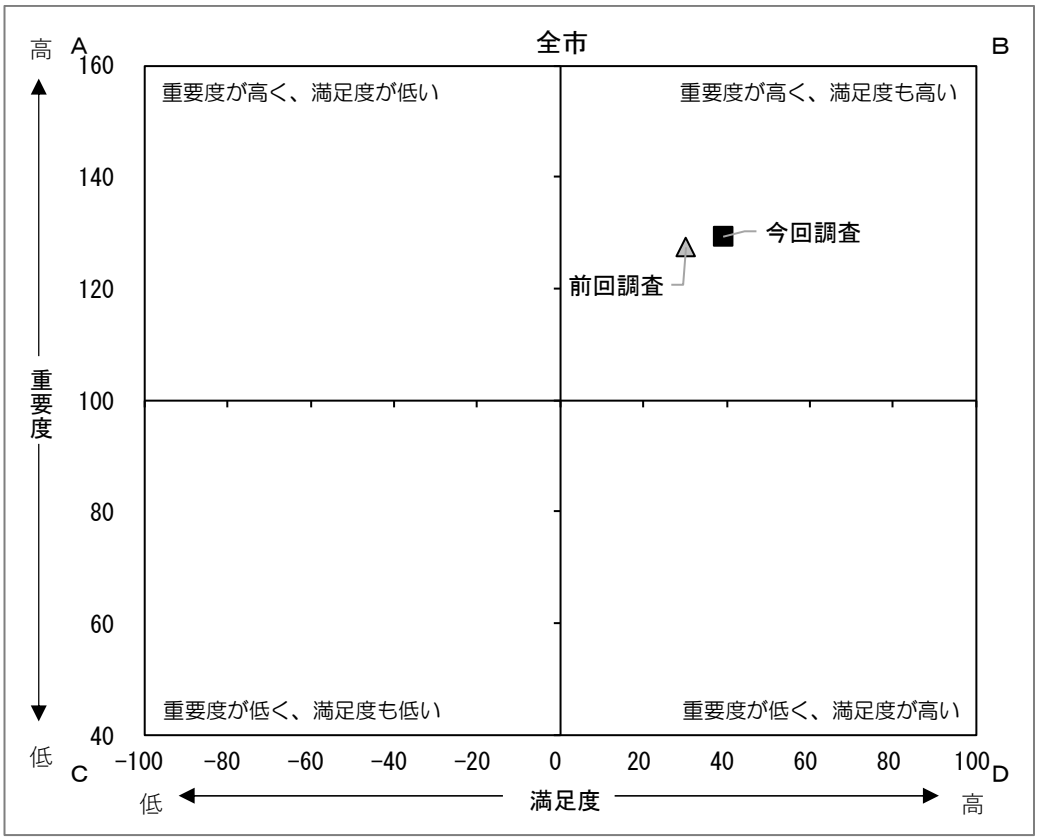
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



〔公共交通機能を充実する〕

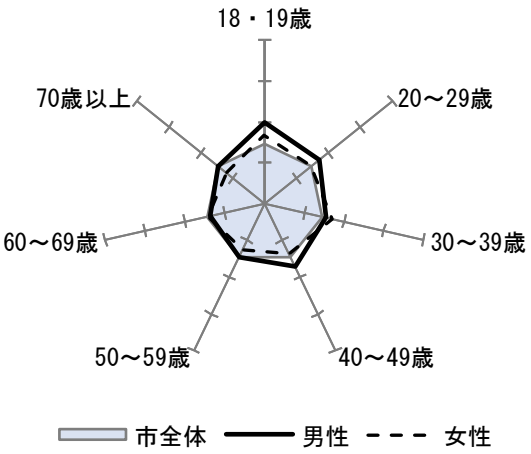
（６）バスの便利さ

《性年代別》

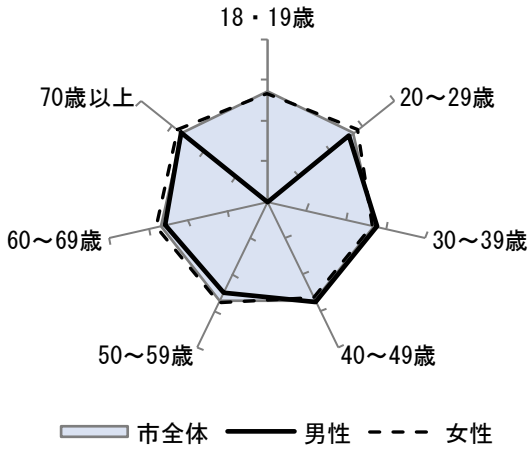
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、30～40歳代、70歳以上の男性と、20～29歳、50～60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

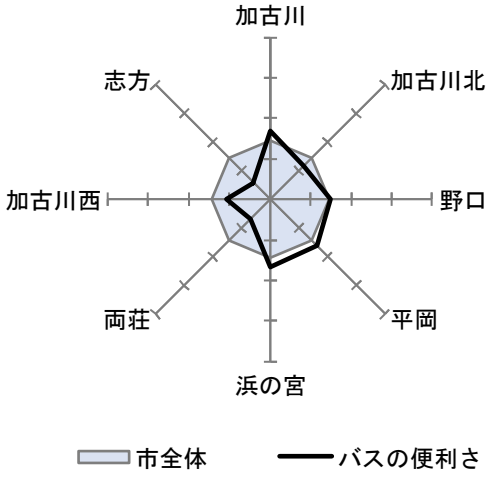


《居住地区別》

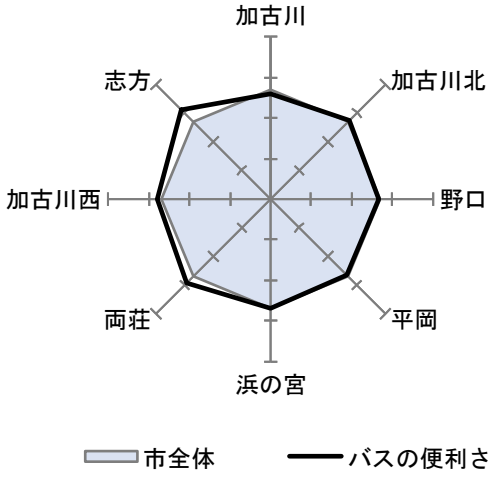
●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



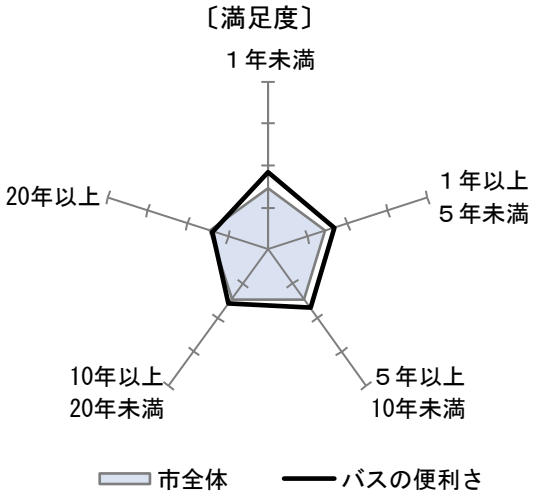
〔重要度〕

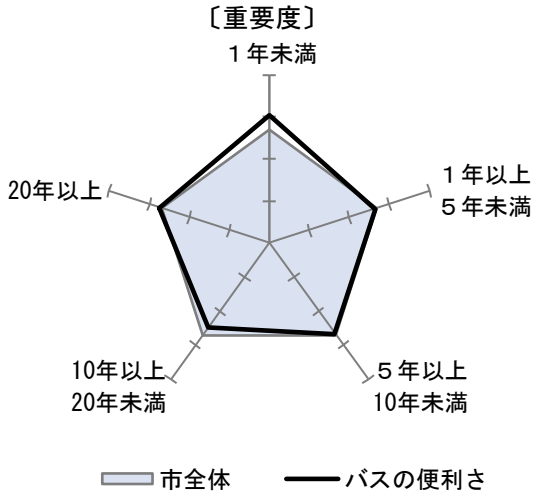


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

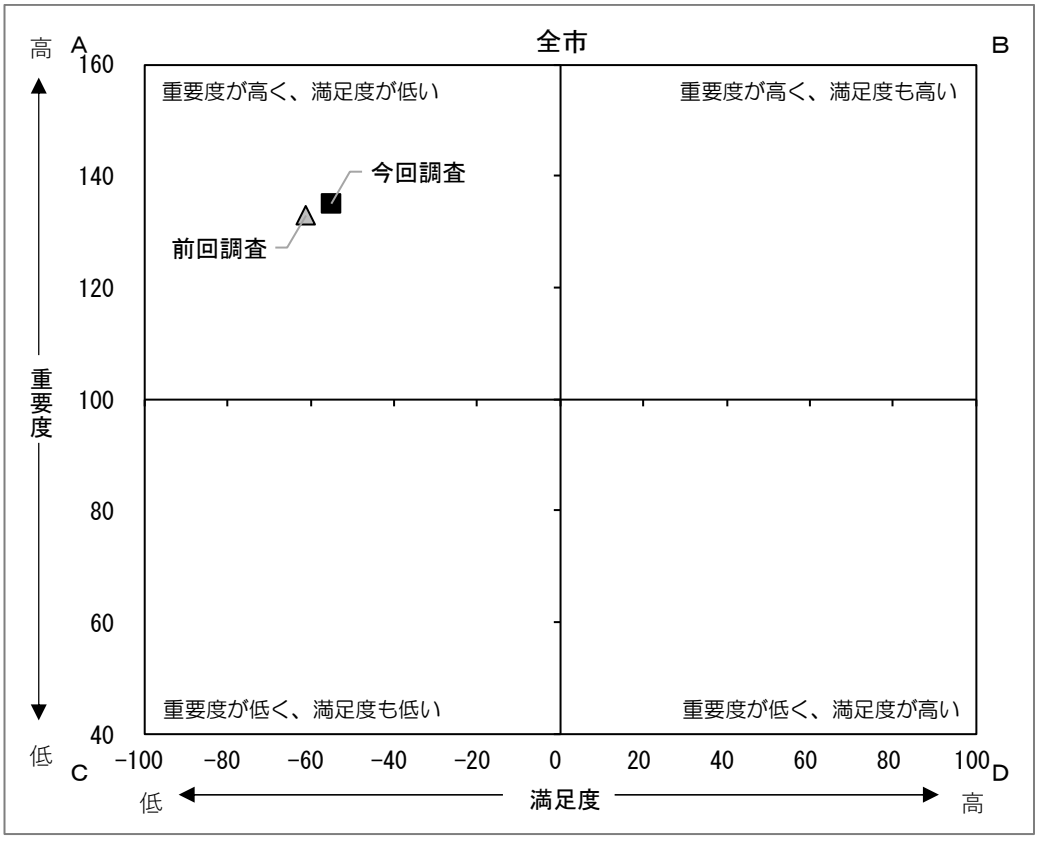
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



市民生活の安全・安定を確保する
〔災害・非常事態に対応する体制を充実する〕

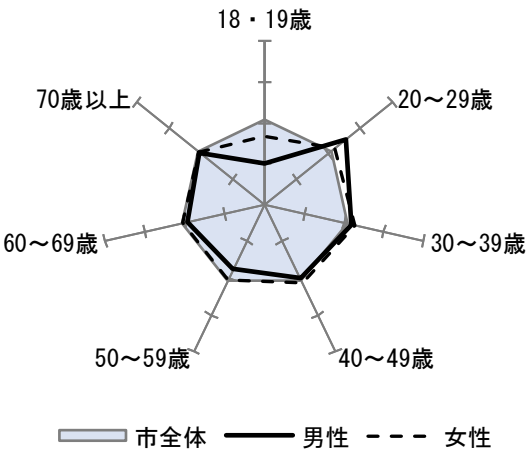
（７）地域の防災体制（再掲）

《性年代別》

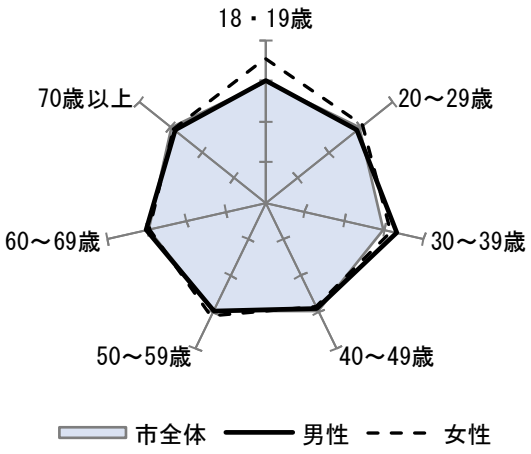
●満足度を性年代別でみると20～30歳代の男性と、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～39歳、60～69歳の男性と、18・19歳、20～30歳代、50～59歳の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

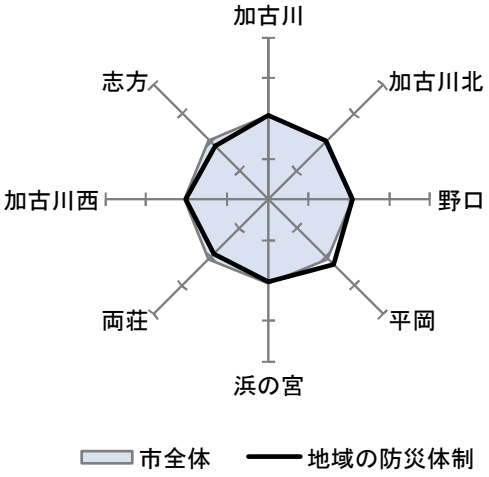


《居住地区別》

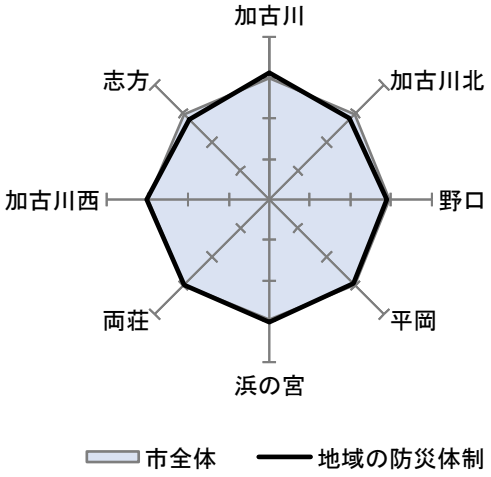
●満足度を居住地区別でみると、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

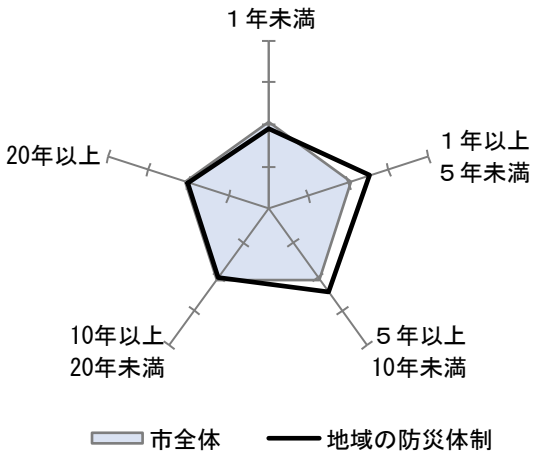


《居住期間別》

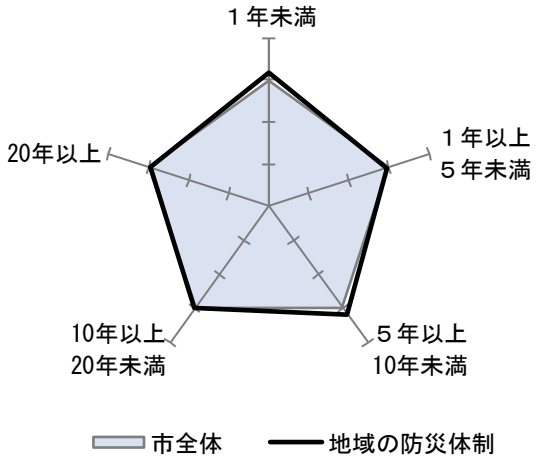
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

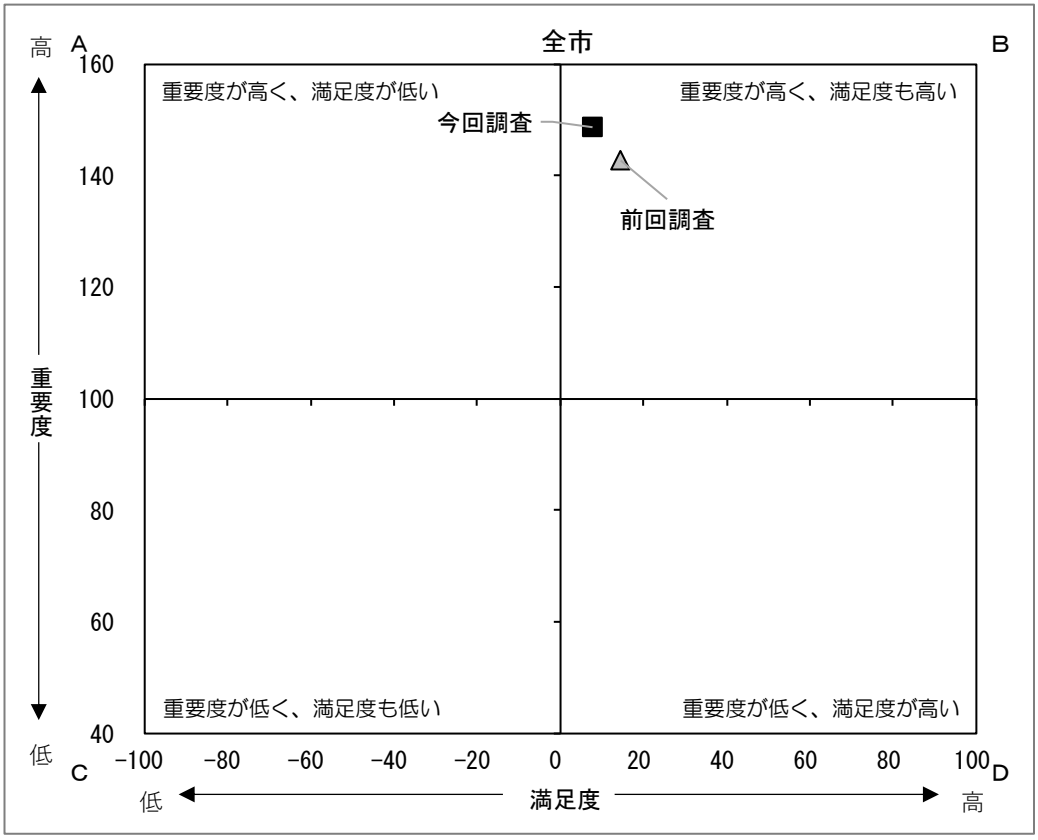


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔生活に身近な道路を整備する〕

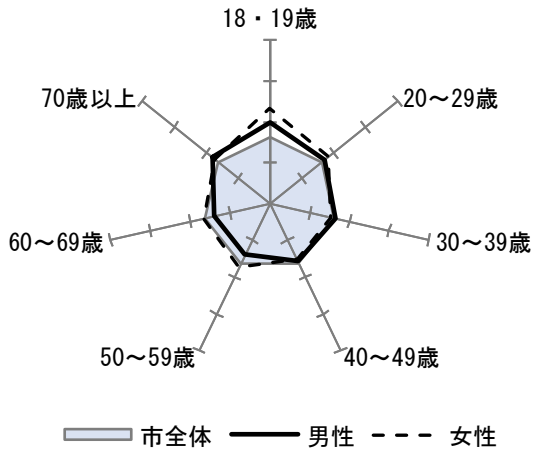
（８）地域内の道路の安全性や便利さ

《性年代別》

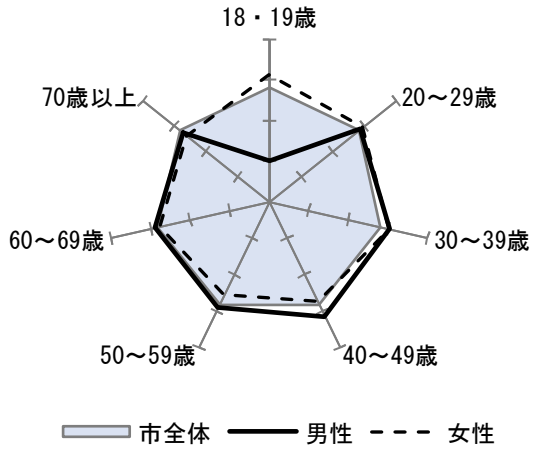
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、50～60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～60歳代の男性と、18・19歳、20～30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

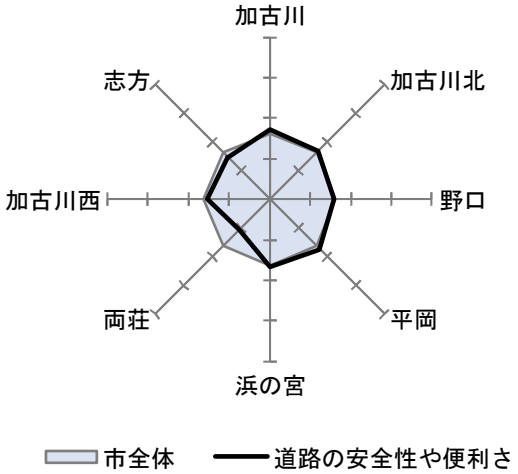


《居住地区別》

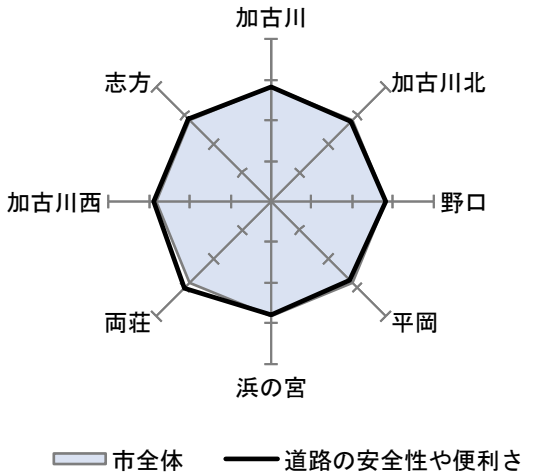
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、野口、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



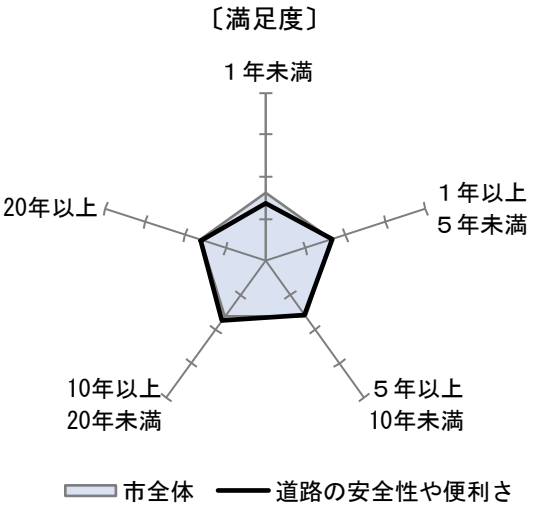
〔重要度〕

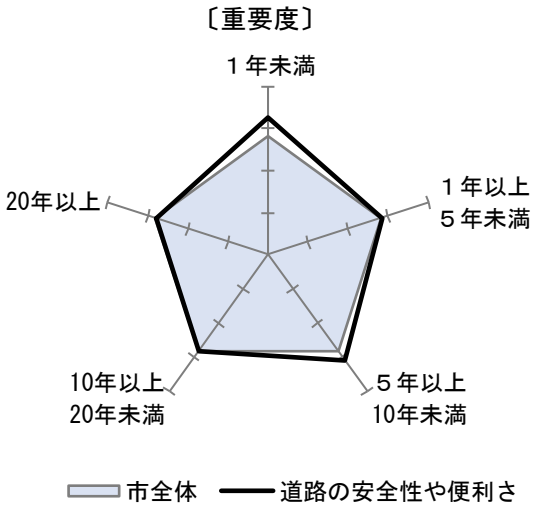


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

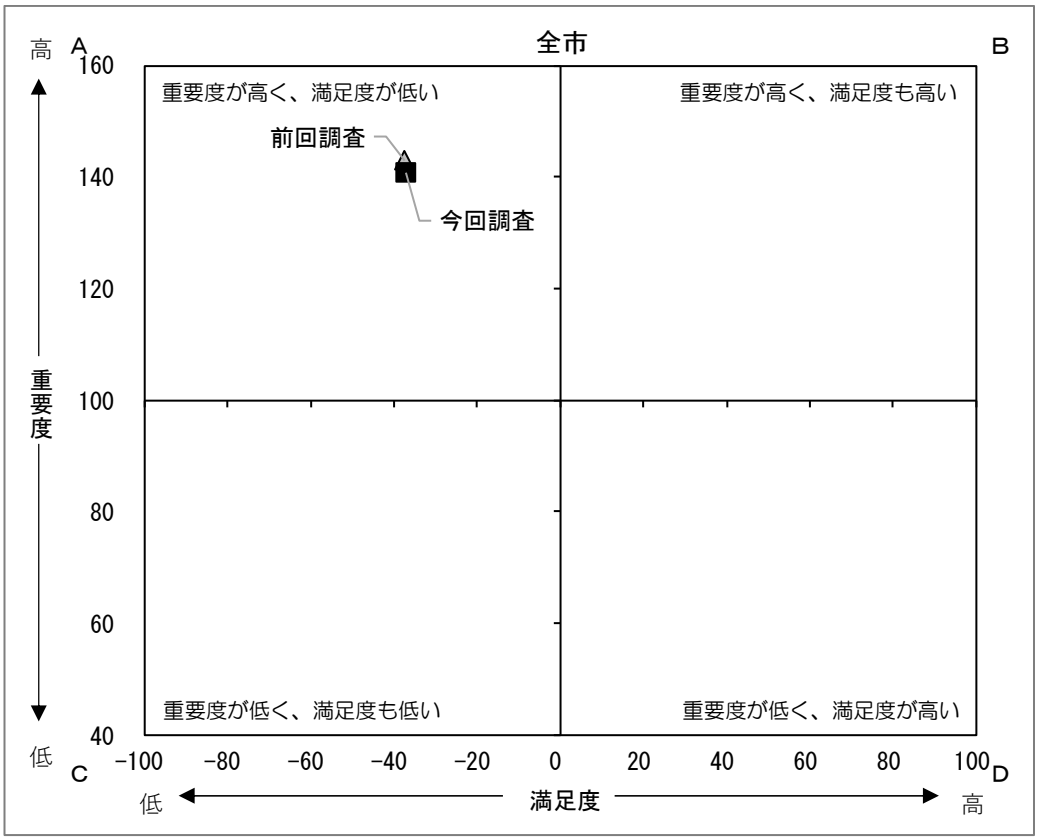
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔良質な住宅供給を促進する〕

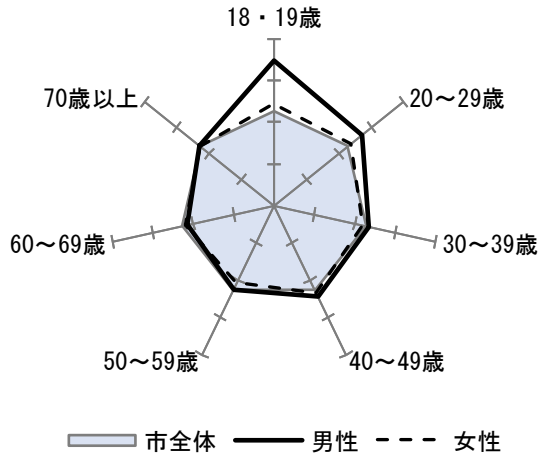
（９）住宅の供給

《性年代別》

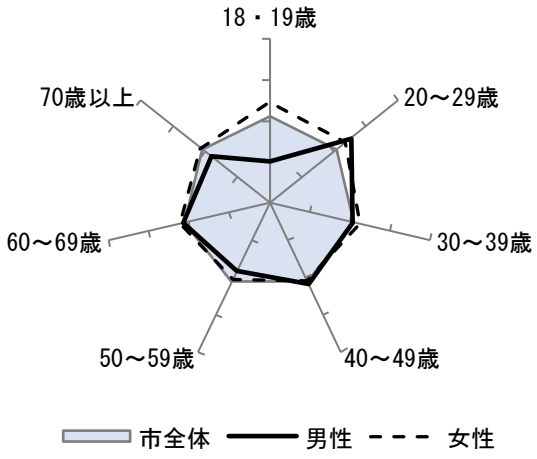
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳、60～69歳の男性と、18・19歳、20～30歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

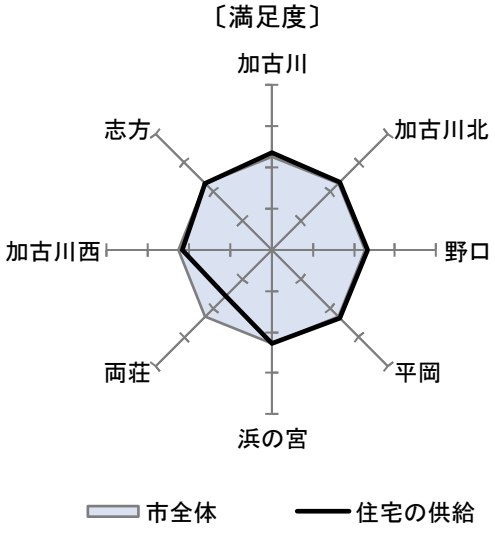


《居住地区別》

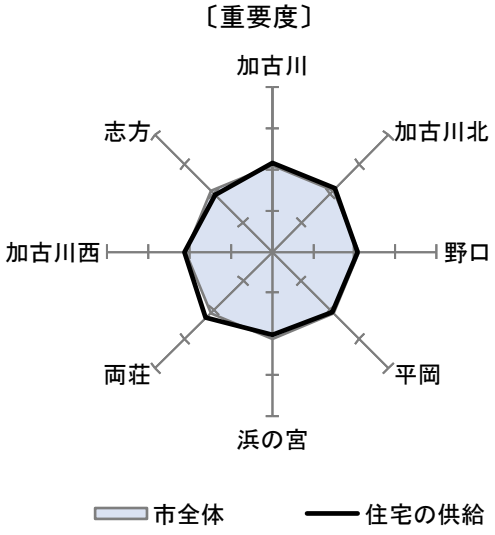
●満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



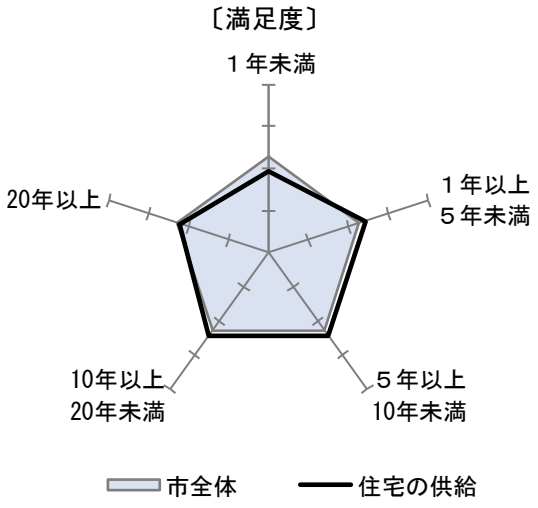
〔重要度〕

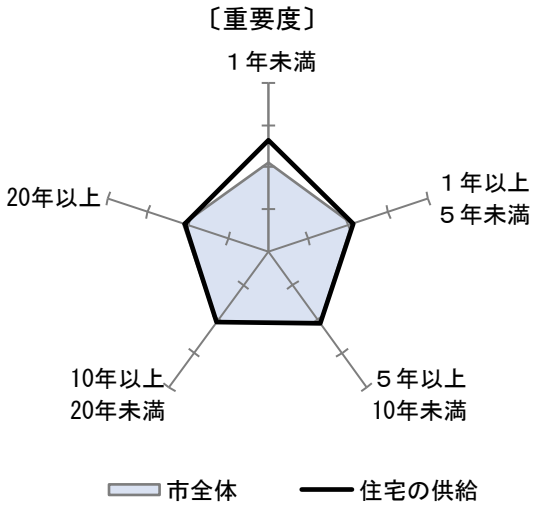


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

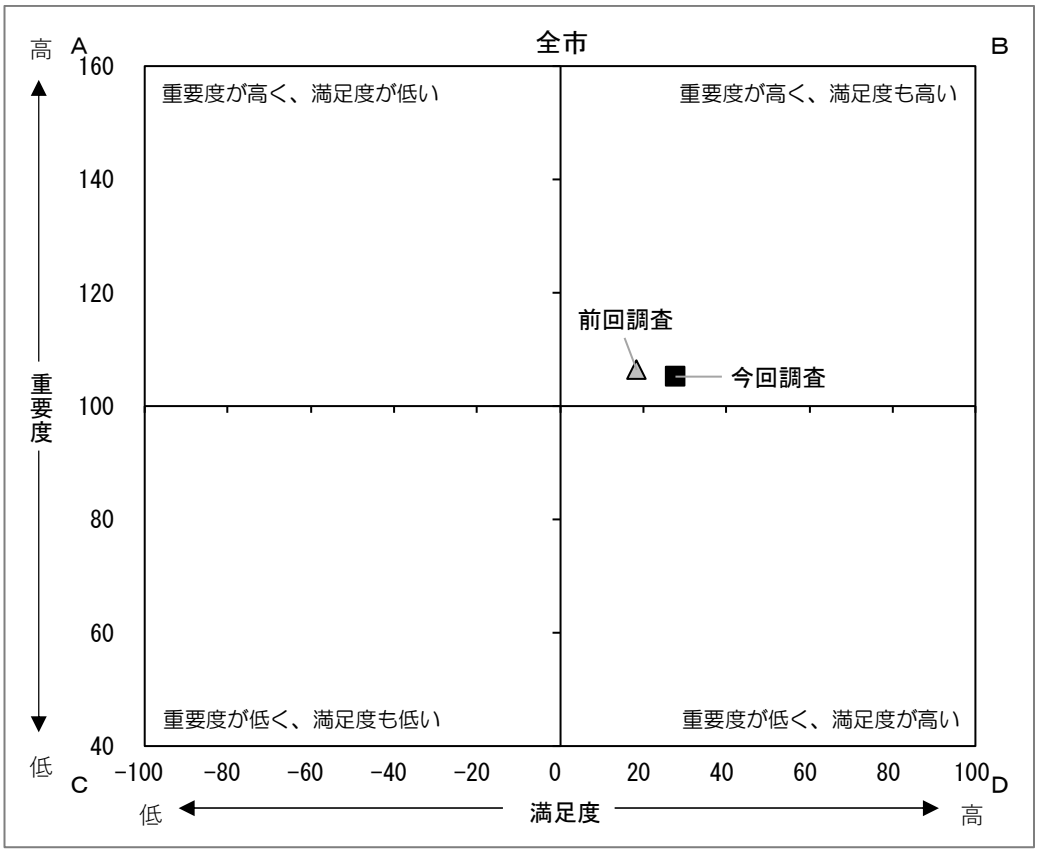
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔水と緑の空間を形成する〕

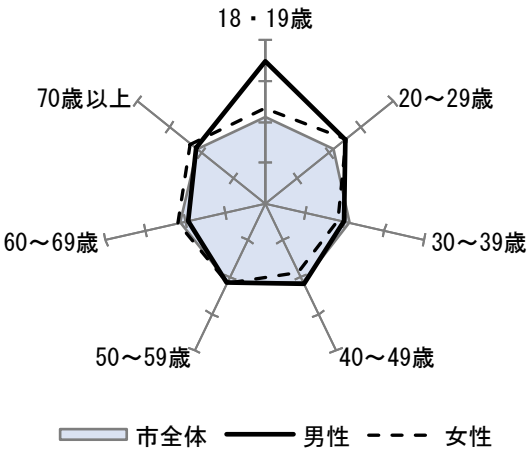
（10）公園・緑地や水辺の整備

《性年代別》

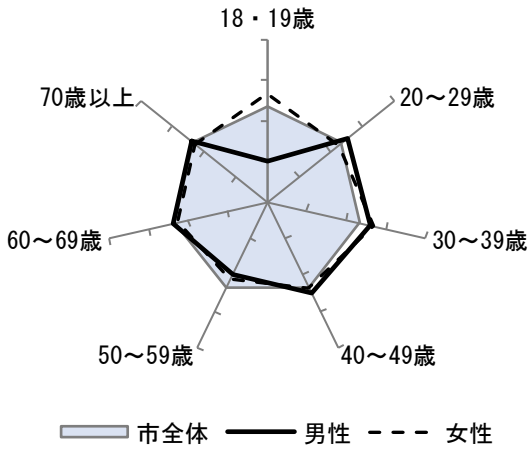
●満足度を性年代別でみると、30～39歳、60～69歳を除く男性と、30～40歳代を除く女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60～69歳、70歳以上の男性と、18・19歳、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

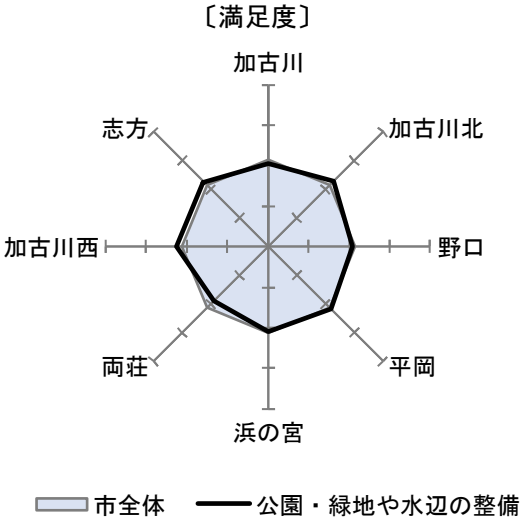


《居住地区別》

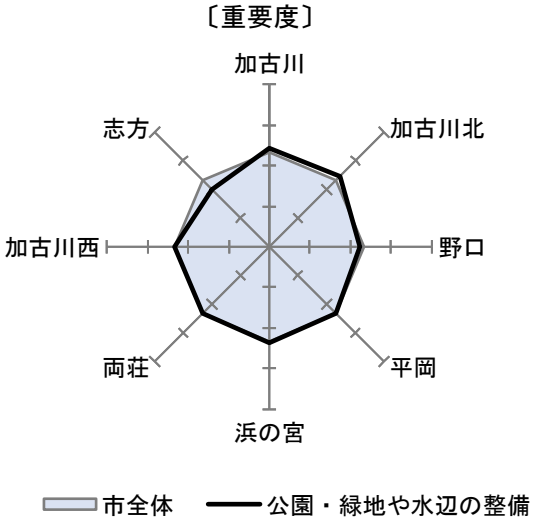
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



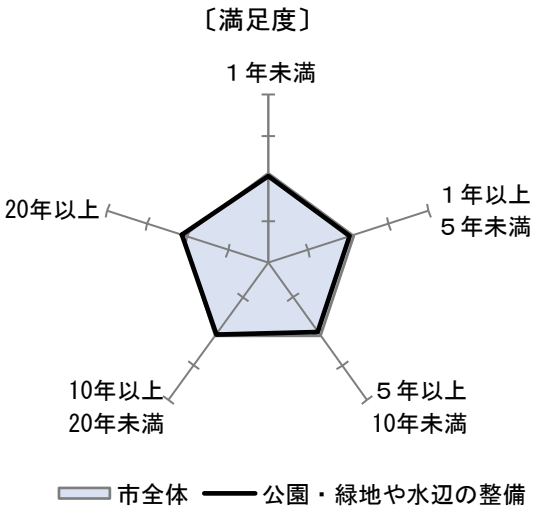
〔重要度〕

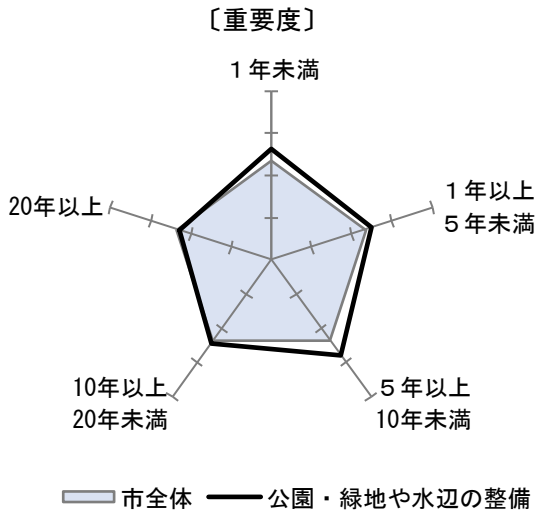


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

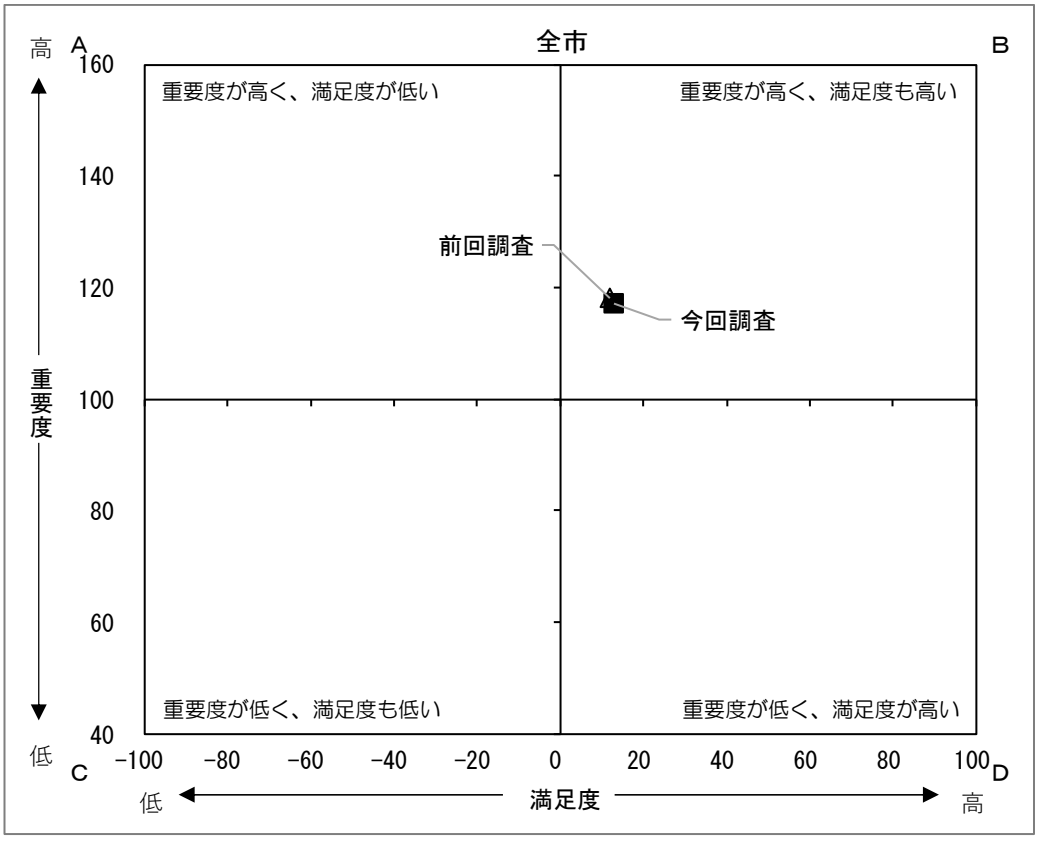
●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔安全で良質な水道水を供給する〕

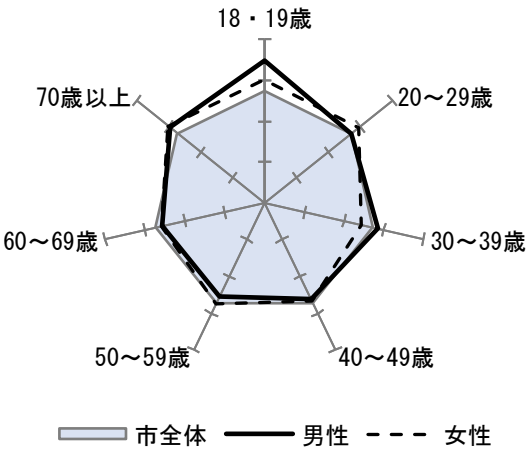
（11）水道水の供給

《性年代別》

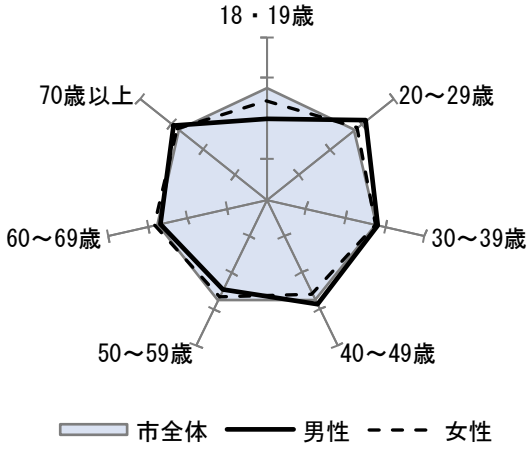
●満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、50～59歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代、70歳以上の男性と、20歳～30歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

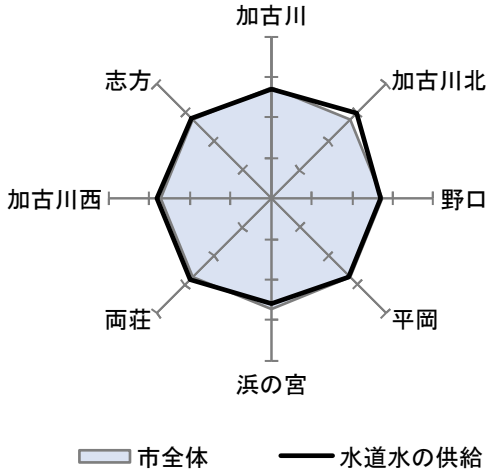


《居住地区別》

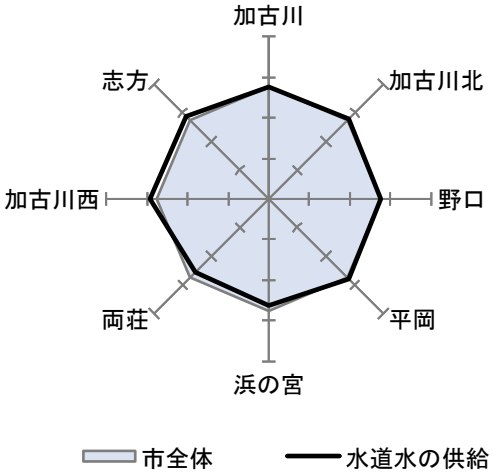
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、両荘、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

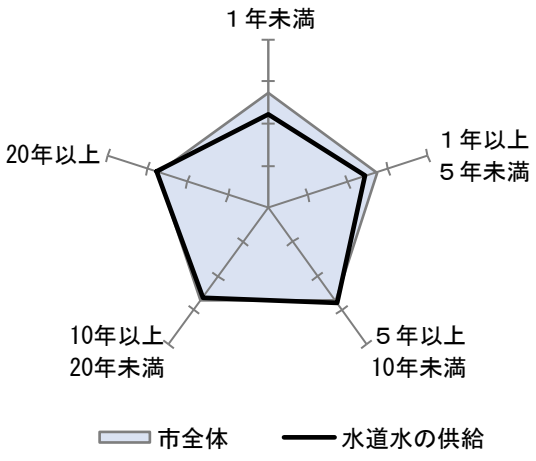


《居住期間別》

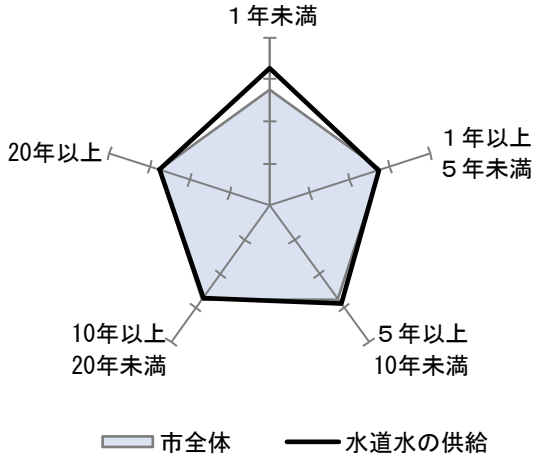
●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

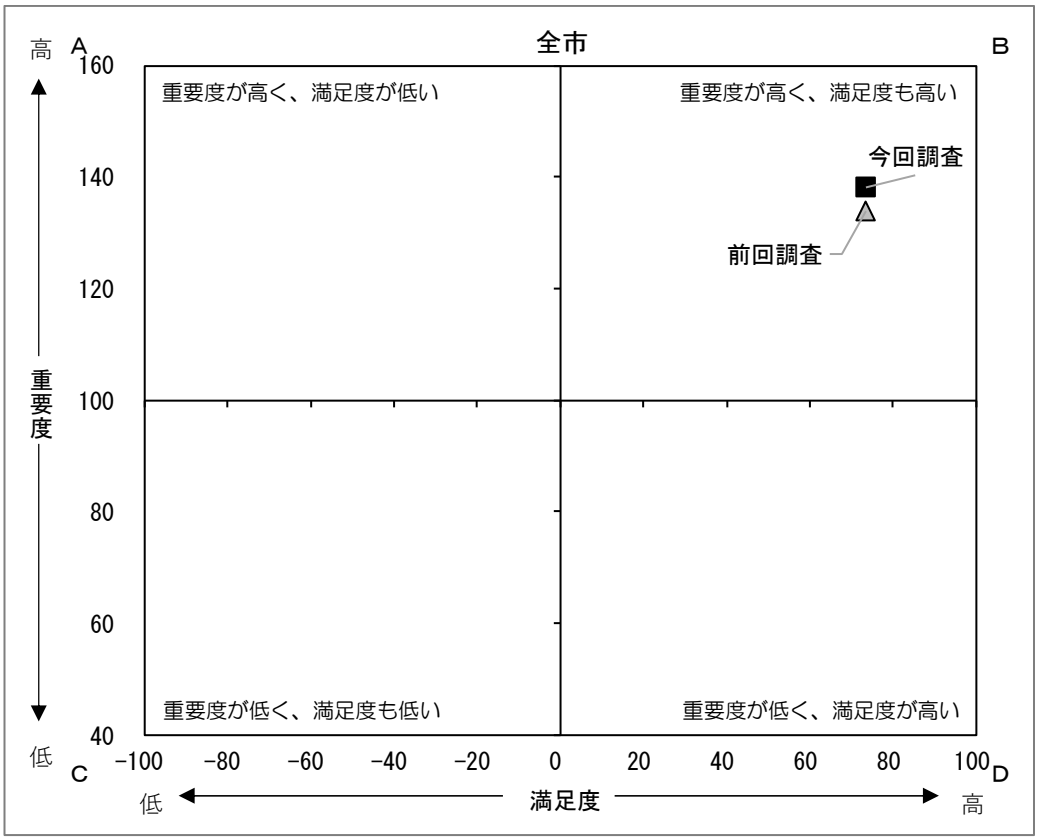


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔雨水・汚水を適切に処理する〕

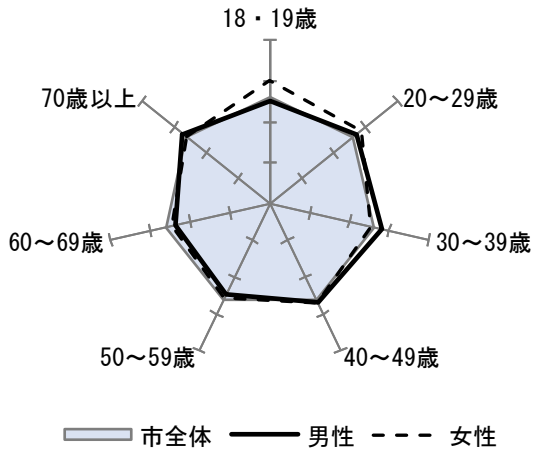
(12) 下水道の整備

《性年代別》

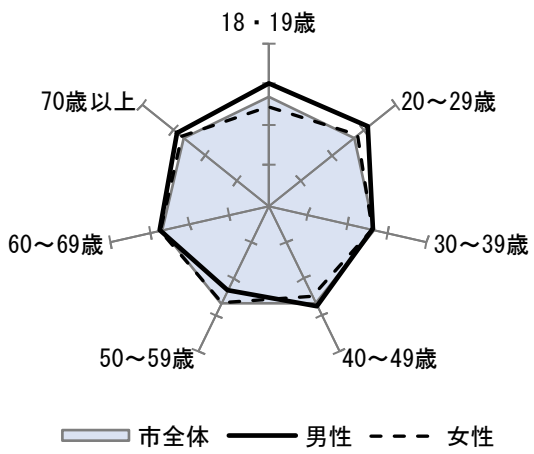
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代、70歳以上の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、30～39歳、50～59歳を除く男性と、20～29歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

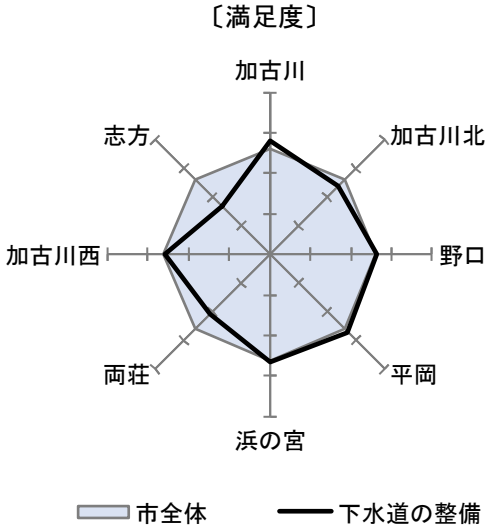


《居住地区別》

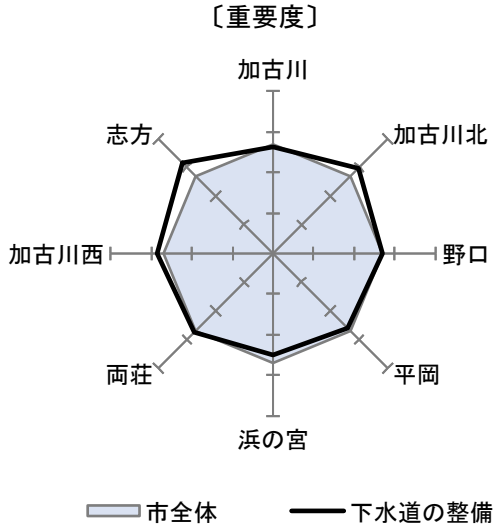
●満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



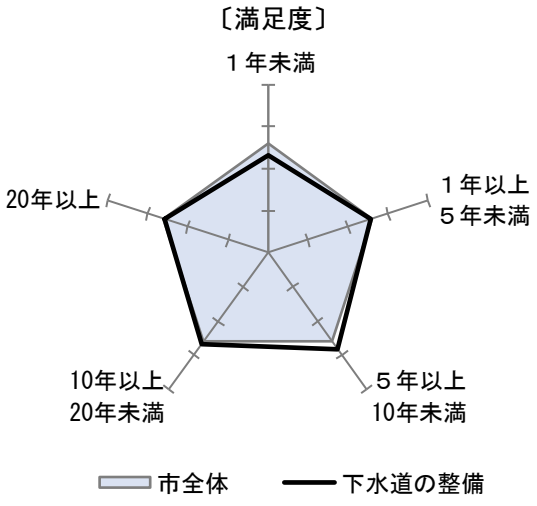
〔重要度〕

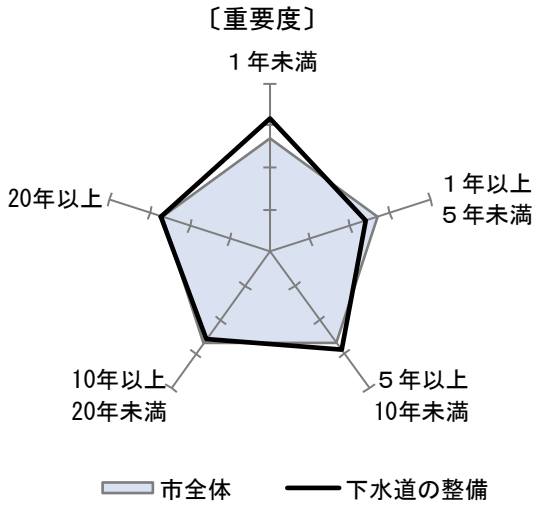


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

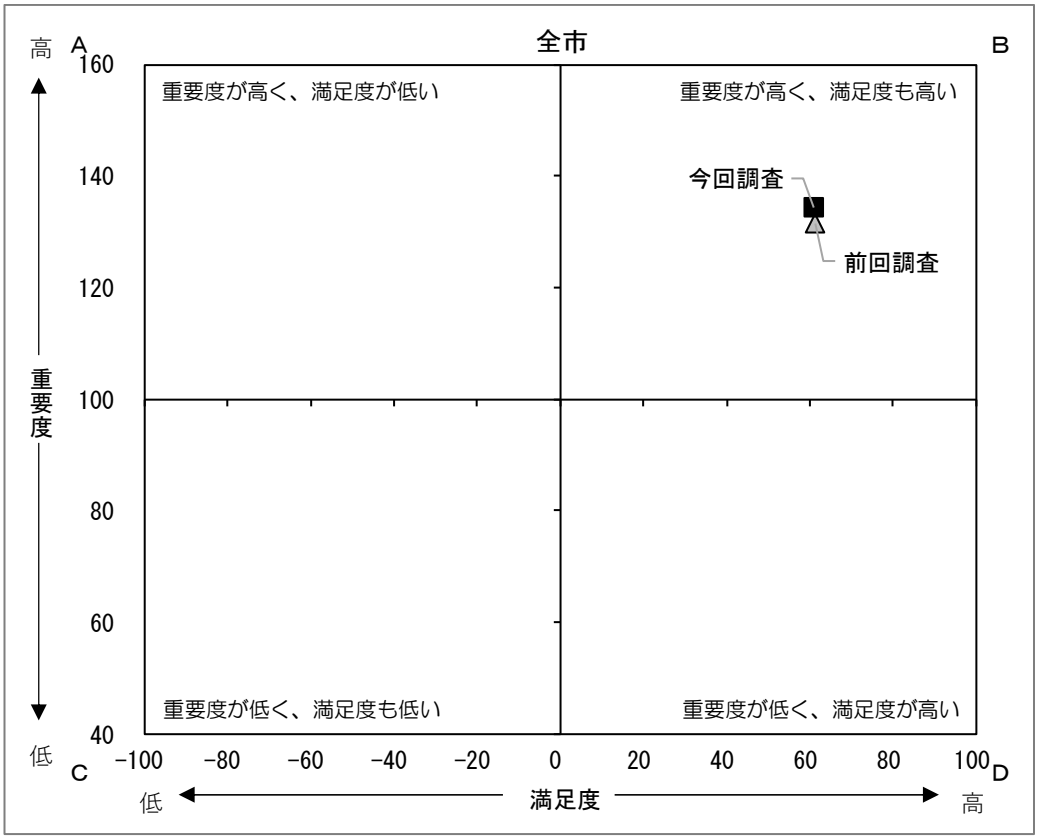
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔地域の情報化を推進する〕

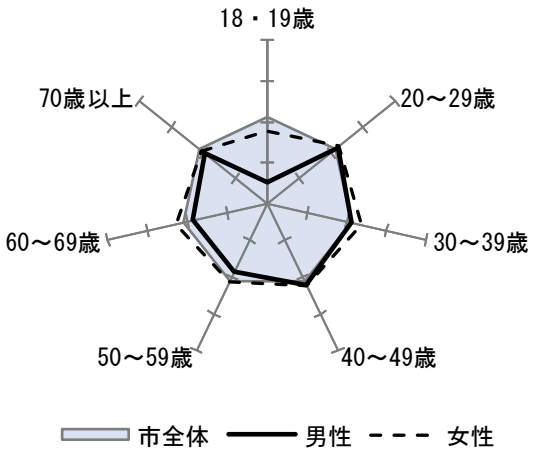
（13）ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した地域の情報化

《性年代別》

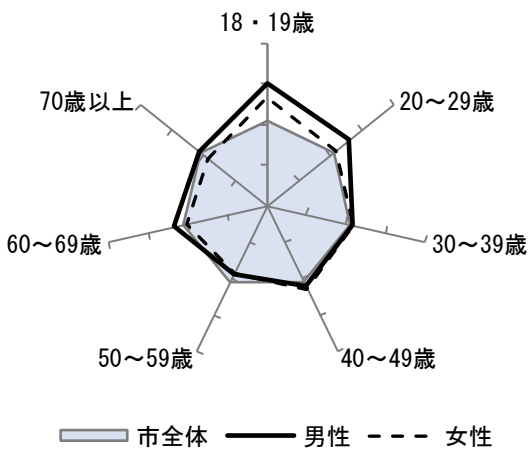
●満足度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、20～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、50～59歳を除く男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

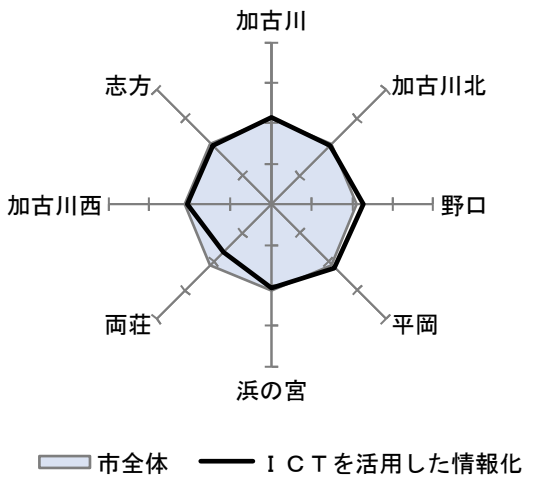


《居住地区別》

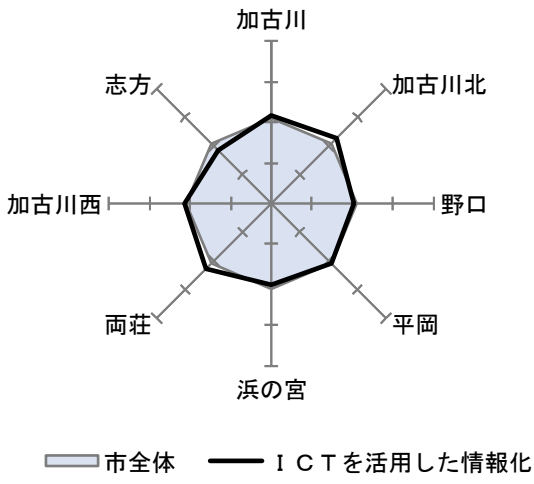
●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

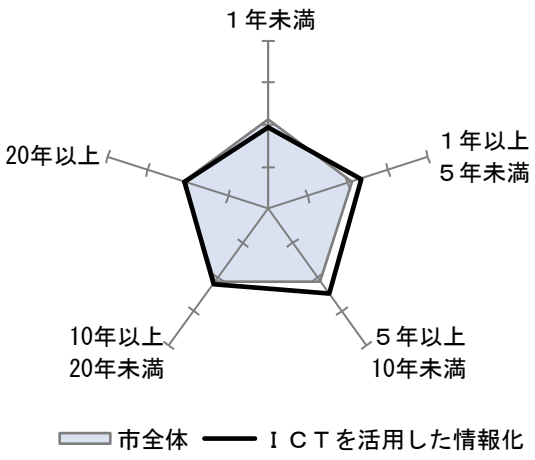


《居住期間別》

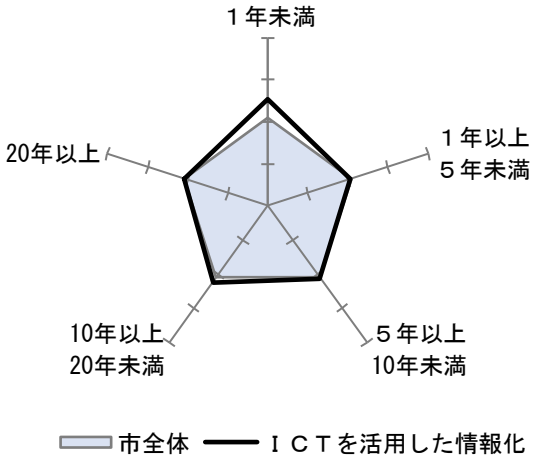
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

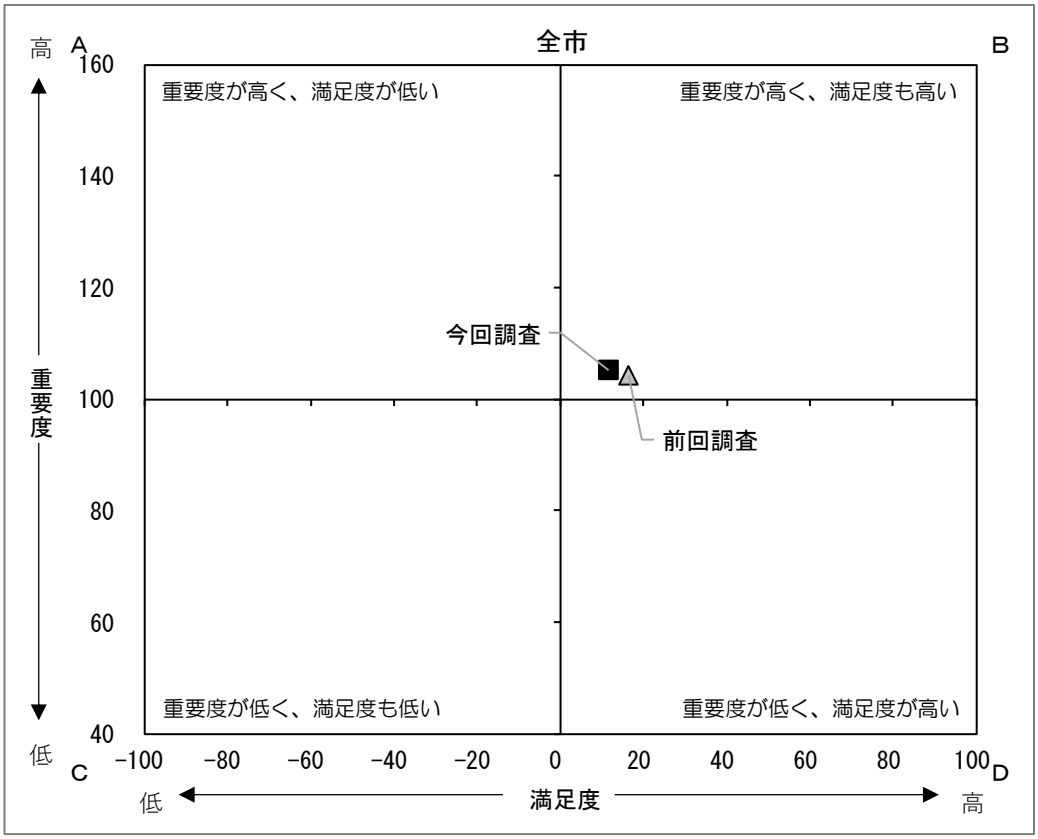


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。

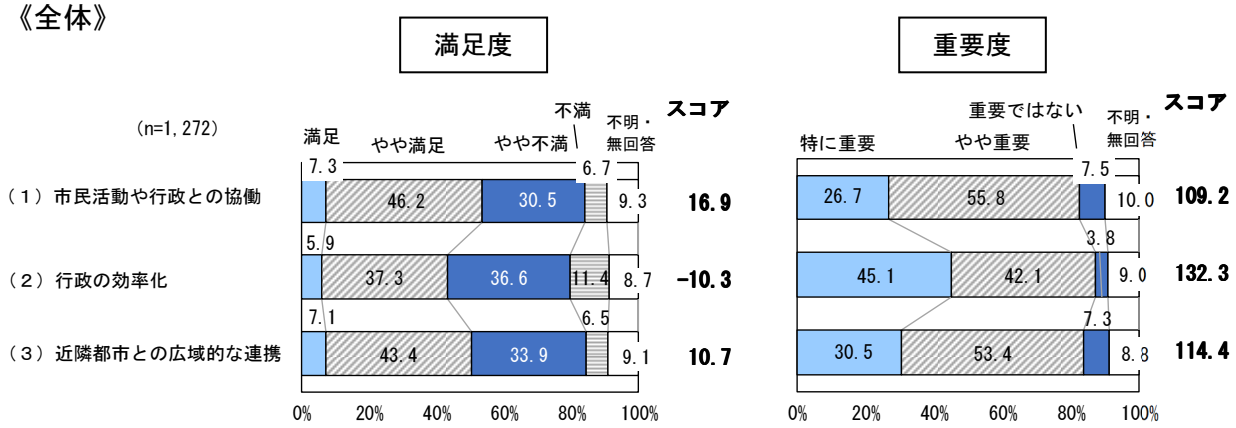


3-6　まちづくりの進め方

●施策の満足度スコアが最も高い項目は「（１）市民活動や行政との協働」、次いで「（３）近隣都市との広域的な連携」、「（２）行政の効率化」となっている。

●施策の重要度スコアが最も高い項目は「（２）行政の効率化」、次いで「（３）近隣都市との広域的な連携」、「（１）市民活動や行政との協働」となっている。

《全体》



まちづくりの進め方
〔市民と行政との協働によるまちづくり〕

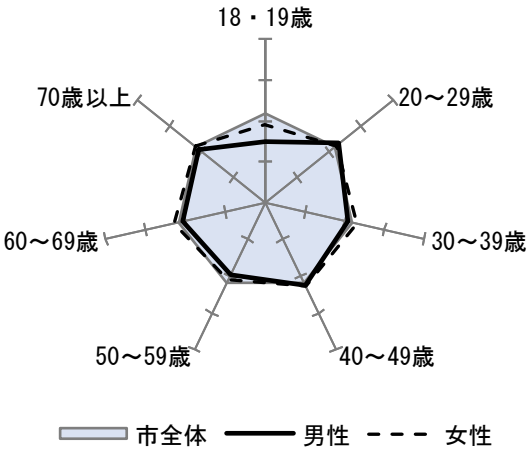
（１）市民活動や行政との協働

《性年代別》

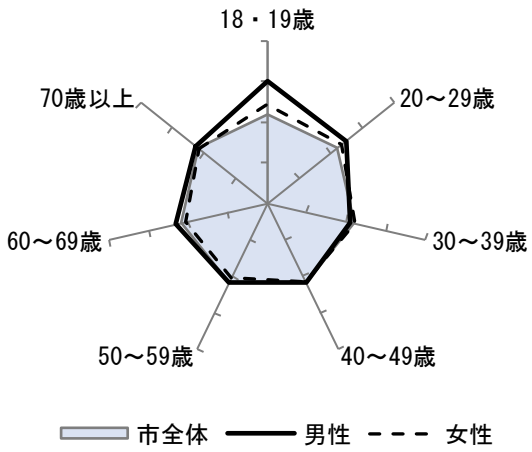
●満足度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳の男性と、20～40歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～29歳、60～69歳、70歳以上の男性と、18・19歳、20～30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

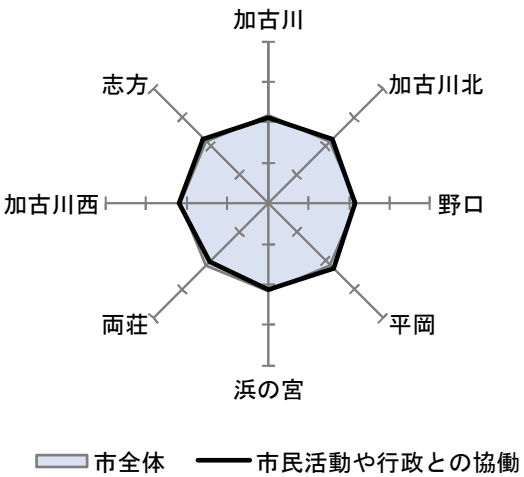


《居住地区別》

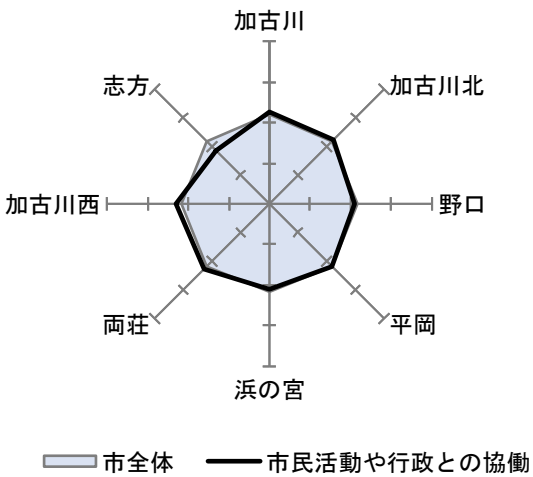
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



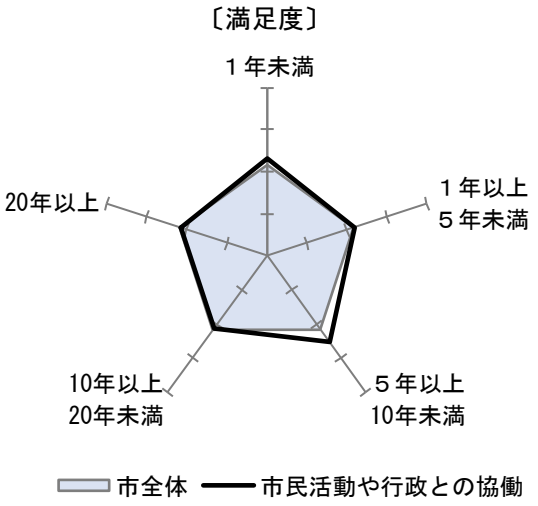
〔重要度〕

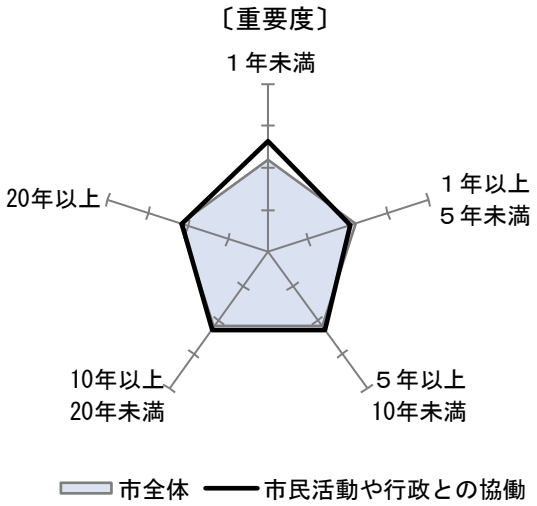


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

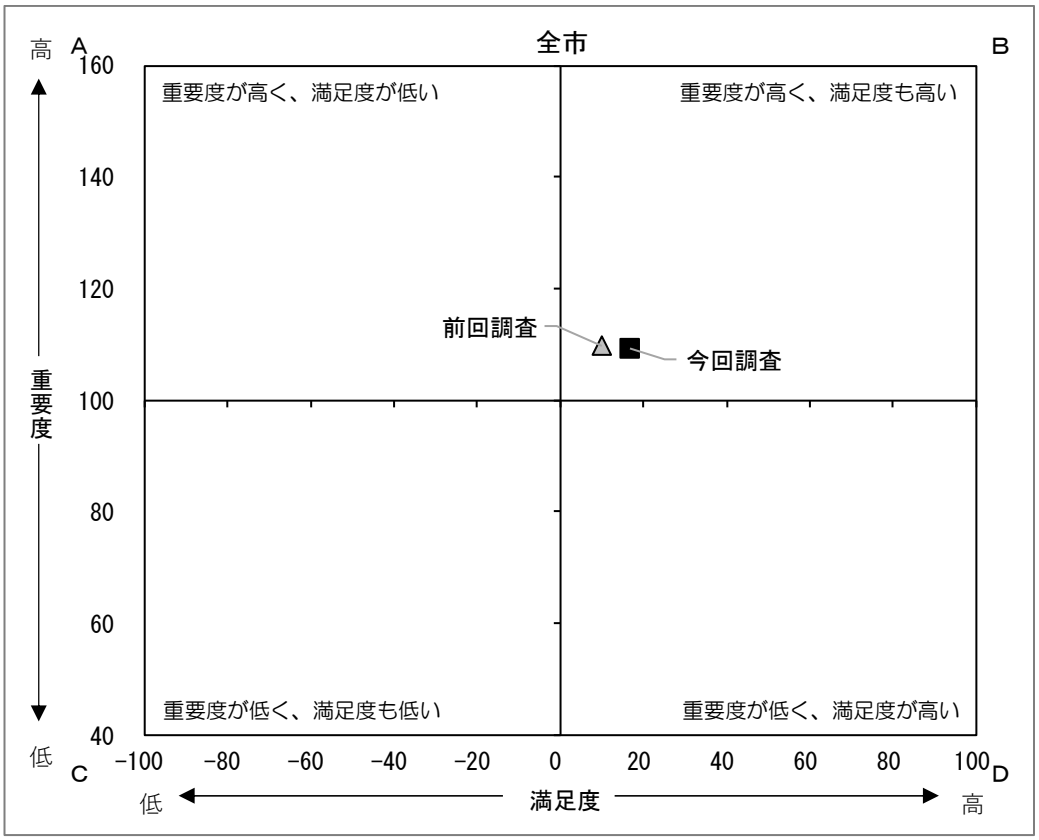
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。



〔効果的・効率的に進めるまちづくり〕

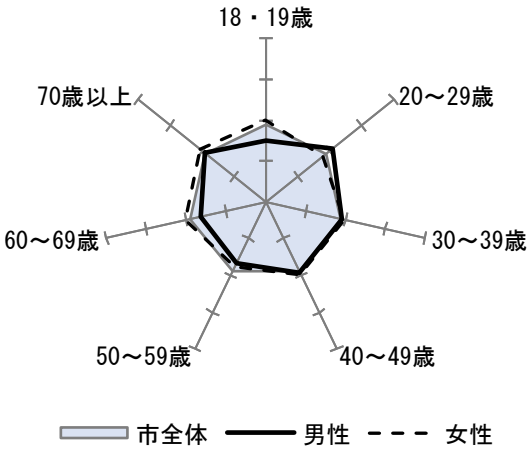
（２）行政の効率化

《性年代別》

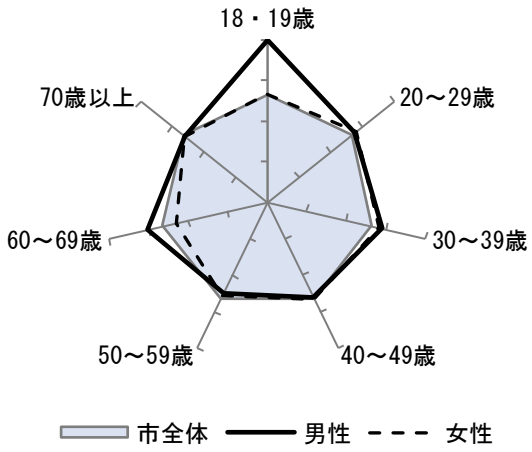
●満足度を性年代別でみると、20～40歳、70歳以上の男性と、18・19歳、30～40歳代、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、60～69歳の男性と、18・19歳、20～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

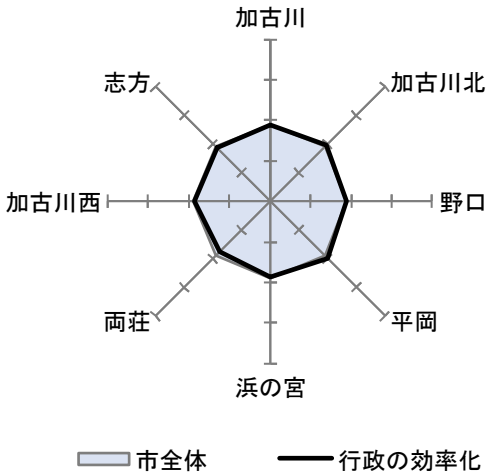


《居住地区別》

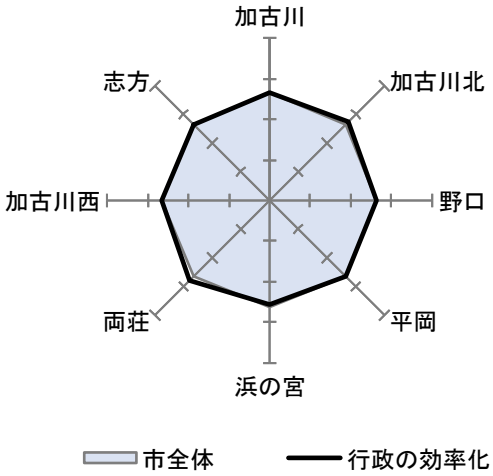
●満足度を居住地区別でみると、加古川北、平岡地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、野口、浜の宮を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



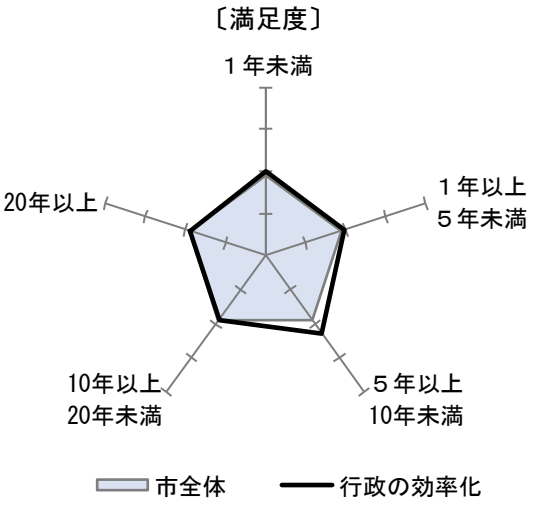
〔重要度〕

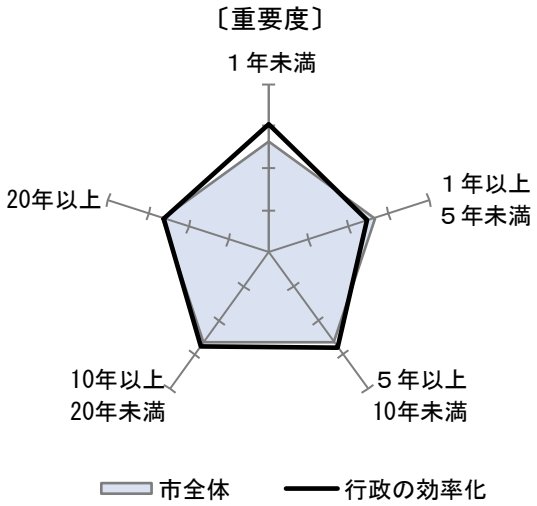


《居住期間別》

●満足度を居住期間別でみると、「１年未満」、「１年以上５年未満」「５年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。

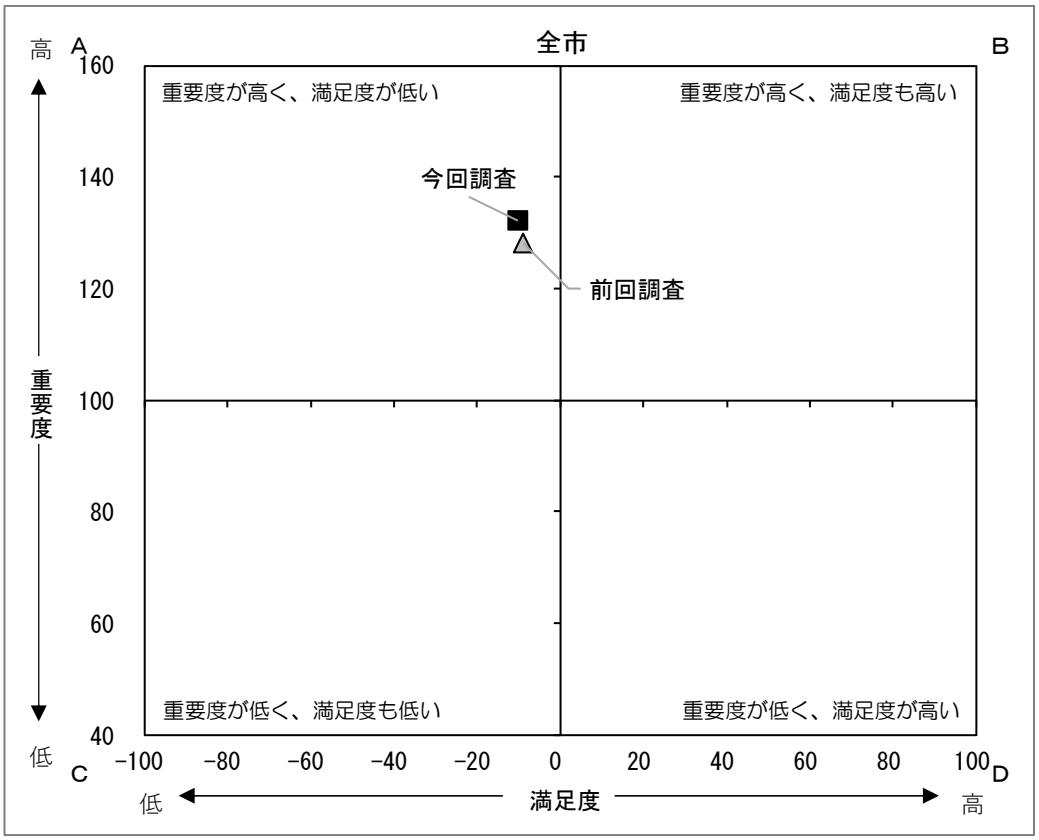
●重要度を居住期間別でみると、「１年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。





《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



〔広域的な都市間連携によるまちづくり〕

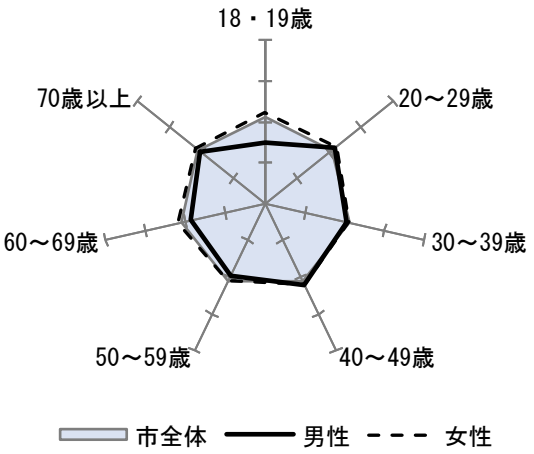
（３）近隣都市との広域的な連携

《性年代別》

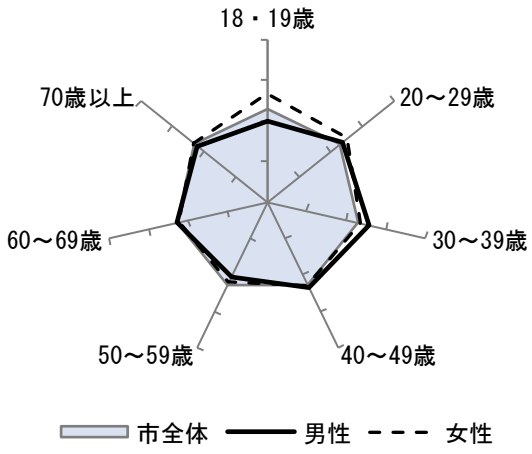
●満足度を性年代別でみると、20～29歳、40～49歳の男性と、18・19歳、20～29歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

●重要度を性年代別でみると、20～40歳代の男性と、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

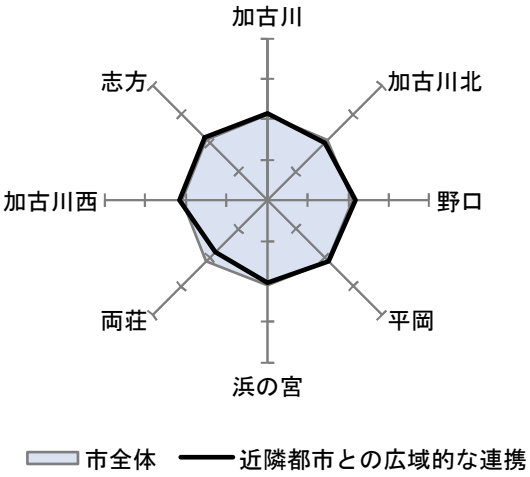


《居住地区別》

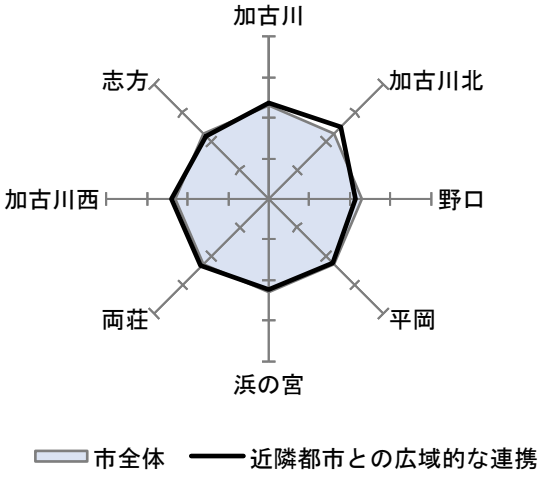
●満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、加古川西、志方地区で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西地区で市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕



〔重要度〕

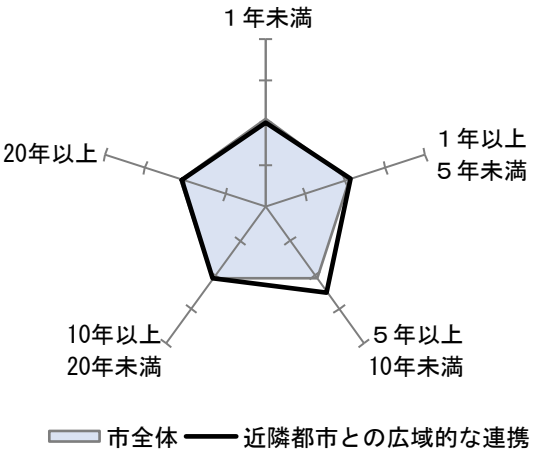


《居住期間別》

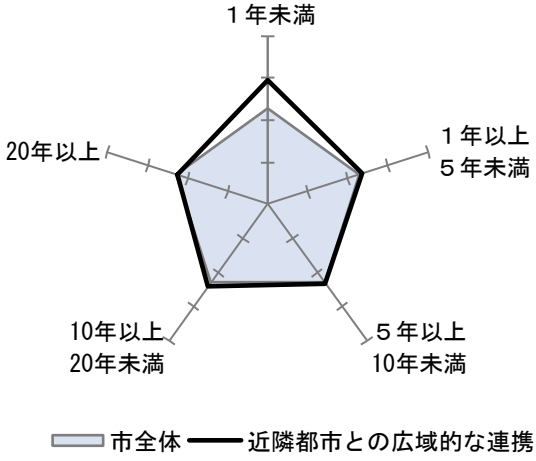
●満足度を居住期間別でみると、「１年以上５年未満」、「５年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」を除くすべてのカテゴリーで市全体平均より高くなっている。

〔満足度〕

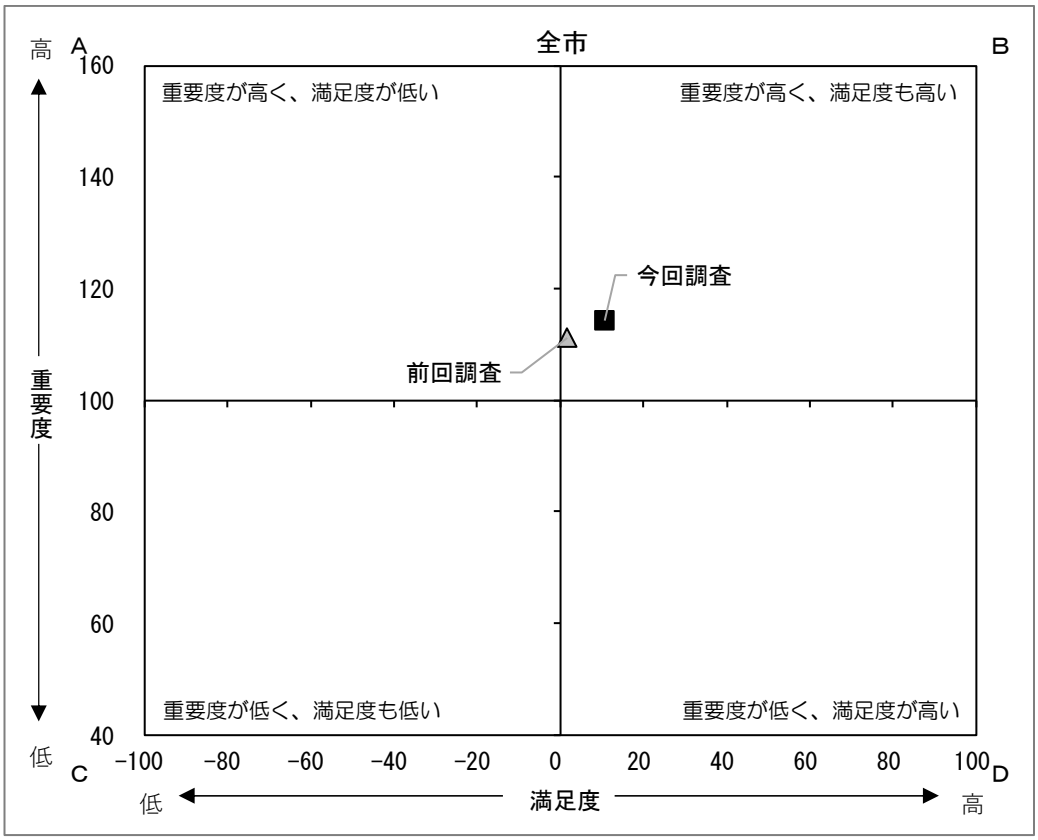


〔重要度〕



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

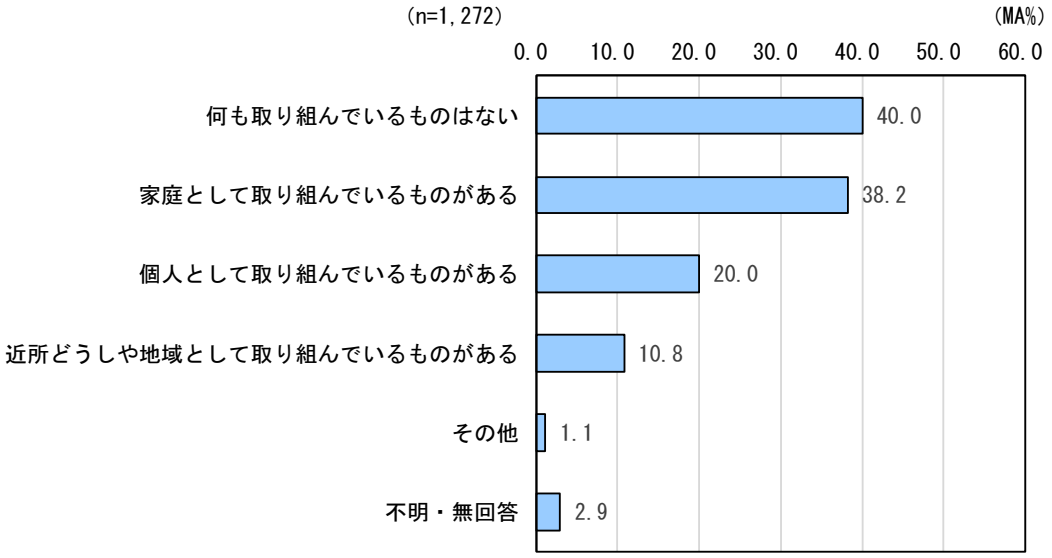
●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに高くなっている。



４．「防災」対策として地域等で取り組んでいること

問４　「防災」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

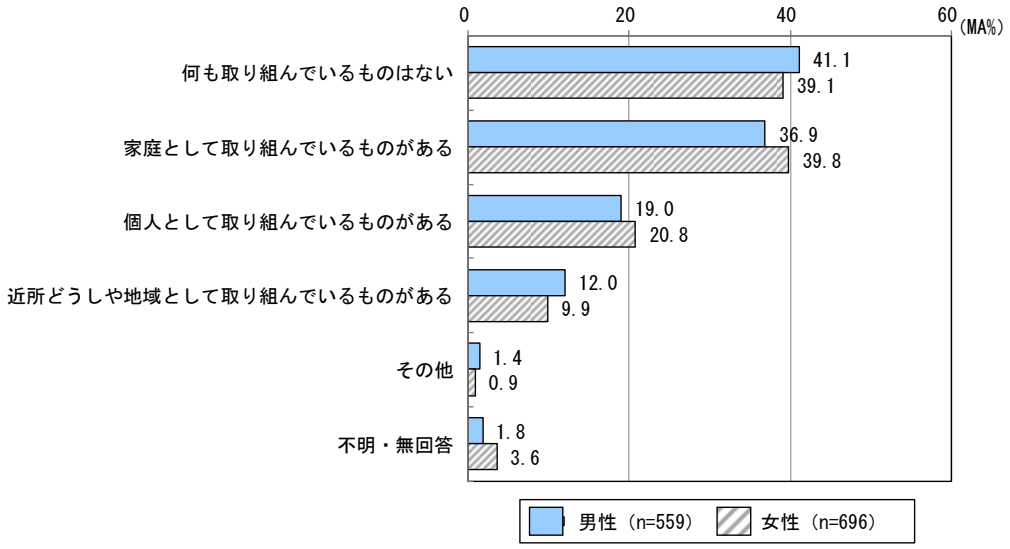
【図4　「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●「防災」対策として地域等で取り組んでいることについては、「何も取り組んでいるものはない」が40.0%と最も高く、次いで、「家庭として取り組んでいるものがある」が38.2%、「個人として取り組んでいるものがある」が20.0%、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が10.8%となっている。(図4)

●性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」が41.1%と最も高く、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が39.8%と最も高くなっている。(図4-1)

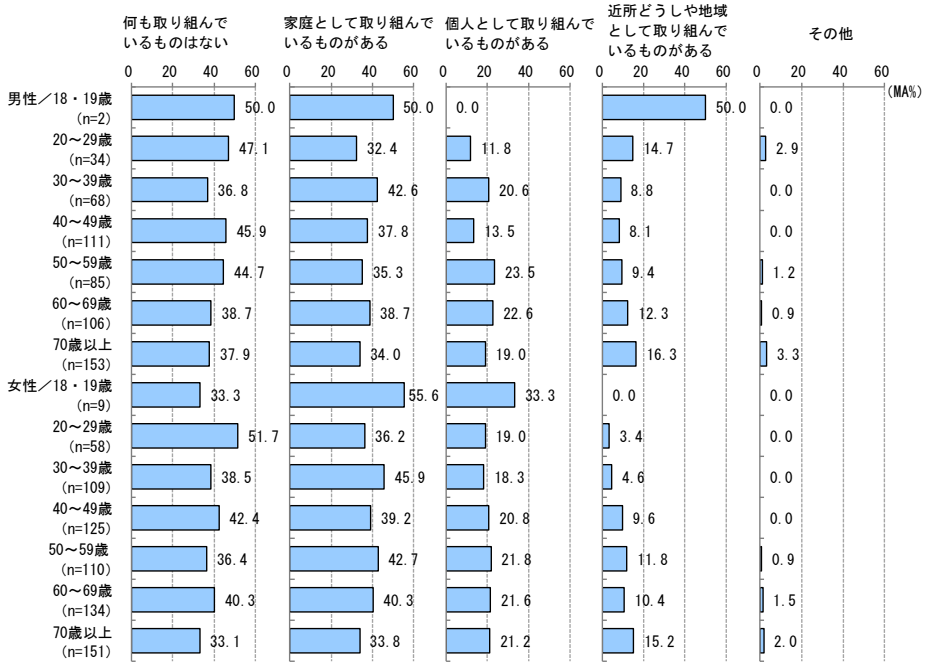
【図4-1　性別　「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「何も取り組んでいるものはない」と「家庭として取り組んでいるものがある」、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が同率で50.0%と最も高く、20～29歳、40～49歳、50～59歳、70歳以上では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ47.1%、45.9%、44.7%、37.9%と最も高く、30～39歳では「家庭として取り組んでいるものがある」が42.6%と最も高く、60～69歳では「何も取り組んでいるものはない」と「家庭として取り組んでいるものがある」が同率で38.7%と最も高くなっている。

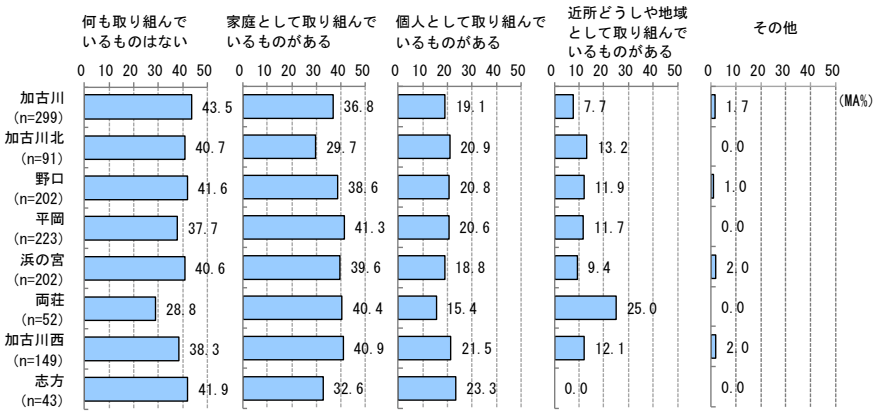
女性の18・19歳、30～39歳、50～59歳、70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ55.6%、45.9%、42.7%、33.8%と最も高く、20～29歳、40～49歳では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ51.7%、42.4%と最も高く、女性60～69歳では「何も取り組んでいるものはない」と「家庭として取り組んでいるものがある」が同率で40.3%と最も高くなっている。(図4-2)

【図4-2　性年代別　「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、志方では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ43.5%、40.7%、41.6%、40.6%、41.9%と最も高く、平岡、両荘、加古川西では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ41.3%、40.4%、40.9%と最も高くなっている。(図4-3)

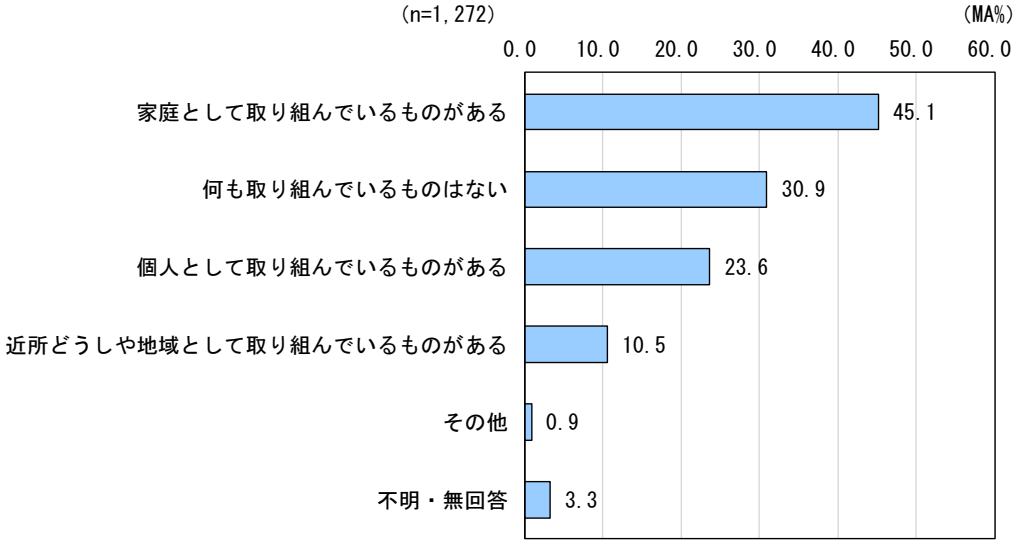
【図 4-3　居住地区別　「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



５．「防犯」対策として地域等で取り組んでいること

問５　「防犯」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

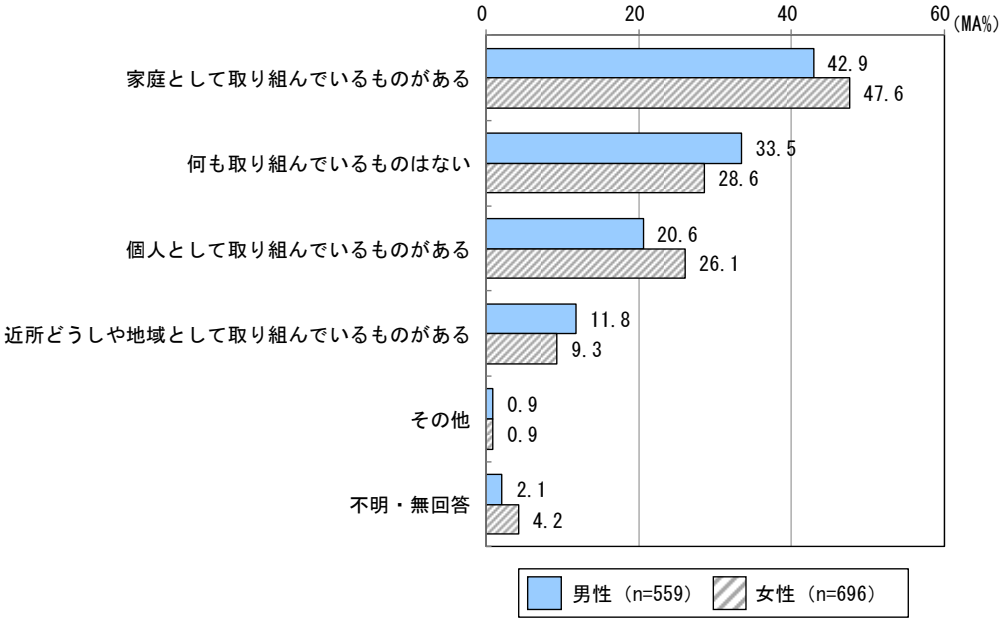
【図5　「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



●「防犯」対策として地域等で取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が45.1%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が30.9%、「個人として取り組んでいるものがある」が23.6%、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が10.5%となっている。(図5)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「家庭として取り組んでいるものがある」が高く、男性では42.9%、女性では47.6%となっている。(図5-1)

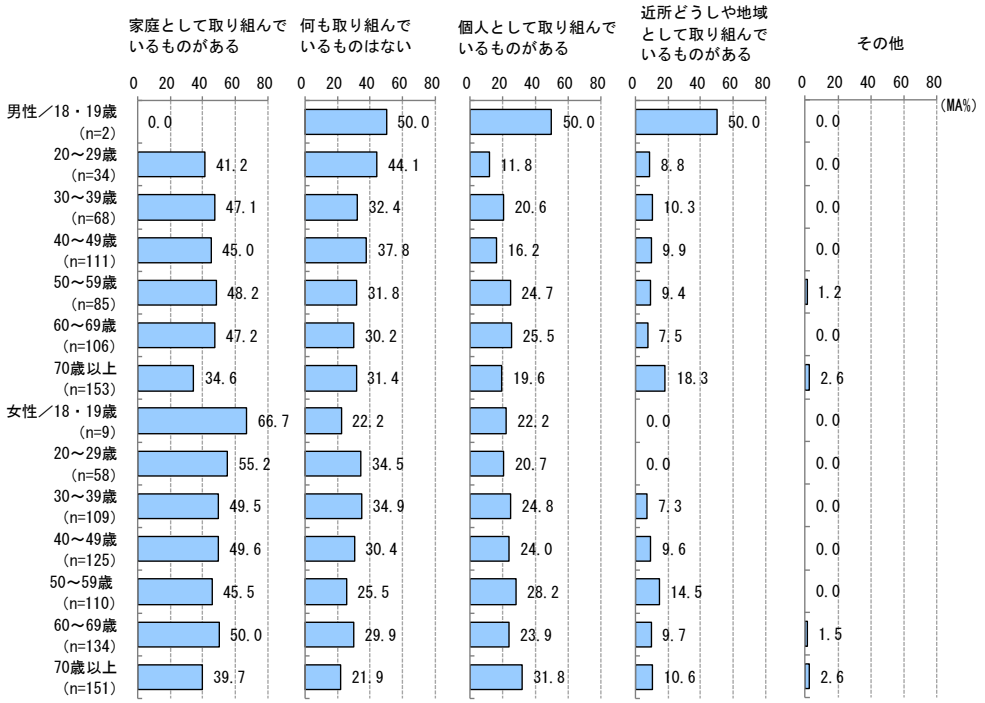
【図5-1　性別　「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では、「何も取り組んでいるものはない」、「個人として取り組んでいるものがある」、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が同率で50.0%と最も高く、20～29歳では「何も取り組んでいるものはない」が44.1%と最も高く、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ47.1%、45.0%、48.2%、47.2%、34.6%と最も高くなっている。

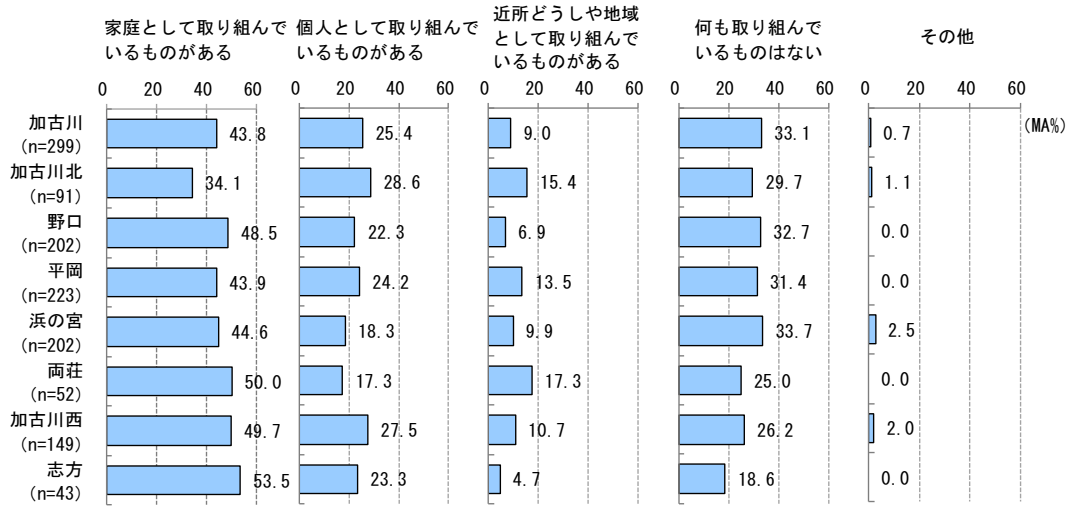
女性はすべてのカテゴリーで「家庭として取り組んでいるものがある」が最も高く、18・19歳からそれぞれ順に66.7%、55.2%、49.5%、49.6%、45.5%、50.0%、39.7%となっている（図5-2）

【図5-2　性年代別　「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「家庭として取り組んでいるものがある」が最も高く、加古川からそれぞれ順に43.8%、34.1%、48.5%、43.9%、44.6%、50.0%、49.7%、53.5%となっている。（図5-3）

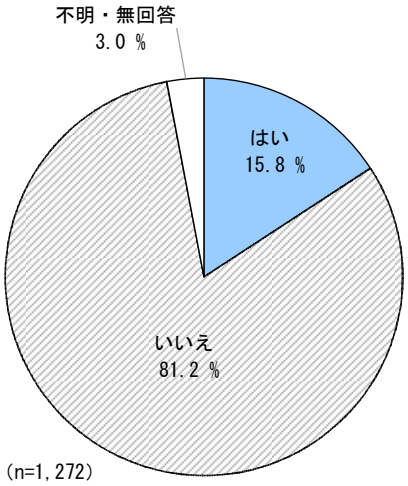
【図5-3　居住地区別　「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



６．市民活動の参加状況

問６　あなたは市民活動に参加していますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。（市民活動とは、ボランティアやＮＰＯ活動など、営利を目的とせず、多くの人にとって役に立つこと・ためになることを行う活動です）

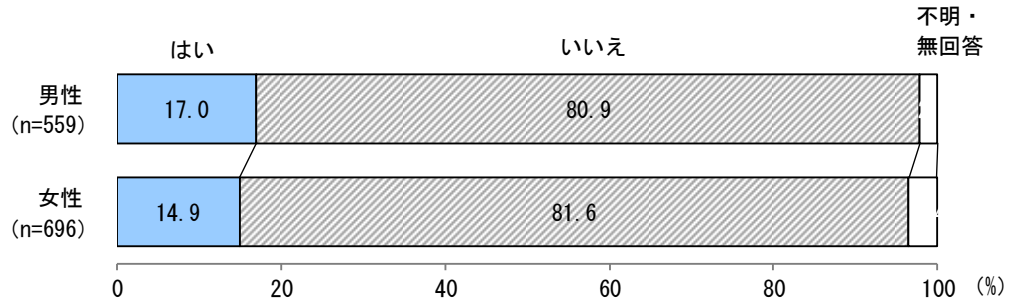
【図6　市民活動に参加しているか】



●市民活動への参加については、「はい」（参加している）が15.8%、「いいえ」（参加していない）が81.2%となっている。（図6）

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「いいえ」が「はい」を上回り、男性では「いいえ」が80.9%、女性では81.6%となっている。（図6-1）

【図6-1　性別　市民活動に参加しているか】

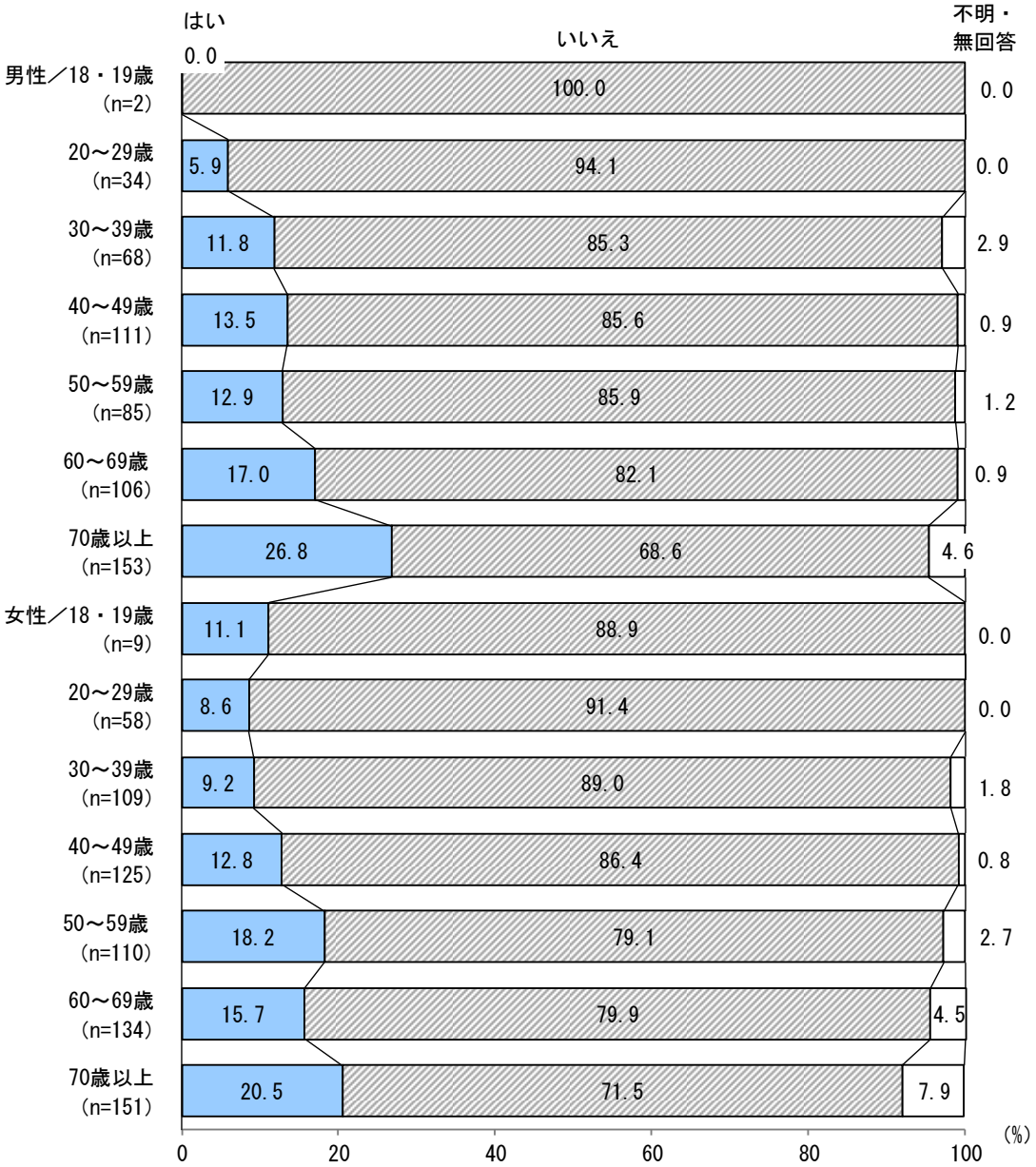


●性年代別でみると、すべてのカテゴリーで「いいえ」が「はい」を上回っている。

男性の「はい」の割合は、70歳以上で26.8%と最も高くなっている。

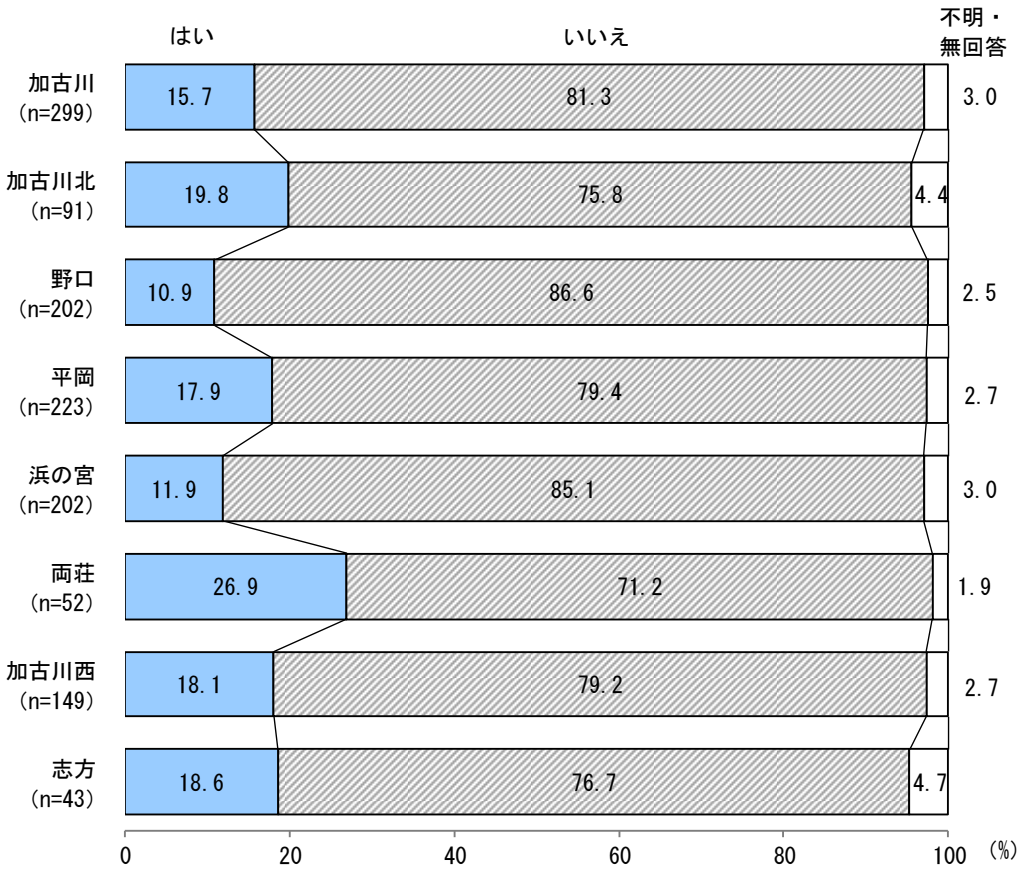
女性の「はい」の割合は、70歳以上で20.5%と最も多くなっている。(図6-2)

【図6-2　性年代別　市民活動に参加しているか】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「いいえ」が「はい」を上回っている。「はい」の割合は、両荘で26.9%と最も高く、次いで加古川北が19.8%、志方が18.6%、加古川西が18.1%、平岡が17.9%となっている。(図6-3)

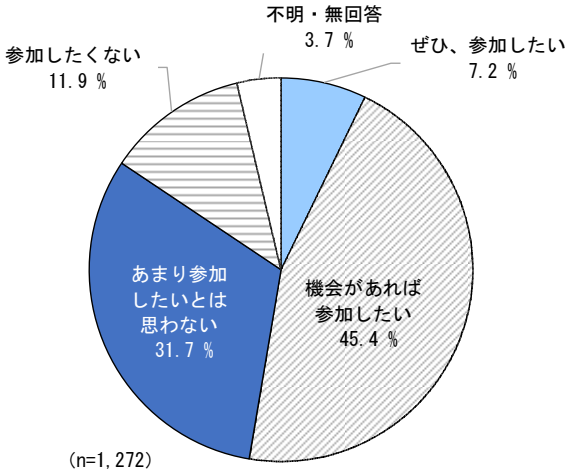
【図6-3　居住地区別　市民活動に参加しているか】



７．市民活動への参加意向

問７　あなたは、問６のような活動をしたいと思いますか。現在、何らかの活動に参加している方は、引く続き活動に参加したいと思いますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

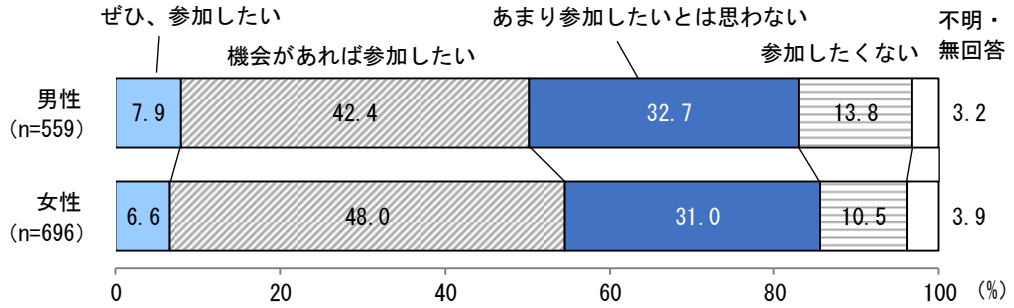
【図7　市民活動に参加したいか】



●市民活動への参加意向については、「機会があれば参加したい」が45.4%と最も高く、次いで、「あまり参加したいとは思わない」が31.7%、「参加したくない」が11.9%、「ぜひ参加したい」が7.2%となっている。(図7)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「機会があれば参加したい」が最も高く、男性では42.4%、女性では48.0%となっている。(図7-1)

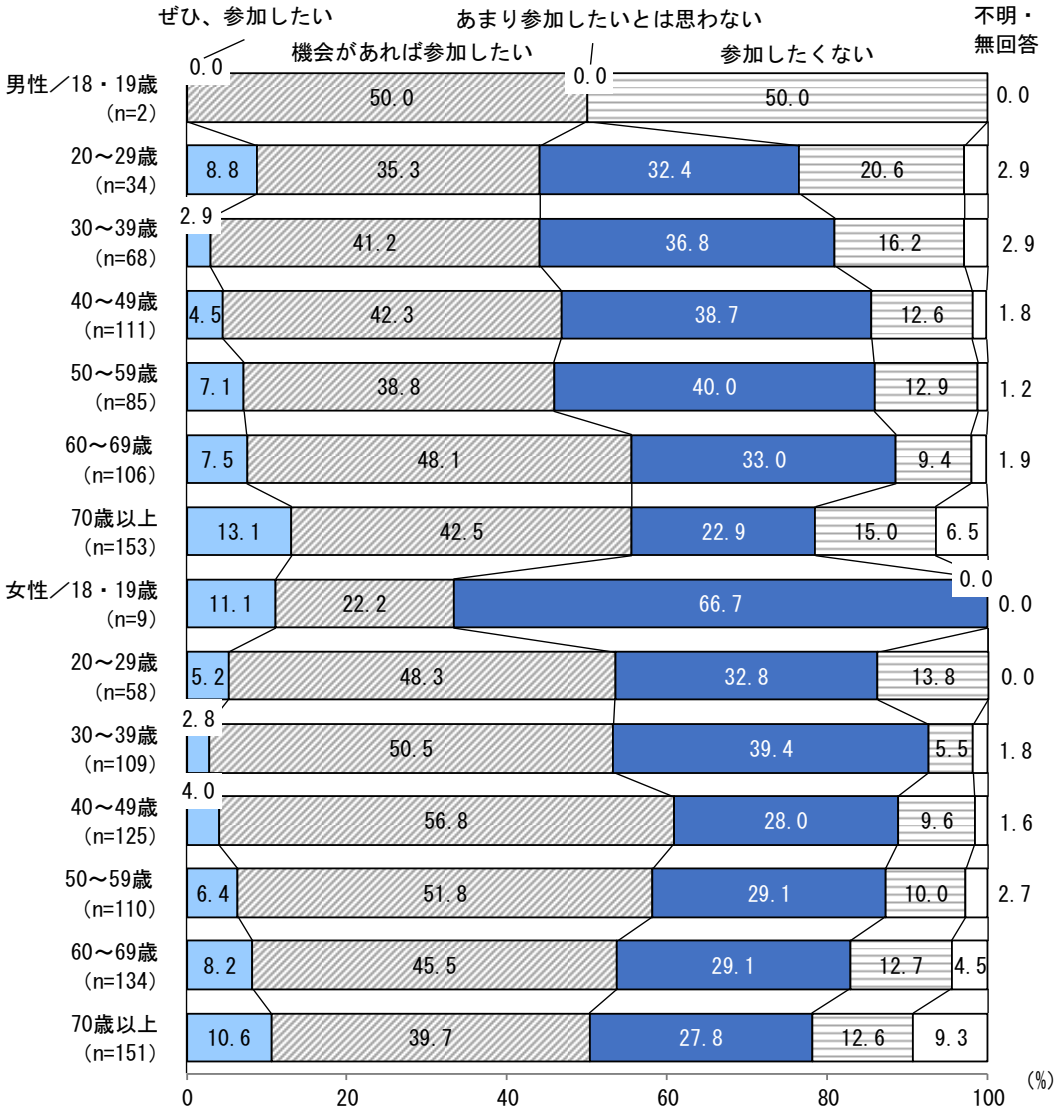
【図7-1　性別　市民活動に参加したいか】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「機会があれば参加したい」と「参加したくない」が同率で50.0％と最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上では「機会があれば参加したい」がそれぞれ35.3％、41.2％、42.3％、48.1％、42.5％と最も多く、50～59歳では「あまり参加したいとは思わない」が40.0％となっている。

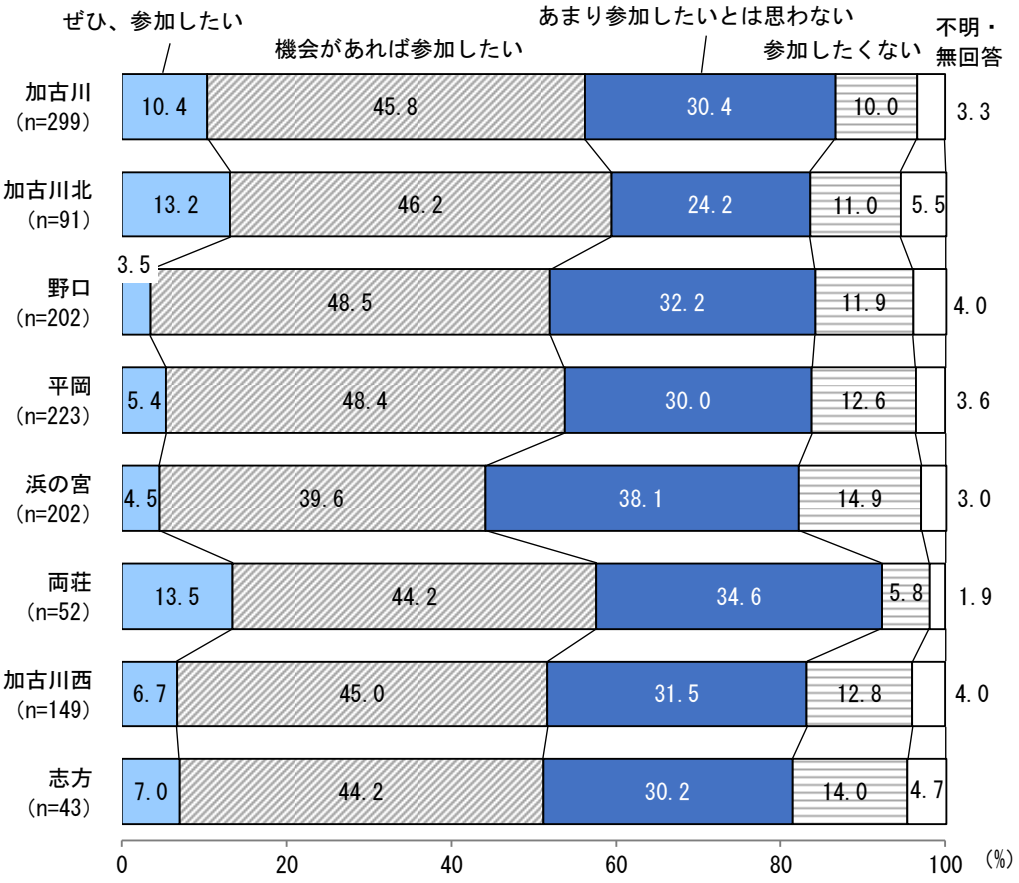
女性の18・19歳では「あまり参加したいとは思わない」が66.7％と最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「機会があれば参加したい」がそれぞれ48.3％、50.5％、56.8％、51.8％、45.5％、39.7％と最も高くなっている。（図7-2）

【図7-2　性年代別　市民活動に参加したいか】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「機会があれば参加したい」が最も高く、加古川から順にそれぞれ45.8%、46.2%、48.5%、48.4%、39.6%、44.2%、45.0%、44.2%となっている。（図7-3）

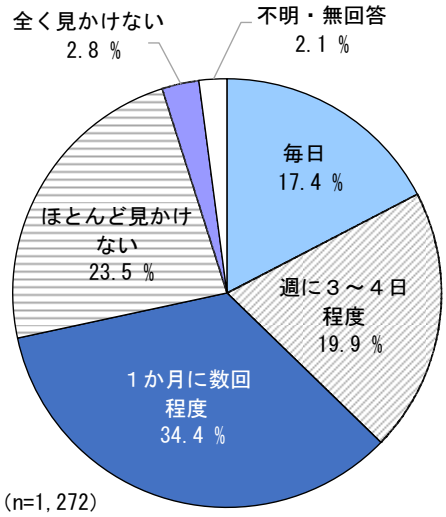
【図 7-3　居住地区別　市民活動に参加したいか】



８．「ごみのポイ捨て」を見かける頻度について

問８　市内で「ごみのポイ捨て」を見かけることはどれくらいありますか。
あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

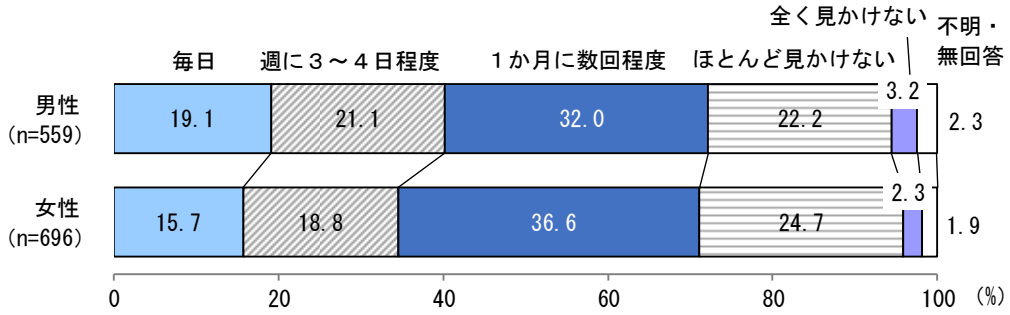
【図8　ごみのポイ捨てを見かける頻度】



●ごみのポイ捨てを見かける頻度については、「１か月に数回程度」が34.4%と最も高く、次いで、「ほとんど見かけない」が23.5%、「週に３～４日程度」が19.9%、「毎日」が17.4%となっている。(図8)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「１か月に数回程度」が最も高く、男性では32.0%、女性では36.6%となっている。(図8-1)

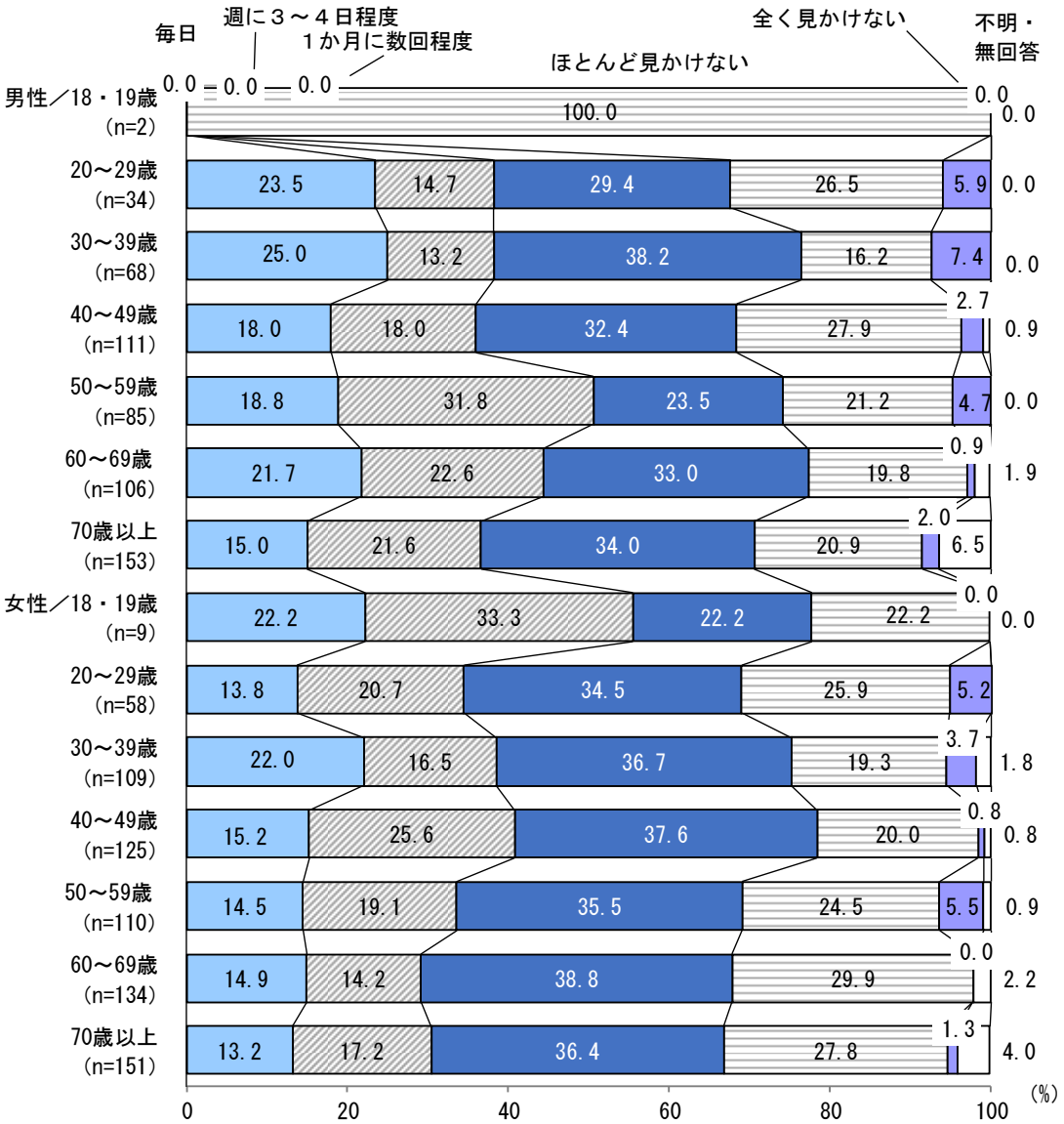
【図8-1　性別　ごみのポイ捨てを見かける頻度】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「ほとんど見かけない」が100.0％と最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上では「１か月に数回程度」がそれぞれ29.4％、38.2％、32.4％、33.0％、34.0％と最も高く、50～59歳では「週に３～４日程度」が31.8％と最も高くなっている。

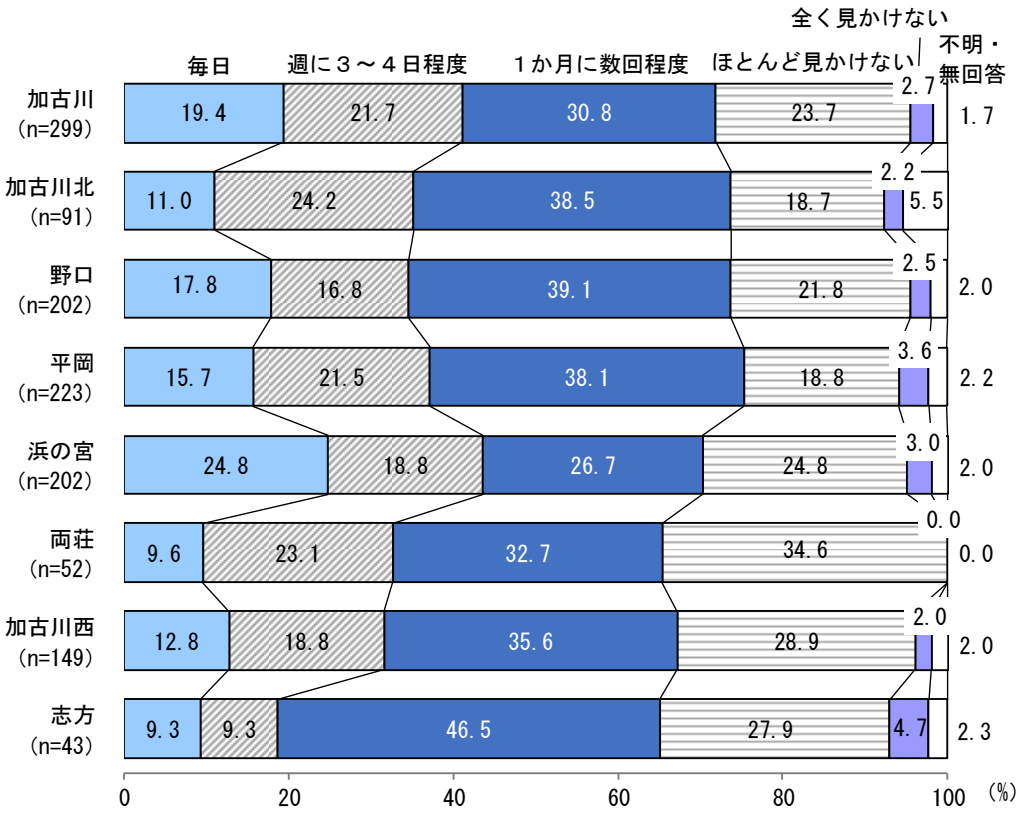
女性の18・19歳では「週に３～４日程度」が33.3％と最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「１か月に数回程度」がそれぞれ34.5％、36.7％、37.6％、35.5％、38.8％、36.4％と最も高くなっている。（図8-2）

【図8-2　性年代別　ごみのポイ捨てを見かける頻度】



●居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、浜の宮、加古川西、志方では「１か月に数回程度」がそれぞれ30.8%、38.5%、39.1%、38.1%、26.7%、35.6%、46.5%と最も高く、両荘では「ほとんど見かけない」が34.6%と最も高くなっている。(図8-3)

【図8-3　居住地区別　ごみのポイ捨てを見かける頻度】

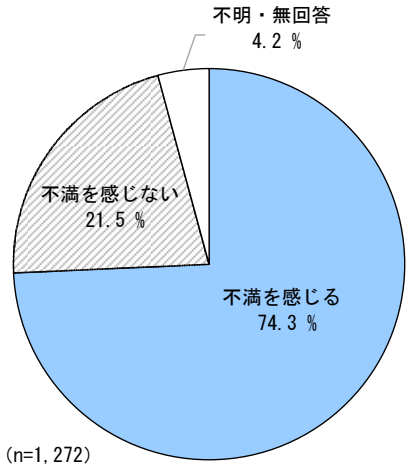


９．「ごみのポイ捨て」に対する不満について

（１）不満の有無

問９　「ごみのポイ捨て」について、不満を感じていますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

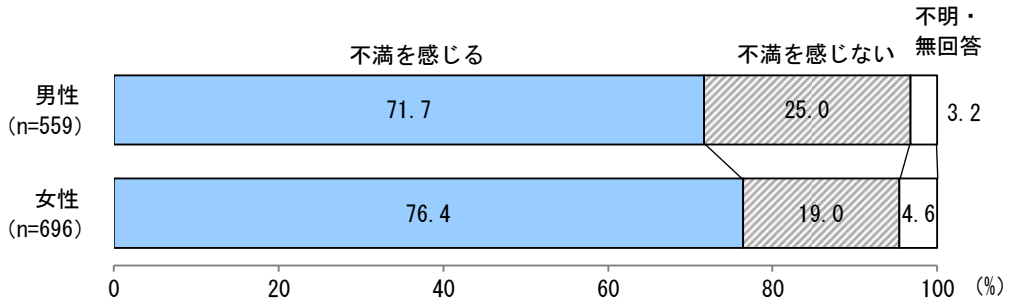
【図9-1　ごみのポイ捨てに対する不満の有無】



●ごみのポイ捨てに対する不満の有無については、「不満を感じる」が74.3%、「不満を感じない」が21.5%となっている。（図9-1）

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「不満を感じる」が「不満を感じない」を上回り、男性では「不満を感じる」が71.7%、女性では76.4%となっている。（図9-1-1）

【図9-1-1　性別　ごみのポイ捨てに対する不満の有無】

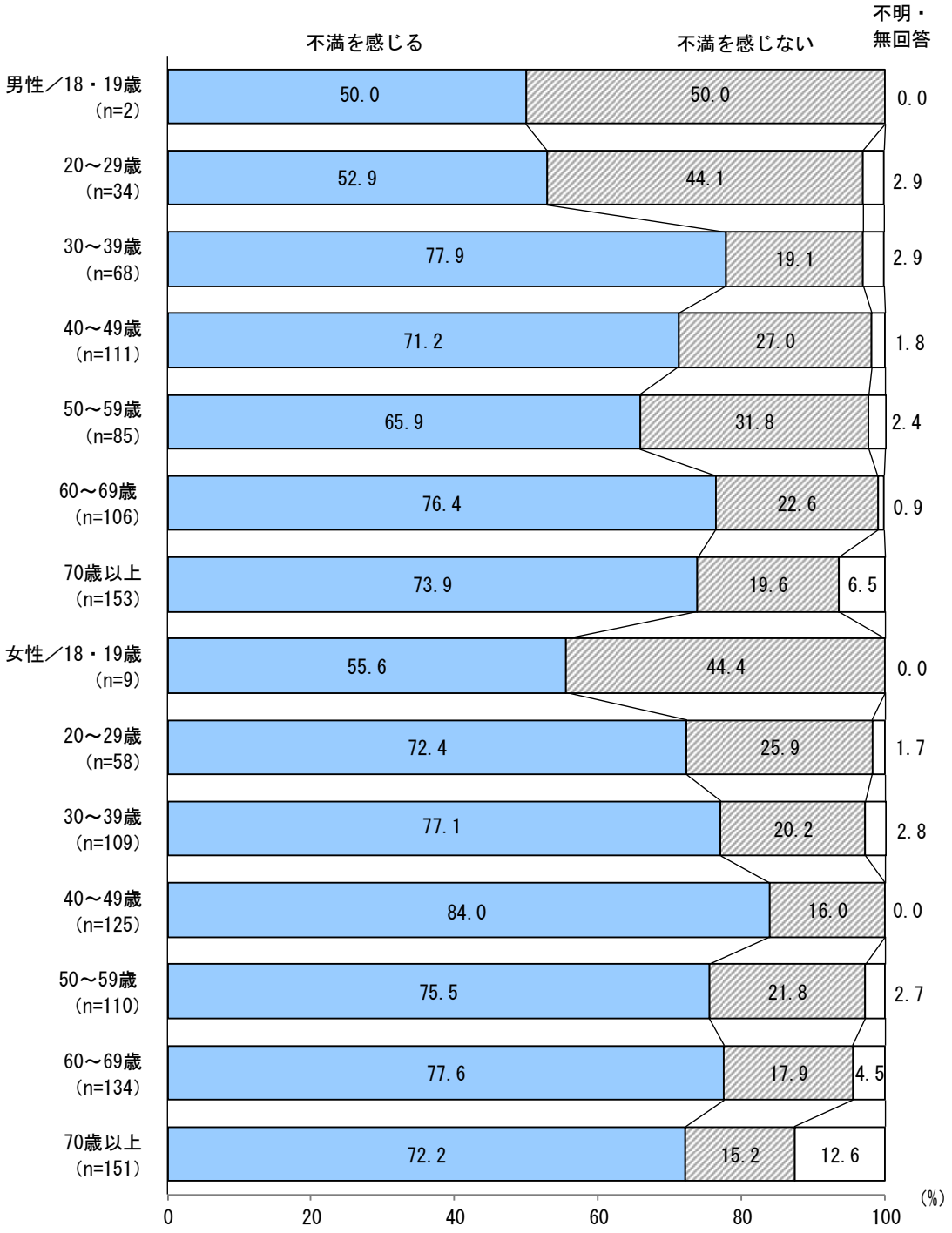


●性年代別でみると、男性の18・19歳では「不満を感じる」と「不満を感じない」がともに50.0%となっており、他のすべてのカテゴリーで「不満を感じる」が「不満を感じない」を上回っている。

男性の「不満を感じる」の割合は、30～39歳が77.9%と最も高くなっている。

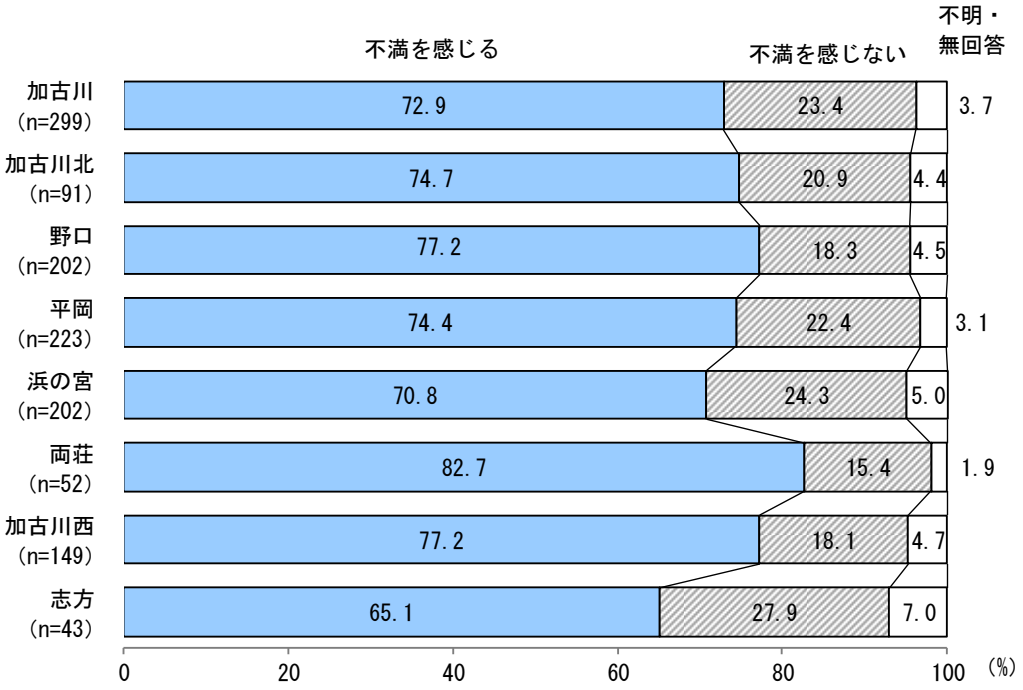
女性の「不満を感じる」の割合は、40～49歳が84.0%と最も高くなっている。(図9-1-2)

【図9-1-2　性年代別　ごみのポイ捨てに対する不満の有無】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「不満を感じる」が「不満を感じない」を上回っている。「不満を感じる」の割合は、両荘が82.7%と最も高く、次いで野口と加古川西が77.2%、加古川北が74.7%となっている。(図9-1-3)

【図9-1-3　居住地区別　ごみのポイ捨てに対する不満の有無】



（２）ごみをよく見かける場所

問９-① 問９で「１．不満を感じる」を選ばれた方におたずねします。ごみをよく見かける場所はどこですか。具体的にお答えください。

場所	件数（件）
道路	419
自宅周辺	203
ため池周辺	151
駅、駅前、駅周辺	127
公園	104

※上位5位までを記載。

（３）よく見かけるごみの内容

問９-② 問９で「１．不満を感じる」を選ばれた方におたずねします。よく見かけるごみはどのようなものですか。具体的にお答えください。

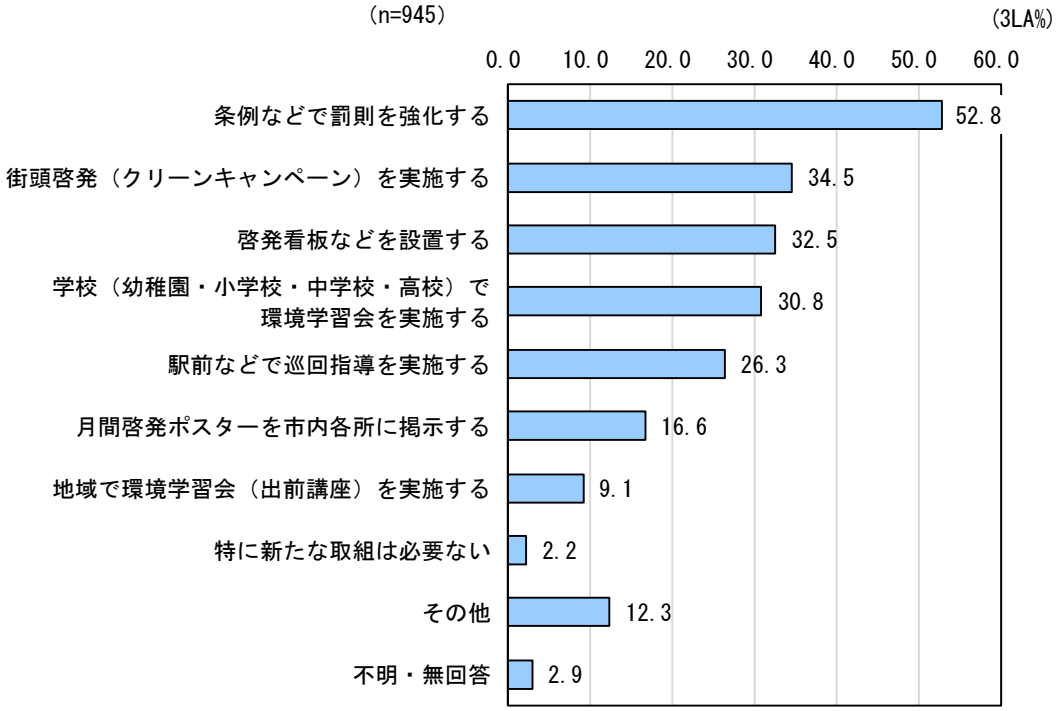
場所	件数（件）
タバコの吸い殻	557
ペットボトル	482
空き缶	424
レジ袋、お菓子の袋など	328
紙くず	254

※上位5位までを記載。

（４）ごみのポイ捨ての減少に効果的だと思う取組

問９-③	問９で「１．不満を感じる」を選ばれた方におたずねします。ごみのポイ捨ての減少に向け、どのような取組が効果的だと思いますか。あてはまるものを３つまで選んで番号に○をつけてください。

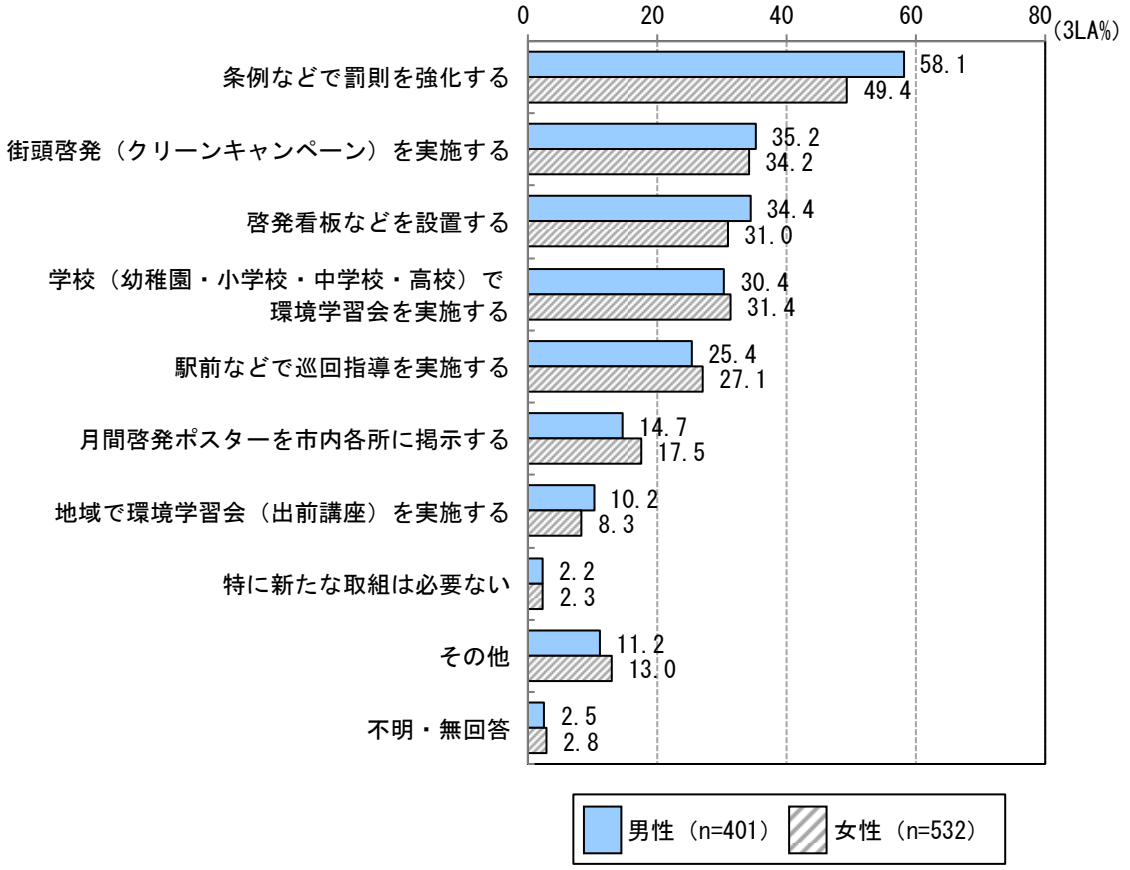
【図9-4　ごみのポイ捨てに効果的だと思う取組】



●ごみのポイ捨ての減少に効果的だと思う取組については、「条例などで罰則を強化する」が52.8%と最も高く、次いで、「街頭啓発（クリーンキャンペーン）を実施する」が34.5%、「啓発看板などを設置する」が32.5%、「学校（幼稚園・小学校・中学校・高校）で環境学習会を実施する」が30.8%、「駅前などで巡回指導を実施する」が26.3%となっている。(図9-4)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「条例などで罰則を強化する」が最も高く、男性では58.1%、女性では49.4%となっている。(図9-4-1)

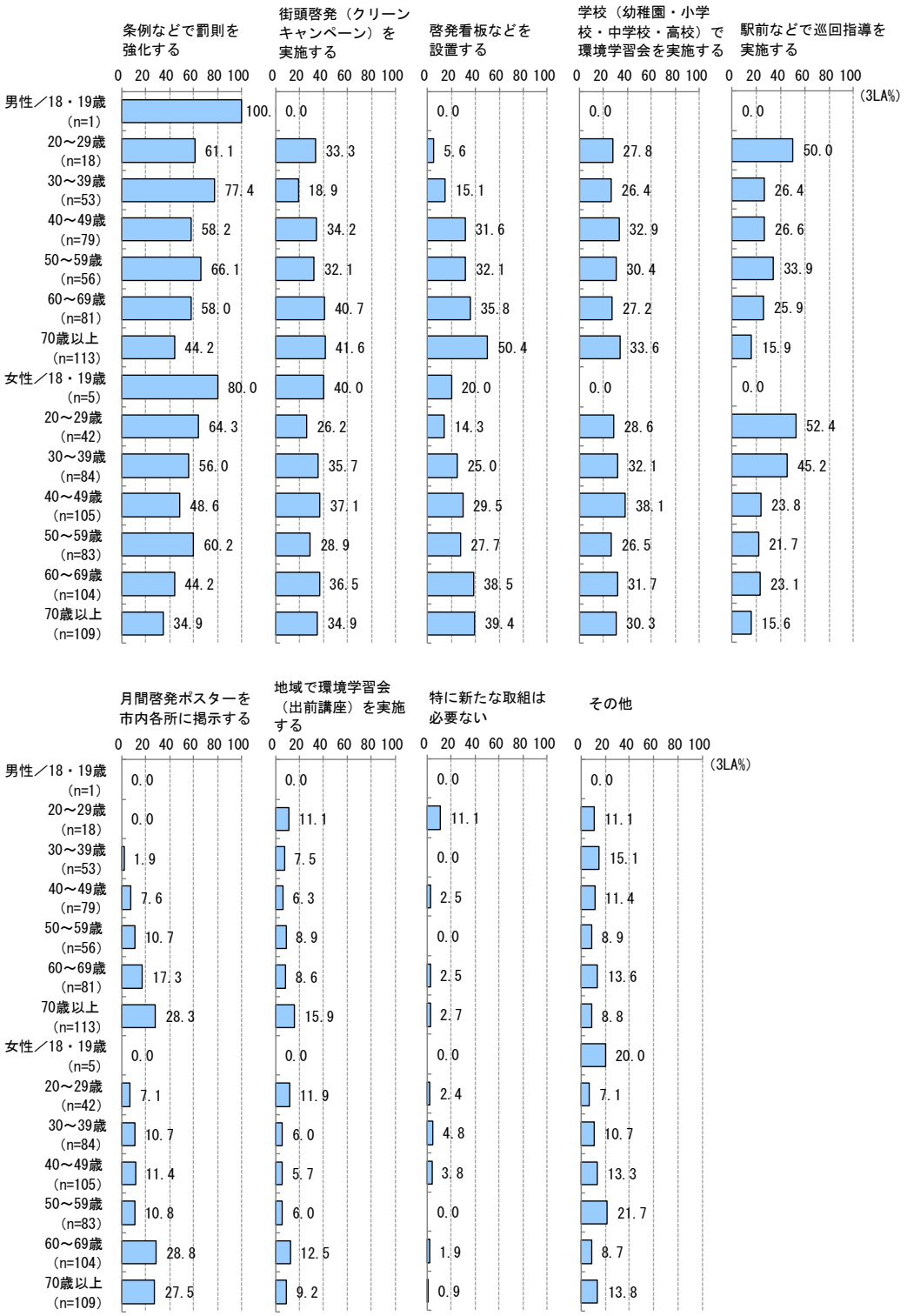
【図9-4-1　性別　ごみのポイ捨てに効果的だと思う取組】



●性年代別でみると、男性の18・19歳、20～60歳代では「条例などで罰則を強化する」がそれぞれ100.0%、61.1%、77.4%、58.2%、66.1%、58.0と最も高く、70歳以上では「啓発看板などを設置する」が50.4%と最も高くなっている。

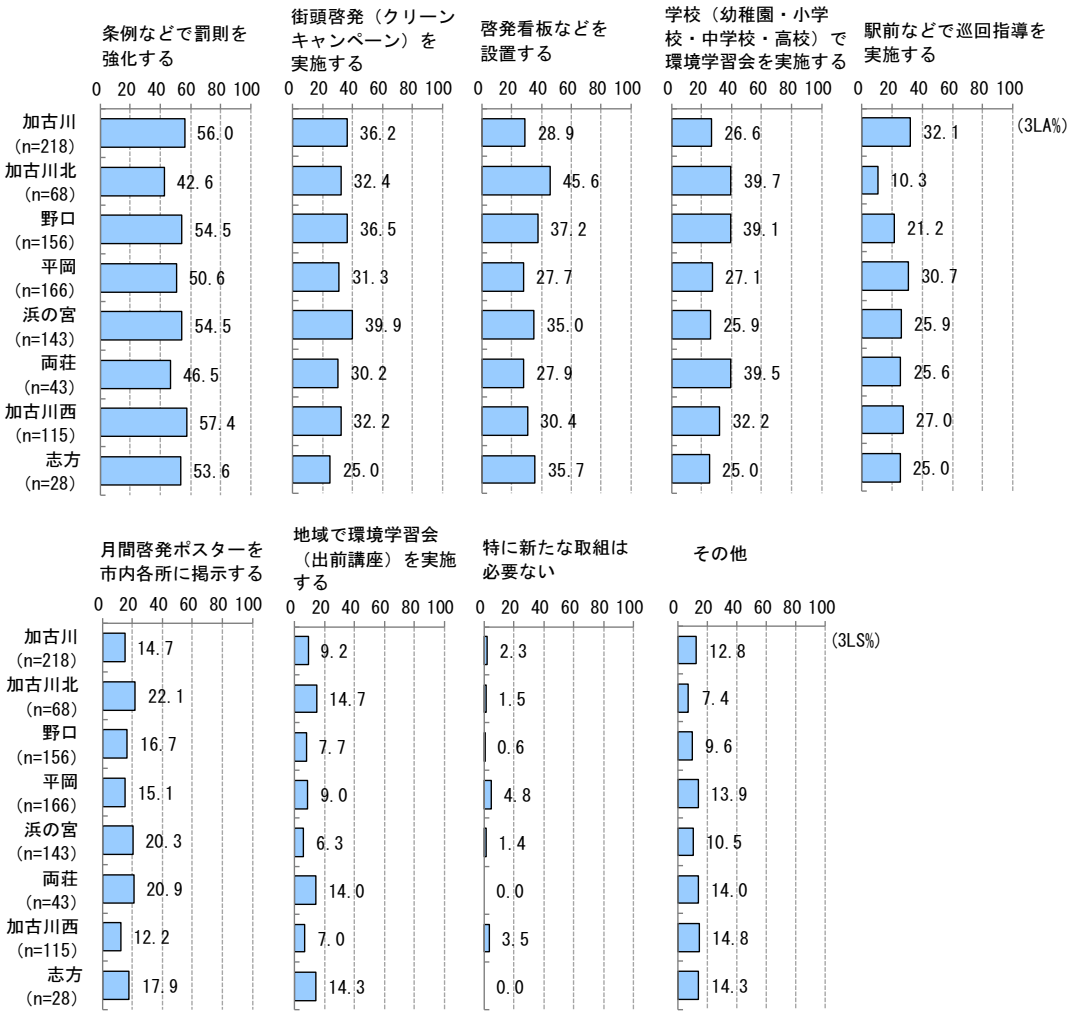
女性の18・19歳、20～60歳代では「条例などで罰則を強化する」がそれぞれ80.0%、64.3%、56.0%、48.6%、60.2%、44.2%と最も高く、70歳以上では「啓発看板などを設置する」が39.4%と最も高くなっている。(図9-4-2)

【図9-4-2　性年代別　ごみのポイ捨てに効果的だと思う取組】



●居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮、両荘、加古川西、志方で「条例などで罰則を強化する」がそれぞれ56.0%、54.5%、50.6%、54.5%、46.5%、57.4%、53.6%と最も高く、加古川北で「啓発看板などを設置する」が45.6%と最も高くなっている。(図9-4-3)

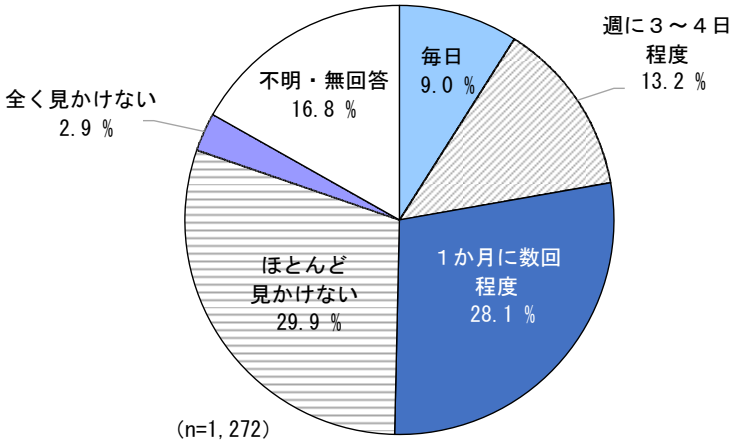
【図9-4-3　居住地区別　ごみのポイ捨てに効果的だと思う取組】



10.「ペットのふん」を見かける頻度について

問10　市内で「ペットのふん」を見かけることはどれくらいありますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

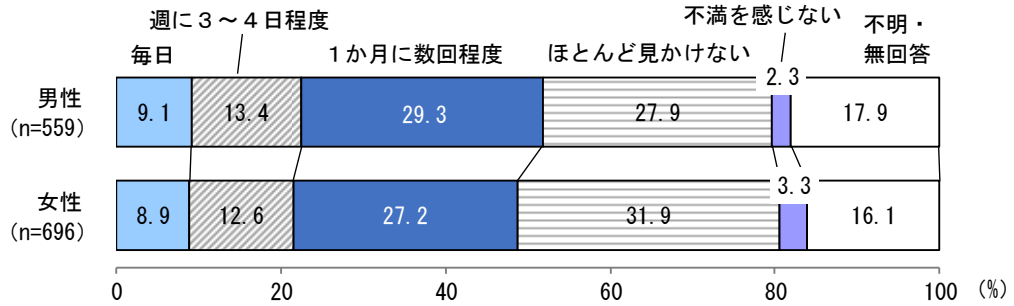
【図10　ペットのふんを見かける頻度】



●ペットのふんを見かける頻度については、「ほとんど見かけない」が29.9%と最も高く、次いで、「１か月に数回程度」が28.1%、「週に３～４日程度」が13.2%、「毎日」が9.0%となっている。（図10）

●性別でみると、男性では「１か月に数回程度」が29.3%と最も高く、女性では「ほとんど見かけない」が31.9%と最も高くなっている。（図10-1）

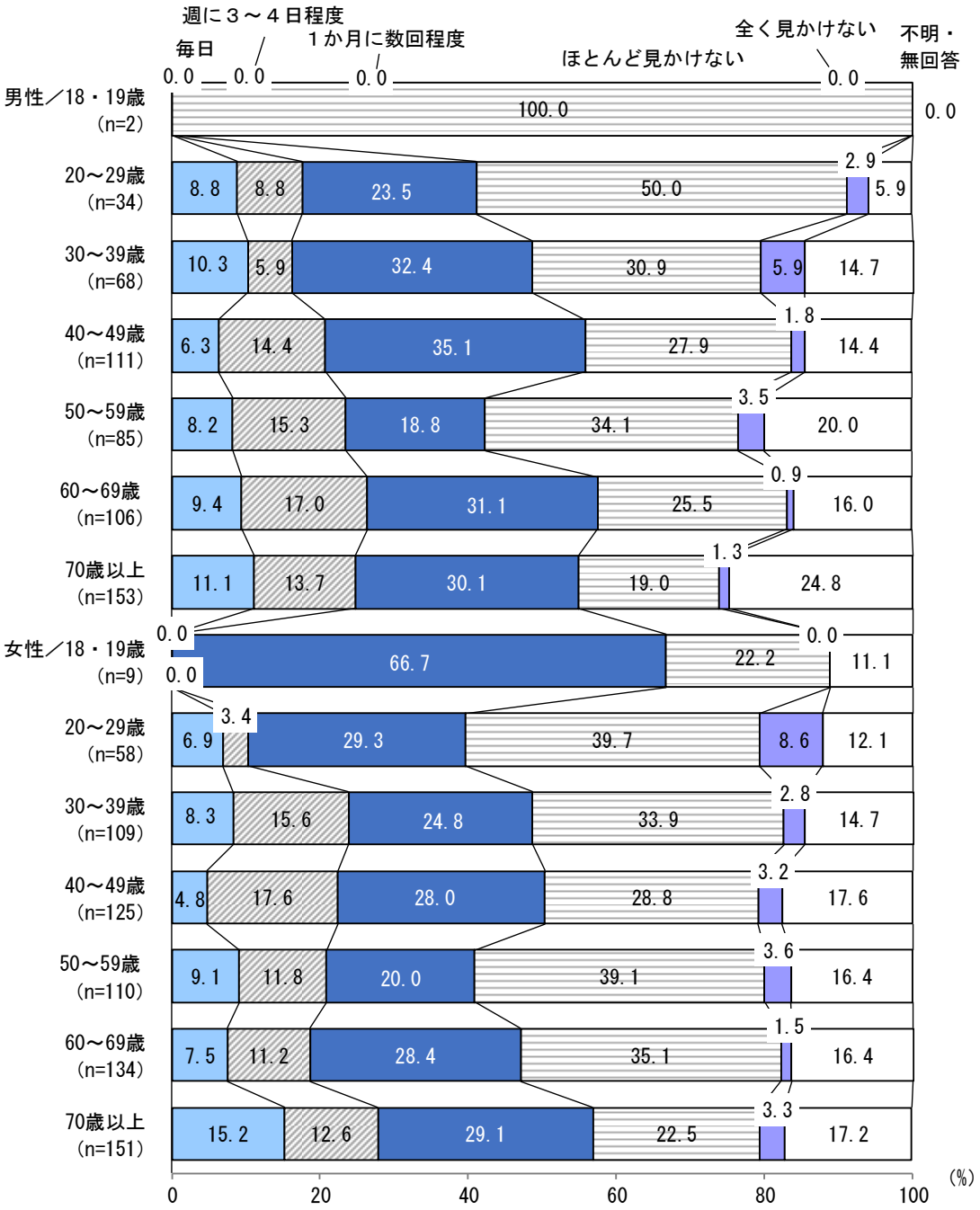
【図10-1　性別　ペットのふんを見かける頻度】



●性年代別でみると、男性の18・19歳、20～29歳、50～59歳では「ほとんど見かけない」がそれぞれ100.0%、50.0%、34.1%と最も高く、30～39歳、40～49歳、60～69歳、70歳以上では「１か月に数回程度」がそれぞれ32.4%、35.1%、31.1%、30.1%となっている。

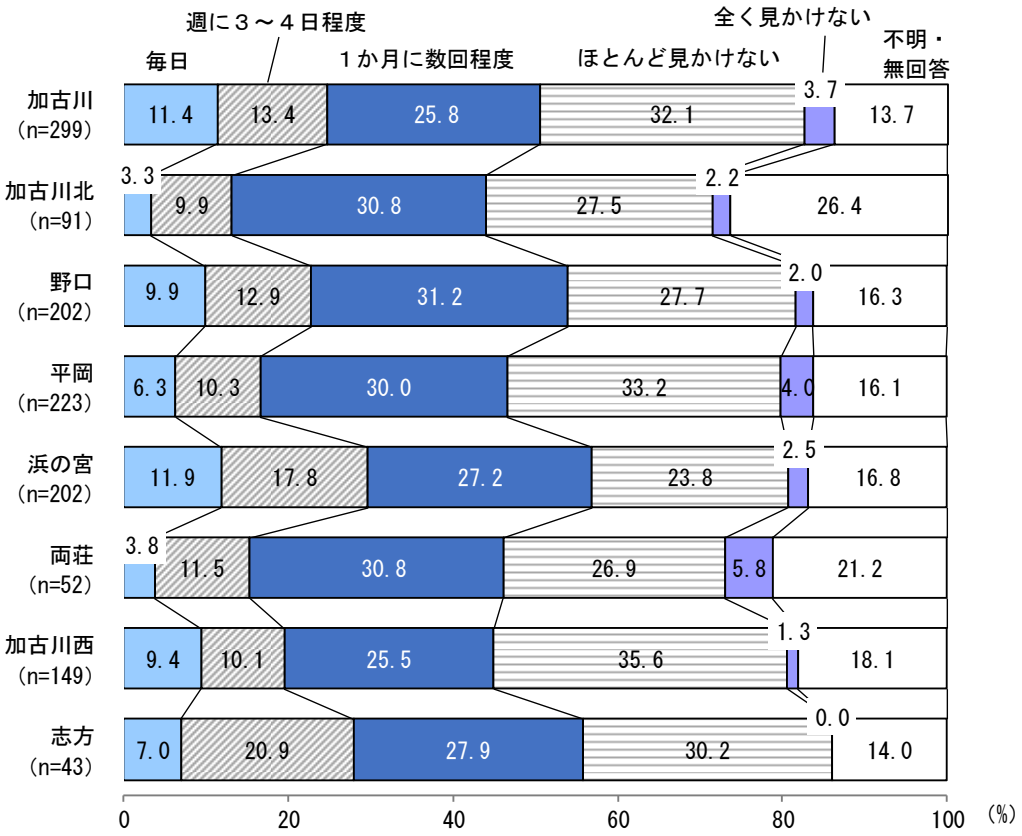
女性の18・19歳、70歳以上では「１か月に数回程度」がそれぞれ66.7%、29.1%と最も高く、20～60歳代では「ほとんど見かけない」が20～29歳から順に39.7%、33.9%、28.8%、39.1%、35.1%となっている。(図10-2)

【図10-2　性年代別　ペットのふんを見かける頻度】



●居住地区別でみると、加古川、平岡、加古川西、志方では「ほとんど見かけない」がそれぞれ32.1%、33.2%、35.6%、30.2%と最も高く、加古川北、野口、浜の宮、両荘では「１か月に数回程度」がそれぞれ30.8%、31.2%、27.2%、30.8%と最も高くなっている。(図10-3)

【図10-3　居住地区別　ペットのふんを見かける頻度】

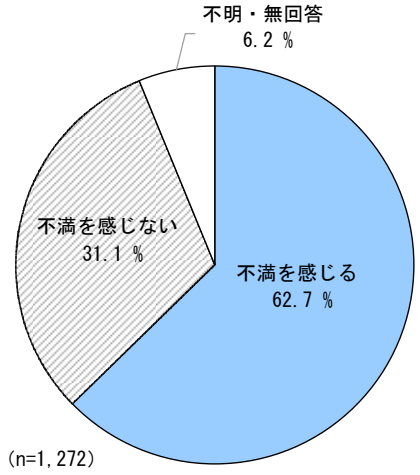


11.「ペットのふん害」に対する不満について

（１）不満の有無

問11　「ペットのふん害」について、不満を感じていますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

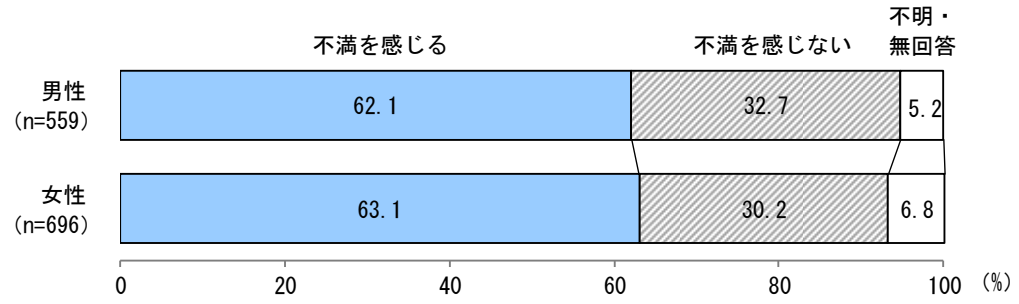
【図11-1　ペットのふん害に対する不満の有無】



●ペットのふん害に対する不満の有無については、「不満を感じる」が62.7%、「不満を感じない」が31.1%となっている。（図11-1）

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「不満を感じる」が「不満を感じない」を上回り、男性では「不満を感じる」が62.1%、女性では63.1%となっている。（図11-1-1）

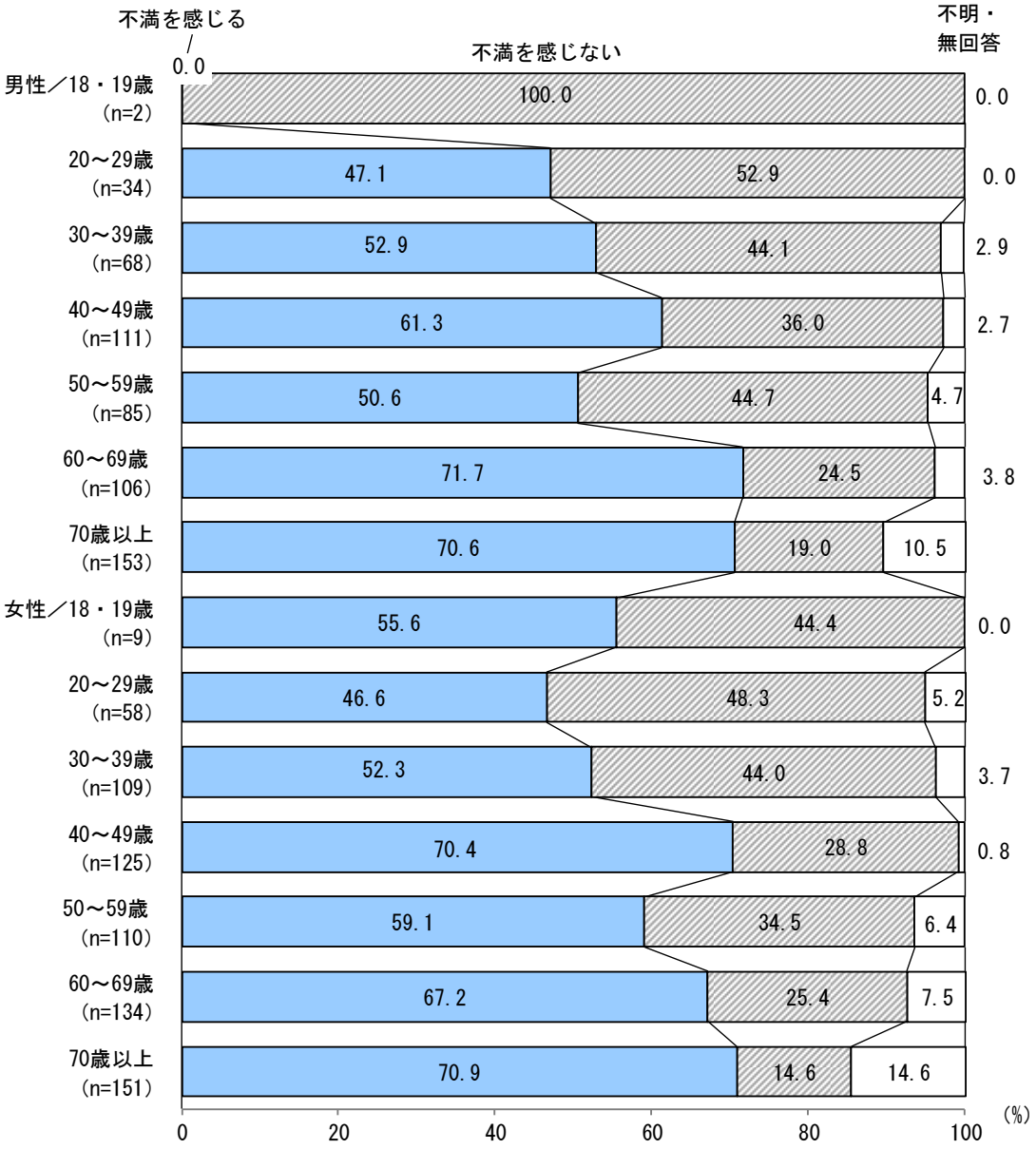
【図11-1-1　性別　ペットのふん害に対する不満の有無】



●性年代別でみると、男性の18・19歳、20～29歳では「不満を感じない」がそれぞれ100.0%、52.9%と「不満を感じる」を上回っており、30～60歳代、70歳以上では「不満を感じる」がそれぞれ52.9%、61.3%、50.6%、71.7%、70.6%と「不満を感じない」を上回っている。

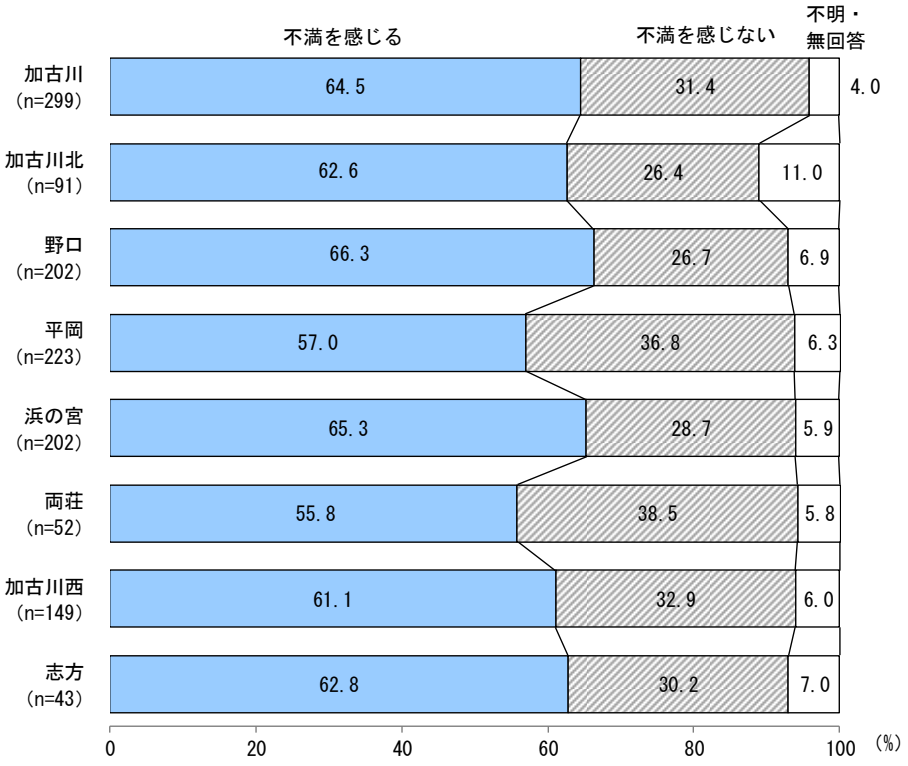
女性の18・19歳、30～60歳代、70歳以上では「不満を感じる」がそれぞれ55.6%、52.3%、70.4%、59.1%、67.2%、70.9%と「不満を感じない」を上回っており、20～29歳では「不満を感じない」が48.3%と「不満を感じる」を上回っている。(図11-1-2)

【図11-1-2　性年代別　ペットのふん害に対する不満の有無】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「不満を感じる」が「不満を感じない」を上回っている。「不満を感じる」の割合は、野口が66.3%と最も高く、次いで浜の宮が65.3%、加古川が64.5%、志方が62.8%となっている。(図11-1-3)

【図11-1-3　居住地区別　ペットのふん害に対する不満の有無】



（２）ペットのふんをよく見かける場所

問11-① 問11で「1. 不満を感じる」を選ばれた方におたずねします。ペットのふんをよく見かける場所はどこですか。具体的にお答えください。

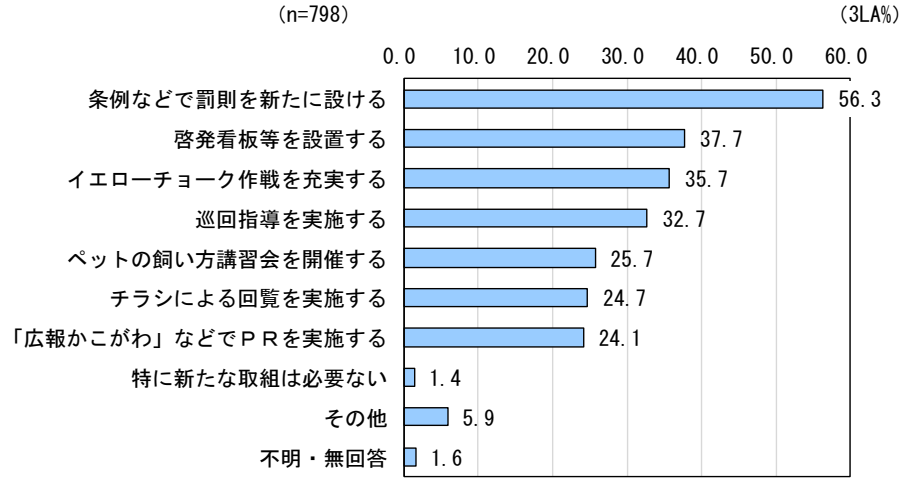
場所	件数(件)
道路	330
自宅周辺	227
公園	130
河川の堤防	43
新幹線等の高架下	18

※上位5位までを記載。

（３）ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組

問11-② 問11で「１．不満を感じる」を選ばれた方におたずねします。ペットのふん害の減少に向けて、どのような取組が効果的だと思いますか。あてはまるものを３つまで選んで番号に○をつけてください。

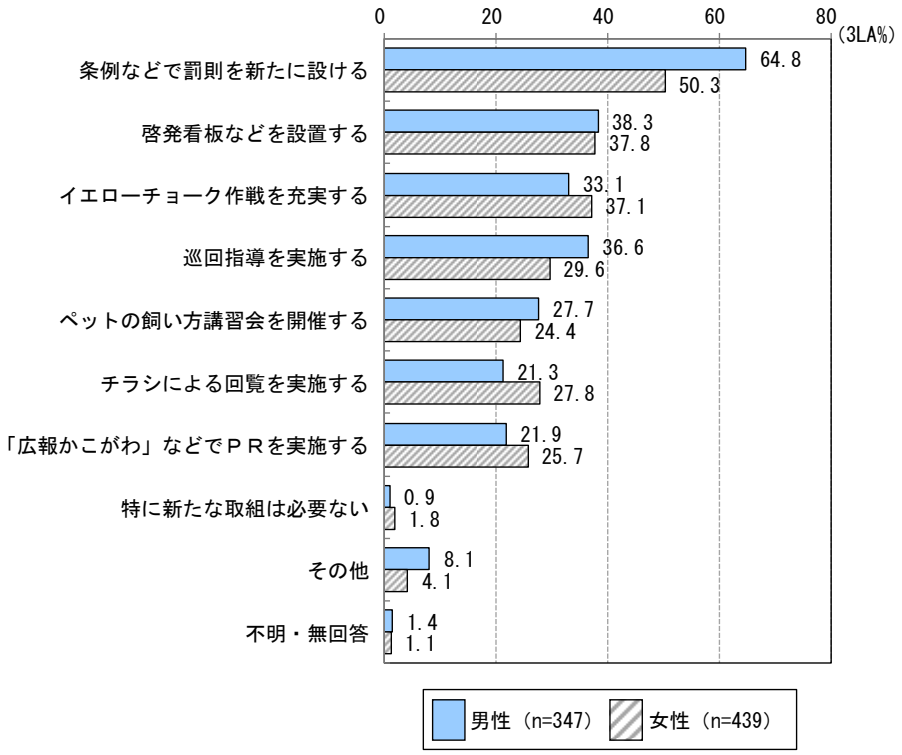
【図11-3　ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組】



●ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組については、「条例などで罰則を新たに設ける」が56.3%と最も高く、次いで「啓発看板等を設置する」が37.7%、「イエローチョーク作戦を充実する」が35.7%、「巡回指導を実施する」が32.7%、「ペットの飼い方講習会を開催する」が25.7%となっている。(図11-3)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「条例などで罰則を新たに設ける」が最も高くなっており、男性で64.8%、女性で50.3%となっている。(図11-3-1)

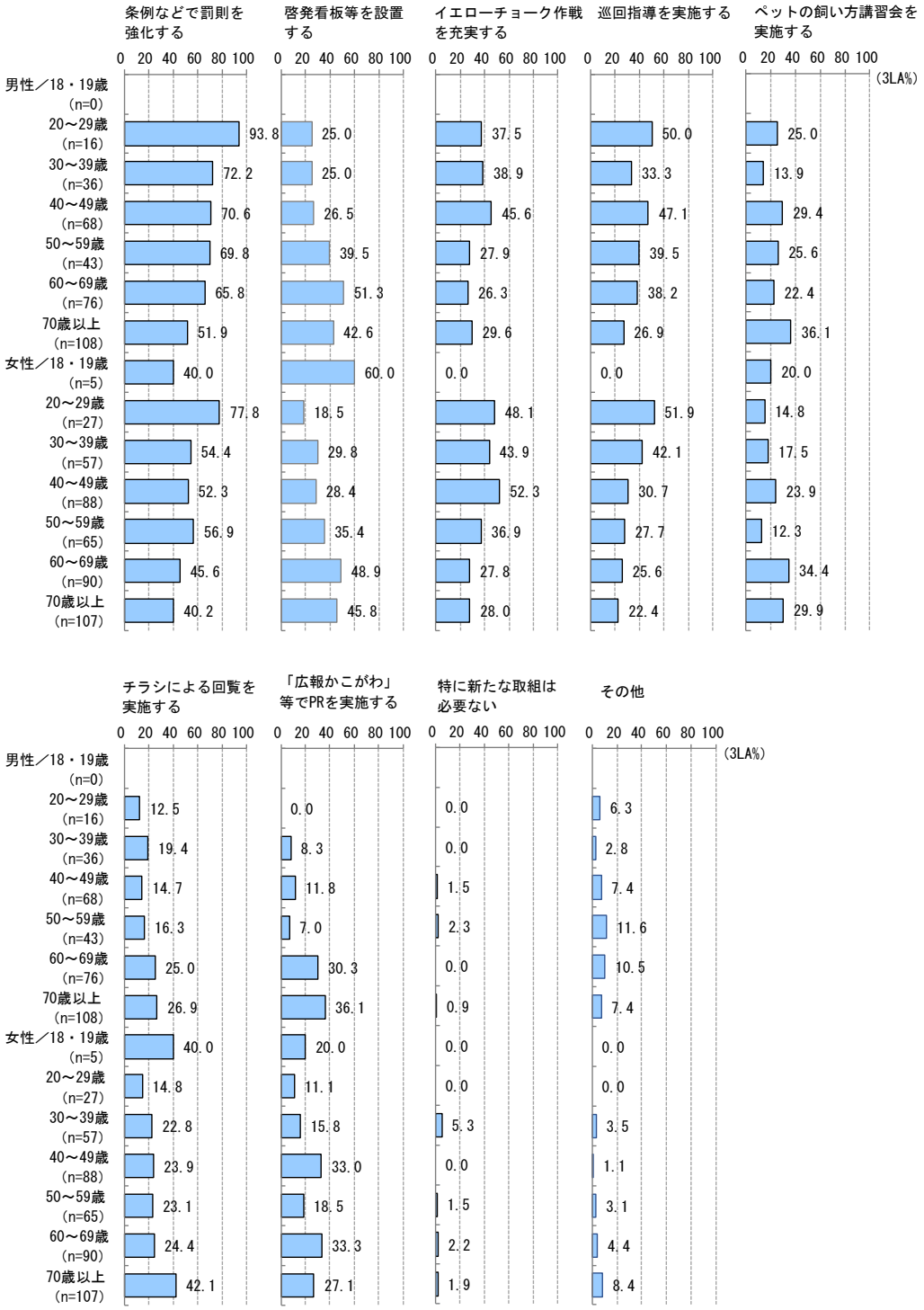
【図11-3-1　性別　ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組】



●性年齢別にみると、男性のすべてのカテゴリーで「条例などで罰則を新たに設ける」が20～29歳から順に93.8%、72.2%、70.6%、69.8%、65.8%、51.9%と最も高くなっている。(18・19歳は対象者なし)

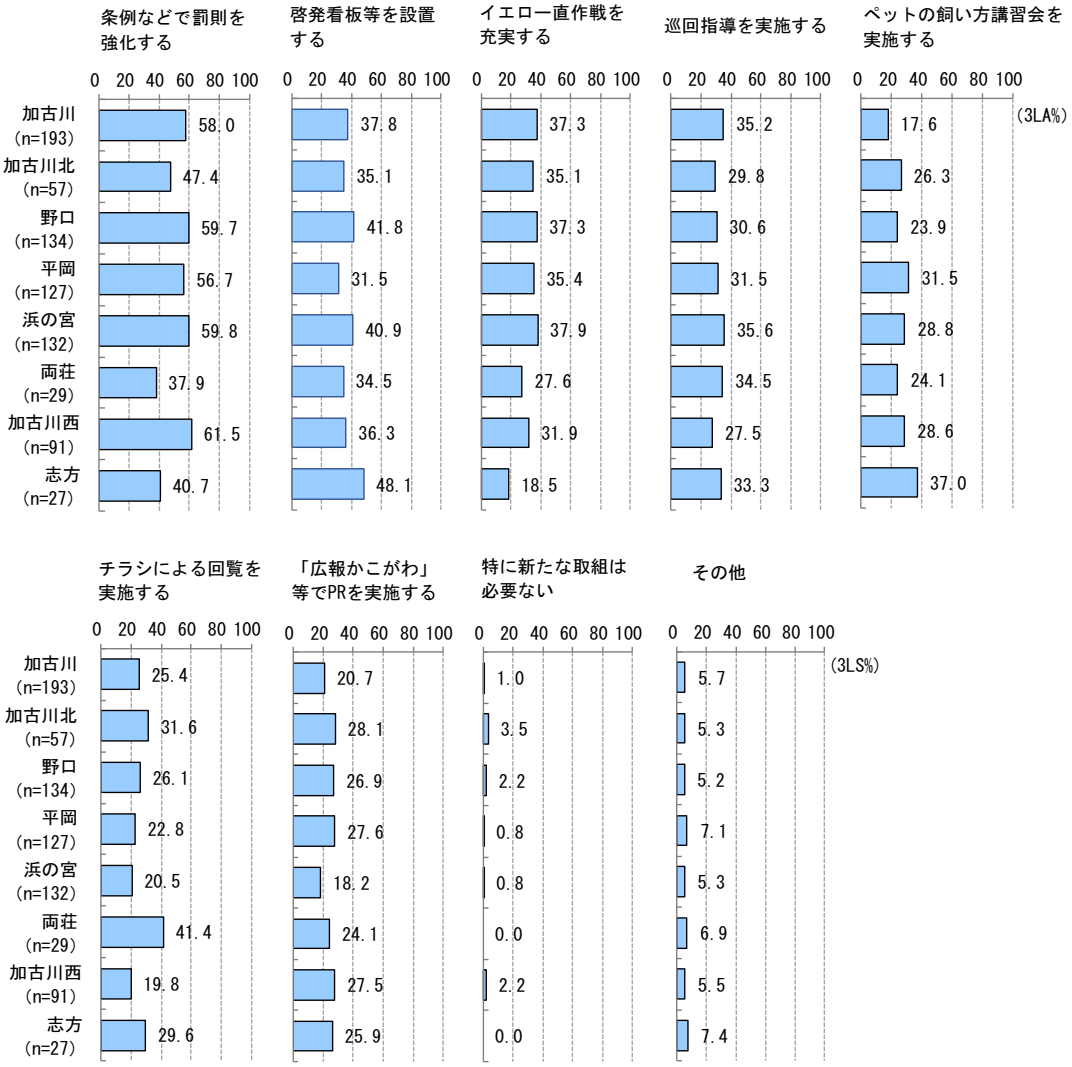
女性の18･19歳､60～69歳､70歳以上では｢啓発看板等を設置する｣がそれぞれ60.0%､48.9%､45.8%と最も高く、20～30歳代、50～59歳では「条例などで罰則を新たに設ける」がそれぞれ77.8%、54.4%、56.9%と最も高く、40～49歳では「条例などで罰則を新たに設ける」と「イエローチョーク作戦を充実する」が同率で52.3%と最も高くなっている。(図11-3-2)

【図11-3-2　性年齢別　ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組】



●居住地域別にみると、加古川、加古川北、野口、平岡、浜の宮、加古川西で「条例などで罰則を新たに設ける」がそれぞれ58.0%、47.4%、59.7%、56.7%、59.8%、61.5%と最も高く、両荘では「チラシによる回覧を実施する」が41.4%と最も高く、志方では「啓発看板等を設置する」が48.1%と最も高くなっている。(図11-3-3)

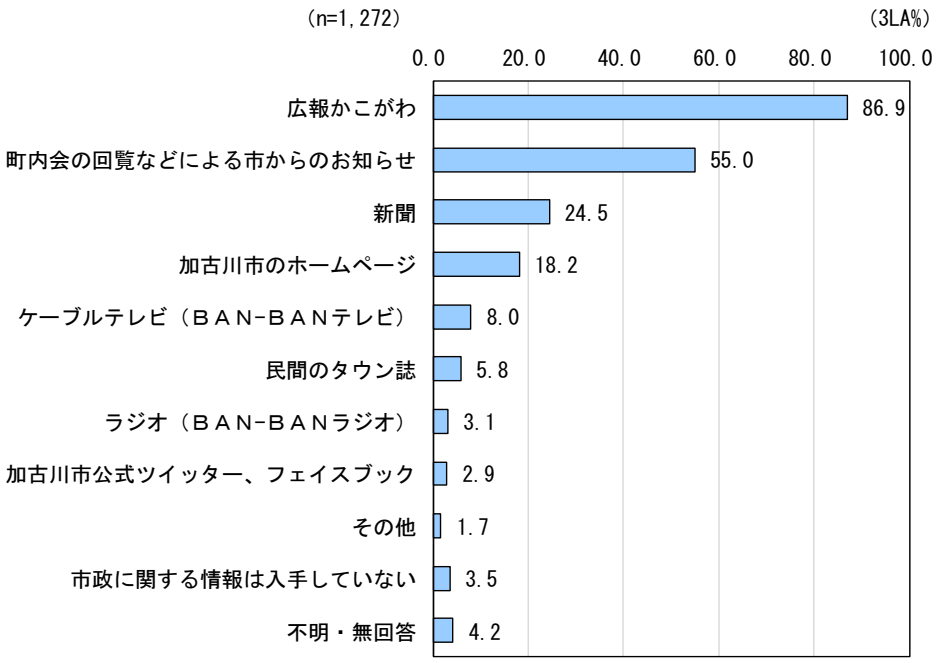
【図 11-3-3　居住地区別　ペットのふん害の減少に効果的だと思う取組】



12. 市政に関する情報の入手方法

問12　あなたは市政に関する情報について、どのような方法で入手していますか。あてはまるものを３つまで選んで番号に○をつけてください。

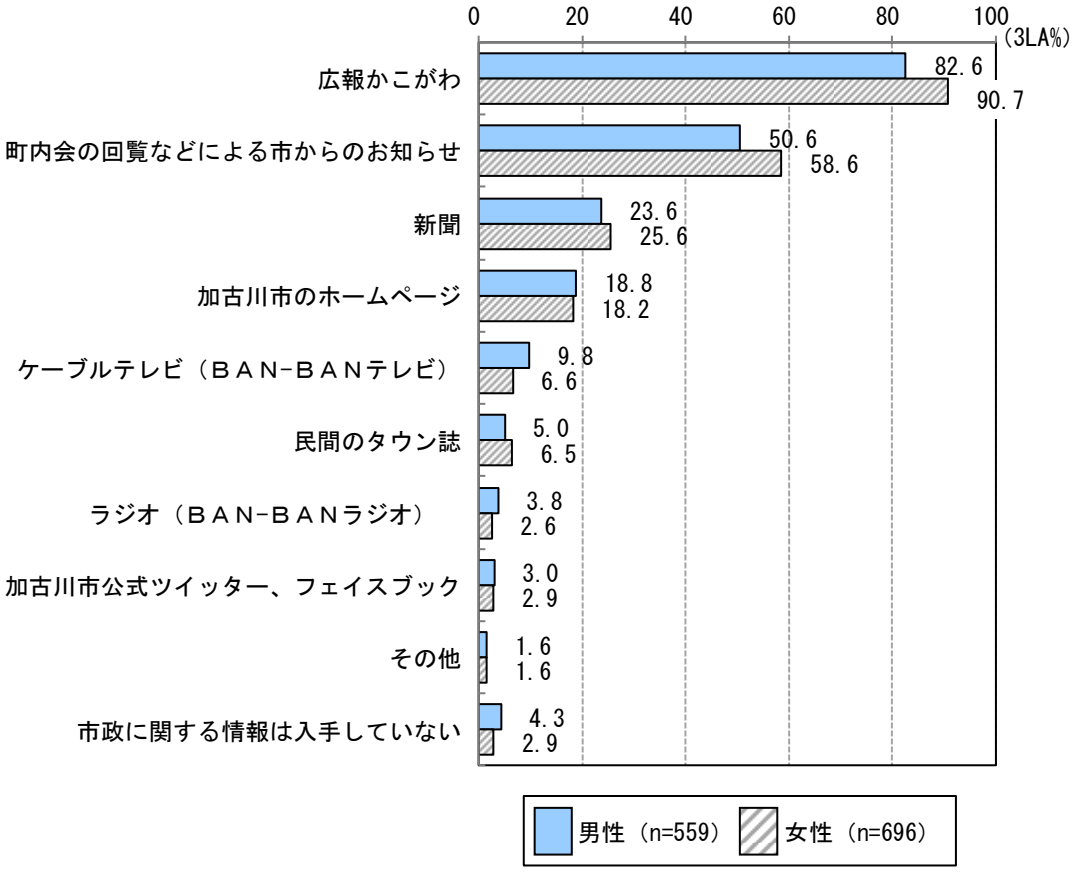
【図12　市政に関する情報の入手方法】



●市政に関する情報の入手方法については、「広報かこがわ」が86.9％と最も高く、次いで、「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」が55.0％、「新聞」が24.5％、「加古川市のホームページ」が18.2％、「ケーブルテレビ（ＢＡＮ-ＢＡＮテレビ)」が8.0％となっている。(図12)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「広報かこがわ」が最も高く、男性では82.6%、女性では90.7%となっている。(図12-1)

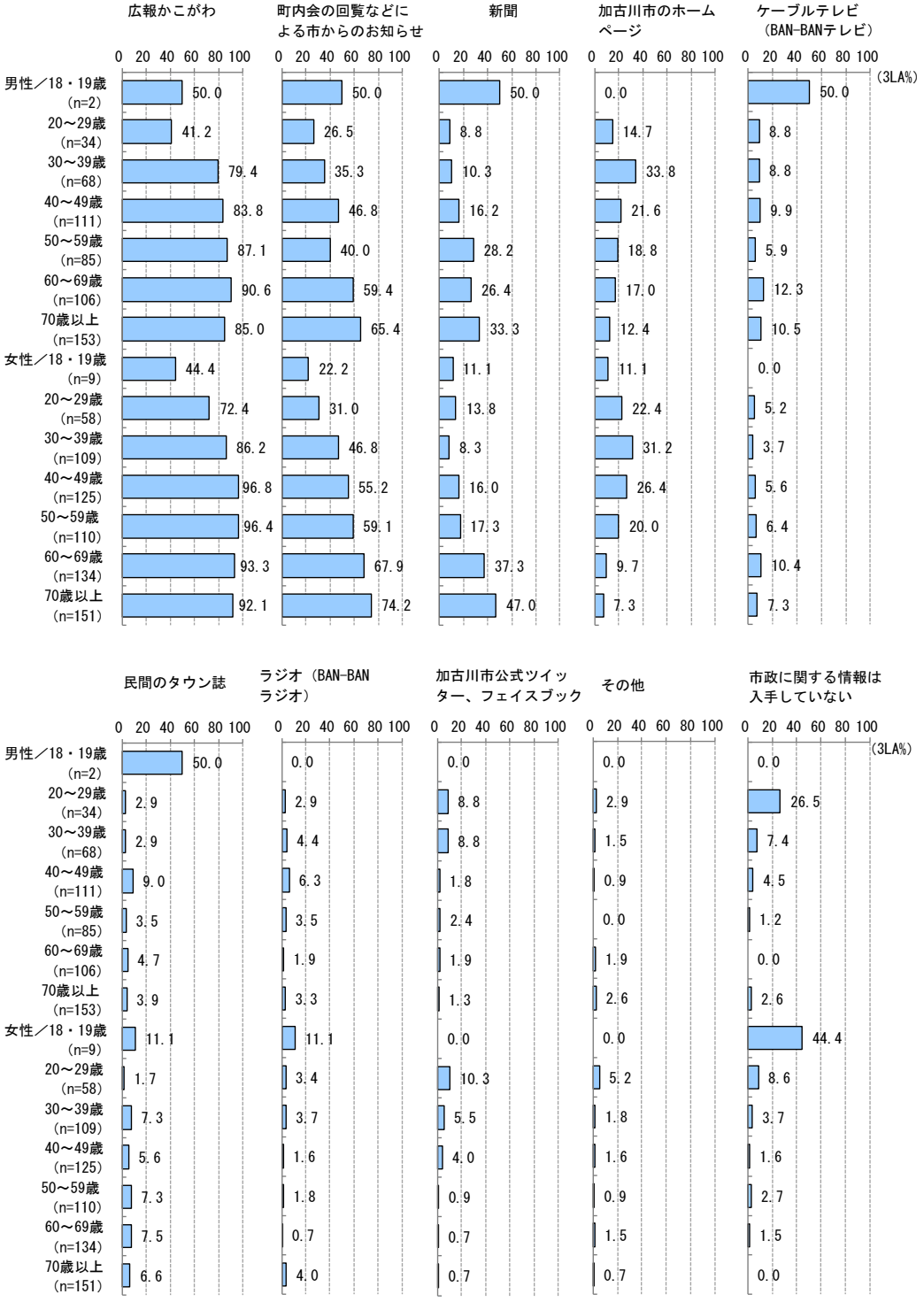
【図12-1　性別　市政に関する情報の入手方法】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「広報かこがわ」と「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」、「新聞」、「ケーブルテレビ（ＢＡＮ-ＢＡＮテレビ）」、「民間のタウン誌」が同率で50.0％と最も高く、20～29歳以上の各カテゴリーでは「広報かこがわ」が最も高く、20～29歳から順に41.2％、79.4％、83.8％、87.1％、90.6％、85.0％となっている。

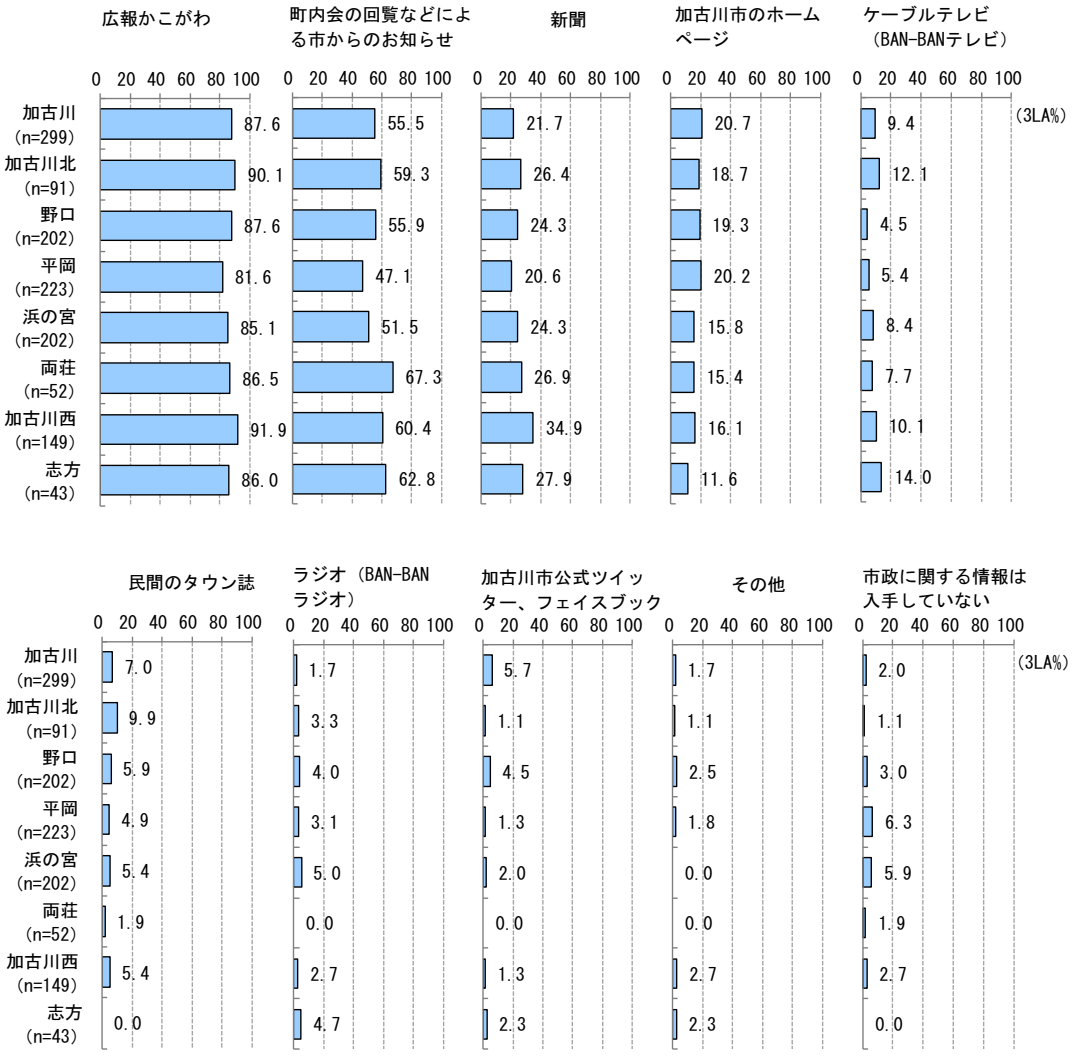
女性の18・19歳では「広報かこがわ」と「市政に関する情報は入手してない」が同率で44.4％と最も高く、20～60歳代、70歳以上では「広報かこがわ」がそれぞれ72.4％、86.2％、96.8％、96.4％、93.3％、92.1％と最も高くなっている。（図12-2）

【図12-2　性年代別　市政に関する情報の入手方法】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「広報かこがわ」が最も高くなっており、その割合は、加古川から順に、87.6%、90.1%、87.6%、81.6%、85.1%、86.5%、91.9%、86.0%となっている。(図12-3)

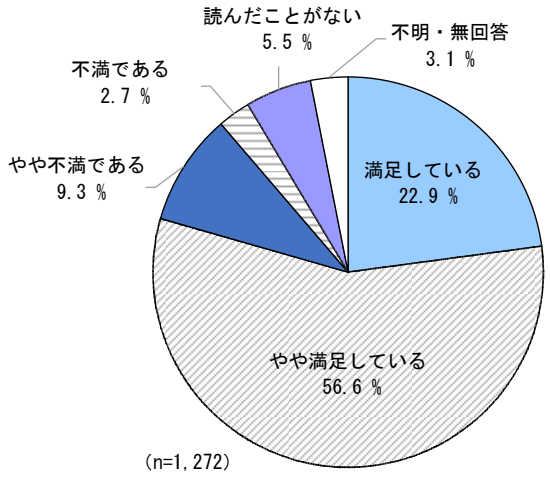
【図 12-3　居住地区別　市政に関する情報の入手方法】



13.「広報かこがわ」に対する満足度

問13　広報かこがわ」について、あなたは、どの程度満足していますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

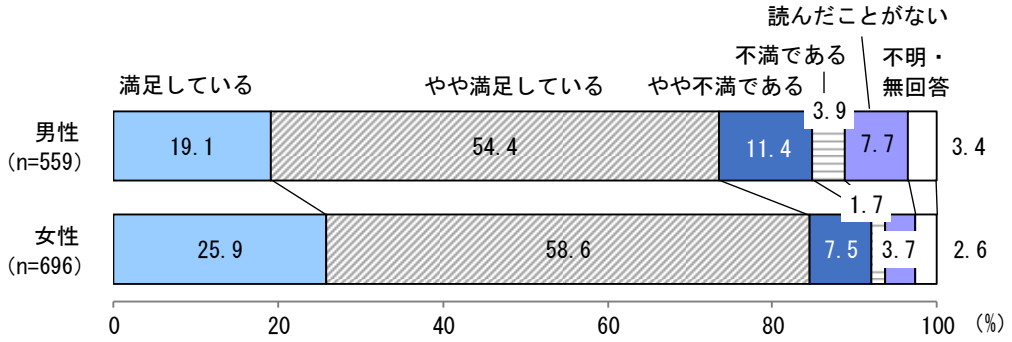
【図13　「広報かこがわ」に対する満足度】



●「広報かこがわ」に対する満足度については、「やや満足している」が56.6%と最も高く、次いで、「満足している」が22.9%、「やや不満である」が9.3%、「読んだことがない」が5.5%、「不満である」が2.7%となっている。(図13)

●性別でみると、すべてのカテゴリーで「やや満足している」が最も高く、男性では54.4%、女性では58.6%となっている。(図13-1)

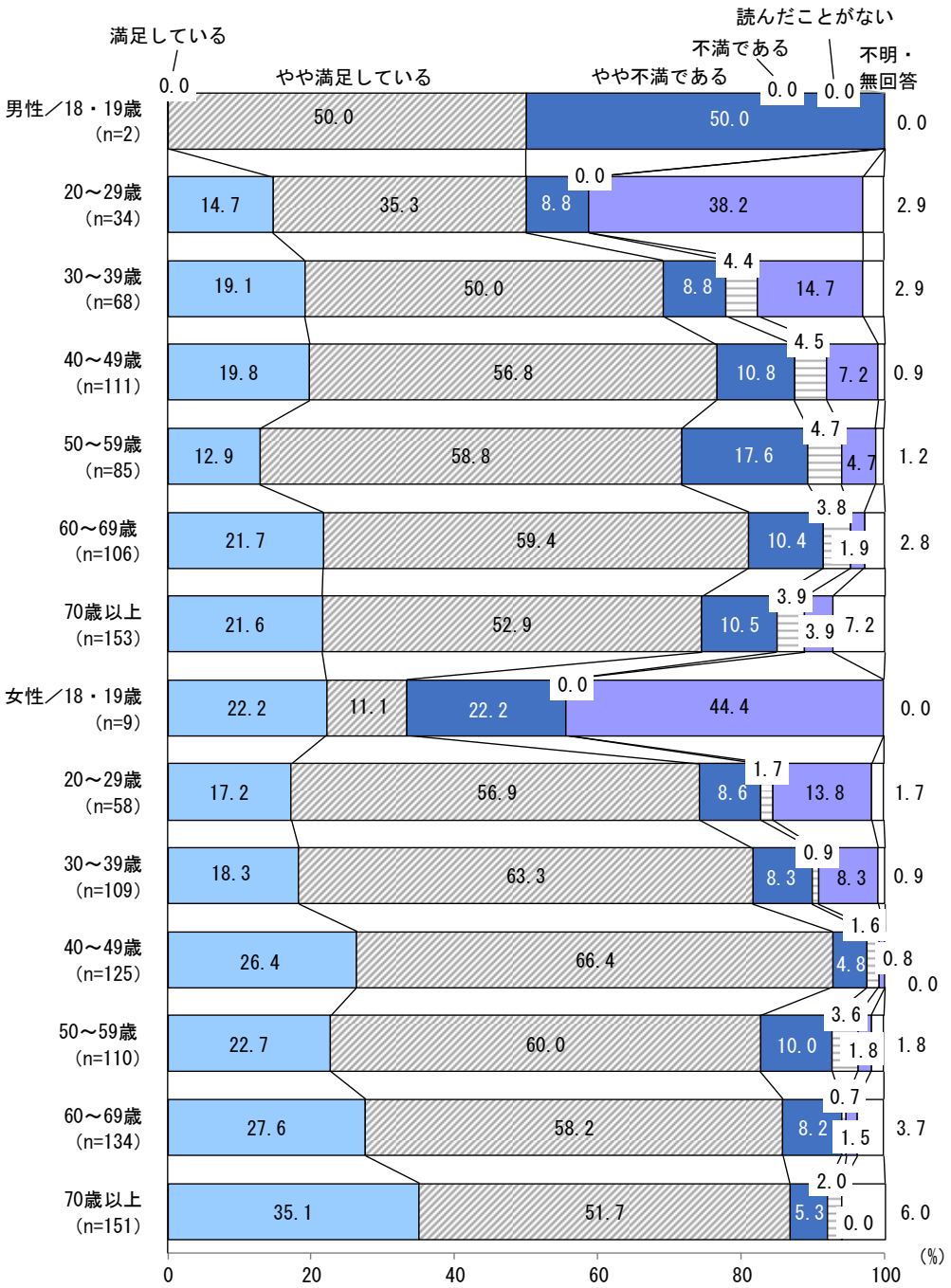
【図13-1　性別　「広報かこがわ」に対する満足度】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「やや満足している」、「やや不満である」が同率で50.0%と最も高く、20～29歳では「読んだことがない」が38.2%と最も高く、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「やや満足している」がそれぞれ50.0%、56.8%、58.8%、59.4%、52.9%と最も高くなっている。

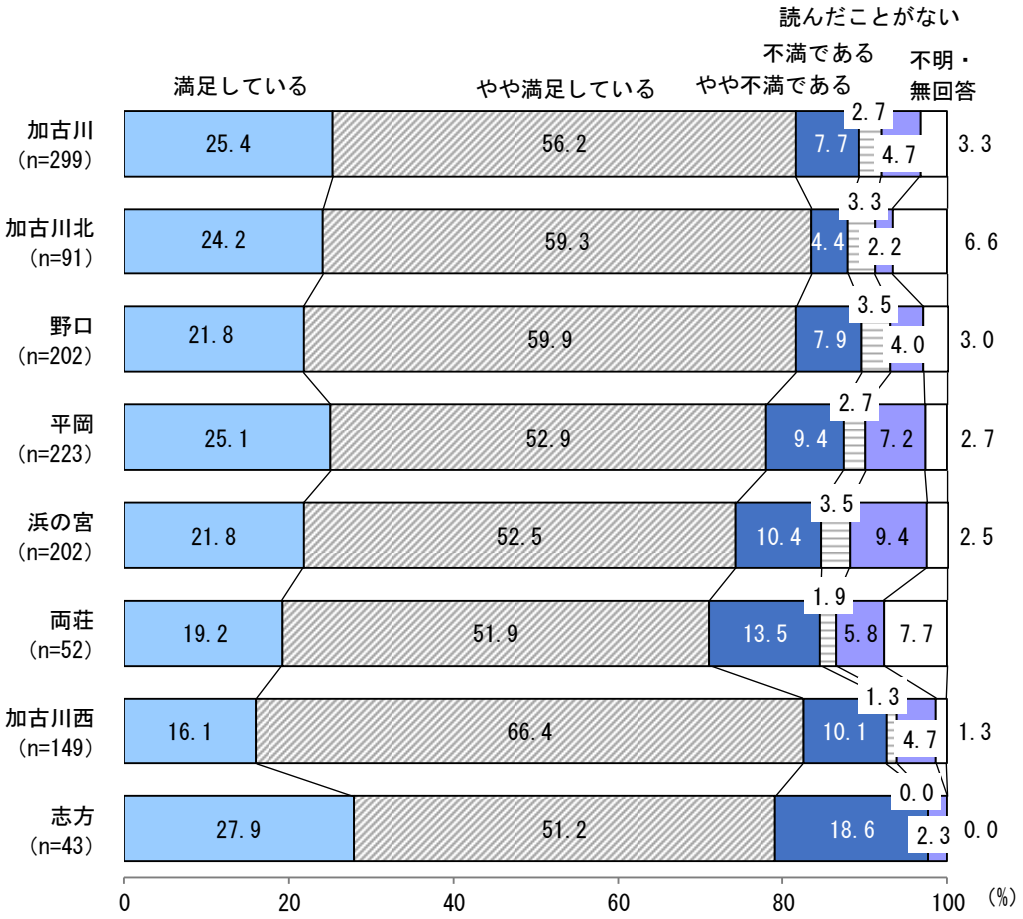
女性の18・19歳では「読んだことがない」が44.4%と最も高く、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「やや満足している」がそれぞれ56.9%、63.3%、66.4%、60.0%、58.2%、51.7%と最も高くなっている。(図13-2)

【図13-2　性年代別　「広報かこがわ」に対する満足度】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「やや満足している」が最も高くなっており、その割合は、加古川から順に56.2%、59.3%、59.9%、52.9%、52.5%、51.9%、66.4%、51.2%となっている。(図13-3)

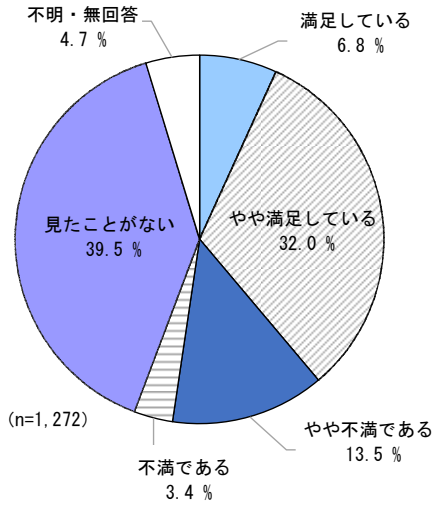
【図13-3　居住地区別　「広報かこがわ」に対する満足度】



14.「加古川市のホームページ」に対する満足度

問14　加古川市のホームページ」について、あなたは、どの程度満足していますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

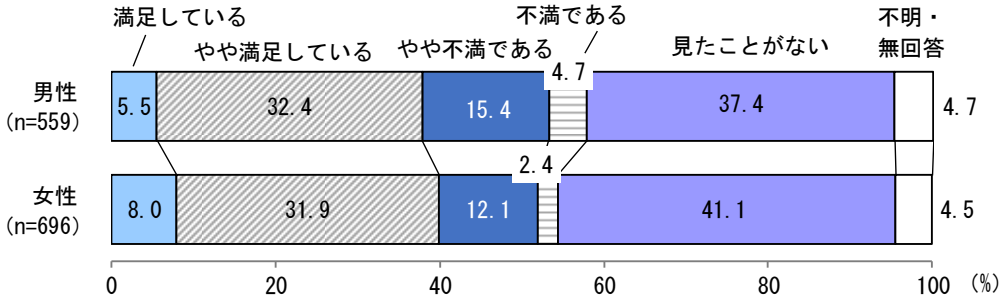
【図14　「加古川市のホームページ」に対する満足度】



●「加古川市のホームページ」に対する満足度については、「見たことがない」が39.5%と最も高く、次いで、「やや満足している」が32.0%、「やや不満である」が13.5%、「満足している」が6.8%となっている。(図14)

●性別でみると、いずれのカテゴリーでも「見たことがない」が最も高く、男性で37.4%、女性で41.1%となっている。(図14-1)

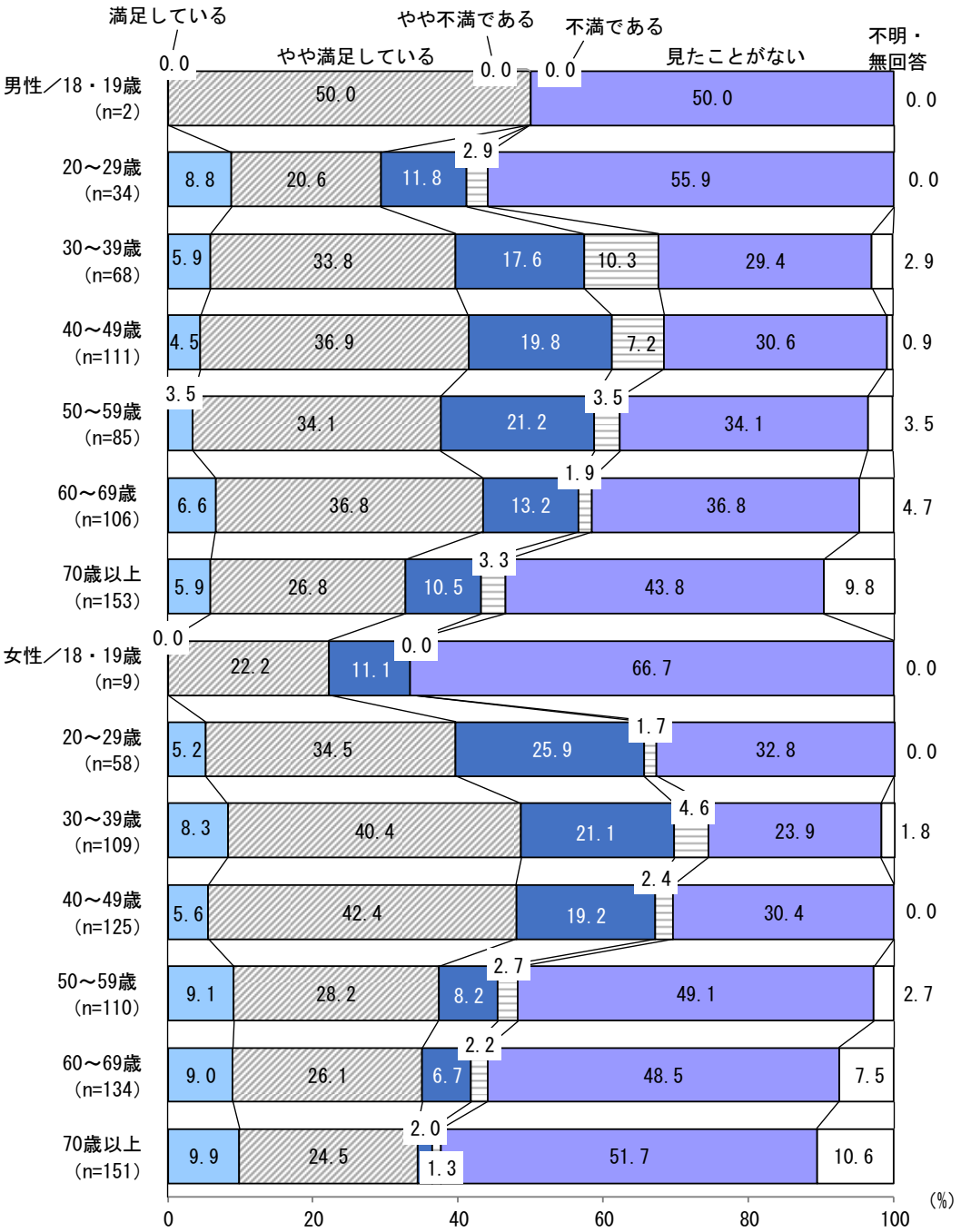
【図14-1　性別　「加古川市のホームページ」に対する満足度】



●性年代別でみると、男性の18・19歳、50～59歳、60～69歳では「やや満足している」と「見たことがない」がそれぞれ50.0%、34.1%、36.8%と同率で最も高く、20～29歳、70歳以上では「見たことがない」がそれぞれ55.9%、43.8%と最も高く、30～39歳、40～49歳では「やや満足している」がそれぞれ33.8%、36.9%となっている。

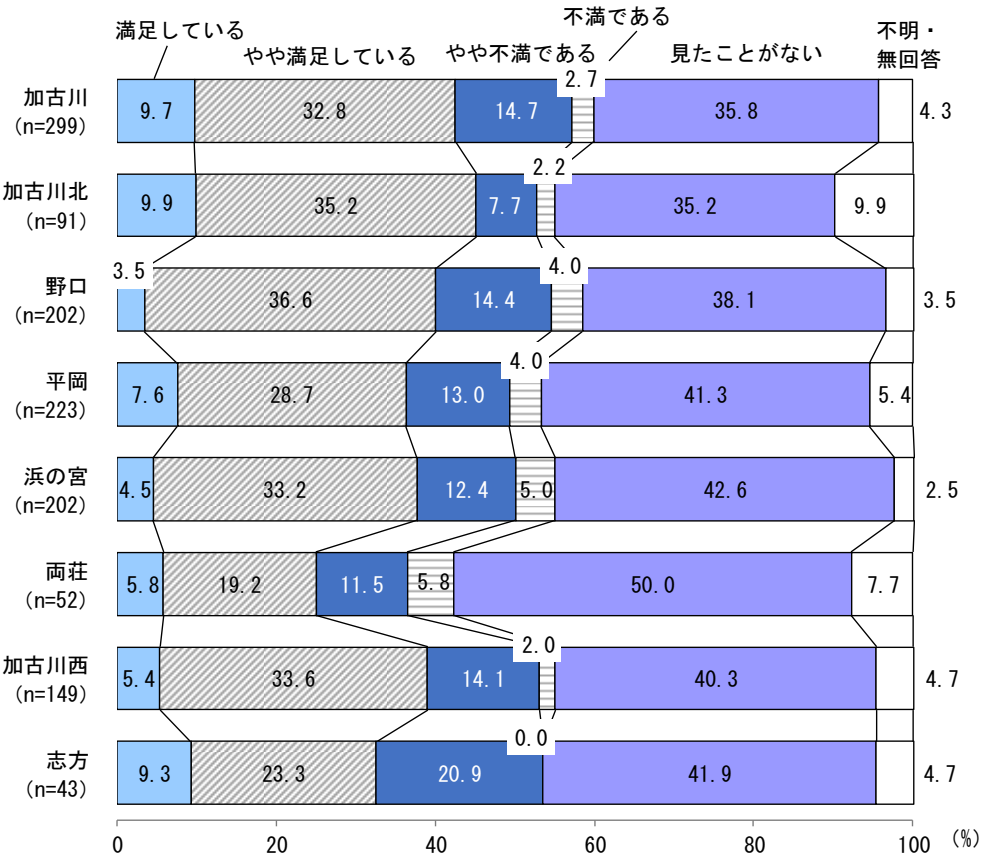
女性の18・19歳、50～60歳代、70歳以上では「見たことがない」がそれぞれ66.7%、49.1%、48.5%、51.7%と最も高く、20～40歳代では「やや満足している」がそれぞれ34.5%、40.4%、42.4%と最も高くなっている。(図14-2)

【図14-2　性年代別　「加古川市のホームページ」に対する満足度】



●居住地域別でみると、加古川北を除くすべてのカテゴリーで「見たことがない」が最も高くなっており、その割合は加古川から順に35.8%、38.1%、41.3%、42.6%、50.0%、40.3%、41.9%となっている。加古川北では「やや満足している」と「見たことがない」が同率で35.2%と最も高くなっている。(図14-3)

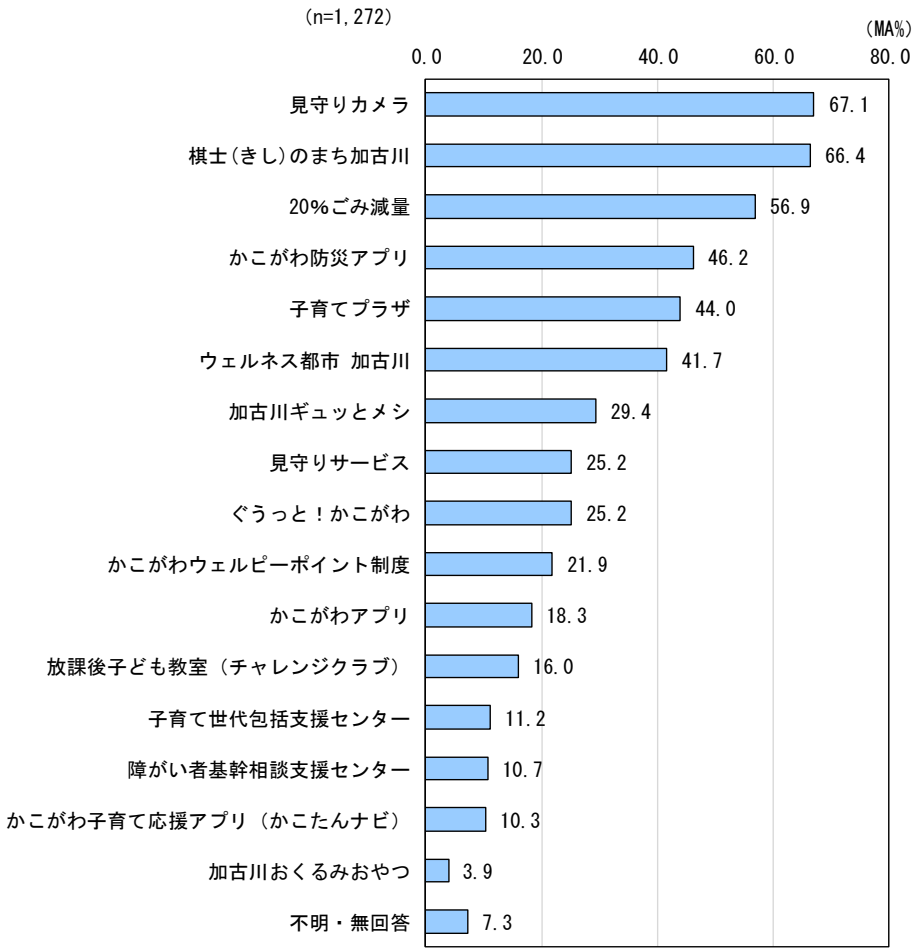
【図14-3　居住地区別　「加古川市のホームページ」に対する満足度】



15. 加古川市の取組等の認知度

問15　以下に記載した項目について、知っているものをすべて選んで番号に〇をつけてください。

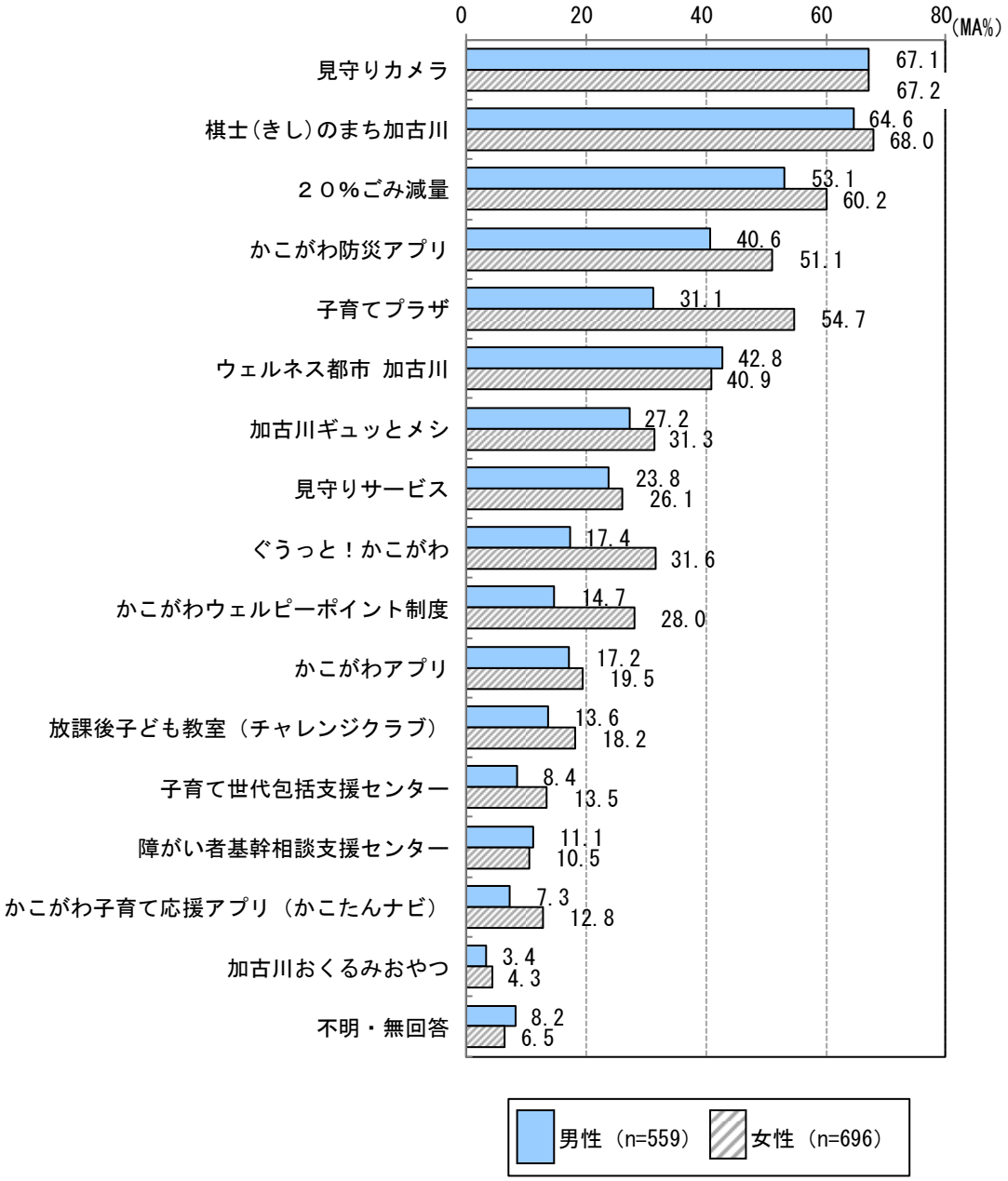
【図15　加古川市の取組等の認知度】



●加古川市の取組等の認知度については、「見守りカメラ」が67.1%と最も高く、次いで、「棋士(きし)のまち加古川」が66.4%、「20%ごみ減量」が56.9%、「かこがわ防災アプリ」が46.2%、「子育てプラザ」が44.0%となっている。(図15)

●男女別でみると、男性では「見守りカメラ」が67.1%と最も高く、女性では「棋士（きし）のまち加古川」が68.0%と最も高くなっている。(図15-1)

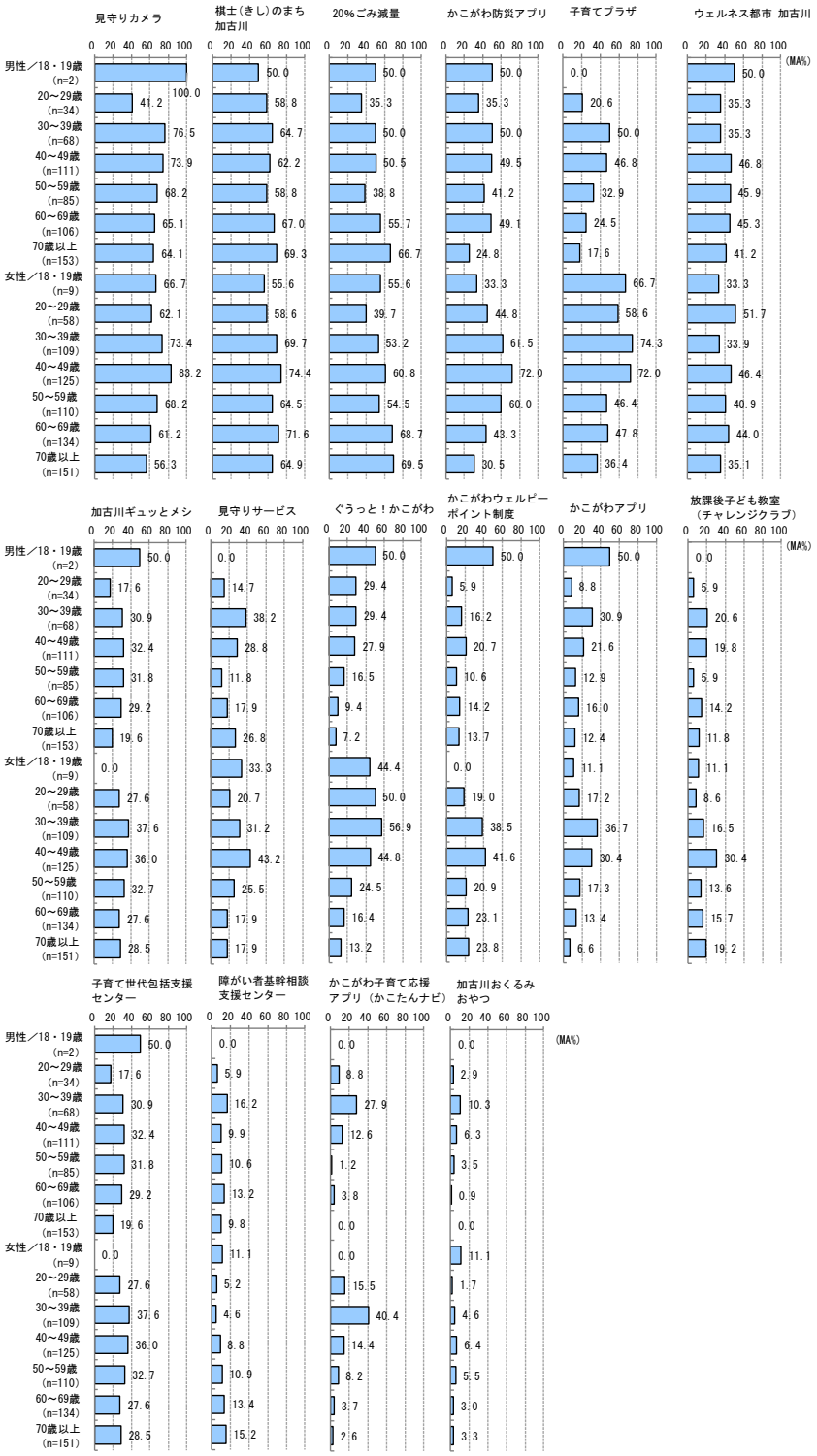
【図15-1　性別　加古川市の取組等の認知度】



●性年代別でみると、男性の18・19歳、30～50歳代では「見守りカメラ」がそれぞれ100.0%、76.5%73.9%、68.2%と最も高く、20～29歳、60～69歳、70歳以上では「棋士（きし）のまち加古川」がそれぞれ58.8%、67.0%、69.3%となっている。（図15-1）

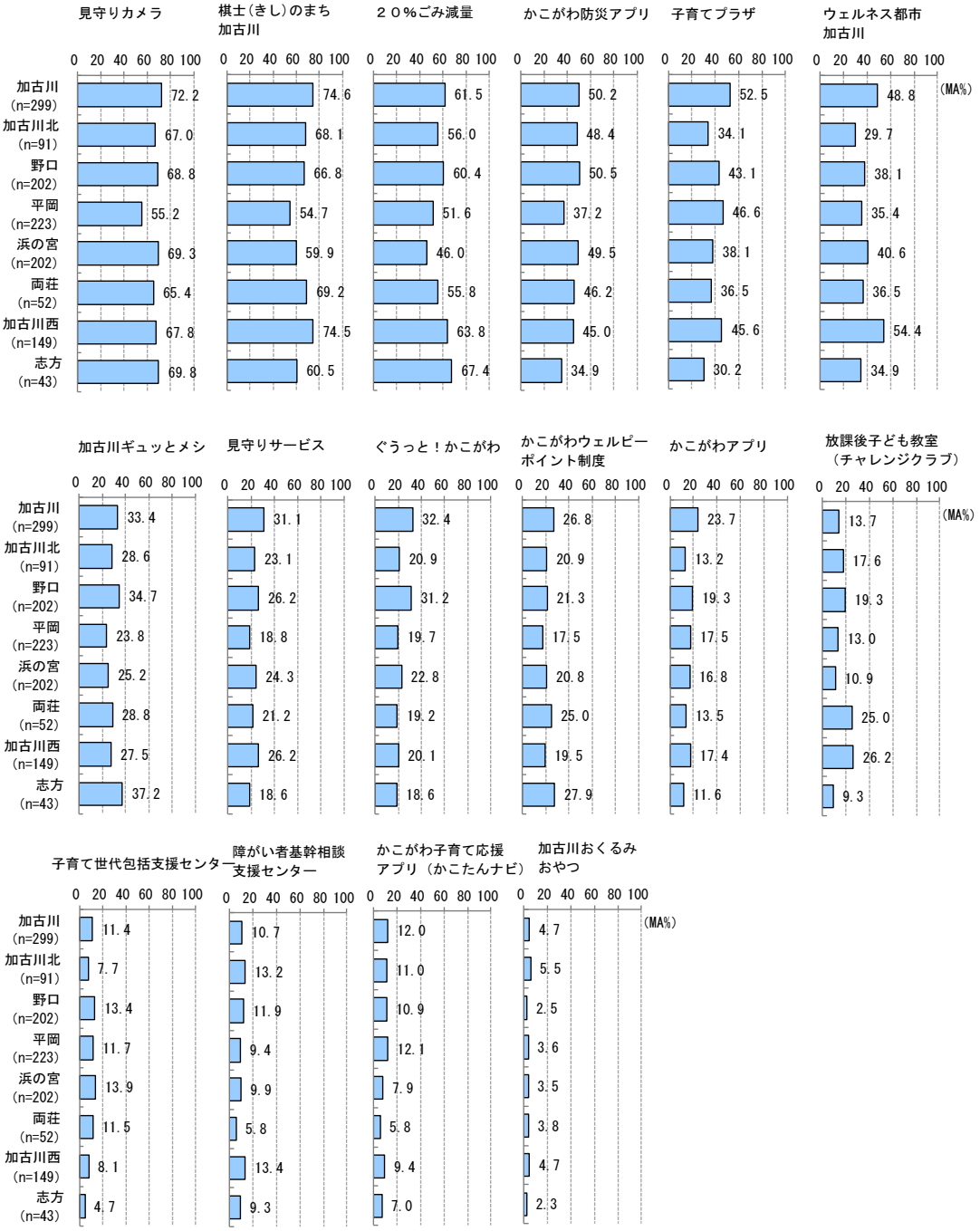
女性の18・19歳では「見守りカメラ」と「子育てプラザ」が同率で66.7%と最も高く、20～29歳、40歳～50歳代では「見守りカメラ」がそれぞれ62.1%、83.2%、68.2%と最も高く、30～39歳では「子育てプラザ」が74.3%と最も高く、60～69歳では「棋士（きし）のまち加古川」が71.6%と最も高く、70歳以上では「20%ごみ減量」が69.5%と最も高くなっている。（図15-2）

【図15-2　性年代別　加古川市の取組等の認知度】



●居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西では「棋士（きし）のまち加古川」がそれぞれ74.6%、68.1%、69.2%、74.5%と最も高く、野口、平岡、浜の宮、志方では「見守りカメラ」がそれぞれ68.8%、55.2%、69.3%、69.8%と最も高くなっている。(図15-3)

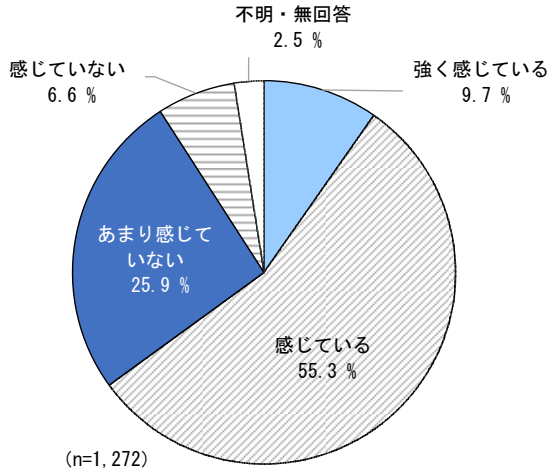
【図 15-3　居住地区別　加古川市の取組等の認知度】



16. 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

問16　あなたは、加古川市やお住まいの地域に、誇りや愛着を感じていますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

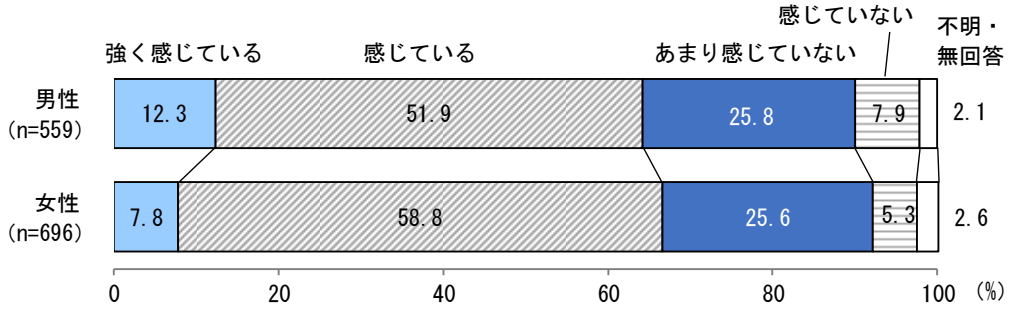
【図16　市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



●市や居住地域に対する誇りや愛着の程度については、「感じている」が55.3%と最も高く、次いで、「あまり感じていない」が25.9%、「強く感じている」が9.7%、「感じていない」が6.6%となっている。(図16)

●性別でみると、いずれのカテゴリーでも「感じている」が最も高く、男性で51.9%、女性で58.8%となっている。(図16-1)

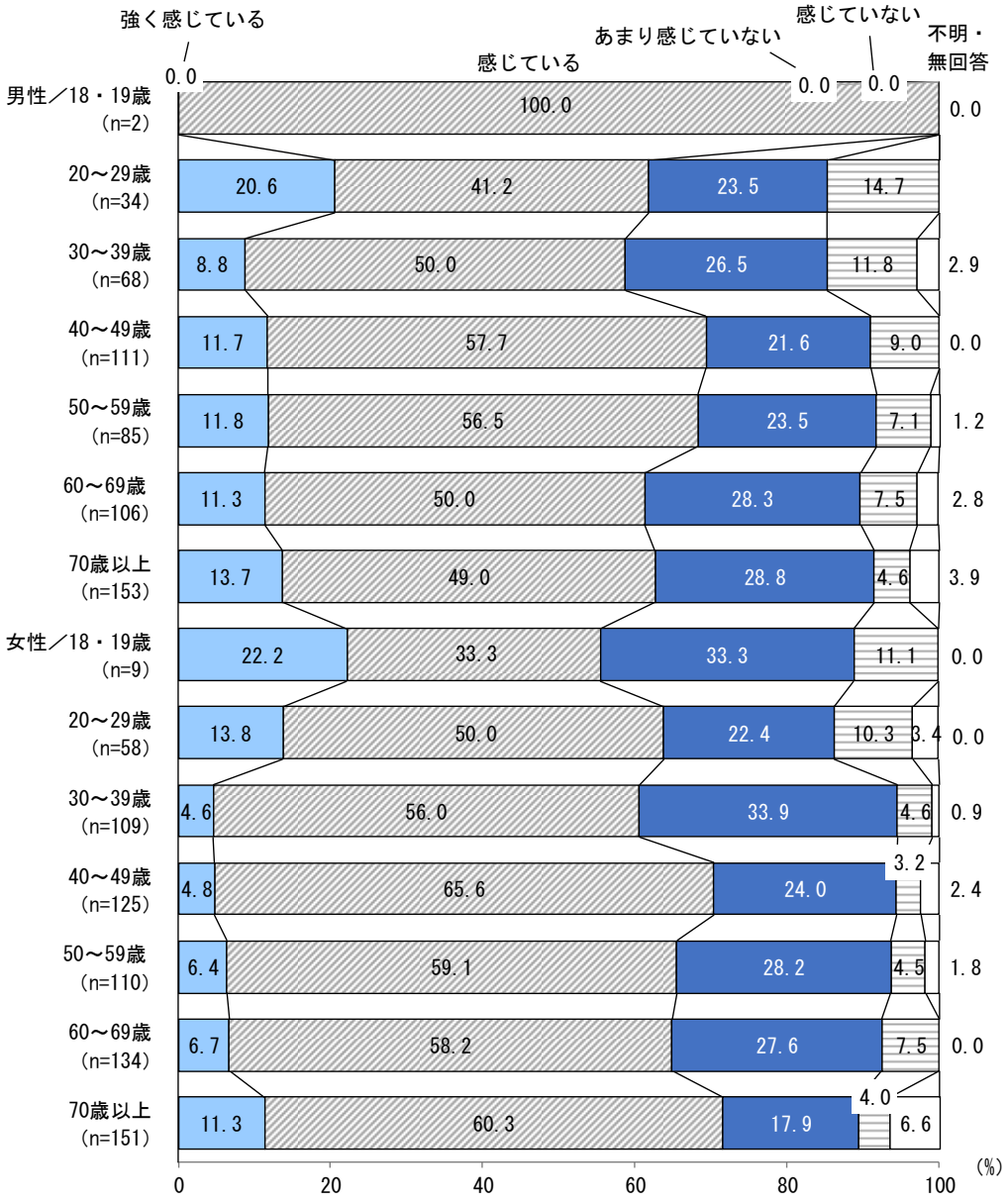
【図16-1　性別　市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



●性年代別でみると、男性のすべてのカテゴリーで「感じている」が最も高く、18・19歳から順に100.0%、41.2%、50.0%、57.7%、56.5%、50.0%、49.0%となっている。

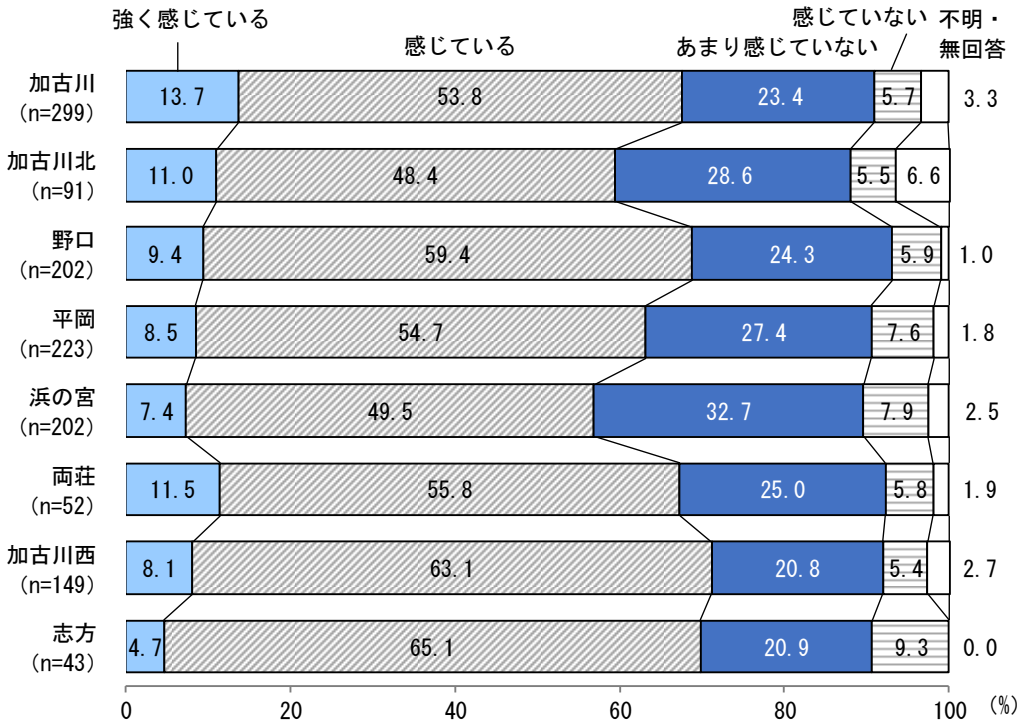
女性の18・19歳では「感じている」と「あまり感じていない」が同率で33.3%と最も高くなっている。他のカテゴリーでは「感じている」が最も高く、20～29歳から順に50.0%、56.0%、65.6%、59.1%、58.2%、60.3%、となっている。(図16-2)

【図16-2　性年代別　市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「感じている」が最も高く、加古川から順に53.8%、48.4%、59.4%、54.7%、49.5%、55.8%、63.1%、65.1%となっている。

【図 16-3　居住地区別　市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



17. 自由意見

有効回答数1,272件のうち、記述があったものは559件で、テーマごとに分類して集計した結果、意見の延べ件数は809件となった。分類した結果は、以下の通りである。（主な意見を掲載）

1　ともに支え合う福祉社会の実現について	**146件**
a　子育て支援	**65件**
・子育て支援策が拡充されると良いと思う。 ・母子家庭世帯への支援をさらに進めてほしい。 ・子ども医療費の助成や児童手当について、所得制限をなくしてほしい。 ・市内の保育園の定員を増やしてほしい。 ・公立幼稚園の３年保育を実施してほしい。 ・子どもが外で遊べる場所や、ボール遊びができる広い公園などを増やしてほしい。 ・子育てに関するイベントや、他の親子との交流の場をさらに増やしてほしい。 ・就学を迎える子どもがいる家庭への、就学に関する情報を充実させてほしい。	
b　高齢者福祉	**47件**
・高齢者が元気で生きられるまちにしてほしい。 ・自動車運転免許証の返納に伴う代替手段の確保や、各種交通機関の割引サービスを実施してほしい。 ・年金で生活しているが、生活が厳しく精神的に不安を感じる。 ・介護、生活支援の充実に向けて画期的な取組をしてほしい。 ・重度の障がい者でも入所できる特別養護老人ホームの施設を増やしてほしい。	
c　障がい者福祉	**９件**
・障がい者を見守り理解してもらえるまちになってほしい。 ・介護者の負担が心身ともに少しでも軽くなるサポートがあれば良いと思う。	
d　貧困対策	**13件**
・経済的に診察を受けることができない人への支援を実施してほしい。 ・生活にゆとりがなく、不安を感じる人が多いと感じる。 ・賃料が低く、住みやすい住居を建設すべき。	
e　福祉全般	**12件**
・単身の高齢者やひきこもりの人への支援等に力を入れてほしい。 ・医療、福祉の充実に力を入れてほしい。 ・気軽に相談できる窓口が必要だと思う。	
2　健康づくりや地域医療の充実について	**24件**
a　健康づくり活動の支援	**11件**
・健康促進のために「楽しく歩ける」場所を増やしてほしい。 ・駅前商店街に灰皿付きのごみ箱が多すぎるほか、完全分煙化ができていない。	

b	**地域医療体制**	13件
	・大きな病院が加古川以東に２か所しかなく、加古川以西にない点に不満を感じる。 ・紹介状がなくても、誰もがすぐに受診できるようにしてほしい。 ・医療の充実に力を入れてほしい。	
３	**市民生活の安全・安定の確保について**	118件
a	**防犯・交通安全対策**	89件
	・住宅地の中でも街灯が少なく、夜が暗い場所がある。 ・街灯を増やしてほしい。 ・交通マナーが悪い印象がある。 ・歩道と自転車道を完全に区別して整備してほしい。 ・通勤や登下校時に狭い道を通り抜けする車が多く、とても危険を感じる。 ・不審者情報が多く、子どもの安全に不安を感じる。 ・見守りカメラをさらに充実させてほしい。	
b	**地域の防災体制**	29件
	・風水害に関わる情報について、リアルタイムで各家庭に伝達できるシステムを構築してほしい。 ・豪雨災害に備え、加古川の両側の堤防の補強と、かさ上げに取り組んでほしい。 ・雨水タンクやベンチ、トイレなど、災害時に利用できる設備を充実させてほしい。	
４	**学校教育の充実について**	27件
a	**学習環境の整備**	27件
	・学習環境（エアコン、ＩＣＴ機器など）を充実させてほしい。 ・教員の負担軽減を進めてほしい。 ・学校給食の安全性（農薬や食品添加物など）が心配。	
５	**地域における教育・学習環境の整備について**	９件
a	**生涯学習の機会や学習環境**	９件
	・巡回型の図書館を復活してほしい。 ・アクセスしやすい場所に充実した図書館があればいいと思う。	
６	**スポーツや文化・芸術の振興について**	19件
a	**スポーツ・レクリエーション活動、文化・芸術の機会提供**	19件
	・市民が誇りに思えるスポーツクラブの育成が重要。 ・河川敷のマラソンコースは高低差が少なく、非常に魅力的なコースだと思う。マラソンブームであることから、さらにアピールすべき。	
７	**地球環境と地球の環境の保全について**	18件
a	**自然環境の保全**	４件
	・環境に配慮したまちづくりに取り組んでほしい。 ・騒音、ばい煙、野焼き、ごみのポイ捨てなどへの対策を進めてほしい。	

b　大気や水質・騒音等の環境対策	14件
・工場のばい煙による空気汚染がひどい。 ・川のきれいなまちにして、「加古川がきれい」と胸を張って言えるようにしてほしい。 ・暴走族がうるさい。	
8　資源の循環と環境美化の推進について	61件
a　ごみの処理・不用品のリサイクルの推進	26件
・インターネットで申し込めば粗大ごみも家の前まで回収に来てくれるため助かるが、手続きが煩雑で気軽に捨てにくい。 ・ルールを守らずにごみが捨てられているのを見かける。 ・ごみの分別や収集方法が分かりづらい。 ・雑がみの収集は良い取組だと思う。	
b　ポイ捨てやペットのふん害防止	24件
・ごみやタバコのポイ捨てが多い。 ・ペットだけでなく、野良猫のふん害も多い。 ・野良猫にエサをやらないように啓発してほしい。	
c　上下水道の整備	11件
・水道水がおいしくない。 ・水道料金、下水道料金ともに高額である。 ・加古川市内全域に下水道を整備してほしい。	
9　農業・水産業について	２件
a　農業の振興	２件
・農地を活用してほしい。 ・市街化調整区域は人口が減少し、農業の維持が困難になっている。	
10　工業・地場産業の振興について	12件
a　産業の活性化	７件
・新産業の企業誘致を進めてほしい。 ・ＪＲ加古川駅周辺に大学のサテライト校などを誘致してほしい。	
b　地場産業の活性化	５件
・地元産品やご当地グルメを生かしたイベントがあるとうれしい。	
11　商業・観光の振興について	39件
a　商業の活性化	29件
・駅前が昔に比べてさびしくなっている。 ・駅周辺の商業を活性化させて、活気のあるまちにしてほしい。 ・買い物や遊びを十分に楽しめる大型商業施設やレジャー施設をつくってほしい。	
b　観光資源の有効活用・観光事業の活性化	10件
・踊っこまつりのＰＲを強化してほしい。 ・「棋士のまち」など特定のファンをターゲットにアピールできるものをまちづくりに取り入れるべき。	

12　機能的・効率的なまちの形成について	145件
a　都市基盤の整備	16件
・ＪＲ加古川駅周辺の開発を進めてほしい。 ・レベルの高いアカデミアの誘致は市活性化の新たな視点になると思う。 ・国道２号の拡張やＪＲ加古川駅周辺を整備して、人が集まりやすく美しいまちづくりをする必要がある。 ・市郊外でもインフラ整備を充実させ、より住みやすいまちをつくってほしい。	
b　幹線道路の整備	22件
・加古川バイパスの渋滞や事故が多い。 ・国道２号の一方通行が分かりづらいため、逆走防止の表示について目立つように設置してほしい。 ・南北の道路をさらに整備してほしい。	
c　公共交通	107件
・かこバスと山陽電車の発着時間を調整し、スムーズな乗り継ぎを実現してほしい。 ・各駅に向かうバスの本数が少なすぎる。 ・かこバスの本数、運行経路、停留所を増やしてほしい。また、最終便の時刻を遅くしてほしい。 ・朝夕の通勤通学時間帯は乗客が非常に多いため、時間帯によってバスの大きさを変えてほしい。 ・自動車運転免許証を返納したが、交通機関が不便なため買い物や通院に困っている。 ・自動車運転免許証を返納しても外出しやすいように、バスやタクシー等の移動手段を充実させてほしい。	
13　安全・快適な暮らしの基盤の整備について	57件
a　地域内道路の整備	29件
・交通の利便性を高めるため、主要幹線道路につながる道路の整備を進めてほしい。 ・道路に陥没している箇所があり、危険を感じる。 ・道路や交通道路標識の整備・点検を実施してほしい。 ・道幅が狭い道路での渋滞等をよく見かけるため、道路の拡張を進めてほしい。 ・安全のため、歩行者や車が行き交う道路の側溝に蓋をしてほしい。	
b　公園・緑地や水辺の整備	28件
・ボール遊びなど、小学生がのびのびと遊べる場所が増えれば子育て世代は住みやすくなると思う。 ・公園施設（遊具やトイレなど）の整備を充実させてほしい。 ・公園の木々や雑草の手入れをしてほしい。 ・複合遊具のある大きな公園がほしい。	
14　まちづくりの進め方について	87件
a　まちの全体像	26件
・加古川市を全国にアピールできるように、アピールできることを整理して実行してほしい。 ・若者目線での居住環境の整備に力を入れてほしい。 ・市西部や北部の開発が進んでいない。 ・市街化調整区域の解除が必要である。 ・明石市と姫路市に挟まれ埋没している。加古川らしさを出すべきである。	

b　市民活動や行政との協働	17件
・高齢者が自分のできることをボランティアに生かせると、本人と地域ともにプラスになると思う。 ・これからも良いまち、住み良いまち、楽しいまちになるように行政と市民が一緒に頑張ってまちづくりができればと願っている。 ・ごみ拾いのボランティアなどの活動があれば参加したいと思う。	
c　行政	44件
・各種の税金が高い。特に市民税と水道料金が高い。 ・財政改革の必要性は理解できるが、最近は経費削減だけが目立っているように感じる。縮小均衡政策も必要だが、税収増につながる政策を具体化し、市の将来像を明示する必要がある。 ・加古川市のホームページが見づらいため、もう少し見やすくしてほしい。 ・市政が分かりやすくなったと思う。 ・市民のためになるような税金の使い道をしてほしい。	
15　その他	73件
a　アンケート	18件
・選択肢に「不明」や「よくわからない」を入れてほしい。 ・設問が多すぎるため、質問内容を選別してほしい。 ・各施策を十分に理解していないため、回答するのが難しい。	
b　その他	55件
・とても住みやすい地域だと思う。 ・世代間での交流がさらに増えれば楽しいと思う。 ・空き家などの問題について、行政が責任を持って取り組んでほしい。 ・公共施設の駐車場を無料または２、３時間無料にしてほしい。 ・ふるさと納税の返礼品について、九州や北海道の地域と比べて見劣りする。	
延べ件数	809件

特に意見が多かったもの（分野別上位10位）

順位	分　野	件数	順位	分　野	件数
1	公共交通について	107	6	地域の防災体制について	29
2	防犯・交通安全対策について	89	6	商業の活性化について	29
3	子育て支援について	65	6	地域内道路の整備について	29
4	高齢者福祉について	47	9	公園・緑地や水辺の整備について	28
5	行政について	44	10	学習環境の整備について	27

Ⅲ　総括

１　全体考察

■回答者について

回答者の内訳をみると、男性が43.9%、女性が54.7%と、女性がやや多くなっています。年齢では60歳以上が４割を超えており、30歳未満は１割以下となっています。これらの傾向が、全体の回答結果にも影響しているものと考えられます。また、約７割の人が加古川市での居住年数が20年以上となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約３割、「無職」が約２割となっています。通勤・通学している人のうち、通勤・通学先は５割弱が市内、残りが市外となっています。また、通勤・通学している人のうち、約５割が「自動車」を利用しています。

■定住意向について

６割以上の人が、「現在の場所に住み続けたい」と回答しています。女性よりも男性の方が、若年者層よりも高齢者層の方が、定住意向が強い傾向が見られます。地区別でみると加古川西地区で定住意向が他地区よりもやや高く、逆に志方地区では定住意向が最も低くなっています。

定住意向がない人（市内での転居希望と市外への転居希望を含む）のうち、転居したい理由としては「買い物環境が充実していないから」や、「通勤・通学に不便だから」「景観・まちなみに魅力が少ないから」などがあげられています。性年代別でみると傾向が異なり、30歳代の男女では「子育て環境が充実していないから」が、60歳以上の男女では「買い物環境が充実していないから」などが、理由としてあげられています。地区別でも傾向は異なり、志方地区では「買い物環境が充実していないから」が９割、「医療環境が充実していないから」が７割となっています。

また、市外への転居を希望する人のうち、転居先としては「神戸市」が約３割、「明石市」が約２割となっています。女性では男性と比べて、「神戸市」や「大阪府」を希望する人が多くなっています。

■満足度・重要度について

市の施策の満足度では、「下水道の整備」や「消防や救急・救命体制」「下水道の整備」などは評価が高いものの、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」「地域内の道路の安全性や便利さ」などで評価が低くなっています。

重要度では、「安心できる医療体制」や「介護保険など社会保障制度の適正な運用」「地域の防災体制」などが上位となっています。

重要度が高い一方で満足度が低い項目としては、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」「地域内の道路の安全性や便利さ」などがあげられます。

■防災対策・防犯対策について

防災対策として何の取組も行っていない人は４割、防犯対策として何の取組も行っていない人は約３割となっています。防災対策よりも防犯対策について、家庭での取組をしているという割合が高くなっています。

■市民活動の参加状況・参加意向について

市民活動に参加している人は、２割弱となっています。女性より男性の方が、若年層より高齢者層の方が、参加している人が多い傾向がみられます。地区別でみると、両荘地区では参加している人が３割弱と、他地区と比べて最も高くなっています。

今後の参加意向がある人（「ぜひ、参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計）は約５割となっており、現在参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることが分かります。また、男性よりも女性の方が参加意向のある人が多く、性年代別でみると男性では60歳以上で参加意向が他の年代よりも高く、女性では40～49歳で参加意向が最も高くなっています。

■ごみのポイ捨てについて

ごみのポイ捨てについて、２割弱の人が毎日見かけると回答しています。頻度にかかわらずポイ捨てを見かけると回答した人（「全く見かけない」と「ほとんど見かけない」「不明・無回答」を除いた割合）は、約７割となっています。地区別でみると、浜の宮地区では毎日見かけると回答した人が他地区と比較して最も高くなっています。また、平岡地区では、頻度にかかわらずポイ捨てを見かけると回答した人が、他地区と比べて最も高くなっています。

ごみのポイ捨てについて不満を感じている人は７割を超えており、男性より女性の方が、不満を感じている人の割合が高くなっています。地区別では、両荘地区で不満を感じている人が約８割と、他地区と比べて最も高くなっています。

ごみをよく見かける場所としては「道路」が、よく見かけるごみとしては「タバコの吸い殻」が、それぞれ最も高くなっています。

■ペットのふん害について

ペットのふんについて、約１割の人が毎日見かけると回答しています。頻度にかかわらず、ふんを見かけると回答した人（「全く見かけない」と「ほとんど見かけない」「不明・無回答」を除いた割合）は、約５割となっています。地区別でみると、加古川地区と浜の宮地区では、毎日見かけると回答した人が約１割と、他地区と比べて高くなっています。また、浜の宮地区では、頻度にかかわらず、ふんを見かけると回答した人が、他地区と比べて最も高くなっています。

ごみのポイ捨てについて不満を感じている人は約６割となっており、男女間の差は、ほぼみられません。地区別では、野口地区で不満を感じている人が７割弱と、他地区と比べて最も高くなっています。

ふんをよく見かける場所としては「道路」が、最も高くなっています。また、自由意見ではペットに限らず、野良猫のふん害を指摘する声もありました。

■市政に関する情報や「広報かこがわ」「加古川市のホームページについて」

市政に関する情報については、９割弱の人が「広報かこがわ」から入手していると回答しています。「町内会の回覧など」という回答も多く、男性で約５割。女性で約６割となっています。

広報かこがわについて、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は約８割で、男性よりも女性の方が高くなっています。一方で、20～29歳の男性で約４割、18・19歳の女性で４割を超える人が、「読んだことがない」と回答しています。

市のホームページについては、「見たことがない」と回答した人が約４割と、最も高くなっています。男性よりも女性の方が、「見たことがない」の割合が高くなっています。また、男女とも若年層と70歳以上で、「見たことがない」の割合が高くなる傾向が見られます。地区別でみると、両荘地区で「見たことがない」が５割と、他地区と比べて最も高くなっています。

■市や居住地域に対する誇りや愛着の程度について

市や居住地区に対する誇りや愛着を感じている人（「強く感じている」と「感じている」の合計）は、６割を超えています。一方、誇りや愛着を感じていないと回答した人（「感じていない」と「あまり感じていない」の合計）が、30歳代の男性で約４割、18・19歳の女性で４割を超え、他の性年代と比べて高くなっています。

地区別でみると、野口地区で誇りや愛着を感じている人が約７割と、他地区と比べて最も高くなっています。

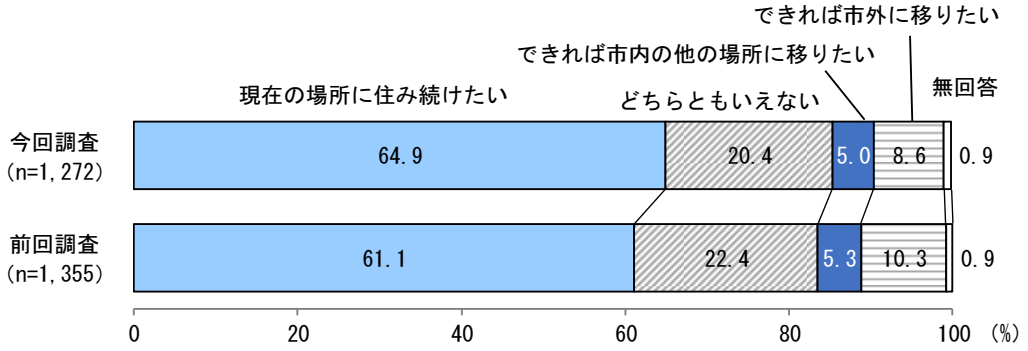
２　経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

■定住意向について

前回調査と比べて、「現在の場所に住み続けたい」が3.8ポイント増加しています。「できれば市内の他の場所に移りたい」が0.3ポイント、「できれば市外に移りたい」が1.7ポイント、それぞれ減少しています。

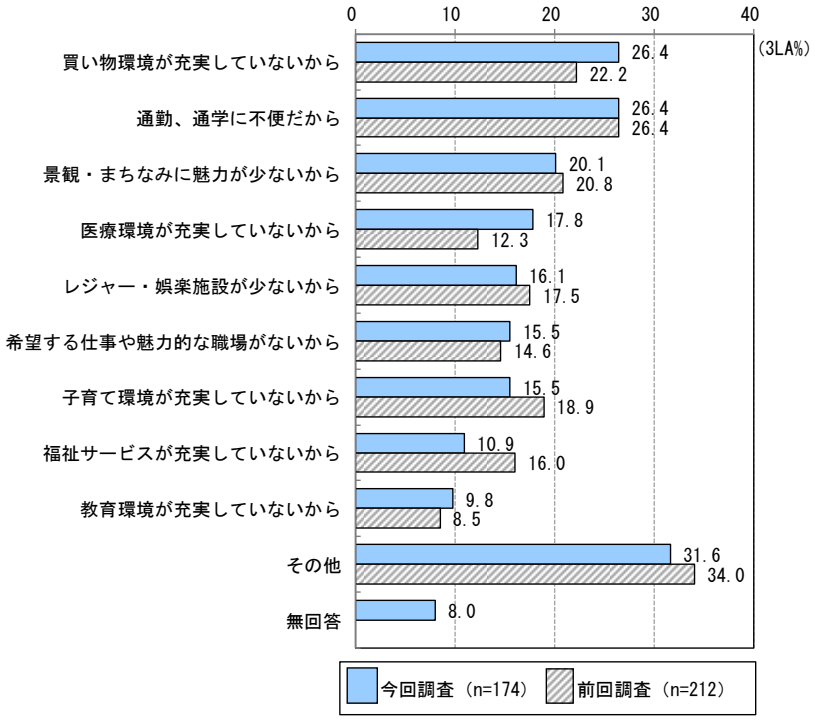
【経年比較　定住意向】



■転居したい理由について

前回調査と比べて、「買い物環境が充実していないから」が4.2ポイント、「医療環境が充実していないから」が5.5ポイント、それぞれ増加しています。

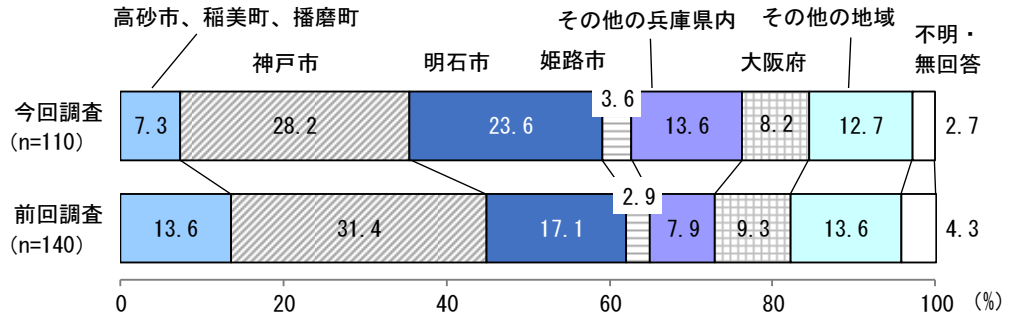
【経年比較　転居したい理由】



■市外で移り住みたい場所について

前回調査と比べて、「明石市」が6.5ポイント、「その他の兵庫県内」が5.7ポイント、それぞれ増加しています。

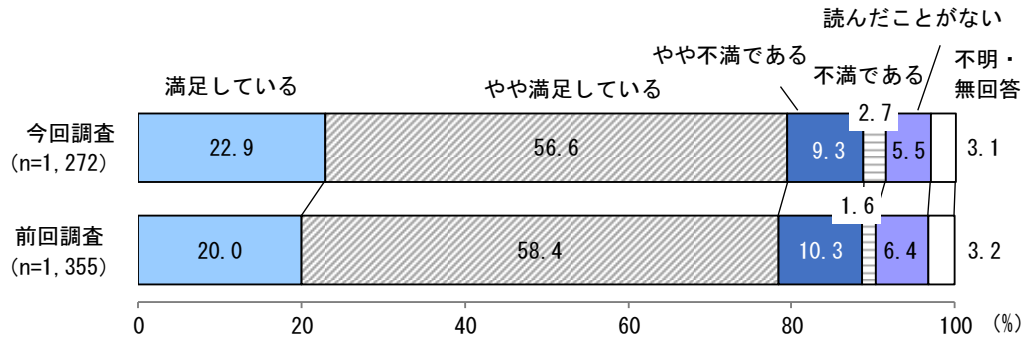
【経年比較　市外で移り住みたい場所】



■「広報かこがわ」の満足度について

前回調査と比べて、「満足している」と「やや満足している」を足した割合は、1.1ポイント減少しています。

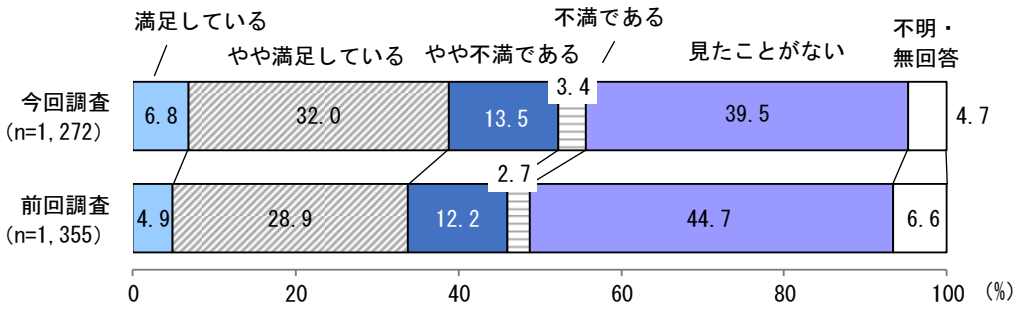
【「広報かこがわ」の満足度】



■「加古川市のホームページ」の満足度について

前回調査と比べて、「満足している」と「やや満足している」を足した割合は、5.0ポイント増加しています。

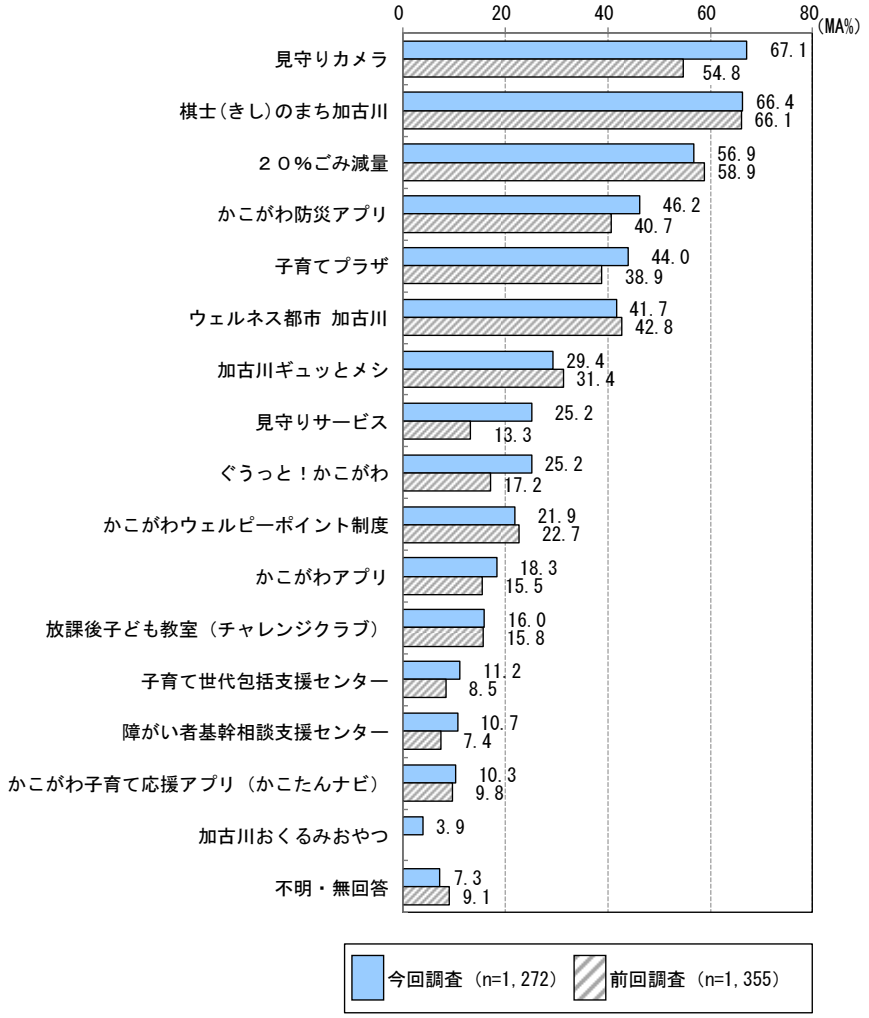
【経年比較　「加古川市のホームページ」の満足度】



■加古川市の取組等の認知度について

前回調査と比べて、「見守りカメラ」が12.3ポイント、「かこがわ防災アプリ」が5.5ポイント、「子育てプラザ」が5.1ポイント、「見守りサービス」が11.9ポイント、「ぐうっと！かこがわ」が8.0ポイント、それぞれ増加しています。（「加古川おくるみおやつ」は、前回調査の選択肢になし）

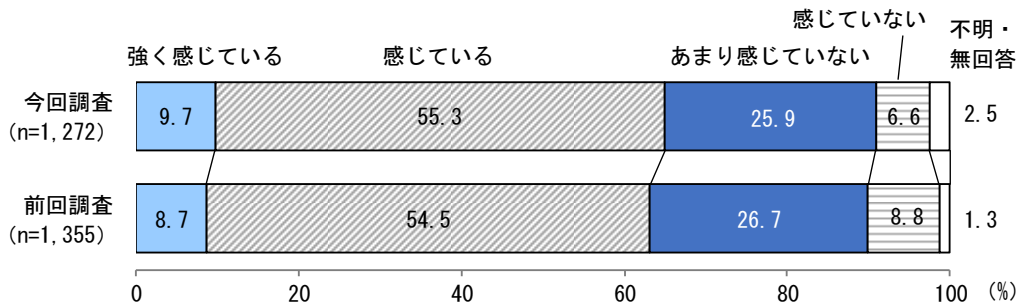
【経年比較　加古川市の取組等の認知度】



■郷土愛の意識について

前回調査と比べて、「強く感じている」と「感じている」を足した割合は、1.8ポイント増加しています。

【経年比較　郷土愛の意識】



令和元年度　市民意識調査　報告書

令和２年３月

加古川市　企画部　政策企画課
〒675-8501　加古川市加古川町北在家2000番地
電話　079-427-9113